令和7年度　厚生労働省障害者総合福祉推進事業

障害福祉サービス利用者等の生活実態調査

令和８年　3月

株式会社工業市場研究所

目 次

１．事業要旨 1

２．事業目的 4

３．事業概要 5

４．調査結果 7

【１】 障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査 7

【２】 障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査 61

【３】高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査 93

５．参考資料（調査票） 142

１．事業要旨

本事業では、障害福祉サービス等の施策・制度を検討する際に有用な情報となると想定される、障害者の収入・支出等の状況を含めた生活実態等を把握することを目的にアンケート調査を実施した。

本事業の実施結果（要旨）は以下の通り。

① 障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

調査対象者：18-64 歳の在宅サービス利用者（障害者支援施設入所者は除く）

・調査回答者の平均年齢は 46.6 歳。グループホーム利用者が全体の約 35%を占めており、次いで、戸建て住宅や集合住宅に単身もしくは親と本人のみで同居している人が多い。

・障害者手帳の保有状況は、「療育手帳」（47%）、「精神障害者保健福祉手帳」（31%）、「身体障害者手帳」（28%）で大半の人が何らかの障害者手帳を保有している。

・障害者支援区分の認定を「受けている」人が 79%、「受けていない」人が 11%となっている。

・医療費助成等の利用状況は、全体の約 6 割が医療費助成を利用しており、「自立支援医療（精神通院医療）」（38%）、「心身障害者医療費助成（マル障）」（14%）などの利用が多い。

・日常的な医療的ケアを特に必要としている人が全体の 18%で、必要としていない人が多い。

・日常生活では、「家事（調理・洗濯・掃除）」「お金の管理」が 6 割以上、「日常の買い物（外出）」「薬の管理」が 5 割以上の人が介助を必要としている（一部＋全部手助けが必要）。

・回答者本人が収入のある仕事をしている割合は 69%。その内大半が「就労継続支援 B 型の事業所で働いている」となっている。

・住民税を課税されていない人が 70%、生活保護を受給している人が 24%を占めている。

＜収入＞

・世帯単位の収入額は、**平均値 147,663 円**／**中央値 113,668 円**。

・収入の内訳は、「障害年金など公的年金」（平均値 67,524 円／中央値 68,000 円）、「賃金・給料・工賃（働いて得た収入）」（平均値 50,883 円／中央値 12,000 円）が中心となっている。

・グループホーム利用者や単身（一人暮らし）世帯の収入額が低い傾向が見られる。

＜貯蓄・資産＞

・世帯単位の貯蓄・資産額は、**平均値 551.0 万円**／**中央値 50.0 万円**。

・内訳は「預貯金」（平均値 391.2 万円／中央値 30.0 万円）、「生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料」（平均値 110.5 万円／中央値 0 円）、「現金・小切手」（平均値 30.2 万円／中央値 8,000 円）など。

・グループホーム利用者や単身（一人暮らし）世帯の貯蓄額・資産額が低い傾向が見られる。

＜支出＞

・世帯単位の１か月分の支出額は、**平均値 104,236 円**／**中央値 88,155 円。**

・内訳は、障害福祉サービス事業者への支払額が平均値 65,145 円／中央値 55,000 円、障害福祉サービス事業者以外への支払額が平均値 39,091 円／中央値 16,000 円。特に、「住居費」「サービス利用料」「食費」などの費目の支出割合が高い。平均値の構成比は、障害福祉サービス事業者への支払額が 62.5%、障害福祉サービス事業者以外への支払額が 37.5%となっている。

② 障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

調査対象者：居住系サービスなど障害者支援施設入所者

・調査回答者の平均年齢は 54.2 歳（障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査における回答者の平均年齢 46.6 歳よりも高い）。

・障害者手帳の保有状況は、「療育手帳」（66%）、「身体障害者手帳」（42%）、「精神障害者保健福祉手帳」（3%）で、大半の人が「療育手帳」もしくは「身体障害者手帳」を保有している。

・障害者支援区分の認定を「受けている」人が 95%を占めている（区分 5～区分 6 で 74%）。

・医療費助成等の利用状況は、全体の約 6 割が医療費助成を利用しており、「心身障害者医療費助成（マル障）」（30%）、「自立支援医療（精神通院医療）」（14%）などの利用が多い。

・日常的な医療的ケアを特に必要としている人が全体の 25%で、必要としていない人が多い。

・日常生活では、多くの項目で介助を必要としており、特に「日常の買い物（外出）」「お金の管理」「薬の管理」については 9 割以上の人が介助を必要としている（一部＋全部手助けが必要）。

・住民税を課税されていない人が 80%、生活保護を受給している人が 3%を占めている。・

＜収入＞

・1 か月分の収入額は、**平均値 89,241 円**／**中央値 88,750 円**。

・内訳は、「障害年金など公的年金」（平均値 76,226 円／中央値 81,810 円）が、平均値では収入額の 85%を占めている。次いで、「補足給付」（平均値 5,940 円／中央値 5,250 円）、「特別障害者手当などのその他の手当・給付金」（平均値 2,496 円／中央値 0 円）など。

＜貯蓄・資産＞

・貯蓄・資産額は、**平均値 347.8 万円／中央値 174.2 万円**。

・内訳は「預貯金」（平均値 327.8 万円／中央値 160.3 万円）で平均値では合計の 94%を占めている。

＜支出＞

・1 か月分の支出額は、**平均値 77,725 円／中央値 60,360 円。**

・内訳は、障害支援施設への支払額が平均値 67,352 円／中央値 53,758 円）、施設以外への支払額が平均値 10,372 円／中央値 5,000 円。施設への支払いは「食費」「サービス利用料」「水道光熱費」、施設以外では「食費」「保険医療費」「教養娯楽費」などが多い。

③ 高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査

調査対象者：65 歳以上の障害福祉サービス支給決定者

・調査回答者の平均年齢は 71.6 歳。住まいは、「戸建て住宅（持ち家）」（29%）、「障害者支援施設」（21%）、「グループホーム」（20%）、「集合住宅（賃貸マンション・アパート）」（18%）と分散しているが、「自宅で生活」している人が 72%、「施設に入所」している人が 23%となっている。

・同居家族は、「ひとり暮らし」（51%）、配偶者（25%）などが上位を占めている。

・障害者手帳の保有状況は、「身体障害者手帳」（42%）、「療育手帳」（29%）、「精神障害者保健福祉手帳」（27%）で、高齢障害者の大半が何らかの障害者手帳を保有している。

・障害者支援区分の認定を「受けている」人が 78%、「受けていない」人が 15%となっている

・要介護の認定は、「受けている」人が 31%、「受けていない」人が 64%となっている。

・介護保険サービスの利用率が高いサービスは、「訪問介護」（14%）、「訪問看護」（9%）、「通所介護」（5%）、「配食サービス」「外出支援サービス」（ともに 4%）など。「利用していない」が 27%。

・新高額障害福祉サービス等給付費は、「対象ではない」が 46%、「わからない」が 36%、「対象となっている」が 6%。

・医療費助成等の利用状況は、全体の 66%が医療費助成を利用しており、「自立支援医療（精神通院医療）」（29%）、「心身障害者医療費助成（マル障）」（19%）などの利用が多い。

・日常的な医療的ケアを特に必要としている人が全体の 26%で、必要としていない人が多い。

・日常生活で介助を必要（一部＋全部手助けが必要）としている割合が高いのは、「家事（調理・洗濯・掃除）」（71%）、「お金の管理」（64%）、「日常の買い物（外出）」（61%）、「薬の管理」（57%）など。

・回答者本人が収入のある仕事をしている割合は 46%。

・住民税を課税されていない人が 77%、生活保護を受給している人が 13%を占めている。

＜収入＞

・世帯単位の収入額は、**平均値 133,607 円／中央値 109,744 円**。

・収入の内訳は、「障害年金など公的年金」（平均値 84,751 円／中央値 81,406 円）、「賃金・給料・工賃（働いて得た収入）」（平均値 23,937 円／中央値 0 円）が中心。

＜貯蓄・資産＞

・世帯単位の貯蓄・資産額は、**平均値 589.8 万円／中央値 180.0 万円**。

・内訳は、「預貯金」（平均値 393.4 万円／中央値 120.0 万円）、「現金」（平均値 77.5 万円／中央値 0 円）など。

＜支出＞

・世帯単位の 1 か月分の支出額は、**平均値 100,313 円／中央値 79,000 円**。

・内訳は、障害福祉サービス事業者への支払額が平均値 57,492 円／中央値 54,900 円、障害福祉サービス事業者以外への支払額が平均値 42,821 円／中央値 16,220 円。

２．事業目的

障害福祉サービスは、所得に応じて４区分の自己負担の上限月額が設定されており、ひと月に利用したサービス量にかかわらず、上限月額以上の負担が生じないよう配慮されている（応能負担）。その他にも、入所施設の食費等実費負担の減免処置など利用者にとって負担が重くなりすぎない様々な仕組みが整備されている。

このような背景から、障害福祉サービスの施策を検討するにあたって、障害福祉サービス利用者である障害者の収入や支出の状況等を含めた生活実態を適切に把握することが重要である。

一方、現状では、家計調査など国民生活に関する既存調査から障害者に特化した情報を把握し、障害者の生活実態を正確に把握することは困難である。そのため、本事業では障害福祉サービス利用者等の住まいや家族の状況、障害福祉サービス等の利用状況、収入・支出の状況等、障害者の生活実態を把握し、障害者の自立とその保障という観点から各種政策を検討する際の基礎資料を作成することを目的として実施した。

なお、令和元年度においても、「障害福祉サービスの利用実態調査」により障害福祉サービス利用者等の暮らしの状況に関する調査が実施されているが、本調査においては、こうした調査の調査項目も踏襲しつつ、実態を把握するように努めた。

３．事業概要

１．調査設計、調査票の作成

本調査の調査設計にあたっては、平成 30 年度障害者総合福祉推進事業「障害者の生活実態に関する調査方法に係る研究」、令和元年度障害者総合福祉推進事業「令和元年度障害福祉サービスの利用実態調査」の調査結果をベースとし、令和 5 年度東京都福祉保健基礎調査「障害者の生活実態」（東京都福祉局）などの調査結果等を参考に検討を行った。

その上で、以下のそれぞれを対象とする調査項目を検討し、調査票（3 種類）を作成した。

① 障害福祉サービス利用者
② 障害者支援施設入所者
③ 高齢障害者（65 歳以上）

なお、調査対象者が障害者であることや、収入・支出などプライバシーに関連する内容を質問する特徴があることから、無記名式とした上で、さらに情報の取扱い、調査票の作成方法に十分に配慮した上で実施した。

２．調査対象者の設定・調査の実施

調査は以下の手順で実施した。

① 障害福祉サービス事業所、障害者支援施設、市区町村の一次送付先を無作為抽出
② 一次送付先に調査票を送付し、一次送付先を通じて、調査対象者に調査票を配布
③ 調査票の回収・・・調査対象者から直接郵送で回収（料金受取人払い）、メールでの回答も受付

調査の種類	一次送付先	調査対象
障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	障害福祉サービス事業所 （1,400 事業所） ※各事業所に 3 通の調査票を送付	18～64 歳の在宅サービス利用者 （障害者支援施設入所者は除く。グループホーム入居者は含む） ※各事業者の利用者 3 名を無作為に選定
障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	居住系サービスなど障害者支援施設 （400 事業所） ※各施設に 3 通の調査票を送付	障害者支援施設の入所者 ※各施設の入所者 3 名を無作為に選定
高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査	市区町村（400 市区町村） ※各自治体に 3 通の調査票を送付	65 歳以上の障害福祉サービス支給決定者 自治体毎に 3 名を無作為に抽出

３．調査結果の集計・分析

回収した調査票を入力し、調査結果の集計・分析（単純集計及びクロス集計）を実施した。

４．調査実施時期

令和 7 年 10 月～12 月

５．発送数・回収数

調査種類	発送数	宛先不明等※	回収数	有効回答数	回収率
障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	1,400 事業所×3 票	48 事業所×3 票	777	773	19.2%
障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査	400 事業所×3 票	8 事業所×3 票	586	583	49.8%
高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査	400 市区町村×3 票	3 市区町村×3 票	353	351	29.6%

※サービスを休止した、当該施設に対象者が在籍していない、市町村内に 65 歳以上の障害福祉サービス支給決定者がいないなどの連絡をいただいた場合を含む

※各調査において、「障害種別」のクロス集計を実施している。障害種別は障害者手帳所持状況、医療費助成等の利用状況の回答から、次のように区分している。

身体	身体障害のみの属性を有する者（手帳所持）
知的	知的障害のみの属性を有する者（手帳所持）
精神	精神障害のみの属性を有する者 （手帳所持または自立支援医療（精神通院医療）を利用）
重複	身体・知的・精神の２つ以上の重複を有する者
その他	その他医療費助成等を利用

※アンケート調査結果における記述・集計・分析方法の注意点

・“n”は有効回答を指し、原則として n 数に対する比率を%表示（割合）で記している。

・（SA）は単一回答（Single Answer）、（MA）は複数回答（Multiple Answer）、（数量）は数量回答、（FA）は自由回答（Free Answer）。

・各質問項目では基本的に「無回答」を含めた数値を母数として集計している。

・集計結果は、原則として小数点第２位以下を四捨五入して表記しているため、合計が 100%にならない場合がある。

・クロス集計において表側項目のサンプル数が 30 サンプル未満の項目については、誤差が大きいため参考とする。

4．調査結果

【１】障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

（１） 回答者属性

① アンケート回答者

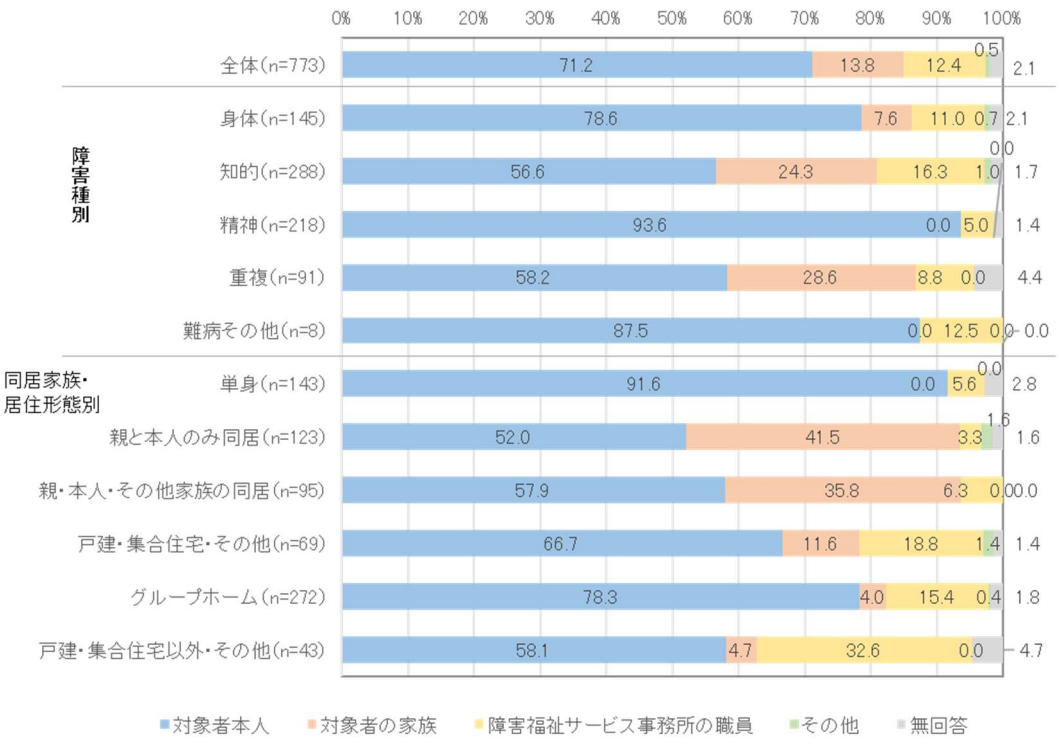
問 1.このアンケートに回答される方はどなたですか。（SA）

●アンケート回答者は、「対象者本人」が 71.2%を占めている（本人の意思に基づき回答し、回答内容を家族や支援者の方が代筆した場合も含む）。

●障害者種別でみると、知的、重複は「対象者本人」以外による回答の割合が高くなっている。

●同居家族・居住形態別では、単身、グループホームは「対象者本人」が回答、親と本人のみ同居、親・本人・その他家族と同居は、「対象者の家族」が回答の割合が高い。

図表 1 アンケート回答者

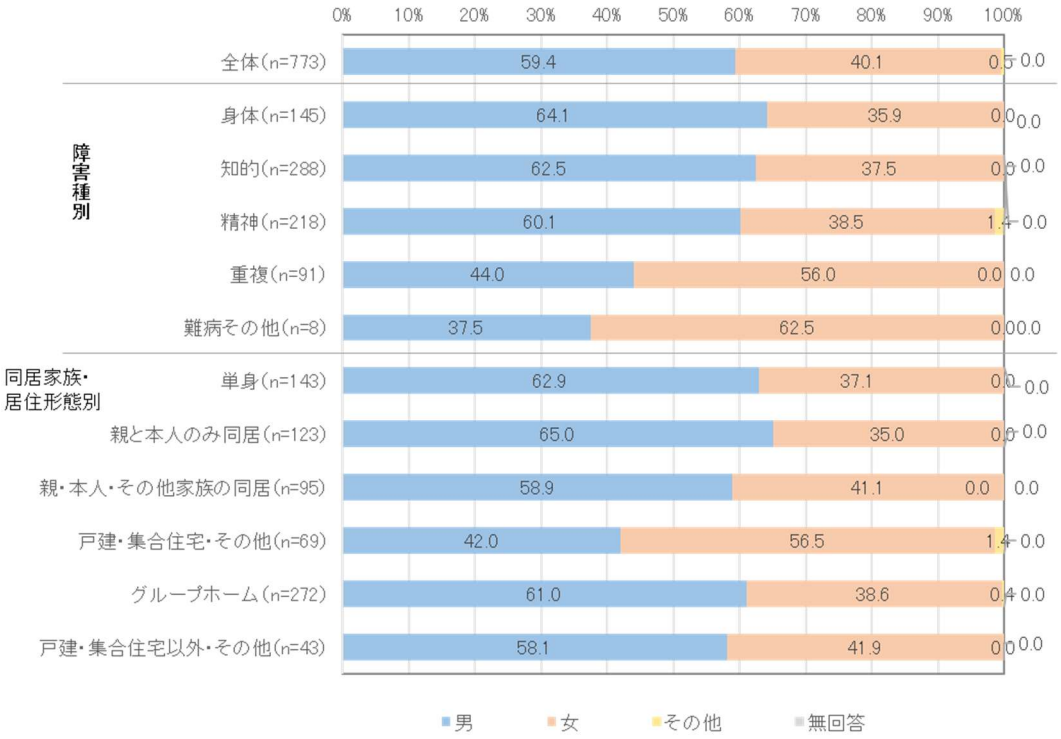


② 性別

問 2.あなたの性別を教えてください。（SA）

●性別は「男性」が 59.4%、「女性」が 40.1%を占めている。
●障害種別でみると、重複は「女性」が 56.0%を占めており、他と比較して「女性」比率が高い。

図表 2 性別

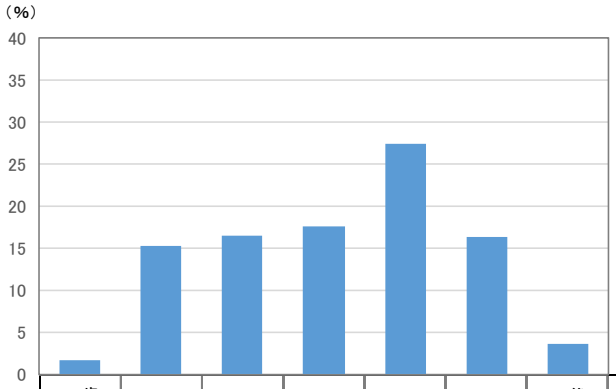


③ 年齢

問 3.あなたの年齢は何歳ですか（令和 7 年 10 月 1 日現在）。（数量）

- 年齢は「50 代」が 27.4%で最も高く、以下、「40 代」（17.6%）、「30 代」（16.4%）、「60 代」（16.3%）、「20 代」（15.3%）と 30 代～60 代がそれぞれ 15%強で続いている。平均年齢は 46.6 歳。
- 障害種別でみると、身体は平均年齢が 55.8 歳で、他と比較して平均年齢が高い。一方、知的の平均年齢は 40.7 歳で他と比較して低い。
- 同居家族・居住形態別では、単身の平均年齢が 53.4 歳、戸建て・集合住宅・その他が 52.5 歳であるのに対して、グループホームが 47.2 歳、親と本人のみ同居が 38.8 歳、親・本人・その他家族と同居が 35.4 歳と差が見られる。

図表 3　年齢



		n数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	平均値（歳）	中央値（歳）
全体		773	1.7	15.3	16.4	17.6	27.4	16.3	3.6	1.7	46.6	49.0
障害種別	身体	145	1.4	17.9	11.0	22.8	24.8	17.2	3.4	1.4	55.8	57.5
	知的	288	1.0	16.0	19.8	16.7	24.0	17.7	2.4	2.4	40.7	39.0
	精神	218	2.3	12.4	15.1	17.0	30.7	15.6	6.0	0.9	48.7	51.0
	重複	91	2.2	17.6	18.7	15.4	28.6	13.2	2.2	2.2	43.2	44.0
	難病その他	8	0.0	12.5	0.0	0.0	62.5	25.0	0.0	0.0	52.1	53.5
同居家族・居住形態別	単身	143	2.8	17.5	12.6	14.7	26.6	17.5	4.9	3.5	53.4	56.0
	親と本人のみ同居	123	0.0	17.9	19.5	17.9	25.2	16.3	1.6	1.6	38.8	39.0
	親・本人・その他家族の同居	95	4.2	16.8	20.0	17.9	27.4	10.5	2.1	1.1	35.4	32.5
	戸建・集合住宅・その他	69	0.0	18.8	14.5	20.3	21.7	18.8	5.8	0.0	52.5	53.0
	グループホーム	272	0.4	11.0	18.0	17.6	30.5	17.3	3.7	1.5	47.2	50.0
	戸建・集合住宅以外（その他）	43	2.3	14.0	11.6	20.9	25.6	16.3	7.0	2.3	55.0	55.0

…全体より10%以上高い

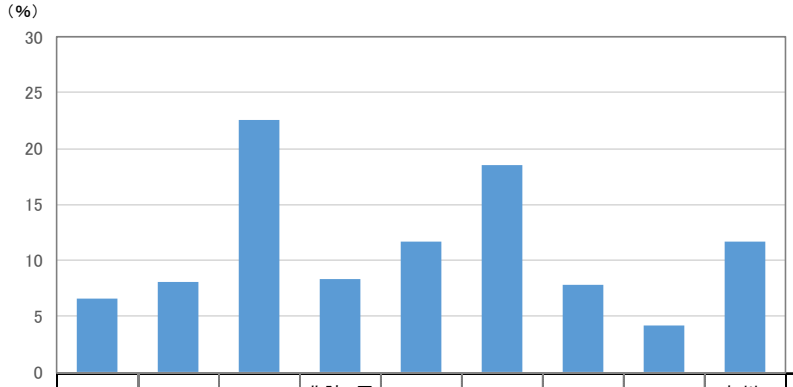
…全体より10%以上低い

④ 居住地

問 4.あなたのお住いの地域（都道府県・市区町村）をご記入ください。（FA）

●住まいの地域（都道府県・市区町村）の回答から居住地域に分類して集計したところ、「関東」が 22.5%、「近畿」が 18.5%、「東海」「九州・沖縄」が 11.6%の順に続いている。

図表 4　居住地域



		n数	北海道	東北	関東	北陸・甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	無回答
全体		773	6.6	8.0	22.5	8.4	11.6	18.5	7.8	4.1	11.6	0.8
障害種別	身体	145	6.2	6.2	27.6	4.8	13.1	17.2	9.7	4.8	10.3	0.0
	知的	288	7.3	6.6	18.8	8.7	11.5	20.8	9.0	4.5	12.2	0.7
	精神	218	6.9	11.5	25.7	9.2	9.6	15.6	6.4	4.1	9.6	1.4
	重複	91	5.5	7.7	19.8	11.0	14.3	20.9	4.4	2.2	14.3	0.0
	難病その他	8	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5
同居家族・居住形態別	単身	143	6.3	9.1	25.2	7.7	10.5	21.0	8.4	5.6	5.6	0.7
	親と本人のみ同居	123	8.9	6.5	19.5	10.6	13.8	17.1	6.5	4.9	11.4	0.8
	親・本人・その他家族の同居	95	7.4	8.4	31.6	6.3	9.5	21.1	4.2	3.2	7.4	1.1
	戸建・集合住宅・その他	69	8.7	2.9	24.6	8.7	13.0	17.4	4.3	5.8	14.5	0.0
	グループホーム	272	5.9	9.9	19.9	9.9	10.3	16.5	8.8	2.6	15.1	1.1
	戸建・集合住宅以外（その他）	43	4.7	7.0	18.6	2.3	16.3	18.6	14.0	4.7	14.0	0.0

…全体より10%以上高い

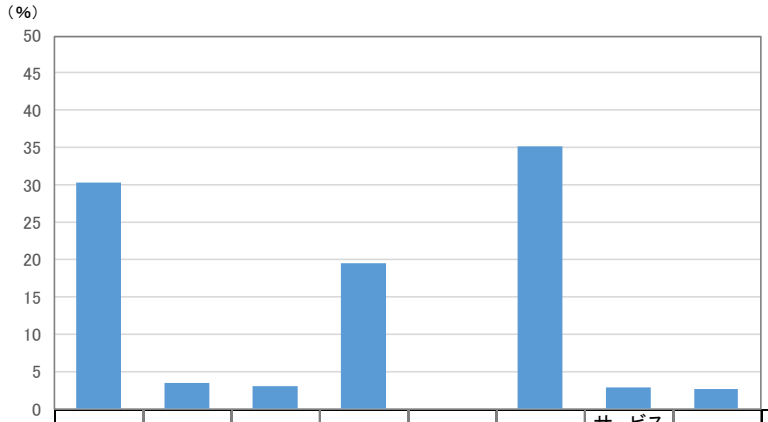
…全体より10%以上低い

⑤ 住まいの種類

問 5.あなたの現在の生活の場（お住い）・お住いの種類はどこですか。（SA）

- 住まいの種類は、「グループホーム」が 35.2%、「戸建て住宅（持ち家）」が 30.3%、「集合住宅（賃貸マンション・アパート）」が 19.4%で続いており、この 3 つで 84.9%を占めている。
- 障害種別でみると、知的では「グループホーム」が 51.4%を占めており、他と比較して高く、「集合住宅（賃貸マンション・アパート）」が 6.6%で他と比較して低い。
- 同居家族・居住形態別では、単身は「集合住宅（賃貸マンション・アパート）」が 67.1%と高い。一方、「親と本人のみ」「親・本人・その他家族」と同居している人は「戸建て住宅（持ち家）」の比率が 8 割前後を占めている。

図表 5　住まいの種類



		n数	戸建て住宅（持ち家）	戸建て住宅（賃貸）	集合住宅（分譲マンション）	集合住宅（賃貸マンション・アパート）	社宅・職員寮・学生寮など	グループホーム	サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム	その他	無回答
全体		773	30.3	3.5	3.1	19.4	0.0	35.2	2.8	2.7	3.0
障害種別	身体	145	31.0	4.8	4.1	28.3	0.0	18.6	8.3	1.4	3.4
	知的	288	31.6	2.8	2.1	6.6	0.0	51.4	0.3	3.1	2.1
	精神	218	28.9	3.2	3.2	30.7	0.0	31.2	1.4	0.5	0.9
	重複	91	33.0	4.4	5.5	19.8	0.0	24.2	4.4	4.4	4.4
	難病その他	8	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	37.5
同居家族・居住形態別	単身	143	21.0	10.5	1.4	67.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親と本人のみ同居	123	76.4	3.3	7.3	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親・本人・その他家族の同居	95	82.1	1.1	8.4	8.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	戸建・集合住宅・その他	69	46.4	8.7	7.2	37.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	グループホーム	272	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	戸建・集合住宅以外（その他）	43	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.2	48.8	0.0

…全体より10%以上高い

…全体より10%以上低い

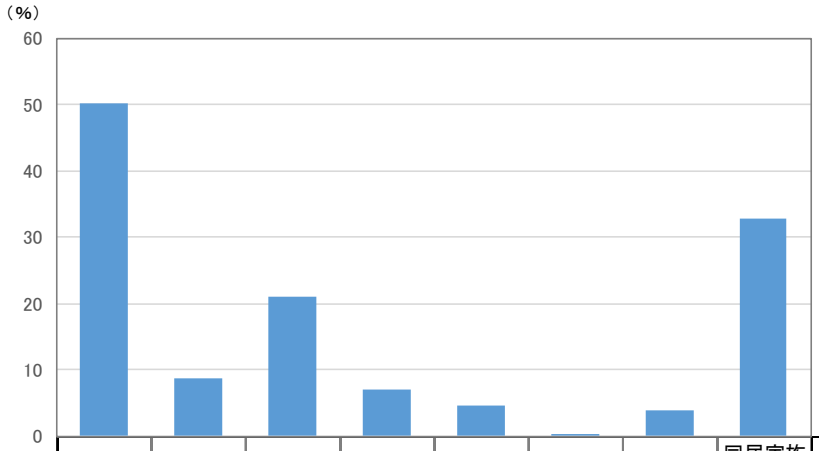
⑥ 同居家族

問 6 ①あなたは現在、誰と一緒に生活していますか（同居家族）。（MA）
※戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方が回答

●戸建て住宅や集合住宅に住んでいる人（全体の 56.3%）に対して、誰と一緒に生活しているか（同居家族）を尋ねたところ、「親」が 50.1%で最も高い。次いで「ひとり人暮らし」（32.9%）、「兄弟姉妹」（20.9%）が続いている。

●障害種別でみると、知的、重複では「親」の比率が高い。一方、精神では「ひとり人暮らし」が 52.1%で他と比較して高い。

図表 6 同居家族 （戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方）



		n数	親	配偶者（夫または妻）	兄弟姉妹	子ども	祖父母	孫	その他	同居家族はいない（ひとり暮らし）	無回答
全体		435	50.1	8.7	20.9	7.1	4.6	0.2	3.9	32.9	1.1
障害種別	身体	99	30.3	16.2	12.1	9.1	5.1	1.0	4.0	38.4	3.0
	知的	124	79.0	1.6	37.9	4.0	7.3	0.0	6.5	10.5	0.0
	精神	144	36.1	7.6	13.9	4.9	2.1	0.0	2.8	52.1	1.4
	重複	57	63.2	5.3	21.1	5.3	5.3	0.0	1.8	26.3	0.0
	難病その他	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

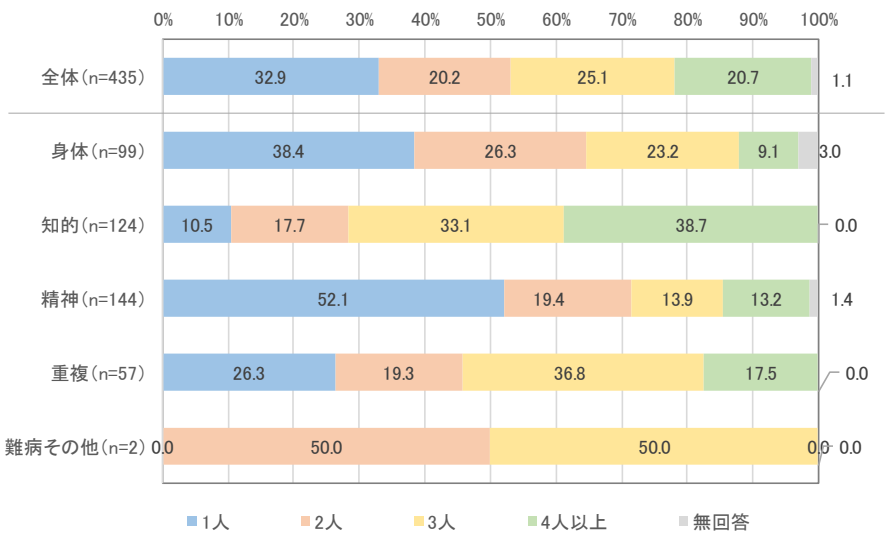
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

⑦ 同居家族人数（世帯人数）

問 6 ②あなたを含めた同居家族の人数（世帯人数）を教えてください。（数量）
※戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方が回答

●戸建て住宅や集合住宅に住んでいる人に対して、同居家族人数を尋ねたところ、「1 人」が 32.9%、「3 人」が 25.1%、「4 人以上」が 20.7%、「2 人」が 20.2%となった。平均人数は 2.5 人。
●障害種別でみると、知的は「4 人以上」が 38.7%、「3 人」が 33.1%など、同居家族人数が多い人の割合が高い。

図表 7 同居家族人数 （戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方）



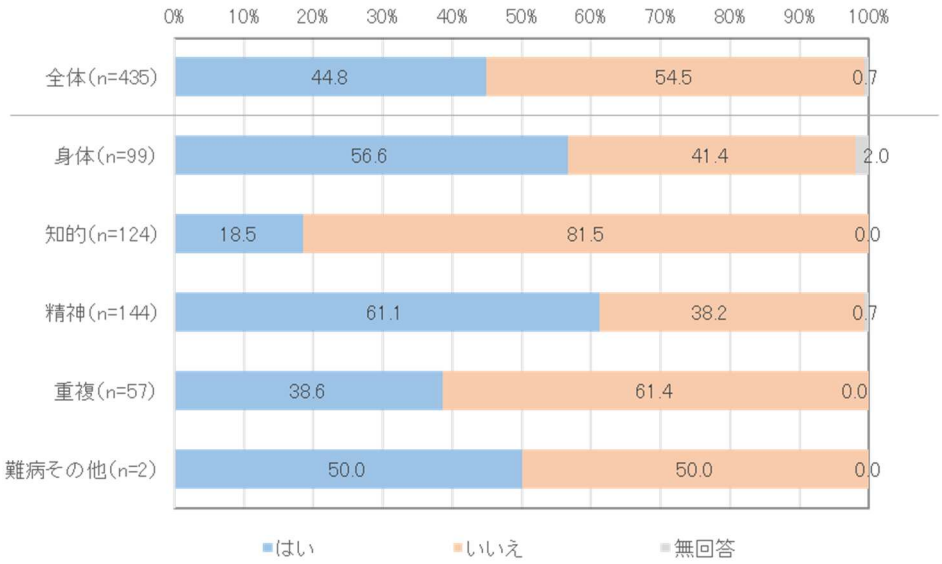
	平均値（人）	中央値（人）
全体（n=435）	2.5	2.0
身体（n=99）	2.2	2.0
知的（n=124）	3.2	3.0
精神（n=144）	1.9	1.0
重複（n=57）	2.6	3.0
難病その他（n=2）	2.5	2.5

⑧ 世帯主か否か

問 6 ③あなたは世帯主ですか。（SA）
※戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方が回答

●戸建て住宅や集合住宅に住んでいる人に対して世帯主か否かを尋ねたところ、「はい（世帯主）」が 44.8%、「いいえ」が 54.5%であった。
●障害種別でみると、知的は「いいえ」が 81.5%で、他と比較して世帯主ではない人の比率が高い。

図表 8 世帯主か否か （戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方）



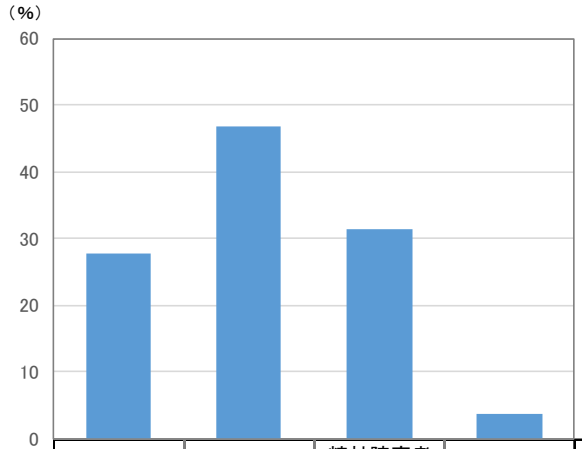
（２） 障害の状況

① 障害者手帳の保有状況

問 7.あなたは障害者手帳をお持ちですか。（MA）

- 障害者手帳の保有状況を尋ねたところ、「療育手帳を持っている」が 46.8%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が 31.4%、「身体障害者手帳を持っている」が 27.8%となっている。「いずれも持っていない」が 3.6%で、障害福祉サービス利用者（回答者）の大半が何らかの障害者手帳を保有している。
- 同居家族・居住形態別でみると、単身は「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が 59.4%で他と比較して高い。一方、親と本人のみ同居、親・本人・その他家族と同居、グループホーム居住者は「療育手帳を持っている」比率が 6 割強を占めている。

図表 9 障害者手帳の保有状況



		n数	身体障害者手帳を持っている	療育手帳を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	上記のいずれも持っていない	無回答
全体		773	27.8	46.8	31.4	3.6	2.6
同居家族・居住形態別	単身	143	35.7	12.6	59.4	2.8	1.4
	親と本人のみ同居	123	31.7	61.0	26.0	1.6	0.0
	親・本人・その他家族の同居	95	22.1	61.1	24.2	5.3	0.0
	戸建・集合住宅・その他	69	44.9	23.2	24.6	11.6	4.3
	グループホーム	272	15.4	61.8	26.8	1.5	2.6
	戸建・集合住宅以外（その他）	43	48.8	39.5	16.3	9.3	7.0

…全体より10%以上高い

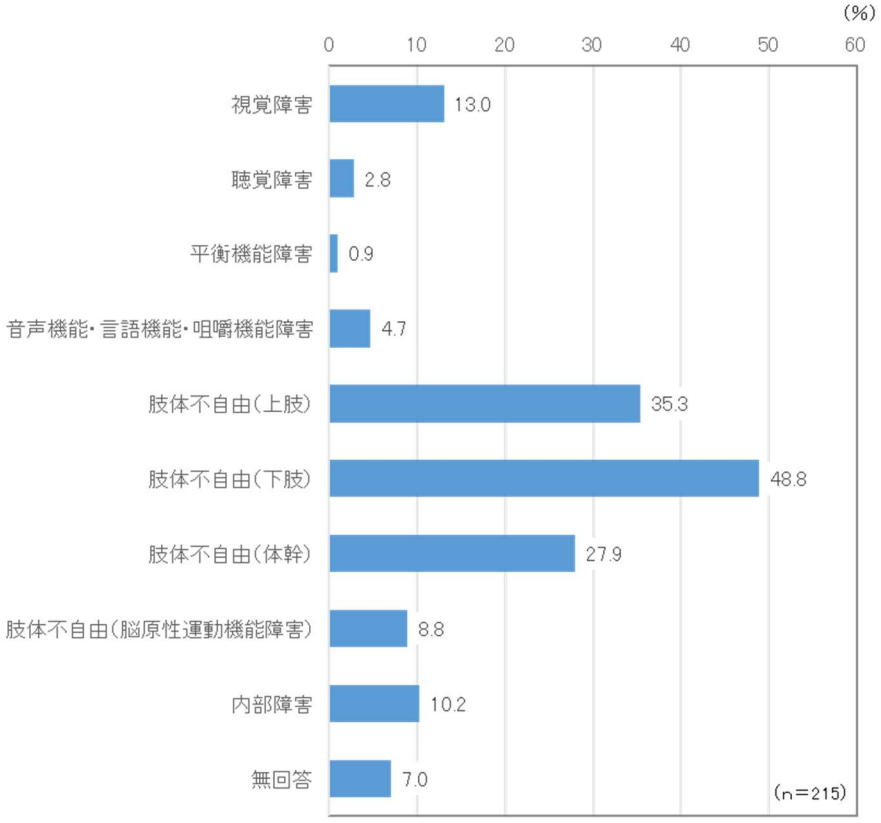
…全体より10%以上低い

② 身体障害者手帳に記載されている障害名

問 7-1.身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。（MA）
※「身体障害者手帳を持っている」と回答した方

●「身体障害者手帳を持っている人（全体の 27.8%）に対して、身体障害者手帳に記載されている障害名を尋ねたところ、「肢体不自由（下肢）」が 48.8%、「肢体不自由（上肢）」が 35.3%、「肢体不自由（体幹）」が 27.9%で続いており、いずれも「肢体不自由」が上位となっている。これに「視覚障害」（13.0%）と「内部障害」（10.2%）が 1 割強で続いている。

図表 10　身体障害者手帳に記載されている障害名
（身体障害者手帳を持っている方）



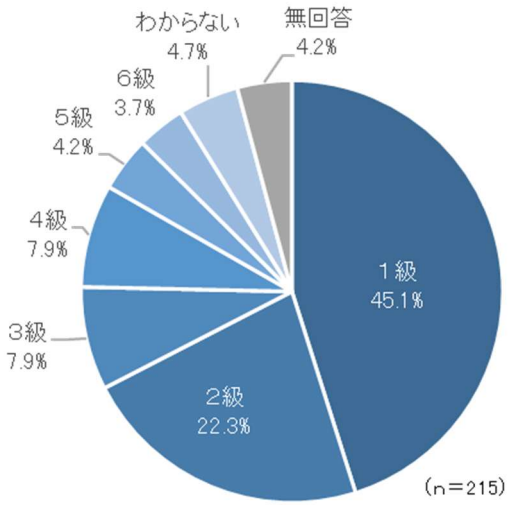
※内部障害（心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓機能の障害・免疫機能障害）

③ 身体障害者手帳に記載されている障害の程度

問 7-2.身体障害者手帳に記載された障害の程度（総合等級）は何級ですか。（SA）
※「身体障害者手帳を持っている」と回答した方

●身体障害者手帳を持っている人に対して、身体障害者手帳に記載されている障害の程度（総合等級）を尋ねたところ、「1 級」が 45.1%、「2 級」が 22.3%で、「1 級～2 級」（障害の程度が重い人）が 67.4%を占めている。

図表 11　身体障害者手帳に記載されている障害の程度
（身体障害者手帳を持っている方）



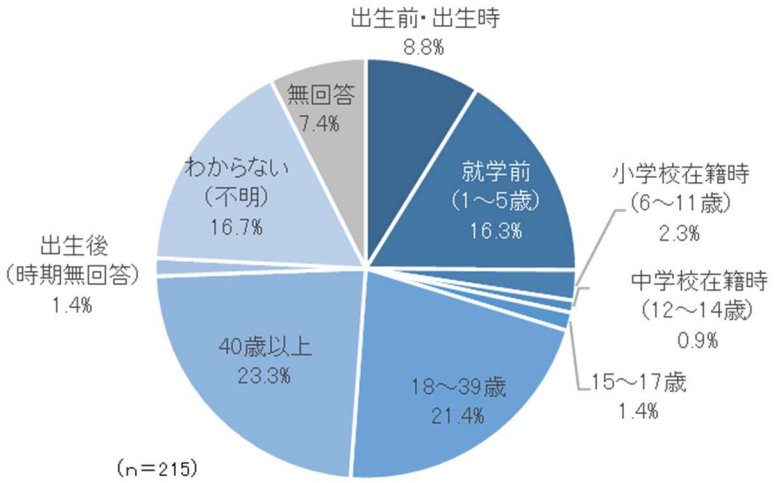
総合等級	n	%
1級	97	45.1
2級	48	22.3
3級	17	7.9
4級	17	7.9
5級	9	4.2
6級	8	3.7
わからない	10	4.7
無回答	9	4.2
全体	215	100.0

④ 最初の障害の診断・判定を受けた時期

問 7-3.あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのはいつ頃ですか。（SA）
※「身体障害者手帳を持っている」と回答した方

- 身体障害者手帳を持っている人に対して、最初に障害の診断・判定を受けた時期を尋ねたところ、「出生前・出生時」が 8.8%、「出生後」が 67.0%、「わからない」が 16.7%を占めている。
- 「出生後」について詳細をみると、「40 歳以上」（23.3%）、「18～39 歳」（21.4%）、「就学前（1～5 歳）」（16.3%）となっている。

図表 12　最初の障害の診断・判定を受けた時期
（身体障害者手帳を持っている方）



		n	%
出生前・出生時		19	8.8
出生後	就学前（1～5歳）	35	16.3
	小学校在籍時（6～11歳）	5	2.3
	中学校在籍時（12～14歳）	2	0.9
	15～17歳	3	1.4
	18～39歳	46	21.4
	40歳以上	50	23.3
	出生後（時期無回答）	3	1.4
出生後・計		144	67.0
わからない（不明）		36	16.7
無回答		16	7.4
全体		215	100.0

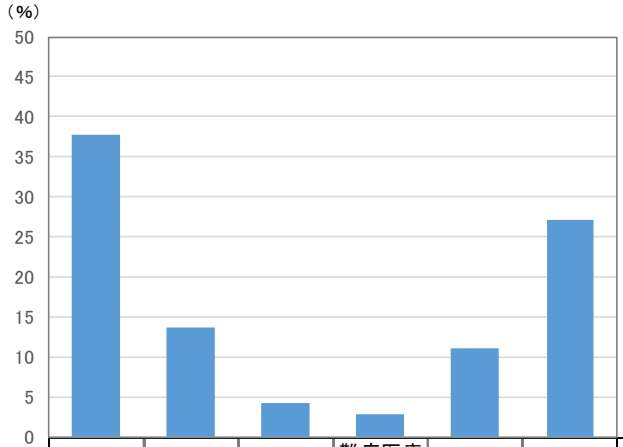
（３） 医療的ケアの状況

① 医療費助成等の利用状況

問 8.あなたは過去 1 年間に医療費助成等を利用しましたか。（MA）

- 過去 1 年間に医療費助成等を利用したかを尋ねたところ、「利用していない」が 27.2%で、「無回答」を除くと 6 割以上が利用している。医療費助成の種類は「自立支援医療（精神通院医療）」（37.8%）、「心身障害者医療費助成（マル障）」（13.7%）が上位となっている。
- 障害種別でみると、知的では「利用していない」が 38.9%を占めており、他と比較して高い。
- 同居家族・居住形態別では、単身は「自立支援医療（精神通院医療）」が 58.0%で他と比較して高く、「利用していない」が 16.8%で比較的低い。

図表 13 医療費助成等の利用状況



		n数	自立支援医療（精神通院医療）	心身障害者医療費助成（マル障）	自立支援医療（更生医療）	難病医療費助成（指定難病・小児慢性特定疾病）	その他の障害者医療費助成	利用していない	無回答
全体		773	37.8	13.7	4.3	2.8	11.1	27.2	9.3
障害種別	身体	145	10.3	22.1	6.2	6.2	15.9	29.7	13.8
	知的	288	18.4	16.3	3.8	0.7	15.6	38.9	9.0
	精神	218	86.2	2.3	1.8	0.5	1.8	9.2	3.7
	重複	91	37.4	24.2	4.4	7.7	14.3	20.9	12.1
	難病その他	8	25.0	0.0	62.5	37.5	12.5	0.0	0.0
同居家族・居住形態別	単身	143	58.0	8.4	5.6	3.5	8.4	16.8	7.7
	親と本人のみ同居	123	30.9	21.1	2.4	4.1	17.1	24.4	9.8
	親・本人・その他家族の同居	95	30.5	15.8	3.2	3.2	7.4	32.6	8.4
	戸建・集合住宅・その他	69	29.0	15.9	2.9	7.2	23.2	27.5	4.3
	グループホーム	272	39.7	11.8	4.0	0.4	9.6	29.8	8.8
	戸建・集合住宅以外（その他）	43	23.3	14.0	7.0	4.7	7.0	39.5	14.0

…全体より10%以上高い

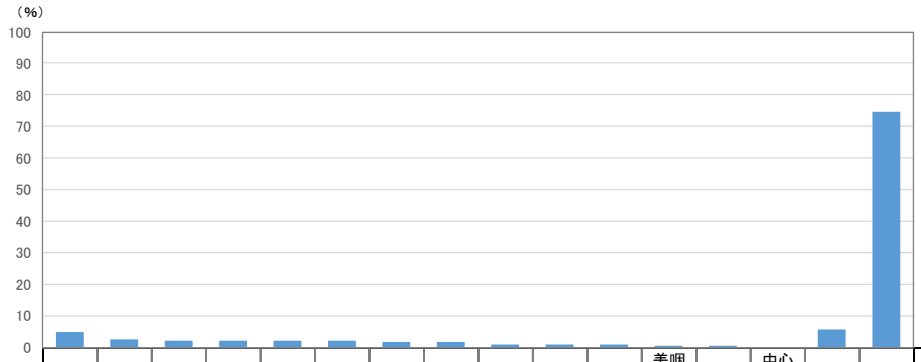
…全体より10%以上低い

② 日常的に必要としている医療的ケア

問 9.あなたは現在、日常的に必要としている医療的ケアがありますか。（MA）

- 日常的に必要している医療的ケアがあるかを尋ねたところ、「特に必要としていない」が 74.9%を占めており、何らかの医療的ケアを必要としている人の割合は 18.4%を占めている。医療的ケアの内容としては、「排便管理」「経管栄養」「血糖値測定」「痙攣時の対応」「人口呼吸器」などが上位となっている。
- 障害種別でみると、身体、重複の人は「何らかの医療的ケアを必要」としている人の割合が 3 割以上を占めており、知的、精神の人と比較して高い。

図表 14　日常生活で必要としている医療的ケア



		n数	排便管理	経管栄養	血糖測定	痙攣時の対応*1	人口呼吸器*2	吸引	皮下注射	導尿	気管切開の管理	ネブライザーの管理	酸素療法	美咽頭エアウェイの管理	透析	中心静脈カテーテルの管理	その他	特に必要としていない	無回答	何らか必要
	全体	773	5.0	2.3	2.2	2.2	2.1	1.9	1.8	1.7	1.0	1.0	0.8	0.5	0.5	0.0	5.6	74.9	6.7	18.4
障害種別	身体	145	14.5	7.6	2.8	0.7	4.1	6.2	2.1	6.9	4.8	3.4	2.8	0.7	2.1	0.0	6.9	59.3	8.3	32.4
	知的	288	1.4	0.0	0.7	1.7	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	84.7	4.2	11.1
	精神	218	0.9	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	0.9	0.0	0.0	0.9	0.5	1.4	0.5	0.0	3.2	80.7	7.3	11.9
	重複	91	13.2	7.7	5.5	12.1	3.3	5.5	3.3	3.3	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	53.8	8.8	37.4
	難病その他	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	62.5	0.0	37.5
同居家族・居住形態別	単身	143	2.8	0.0	5.6	1.4	2.1	0.0	2.1	1.4	0.0	0.7	2.1	0.7	1.4	0.0	7.7	72.0	4.9	23.1
	親と本人のみ同居	123	8.1	4.9	0.0	6.5	3.3	3.3	2.4	4.1	0.8	2.4	0.8	0.8	0.0	0.0	4.1	69.1	8.9	22.0
	親・本人・その他家族の同居	95	5.3	5.3	1.1	5.3	1.1	4.2	0.0	2.1	3.2	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	80.0	3.2	16.8
	戸建・集合住宅・その他	69	8.7	4.3	2.9	0.0	4.3	2.9	2.9	4.3	2.9	1.4	1.4	0.0	1.4	0.0	5.8	75.4	2.9	21.7
	グループホーム	272	2.6	0.0	1.5	0.4	1.5	0.4	1.8	0.0	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	6.3	80.9	7.4	11.8
	戸建・集合住宅以外（その他）	43	14.0	9.3	2.3	2.3	2.3	7.0	2.3	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	60.5	9.3	30.2

*1…CPAP 装置等（マスク型を含む）
*2…坐剤挿入、吸引、酸素供与、迷走神経刺激装置の作動等の処置

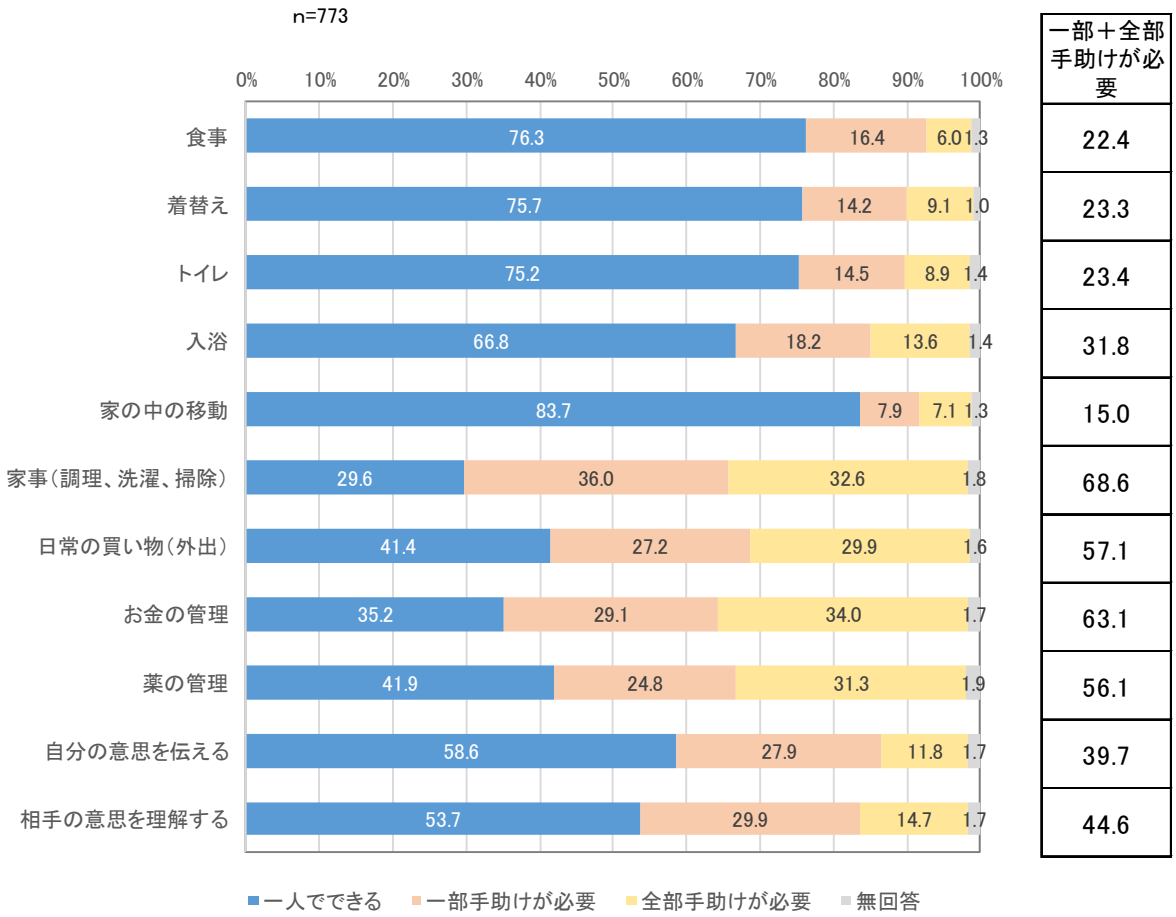
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

③ 日常生活の自立状況

問 10.あなたは日常生活において、自分一人でできますか。（SAMT）

●日常生活の各項目について、自分一人でできるか、介助が必要かを尋ねた。何らかの手助けが必要（「一部手助けが必要」+「全部手助けが必要」）の割合をみると、「家事（調理、洗濯、掃除）」が 68.6%で最も高い。以下、「お金の管理」（63.1%）、「日常の買い物（外出）」（57.1%）、「薬の管理」（56.1%）が 5 割以上を占めている。

図表 15　日常生活の自立状況（介助の必要度）



	一部＋全部手助けが必要
食事	22.4
着替え	23.3
トイレ	23.4
入浴	31.8
家の中の移動	15.0
家事（調理、洗濯、掃除）	68.6
日常の買い物（外出）	57.1
お金の管理	63.1
薬の管理	56.1
自分の意思を伝える	39.7
相手の意思を理解する	44.6

●日常生活の各項目における何らかの手助けが必要（「一部手助けが必要」＋「全部手助けが必要」）の割合について障害種別でみると、全般的に精神の割合が低い（手助けが必要とする人の比率が低い）。また、知的、重複の人は「お金の管理」「薬の管理」「相手の意思を理解する」などの割合が身体、精神と比べて高い。

●同居家族・居住形態別でみると、単身の人は全般的に介助を必要とする割合が低いが、「家事（調理、洗濯、掃除）」（57.3%）、「自分の意思を伝える」（51.2%）、「日常の買い物（外出）」（51.0%）が 5 割を超えている。

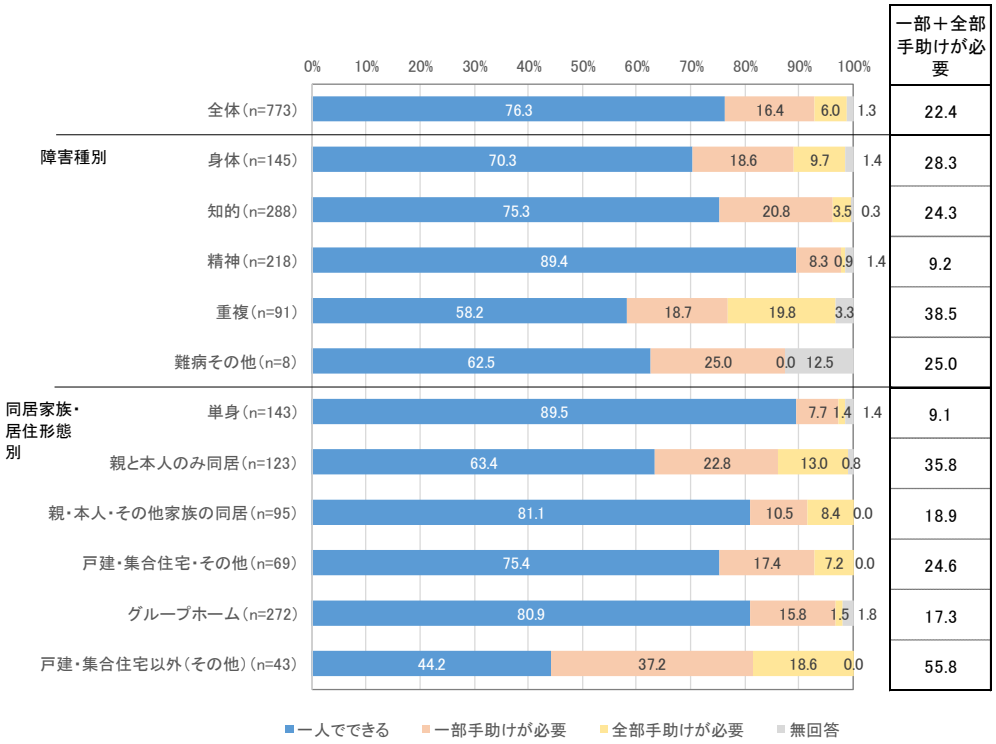
図表 16　日常生活における介助の必要度
（一部手助けが必要＋全部手助けが必要の割合についてクロス集計）

		n数	食事	着替え	トイレ	入浴	家の中の移動	家事（調理、洗濯、掃除）	日常の買い物（外出）	お金の管理	薬の管理	自分の意思を伝える	相手の意思を理解する
全体		773	22.4	23.3	23.4	31.8	15.0	68.6	57.1	63.1	56.1	20.7	44.6
障害種別	身体	145	28.3	40.7	38.6	48.3	33.8	76.6	66.2	46.9	44.1	60.4	19.3
	知的	288	24.3	26.0	27.1	36.1	8.7	78.8	65.6	84.0	75.7	21.6	71.5
	精神	218	9.2	2.8	2.3	7.8	2.8	49.1	35.3	43.6	33.0	50.5	23.4
	重複	91	38.5	37.4	38.5	51.6	34.1	78.0	72.5	75.8	70.3	37.5	57.1
	難病その他	8	25.0	12.5	12.5	25.0	0.0	37.5	50.0	62.5	62.5	14.0	12.5
同居家族・居住形態別	単身	143	9.1	9.8	9.8	16.1	8.4	57.3	51.0	34.3	28.7	51.2	15.4
	親と本人のみ同居	123	35.8	39.8	40.7	47.2	22.0	73.2	65.9	69.9	61.8	49.5	60.2
	親・本人・その他家族の同居	95	18.9	23.2	27.4	31.6	12.6	78.9	60.0	58.9	57.9	26.1	49.5
	戸建・集合住宅・その他	69	24.6	30.4	24.6	30.4	17.4	56.5	58.0	52.2	47.8	44.9	27.5
	グループホーム	272	17.3	13.2	13.6	24.6	8.1	70.6	50.7	76.8	65.8	55.8	54.8
	戸建・集合住宅以外（その他）	43	55.8	69.8	67.4	83.7	55.8	90.7	86.0	86.0	86.0	36.6	60.5

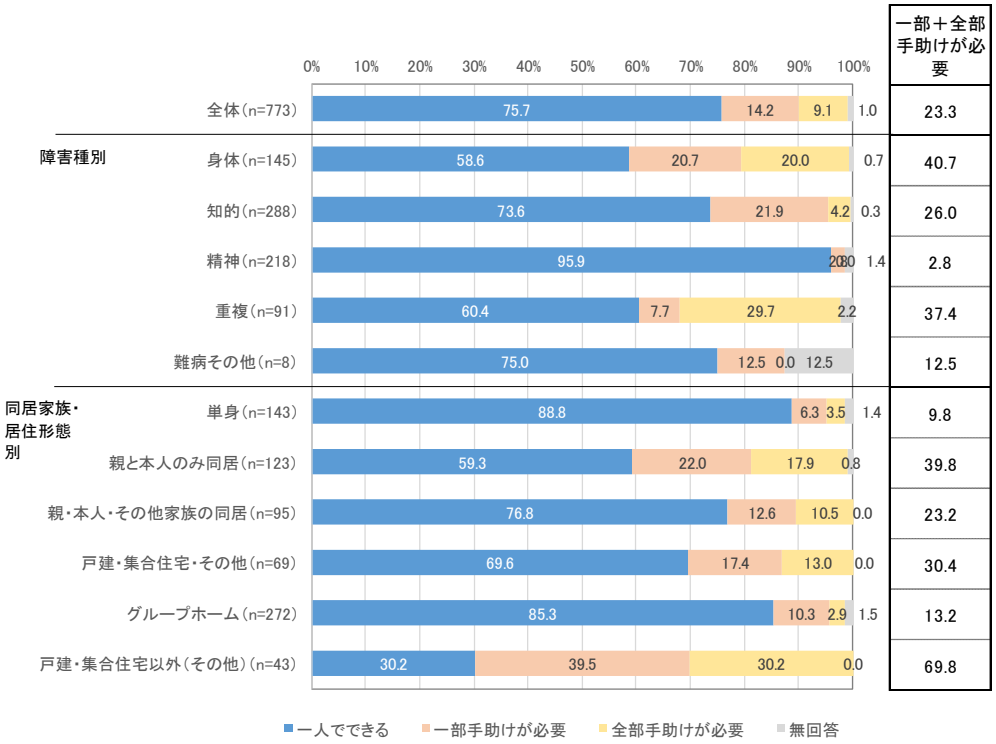
…全体より10%以上高い

…全体より10%以上低い

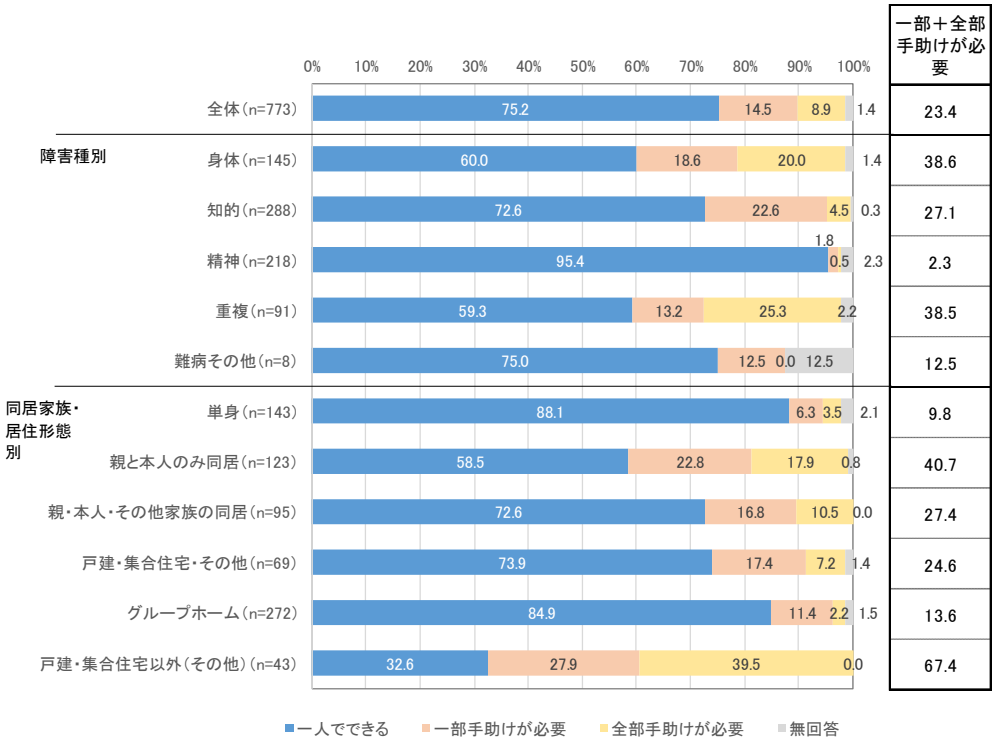
図表 17　日常生活における介助の必要度（食事）



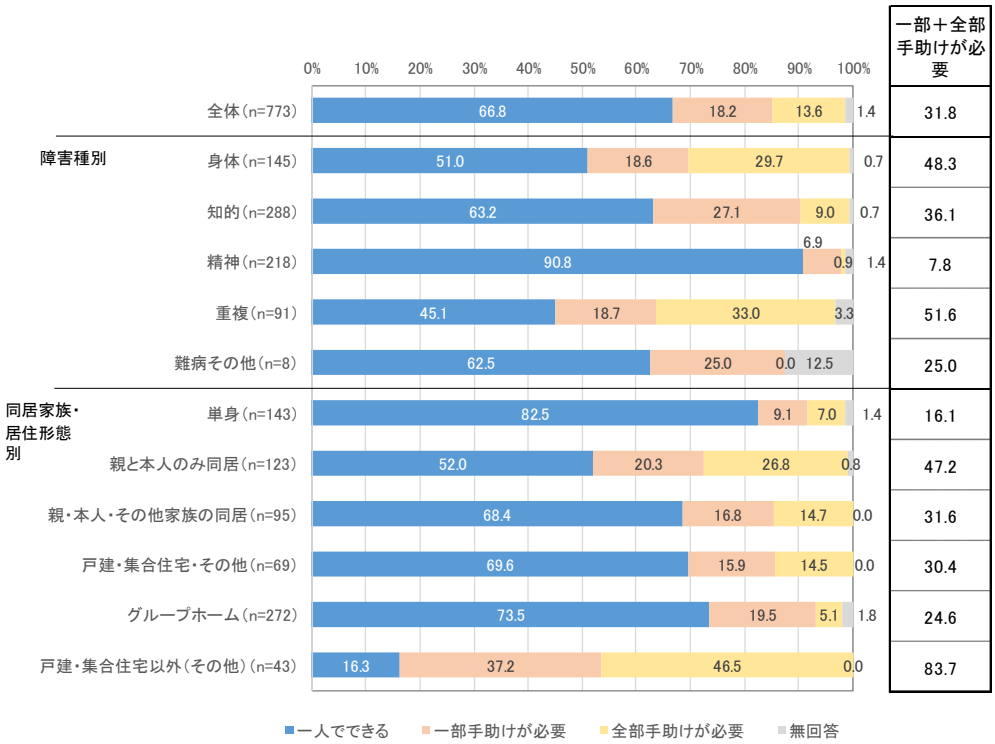
図表 18　日常生活における介助の必要度（着替え）



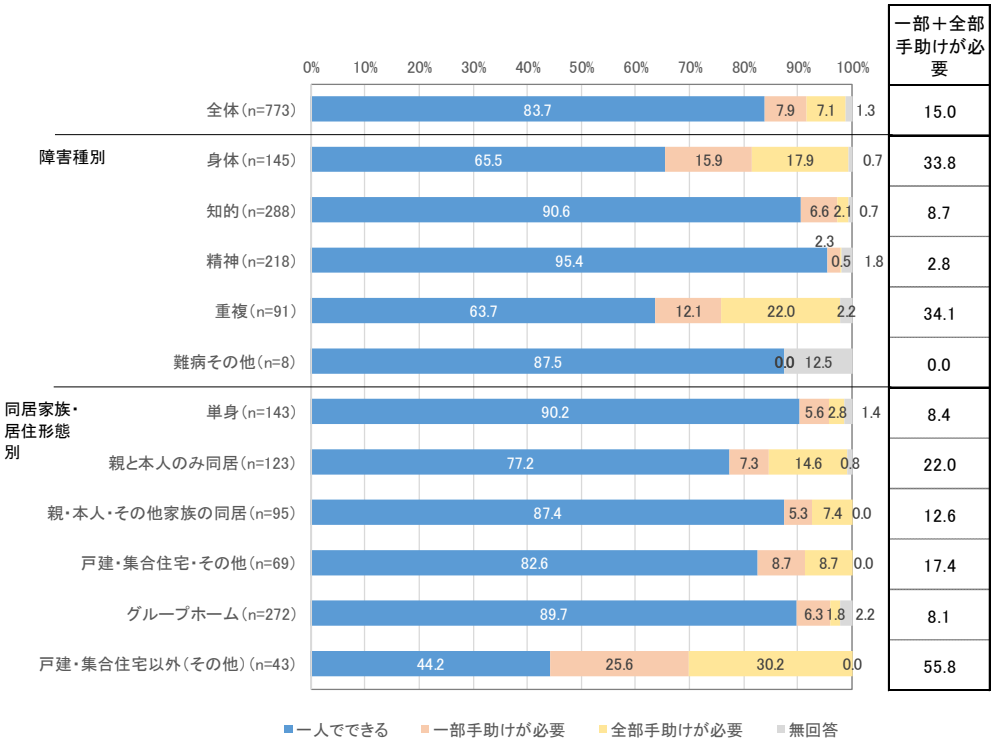
図表 19　日常生活における介助の必要度（トイレ）



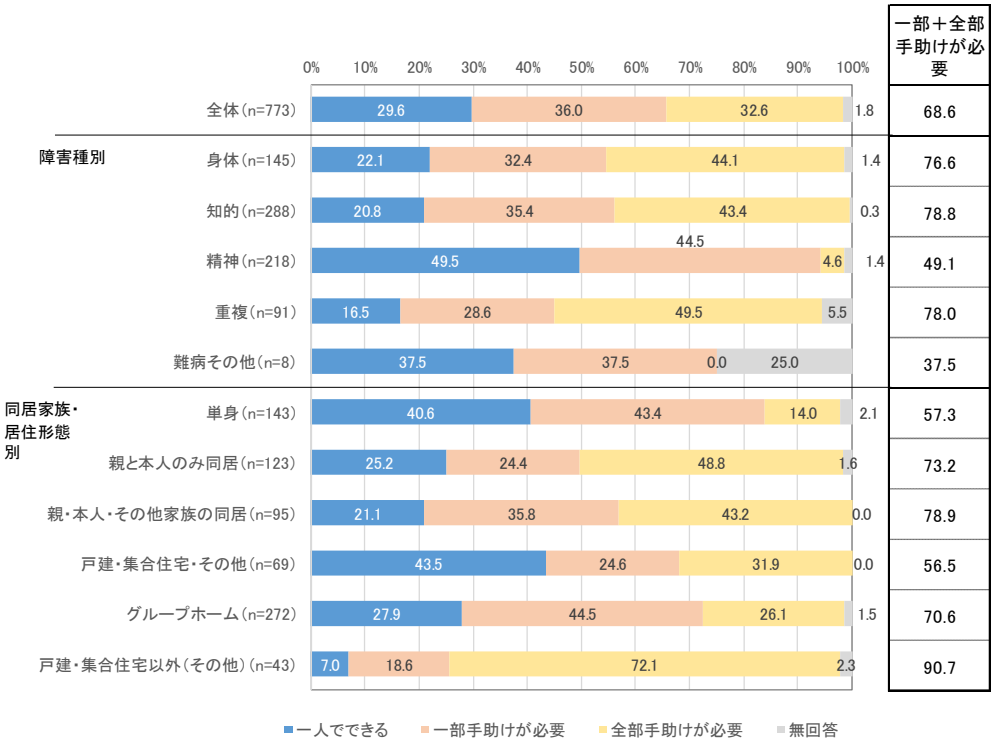
図表 20　日常生活における介助の必要度（入浴）



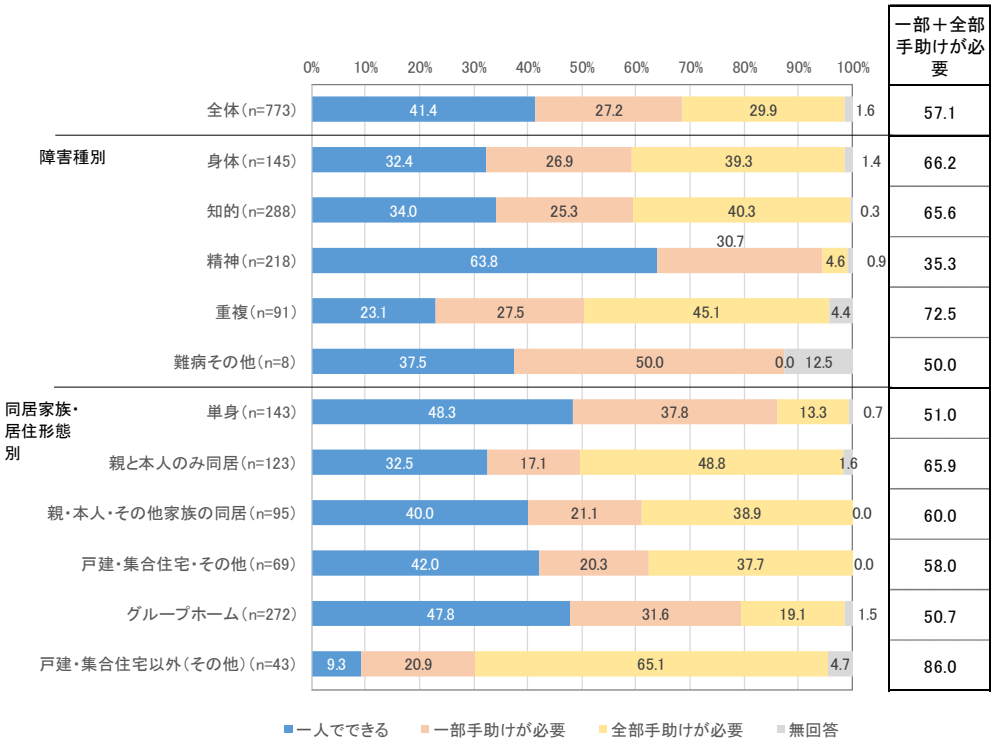
図表 21　日常生活における介助の必要度（家の中の移動）



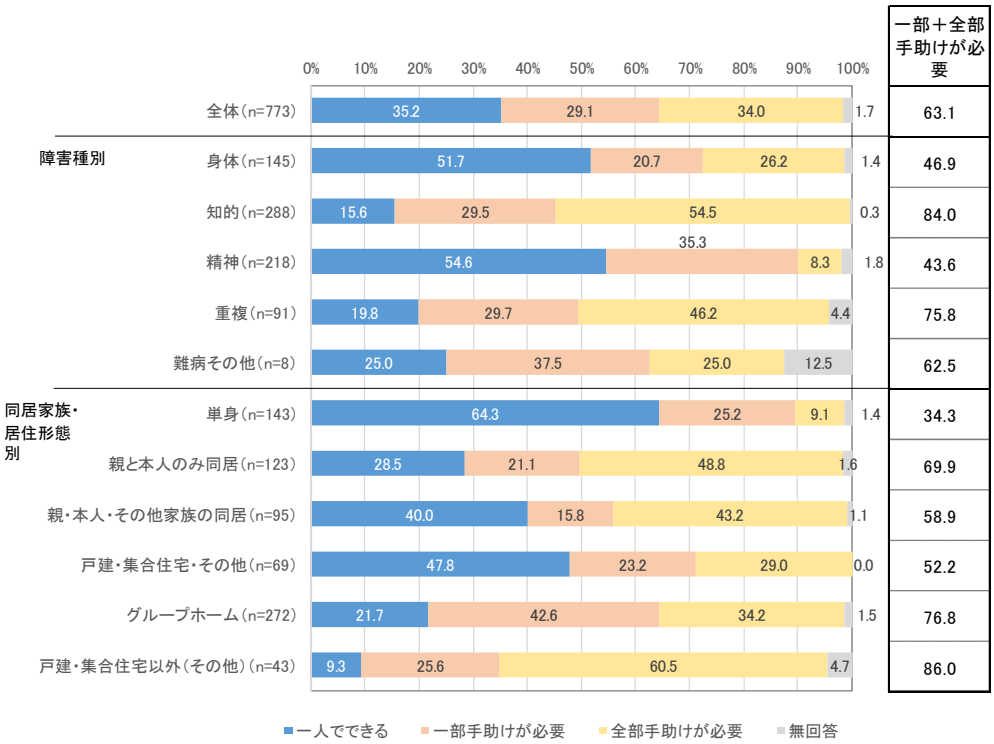
図表 22　日常生活における介助の必要度（家事（調理、洗濯、掃除））



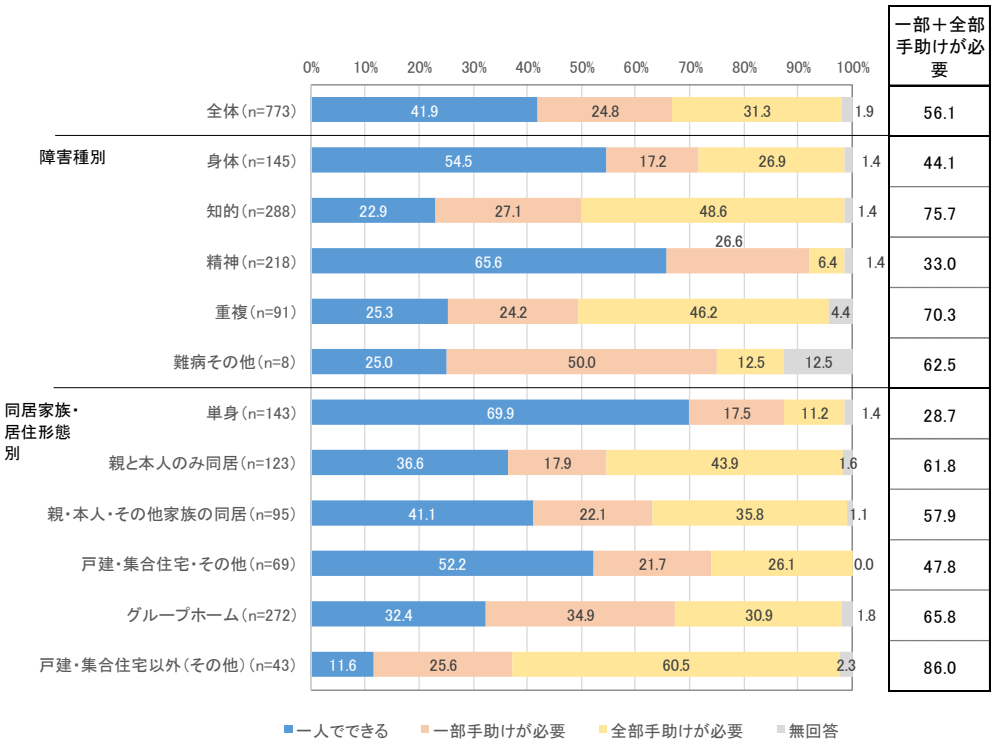
図表 23　日常生活における介助の必要度（日常の買い物（外出））



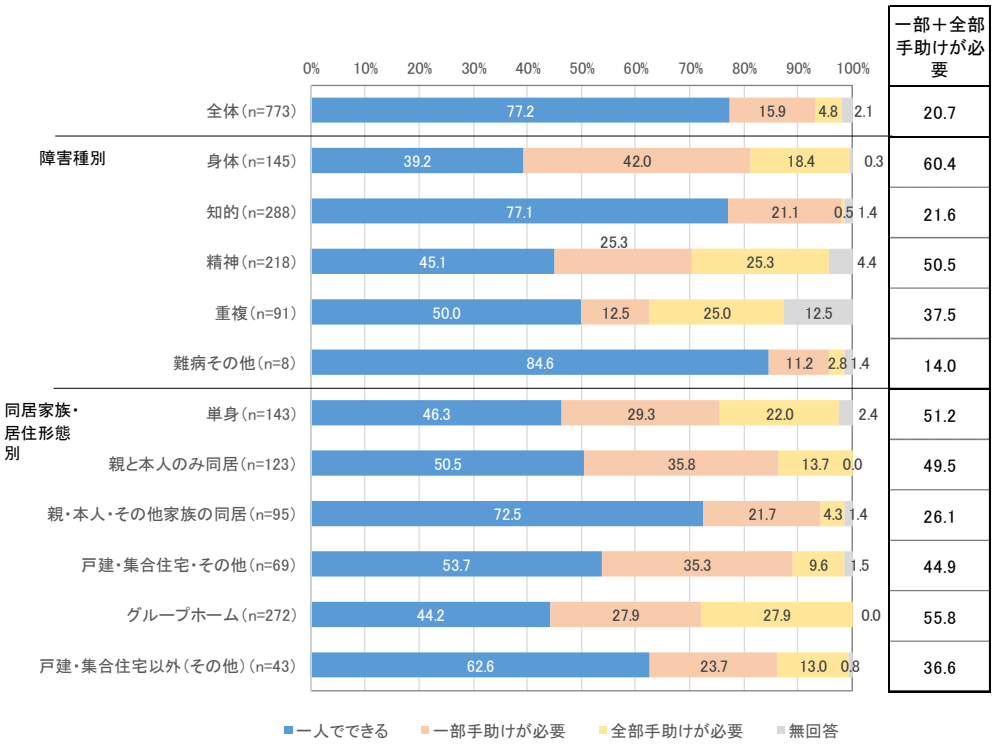
図表 24　日常生活における介助の必要度（お金の管理）



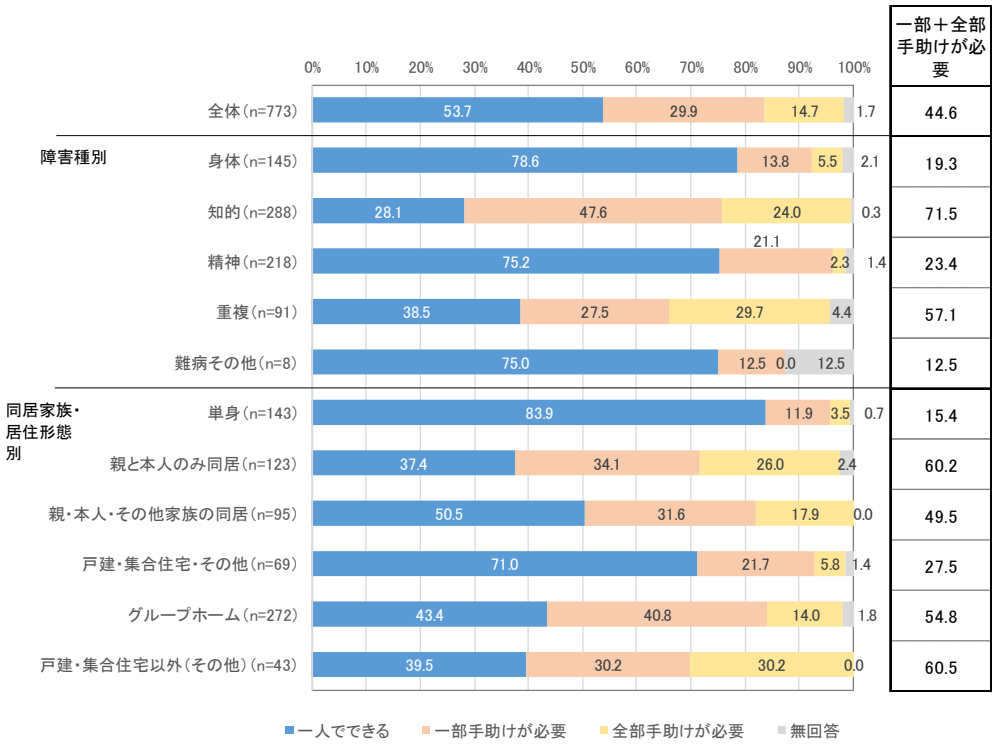
図表 25　日常生活における介助の必要度（薬の管理）



図表 26　日常生活における介助の必要度（自分の意思を伝える）



図表 27　日常生活における介助の必要度（相手の意思を理解する）



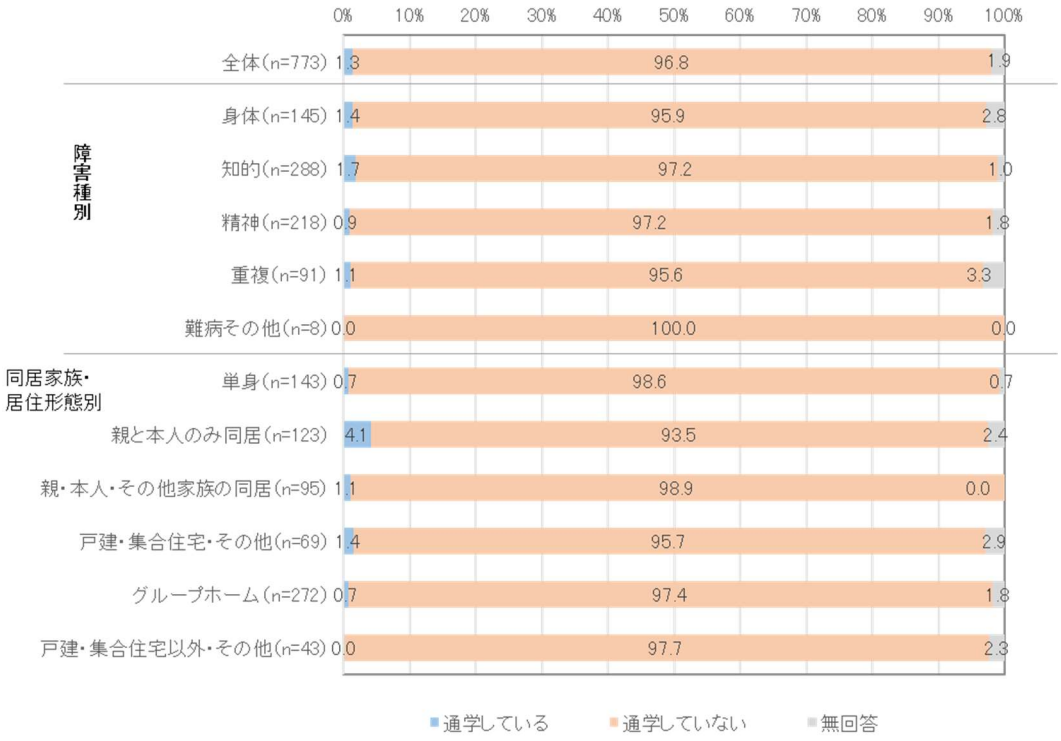
（４） 通学・就業の状況

① 通学状況

問 11.あなたは現在、学校（大学、専門学校等）に通っていますか。（SA）

●現在、学校に通っているかを尋ねたところ、「通学している」が 1.3%、「通学していない」が 96.8%を占めている。

図表 28 通学状況

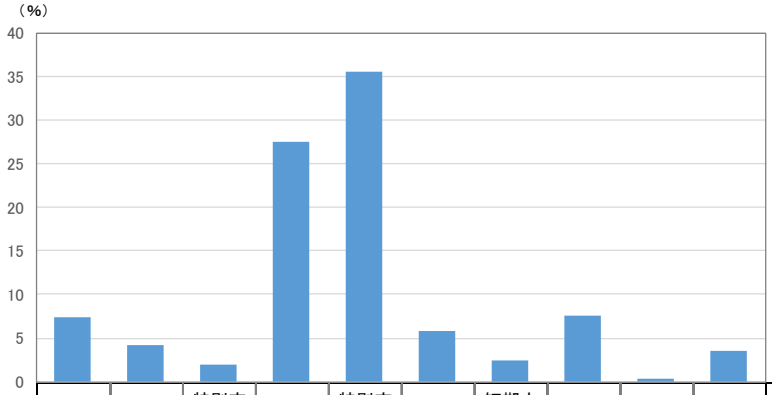


② 最終学歴

問 12.あなたが卒業した最終の学校の種類を教えてください。（SA）
※問 11 で「通学していない」と回答した方

●現在、学校に通っていない人に対して、最終学歴を尋ねたところ、「特別支援学校（高等部）」が 35.6%、「高等学校」が 27.4%でこの 2 つで 63.0%を占めている。「大学」「大学院」は合計 8.0%を占めている。
●障害種別でみると、身体と精神では、「大学」+「大学院」の比率が 1 割以上となっており、他と比較して高い。
●同居家族・居住形態別でみると、単身は「高等学校」の比率が高く、「特別支援学校（高等部）」の比率が低い。一方で、親と本人のみ同居、親・本人・その他家族の同居は「特別支援学校（高等部）」の比率が高い。

図表 29　最終学歴（通学していない人）



		n数	中学校（普通学級）	中学校（特別支援学級）	特別支援学校（中等部）	高等学校	特別支援学校（高等部）	専門学校・専修学校	短期大学・高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
	全体	748	7.4	4.1	2.0	27.4	35.6	5.7	2.4	7.6	0.4	3.6	3.7
障害種別	身体	139	7.9	2.2	1.4	36.0	17.3	5.8	2.9	12.9	2.2	7.2	4.3
	知的	280	4.6	8.6	2.9	6.8	67.1	2.9	0.4	0.7	0.0	3.6	2.5
	精神	212	10.4	0.5	0.5	53.8	1.9	8.0	5.2	13.7	0.0	2.8	3.3
	重複	87	6.9	3.4	4.6	14.9	49.4	6.9	2.3	5.7	0.0	1.1	4.6
	難病その他	8	12.5	0.0	0.0	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
同居家族・居住形態別	単身	141	9.2	2.1	0.7	45.4	6.4	7.8	7.1	13.5	0.0	2.8	5.0
	親と本人のみ同居	115	5.2	1.7	0.9	19.1	51.3	2.6	3.5	7.8	0.0	3.5	4.3
	親・本人・その他家族の同居	94	4.3	1.1	1.1	18.1	56.4	6.4	1.1	6.4	0.0	3.2	2.1
	戸建・集合住宅・その他	66	6.1	1.5	0.0	42.4	13.6	10.6	1.5	18.2	1.5	4.5	0.0
	グループホーム	265	7.9	7.5	3.4	23.0	43.4	4.9	0.8	2.3	0.0	3.8	3.0
	戸建・集合住宅以外（その他）	42	7.1	9.5	2.4	26.2	31.0	4.8	0.0	7.1	0.0	7.1	4.8
年代	20代以下	128	7.0	3.9	1.6	28.1	39.1	6.3	2.3	4.7	0.8	3.9	2.3
	30代	126	4.0	6.3	2.4	27.8	38.9	4.0	0.8	7.1	0.8	4.8	3.2
	40代	127	9.4	2.4	0.8	28.3	40.2	7.9	1.6	5.5	0.0	1.6	2.4
	50代	205	5.4	4.4	1.5	24.9	35.6	5.9	3.9	10.2	0.0	1.0	7.3
	60代以上	150	12.0	4.0	3.3	29.3	26.0	4.7	2.0	8.7	0.7	8.0	1.3

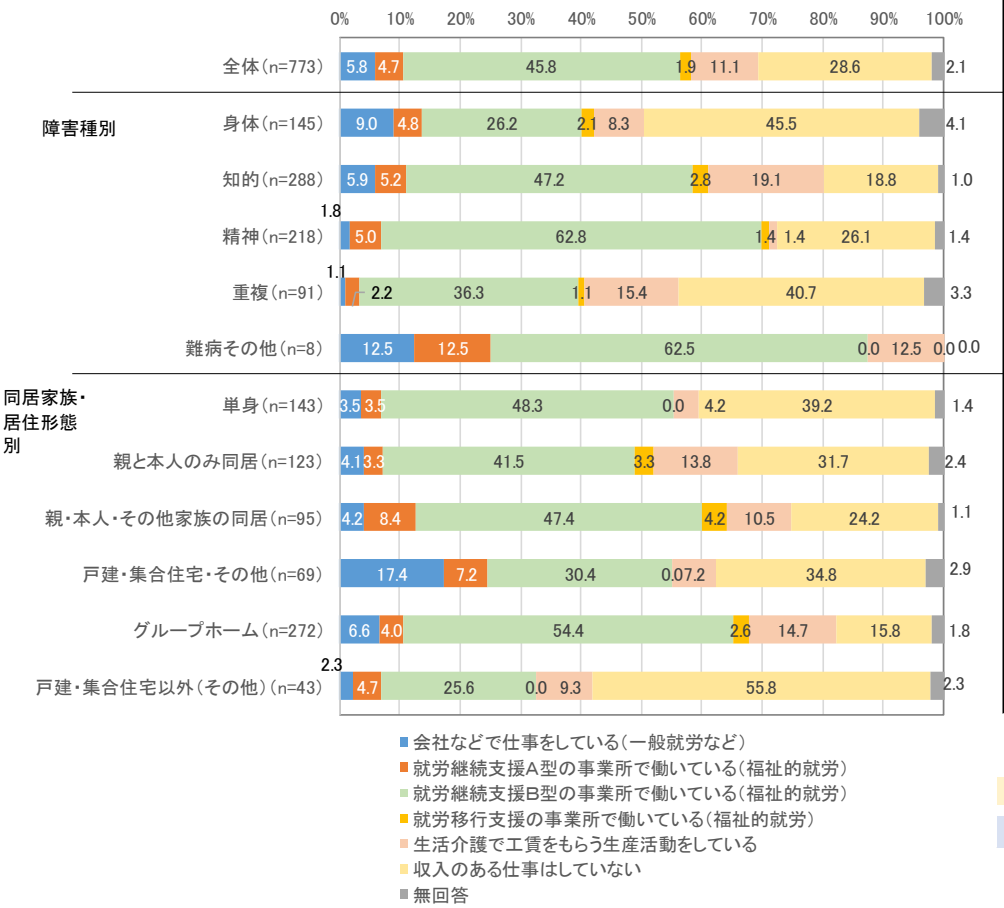
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

③ 就業状況

問 13.あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。（SA）

- 現在、収入を伴う仕事をしているかを尋ねたところ、「就労継続支援 B 型の事業所で働いている」が 45.8%で最も高い。「就労継続支援 A 型の事業所で働いている」（4.7%）、「就労移行支援の事業所で働いている」（1.9%）を含めた福祉的就労の合計は 52.4%を占めている。「会社などで仕事をしている」は 5.8%。「収入のある仕事はしていない」は 28.6%で、全体の 7 割弱は収入のある仕事をしている。
- 障害種別でみると、身体、重複は「収入のある仕事はしていない」割合が 4 割以上を占めており、知的、精神の人と比べて高い。また、精神の人は「就労継続支援 B 型の事業所で働いている」が 62.8%を占めており高い。
- 同居家族・居住形態別でみると、グループホーム居住者は「就労継続支援 B 型の事業所で働いている」が 54.4%で他と比較して高く、「収入のある仕事をしていない」が 15.8%で他と比較して低い。

図表 30　就業状況



	収入のある仕事を実施・計	福祉的就労・計
全体（n=773）	69.3	52.4
身体（n=145）	50.3	33.1
知的（n=288）	80.2	55.2
精神（n=218）	72.5	69.3
重複（n=91）	56.0	39.6
難病その他（n=8）	100.0	75.0
単身（n=143）	59.4	51.7
親と本人のみ同居（n=123）	65.9	48.0
親・本人・その他家族の同居（n=95）	74.7	60.0
戸建・集合住宅・その他（n=69）	62.3	37.7
グループホーム（n=272）	82.4	61.0
戸建・集合住宅以外（その他）（n=43）	41.9	30.2

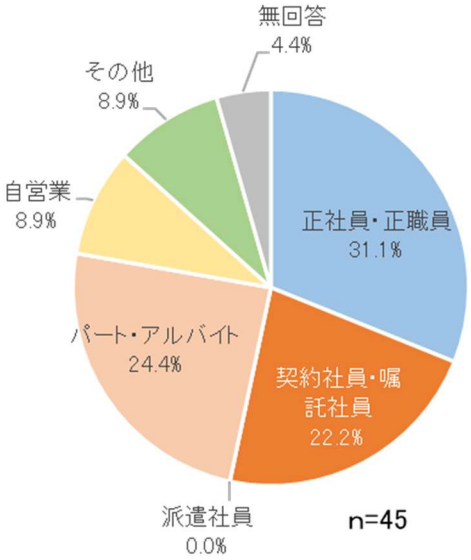
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

④ 雇用形態

問 14-1.あなたの雇用形態は何ですか。（SA）
※会社などで仕事をしている（一般就労など）の方

●「会社などで仕事をしている」（全体の 5.8%）に対して、雇用形態を尋ねたところ、「正社員・正職員」（31.1%）、「パート・アルバイト」（24.4%）、「契約社員・嘱託社員」（22.2%）が上位で、これらで 77.8%を占めている。

図表 31 雇用形態 （会社などで仕事をしている人）



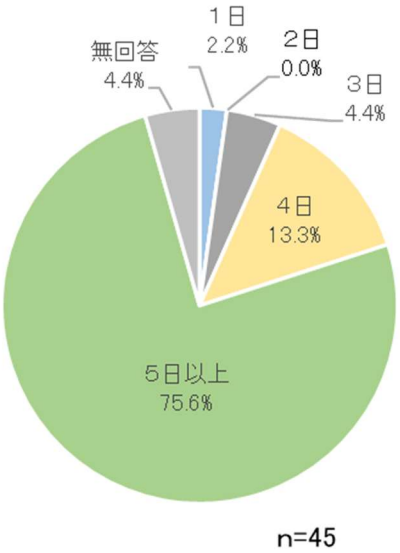
	n	%
正社員・正職員	14	31.1
契約社員・嘱託社員	10	22.2
派遣社員	0	0.0
パート・アルバイト	11	24.4
自営業	4	8.9
その他	4	8.9
無回答	2	4.4
全体	45	100.0

⑤ 1 週間の就業日数

問 14-2.1 週間の就業日数のくらいですか。　（SA）
※会社などで仕事をしている（一般就労など）の方

●「会社などで仕事をしている」（全体の 5.8%）に対して、1 週間の就業日数を尋ねたところ、「5 日以上」が 75.6%を占めている。

図表 32　1 週間の就業日数 （会社などで仕事をしている人）



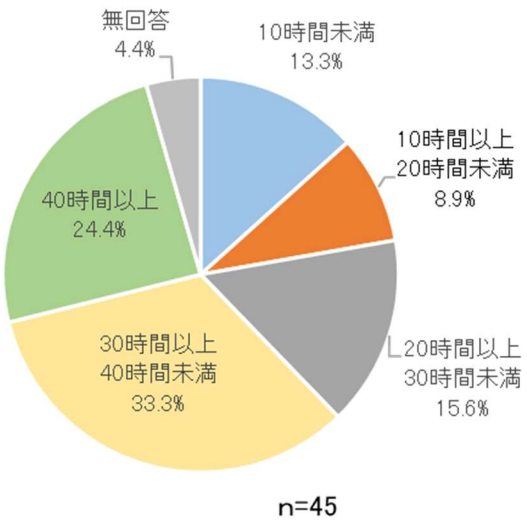
	n	%
1日	1	2.2
2日	0	0.0
3日	2	4.4
4日	6	13.3
5日以上	34	75.6
無回答	2	4.4
全体	45	100.0

⑥ 1 週間の労働時間

問 14-3.1 週間の労働時間は、合計どのくらいですか。※休憩時間は除く　（SA）
※会社などで仕事をしている（一般就労など）の方

●「会社などで仕事をしている」（全体の 5.8%）に対して、1 週間の労働時間を尋ねたところ、「30 時間以上 40 時間未満」が 33.3%、「40 時間以上」が 24.4%、「20 時間以上 30 時間未満」が 15.6%、「10 時間未満」が 13.3%で続いている。

図表 33　1 週間の労働時間 （会社などで仕事をしている人）



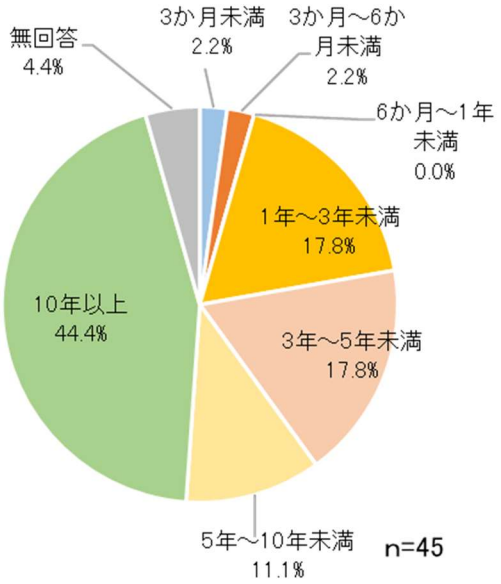
	n	%
10時間未満	6	13.3
10時間以上20時間未満	4	8.9
20時間以上30時間未満	7	15.6
30時間以上40時間未満	15	33.3
40時間以上	11	24.4
無回答	2	4.4
全体	45	100.0

⑦ 現在の仕事に就いてからの期間

問 14-4.現在の仕事についてからの期間はどのくらいですか。（SA）
※会社などで仕事をしている（一般就労など）の方

●「会社などで仕事をしている」（全体の 5.8%）に対して、仕事についてからの期間を尋ねたところ、「10 年以上」が 44.4%を占めており最も高い。次いで「1 年～3 年未満」「3 年～5 年未満」がともに 17.8%を占めている。

図表 34 現在の仕事についてからの期間 （会社などで仕事をしている人）



	n	%
3か月未満	1	2.2
3か月～6か月未満	1	2.2
6か月～1年未満	0	0.0
1年～3年未満	8	17.8
3年～5年未満	8	17.8
5年～10年未満	5	11.1
10年以上	20	44.4
無回答	2	4.4
全体	45	100.0

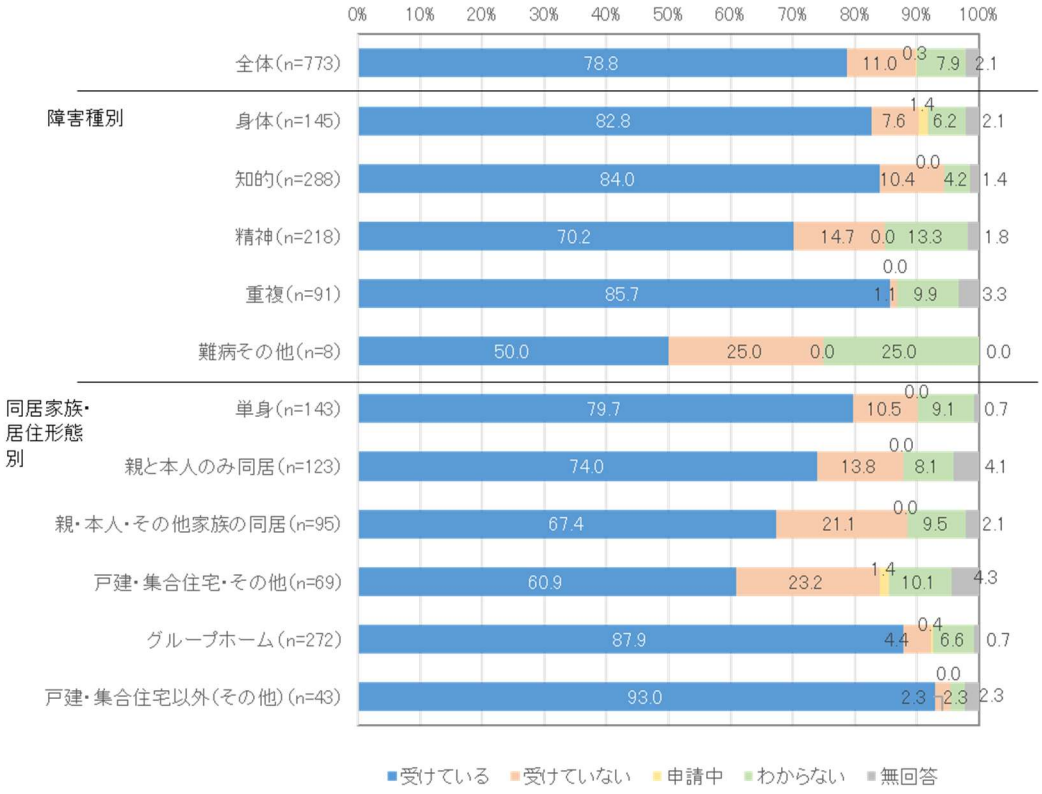
（５） サービスの利用状況

① 障害者支援区分の認定

問 15.あなたは、障害者支援区分の認定を受けていますか。（SA）
受けている方→現在の障害支援区分（SA）

- 障害者支援区分の認定を受けているかを尋ねたところ、「受けている」が 78.8%、「受けていない」が 11.0%、「わからない」が 7.9%となった。
- 障害種別でみると、精神では「受けている」が 70.2%で他と比較して比率が低く、「受けていない」（14.7%）、「わからない」（13.3%）の比率がそれぞれやや高い。
- 同居家族・居住形態別でみると、グループホームは「受けている」が 87.9%で他と比較して高い。一方で、戸建て住宅や集合住宅に住んでいる人の内、単身（一人暮らし）や親と本人のみ同居している人以外では「受けていない」人の比率が 2 割強を占めており、比較的高い。

図表 35 障害者支援区分の認定を受けているか

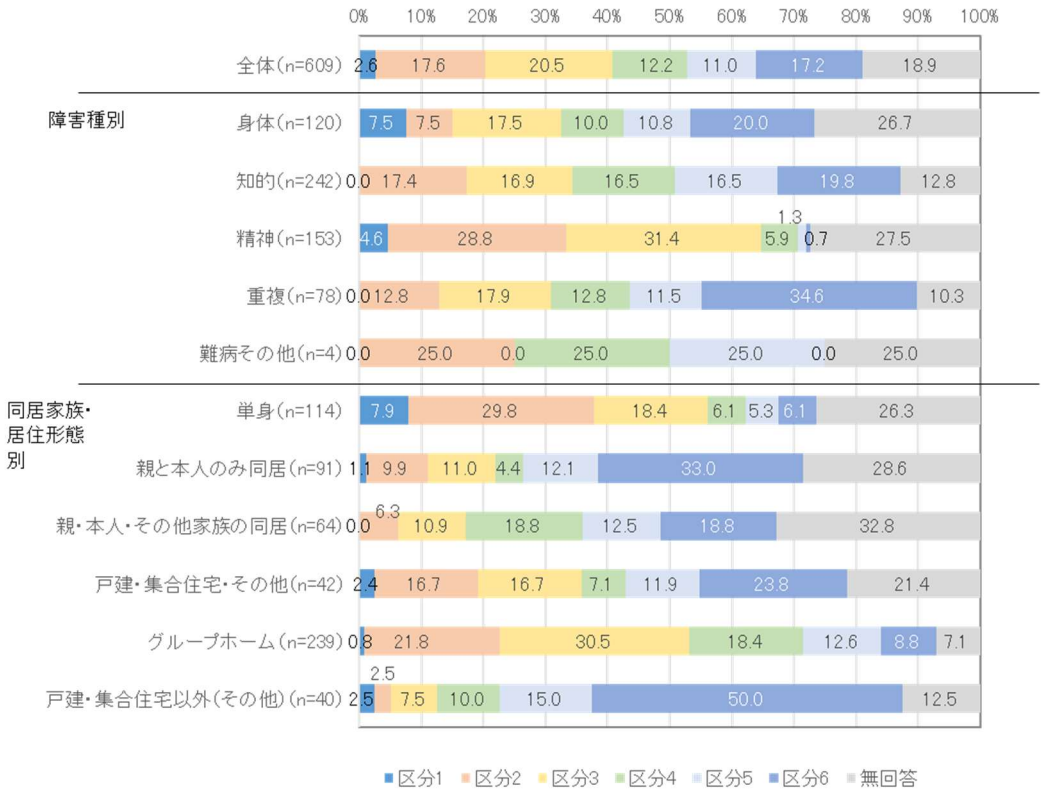


●障害者支援区分の認定を「受けている」人に対して、現在の障害者支援区分を尋ねたところ、「区分 3」（日常生活の支援に少し手間がかかる）が 20.5%、「区分 2」（日常生活に多少の支援が必要）が 17.6%、「区分 6」（常時介護が必要）が 17.2%、「区分 4」（日常生活の一部に介助が必要）が 12.2%、「区分 5」（生活の一部にかなりの介護が必要）が 11.0%と続いており、「区分 1」（2.6%）を除く支援区分で分散している。

●障害種別でみると、精神は「区分 2」「区分 3」の比率が他と比較して高い（他と比較して支援の必要度が低い人の割合が高い）。

●同居家族・居住形態別でみると、単身は「区分 2」が 29.8%で他と比較して高い。親と本人のみ同居している人は「区分 6」が 33.0%で他と比較して高い。また、グループホームでは「区分 3」が 30.5%で他と比較して高い。

図表 36　現在の障害者支援区分 （障害者支援の認定を受けている人）

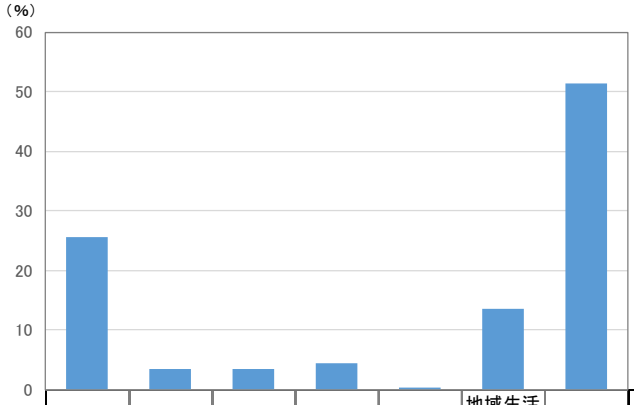


② 利用した訪問サービス等

問 16①.あなたは、令和 7 年 9 月の 1 か月間に、障害福祉サービスの「訪問サービス等」をどの程度利用しましたか。
利用したサービスをすべて選び、1 か月間の利用時間を記入してください。（MA・数量）

●令和 7 年 9 月の 1 か月間における障害福祉サービスの「訪問サービス等」の利用状況を尋ねたところ、「訪問サービスは利用していない」が 51.2%で、「無回答」を除くと全体の 39.6%が何らかの「訪問サービス等」を利用している。利用したサービスは「居宅介護」（25.6%）、「地域生活支援事業のサービス」（13.5%）が高い。
「居宅介護」利用者の 1 か月間の平均利用時間は 22.5 時間（中央値 15.0 時間）、「地域生活支援事業のサービス」は平均 14.5 時間（中央値 10.0 時間）。
●障害種別でみると、身体は訪問サービス利用率が高く、特に「居宅介護」が 48.3%を占めている。
●同居家族・居住形態別でみると、単身の「居宅介護」が 53.1%で他と比較して高い。

図表 37　利用した訪問サービス等



		n数	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	地域生活支援事業のサービス（移動支援など）	訪問サービスは利用していない	無回答
	全体	773	25.6	3.4	3.4	4.4	0.1	13.5	51.2	9.2
障害種別	身体	145	48.3	11.0	12.4	2.1	0.0	8.3	32.4	6.9
	知的	288	13.2	1.7	0.7	8.7	0.3	15.3	60.8	7.6
	精神	218	25.2	0.0	1.4	0.9	0.0	11.9	56.4	10.1
	重複	91	35.2	5.5	3.3	4.4	0.0	20.9	36.3	9.9
	難病その他	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	37.5
同居家族・居住形態別	単身	143	53.1	2.8	8.4	1.4	0.0	14.0	30.8	6.3
	親と本人のみ同居	123	23.6	4.9	1.6	6.5	0.8	15.4	56.9	7.3
	親・本人・その他家族の同居	95	12.6	3.2	0.0	5.3	0.0	10.5	64.2	13.7
	戸建・集合住宅・その他	69	34.8	10.1	13.0	0.0	0.0	13.0	40.6	4.3
	グループホーム	272	12.5	0.0	0.7	6.6	0.0	14.7	60.7	9.9
	戸建・集合住宅以外（その他）	43	37.2	7.0	0.0	0.0	0.0	7.0	39.5	11.6

…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

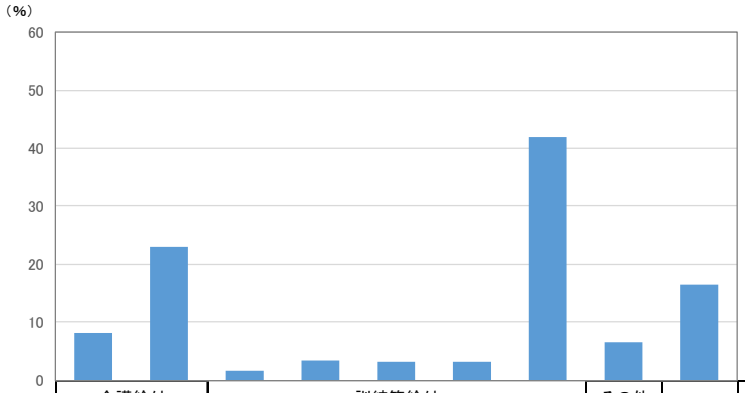
		居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	地域生活支援事業のサービス（移動支援など）
利用時間	n数	187	25	24	32	1	93
	平均値 （時間／月）	22.5	249.9	16.8	31.8	60.0	14.5
	中央値 （時間／月）	15.0	130.0	9.0	27.8	60.0	10.0

③ 利用した通所サービス等

問 16②.あなたは、令和 7 年 9 月の 1 か月間に、障害福祉サービスの「通所サービス等」をどの程度利用しましたか。
利用したサービスをすべて選び、1 か月間の利用日数を記入してください。（数量）

- 令和 7 年 9 月の 1 か月間における障害福祉サービスの「通所サービス等」の利用状況を尋ねたところ、「通所サービスは利用していない」が 16.4%で、「無回答」を除くと全体の 74.7%が何らかの「通所サービス等」を利用している。利用したサービスは「就労継続支援（B 型）」が 41.9%で最も高く、これに「生活介護」が 22.9%で続いている。「就労継続支援（B 型）」利用者の 1 か月間の平均利用日数は 18.5 日（中央値 20.0 日）、「生活介護」は平均 18.8 日（中央値 20.0 日）。
- 障害種別でみると、身体は「通所サービス等」を利用していない人の比率が高い。また、精神は「就労継続支援（B 型）」が、知的、重複は「生活介護」の比率がそれぞれ他と比較すると高い。
- 同居家族・居住形態別でみると、親と本人のみ同居している人は、「短期入所」や「生活介護」など、介護給付事業を利用している人の割合が他と比較して高い。

図表 38　利用した通所サービス等



		n数	介護給付 短期入所（ショートステイ）	介護給付 生活介護	訓練等給付 自立訓練（機能訓練）	訓練等給付 自立訓練（生活訓練）	訓練等給付 就労移行支援	訓練等給付 就労継続支援（A型）	訓練等給付 就労継続支援（B型）	その他 地域生活支援事業（日中一時支援、地域活動支援センターなど）	通所サービスは利用していない	無回答
全体		773	8.0	22.9	1.7	3.5	3.1	3.2	41.9	6.5	16.4	8.9
障害種別	身体	145	6.9	18.6	4.1	4.1	2.8	2.8	24.1	5.5	31.7	15.2
	知的	288	11.5	33.0	0.0	0.3	1.4	3.8	42.7	7.6	10.4	6.9
	精神	218	1.8	6.4	1.4	6.4	7.3	4.1	58.3	5.5	12.4	7.8
	重複	91	15.4	39.6	4.4	6.6	0.0	0.0	30.8	7.7	16.5	5.5
	難病その他	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0	12.5
同居家族・居住形態別	単身	143	3.5	10.5	1.4	7.7	1.4	1.4	44.8	4.2	28.0	9.1
	親と本人のみ同居	123	23.6	33.3	4.1	0.8	6.5	4.1	35.0	13.8	8.9	7.3
	親・本人・その他家族の同居	95	15.8	22.1	1.1	1.1	8.4	5.3	40.0	8.4	11.6	4.2
	戸建・集合住宅・その他	69	7.2	17.4	1.4	1.4	1.4	7.2	26.1	4.3	30.4	17.4
	グループホーム	272	0.7	23.9	1.1	3.3	1.5	2.6	52.9	4.8	11.0	6.3
	戸建・集合住宅以外（その他）	43	11.6	37.2	2.3	2.3	0.0	2.3	16.3	0.0	27.9	18.6

		短期入所（ショートステイ）	生活介護	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	地域生活支援事業（日中一時支援、地域活動支援センターなど）
利用日数	n数	62	171	13	27	23	22	297	50
	平均値（日／月）	8.4	18.8	12.1	18.0	20.9	19.0	18.5	8.9
	中央値（日／月）	6.5	20.0	4.0	20.0	20.0	20.0	20.0	6.5

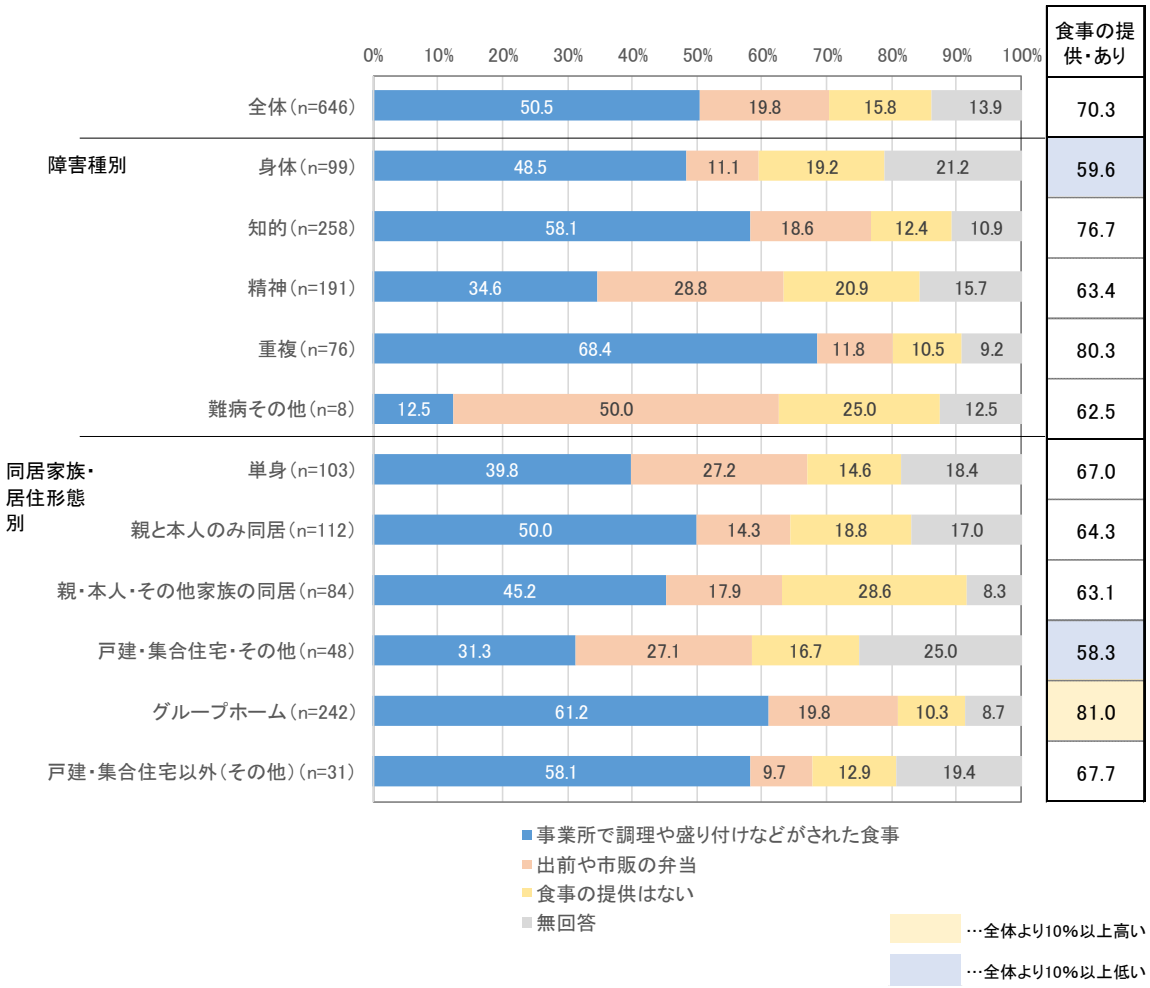
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

④ 利用した通所サービス等における食事の提供状況

問 16③.問 16②で選んだサービスについて食事の提供はありますか。（SA）

- 令和 7 年 9 月の 1 か月間で障害福祉サービスの「通所サービス等」を利用した人に対して、通所サービスで食事の提供があるかを尋ねたところ、「事業所で調理や盛り付けなどがされた食事」が 50.5%、「出前や市販の弁当」が 19.8%で、合計 70.3%が「食事の提供がある」としている。「食事の提供はない」は 15.8%を占めている。
- 障害種別でみると、身体では「食事の提供がある」割合が 59.6%で他と比較してやや低い。また、重複では「事業所で調理や盛り付けなどがされた食事」が 68.4%と高い。
- 同居家族・居住形態別でみると、グループホームでは「食事の提供がある」割合が 81.0%で他と比較して高い。

図表 39　利用した通所サービス等で食事の提供はあるか （通所サービスを利用した人）



⑤ サービス等利用計画の作成者

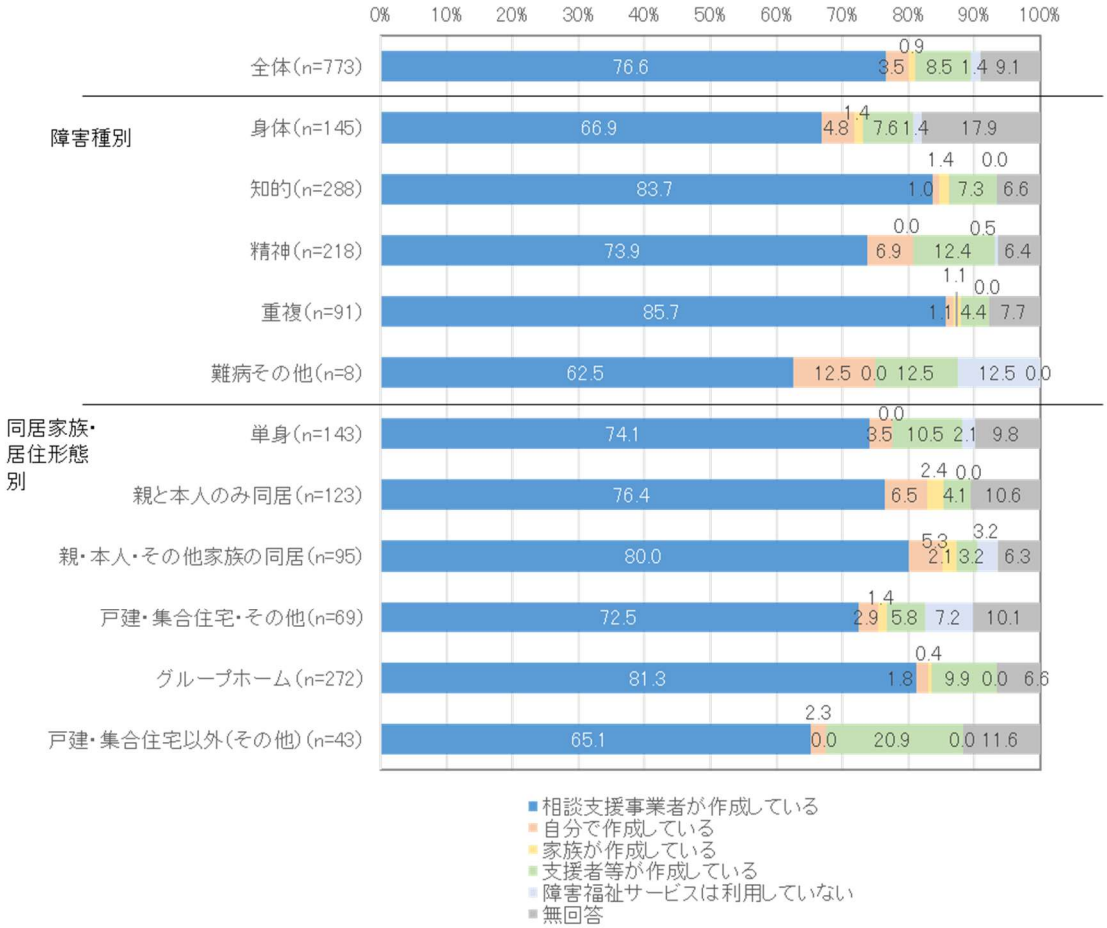
問 16④.あなたは、障害福祉サービスを利用するにあたり、「サービス等利用計画」を誰が作成していますか。（SA）

●「サービス等利用計画」の作成者を尋ねたところ、「相談支援事業者が作成している」が 76.6%を占めており突出している。次いで「支援者等が作成している」が 8.5%となっている。

●障害種別でみると、いずれも「相談支援事業者が作成している」割合が突出して高いが、精神では「自分で作成している」が 6.9%を占めており、他と比較してやや高い。

●同居家族・居住形態別でみると、単身やグループホームでは「支援者等が作成している」割合が 1 割前後を占めており、他と比較してやや高い。

図表 40 「サービス等利用計画」の作成者



（６） 収入・資産の状況

① 収入

問 17.あなたの令和７年９月の１か月分の収入額を、それぞれの項目別にお答えください。また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合や、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の収入額もお答えください。（数量）

- １か月分の収入額を費目別に尋ね、各費目の収入額を合計したところ、本人の１か月分の収入額は、平均値 104,689 円／中央値 100,000 円となっている。内訳は、「障害年金など公的年金」が平均値 54,548 円／中央値 67,904 円、「賃金・給料・工賃（働いて得た収入）」が平均値 21,989 円／中央値 10,000 円、「生活保護」が平均値 17,603 円／中央値 0 円などとなっている。
- 配偶者の収入金額の合計は平均値 162,377 円／中央値 134,758 円、その他同居者は平均値 274,142 円／中央値 240,000 円。
- 世帯単位の収入額を集計したところ、平均値 147,663 円／中央値 113,668 円となった。内訳は「障害年金など公的年金」（平均値 67,524 円／中央値 68,000 円）、「賃金・給料・工賃（働いて得た収入）」（平均値 50,883 円／中央値 12,000 円）が中心となっている。

図表 41 収入額（月額）

上段：円
下段：%

【平均値】	n数	1か月分の収入合計	内訳 賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付（グループホームにお住いの場合の家賃助成）	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
本人	610	104,689	21,989	54,548	3,562	17,603	3,753	1,808	8	1,418
		100.0%	21.0%	52.1%	3.4%	16.8%	3.6%	1.7%	0.0%	1.4%
配偶者	23	162,377	93,404	63,581	0	609	0	0	0	4,783
		100.0%	57.5%	39.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
その他同居者	82	274,142	188,748	78,697	0	807	1,256	610	671	3,354
		100.0%	68.9%	28.7%	0.0%	0.3%	0.5%	0.2%	0.2%	1.2%
世帯・計	610	147,663	50,883	67,524	3,562	17,734	3,922	1,890	98	2,049
		100.0%	34.5%	45.7%	2.4%	12.0%	2.7%	1.3%	0.1%	1.4%

（円）

【中央値】	n数	1か月分の収入合計	内訳 賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付（グループホームにお住いの場合の家賃助成）	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
本人	610	100,000	10,000	67,904	0	0	0	0	0	0
配偶者	23	134,758	8,000	65,000	0	0	0	0	0	0
その他同居者	82	240,000	150,000	0	0	0	0	0	0	0
世帯・計	610	113,668	12,000	68,000	0	0	0	0	0	0

●世帯単位の 1 か月分の収入額について障害種別でみると、1 か月分の合計金額は重複が平均値 172,093 円／中央値 125,433 円で最も高く、身体が平均値 164,136 円／中央値 125,000 円で続いている。知的は平均値が 150,580 円、精神の平均額が 128,087 円となっているが、中央値でみると、知的が 105,000 円、精神が 118,500 円で精神の方が高い。内訳でみると、知的は「賃金・給料・工賃（働いて得た収入）」が平均値 66,768 円／中央値 15,000 円で、他と比較して高い。一方、身体と重複は「障害年金など公的年金」が平均値、中央値とも知的、精神と比較して高い。

●同居家族・居住形態別でみると、1 か月分の収入額の合計金額（平均額）は、戸建・集合住宅・その他が 247,725 円で最も高く、親・本人・その他家族の同居が 217,193 円、親と本人のみ同居が 207,409 円と続いており、戸建て、賃貸などに居住している人（単身以外）が比較的高い。一方、単身の平均額は 109,663 円、グループホームが 109,187 円となっており、大きな差が見られる。

1 か月分の収入額の合計金額について中央値でみると、戸建・集合住宅・その他が 214,500 円、親と本人のみ同居が 140,000 円、親・本人・その他家族の同居が 135,585 円、単身が 110,000 円、グループホームが 103,211 円となっており、平均額よりも差が小さくなるが、戸建て、賃貸などに居住している人（単身以外）が比較的高い傾向は同様である。

●年齢別でみると、平均額は 60 代以上が 151,245 円で最も高く、最も低い 50 代（145,932 円）とは 5,313 円の差が見られる。中央値では 30 代が 123,563 円で最も高く、最も低い 20 代以下（105,000 円）と 18,563 円の差が見られる。

図表 42　世帯・計　月額収入額（平均値）　クロス集計結果

（円）

【平均値】		n数	1か月分の収入合計	内訳 賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
全体		610	147,663	50,883	67,524	3,562	17,734	3,922	1,890	98	2,049
障害種別	身体	93	164,136	44,956	82,626	1,301	22,879	5,861	2,398	32	4,084
	知的	236	150,580	66,768	67,973	4,737	5,630	3,345	1,236	233	659
	精神	190	128,087	29,585	55,815	3,777	30,373	2,960	2,913	9	2,655
	重複	71	172,093	53,233	89,971	2,535	15,238	6,962	1,197	0	2,958
	難病その他	8	143,838	82,100	35,875	0	25,700	163	0	0	0
同居家族・居住形態別	単身	116	109,663	19,448	40,567	0	43,484	1,662	3,052	1	1,448
	親と本人のみ同居	91	207,409	87,832	106,584	110	2,244	7,314	571	0	2,753
	親・本人・その他家族の同居	70	217,193	127,541	78,807	1,276	0	7,841	1,157	0	571
	戸建・集合住宅・その他	54	247,725	112,737	101,019	185	14,069	10,430	0	56	9,229
	グループホーム	236	109,187	22,757	59,188	8,743	13,853	1,360	1,806	239	1,241
	戸建・集合住宅以外（その他）	28	102,104	8,094	48,589	0	36,499	3,566	5,357	0	0
年代	20代以下	101	146,597	54,556	64,898	1,980	16,190	3,480	2,327	0	3,166
	30代	103	147,946	48,303	76,091	4,116	10,853	6,632	699	0	1,252
	40代	109	149,000	53,665	65,757	3,119	19,991	3,819	648	28	1,972
	50代	160	145,932	57,295	61,405	4,072	18,809	1,035	2,447	10	859
	60代以上	126	151,245	40,287	71,797	4,066	22,829	5,223	3,048	437	3,560

図表 43 世帯・計 月額収入額（中央値） クロス集計結果

（円）

【中央値】		n数	1か月分の収入合計	内訳							
				賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
全体		610	113,668	12,000	68,000	0	0	0	0	0	0
障害種別	身体	93	125,000	7,000	74,758	0	0	0	0	0	0
	知的	236	105,000	15,000	69,308	0	0	0	0	0	0
	精神	190	118,500	10,000	60,000	0	0	0	0	0	0
	重複	71	125,433	10,000	74,758	0	0	0	0	0	0
	難病その他	8	146,500	19,900	0	0	0	0	0	0	0
同居家族・居住形態別	単身	116	110,000	7,500	0	0	10,500	0	0	0	0
	親と本人のみ同居	91	140,000	15,000	80,000	0	0	0	0	0	0
	親・本人・その他家族の同居	70	135,585	25,874	69,654	0	0	0	0	0	0
	戸建・集合住宅・その他	54	214,500	28,740	82,500	0	0	0	0	0	0
	グループホーム	236	103,211	12,000	68,000	10,000	0	0	0	0	0
	戸建・集合住宅以外（その他）	28	97,360	0	65,000	0	0	0	0	0	0
年代	20代以下	101	105,000	11,700	65,000	0	0	0	0	0	0
	30代	103	123,563	12,000	69,308	0	0	0	0	0	0
	40代	109	105,948	11,400	69,308	0	0	0	0	0	0
	50代	160	119,500	15,000	65,000	0	0	0	0	0	0
	60代以上	126	119,000	10,000	68,500	0	0	0	0	0	0

② 貯蓄・資産

問 18.あなたがお持ちの貯蓄・資産を教えてください。それぞれの項目別にお答えください。また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合や、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の貯蓄・資産についてもお答えください。

- 貯蓄・資産について費目別に尋ね、各費目の金額を合計したところ、本人の平均値は 267.1 万円／中央値は 33.0 万円となっている。内訳は、「預貯金」が平均値 223.1 万円／中央値 22.8 万円となっており大きな割合を占めている。これに、「生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料」が平均値 20.7 万円／中央値 0 円、「現金・小切手」が平均値 13.4 万円、中央値 5,000 円が続いている。
- 配偶者の貯蓄・資産の合計金額は平均値 357.5 万円／中央値 110.0 万円、その他同居者は平均値 1,546.7 万円／中央値 600.0 万円。
- 世帯単位の貯蓄・資産額を集計したところ、平均値 551.0 万円／中央値 50.0 万円となった。内訳は「預貯金」（平均値 391.2 万円／中央値 30.0 万円）、「生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料」（平均値 110.5 万円／中央値 0 円）、「現金・小切手」（平均値 30.2 万円／中央値 8,000 円）などとなっている。

図表 44 貯蓄・資産

上段：円
下段：%

【平均値】	n数	貯蓄・資産計	内訳 現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
本人	321	2,670,818	134,063	2,230,748	207,451	119,397	15,576	1,293	37,710
		100.0%	5.0%	83.5%	7.8%	4.5%	0.6%	0.0%	1.4%
配偶者	17	3,574,588	190,294	3,120,765	1,500,000	0	0	0	1,236,471
		100.0%	5.3%	87.3%	42.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.6%
その他同居者	55	15,467,094	920,091	8,845,876	4,774,036	1,453,455	0	190,909	717,273
		100.0%	5.9%	57.2%	30.9%	9.4%	0.0%	1.2%	4.6%
世帯・計	321	5,510,252	301,789	3,911,671	1,104,872	368,431	15,576	34,003	226,090
		100.0%	5.5%	71.0%	20.1%	6.7%	0.3%	0.6%	4.1%

【中央値】	n数	貯蓄・資産計	内訳 現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
本人	321	330,000	5,000	228,000	0	0	0	0	0
配偶者	17	1,100,000	0	1,000,000	30,000	0	0	0	0
その他同居者	55	6,000,000	20,000	2,000,000	0	0	0	0	0
世帯・計	321	500,000	8,000	300,000	0	0	0	0	0

※貯蓄・資産・計 ＝ 「現金・小切手」＋「預貯金」＋「保険料」＋「株式・投資信託」＋「債券」＋「その他預貯金」－「借金」

●世帯単位の貯蓄・資産について障害種別でみると、合計金額は重複が平均値 908.8 万円／中央値 134.0 万円、知的が平均値 752.9 万円／中央値 135.0 万円、身体が平均値 702.1 万円／中央値 50.0 万円、精神が平均値 181.0 万円／中央値 15.0 万円となっており、精神の貯蓄・資産額が低い傾向が見られる。

●同居家族・居住形態別でみると、貯蓄・資産の合計金額（平均額）は、親・本人のみ同居が 1,439.5 万円、親・本人・その他家族の同居が 1,044.8 万円、戸建て・集合住宅その他が 589.9 万円と続いており、戸建て、賃貸などに居住している人（単身以外）が比較的高い。一方、単身の平均額は 256.9 万円、グループホームが 219.8 万円となっており、差が見られる。

貯蓄・資産の合計金額について中央値でみると、親・本人のみ同居が 369.0 万円、親・本人・その他家族の同居が 296.0 万円、戸建て・集合住宅その他が 62.0 万円、グループホームが 32.4 万円、単身が 10.0 万円と続いており、平均額よりも差が小さくなるが、戸建て、賃貸などに居住している人（単身以外）が比較的高い傾向は同様である。

●年齢別でみると、平均額は 60 代以上が 688.5 万円で最も高く、最も低い 20 代以下（403.9 万円）とは 284.6 万円の差が見られる。中央値では 60 代以上が 64.4 万円で最も高く、最も低い 40 代（30.0 万円）と 30.4 万円の差が見られる。

図表 45 貯蓄・資産（平均値） クロス集計結果

（円）

【平均値】		n数	貯蓄・資産計	内訳						
				現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
全体		321	5,510,252	301,789	3,911,671	1,104,872	368,431	15,576	34,003	226,090
障害種別	身体	51	7,021,451	172,907	5,412,525	1,382,196	82,353	0	294	28,824
	知的	120	7,528,852	189,913	5,066,036	1,771,236	630,833	41,667	88,333	259,167
	精神	105	1,809,536	106,585	1,406,403	46,249	352,252	0	2,857	104,810
	重複	34	9,087,718	1,567,053	6,390,622	1,927,690	40,588	0	0	838,235
	難病その他	5	908,206	64,606	663,600	180,000	0	0	0	0
同居家族・居住形態別	単身	62	2,568,995	158,762	1,932,408	113,873	535,484	0	1,855	173,387
	親と本人のみ同居	46	14,395,149	1,587,860	8,793,484	3,720,652	841,304	0	232,609	780,761
	親・本人・その他家族の同居	40	10,448,107	66,190	7,163,651	2,461,105	857,161	0	0	100,000
	戸建・集合住宅・その他	37	5,898,609	175,461	4,587,662	1,640,081	72,973	0	0	577,568
	グループホーム	119	2,197,604	26,943	1,907,918	145,601	78,824	42,017	840	4,538
	戸建・集合住宅以外（その他）	14	3,544,533	116,675	3,427,857	0	0	0	0	0
年代	20代以下	49	4,038,756	337,284	2,891,469	952,249	67,347	0	32,653	242,245
	30代	54	5,603,322	39,707	4,362,046	1,131,449	97,897	0	0	27,778
	40代	57	5,118,846	952,027	4,023,408	730,692	47,368	0	263	634,912
	50代	85	4,670,198	181,355	3,082,054	1,163,435	352,941	0	107,059	216,647
	60代以上	70	6,884,726	118,033	4,581,779	1,519,486	656,857	71,429	2,857	65,714

図表 46 貯蓄・資産（中央値） クロス集計結果

（円）

【中央値】		n数	貯蓄・資産計	内訳						
				現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
全体		321	500,000	8,000	300,000	0	0	0	0	0
障害種別	身体	51	500,000	10,000	300,000	0	0	0	0	0
	知的	120	1,350,150	2,250	1,143,010	0	0	0	0	0
	精神	105	150,000	10,000	100,000	0	0	0	0	0
	重複	34	1,340,000	5,000	900,000	0	0	0	0	0
	難病その他	5	320,000	8,000	20,000	0	0	0	0	0
同居家族・居住形態別	単身	62	100,000	10,000	65,000	0	0	0	0	0
	親と本人のみ同居	46	3,690,243	6,000	2,160,000	0	0	0	0	0
	親・本人・その他家族の同居	40	2,960,000	2,500	2,000,000	0	0	0	0	0
	戸建・集合住宅・その他	37	620,000	15,000	800,000	0	0	0	0	0
	グループホーム	119	324,270	2,500	280,000	0	0	0	0	0
	戸建・集合住宅以外（その他）	14	245,000	50,000	55,000	0	0	0	0	0
年代	20代以下	49	423,000	5,000	180,000	0	0	0	0	0
	30代	54	500,000	0	350,000	0	0	0	0	0
	40代	57	300,000	5,000	197,437	0	0	0	0	0
	50代	85	410,000	10,000	300,000	0	0	0	0	0
	60代以上	70	644,000	10,000	520,000	0	0	0	0	0

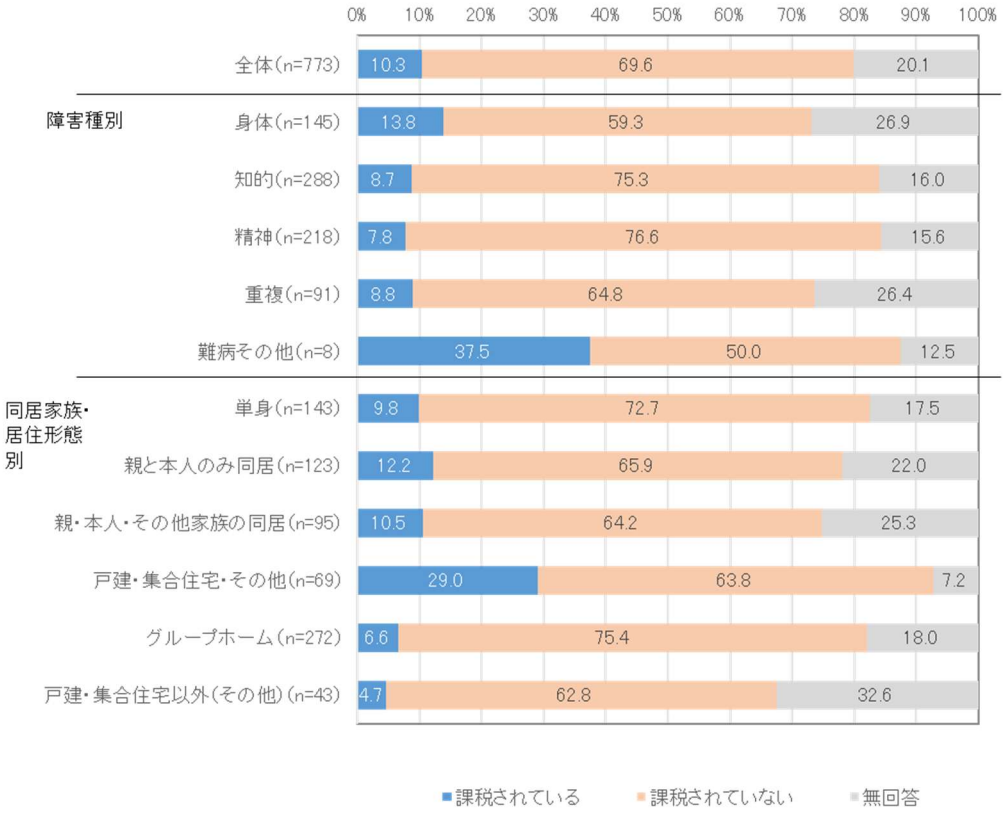
③ 税金の課税状況・生活保護の受給状況

問 19.あなたの税金の課税状況、生活保護の受給状況について教えてください。（SAMT）

＜住民税の課税状況＞

- 住民税の課税状況を尋ねたところ、「課税されている」が 10.3%、「課税されていない」が 69.6%となっている。
- 障害種別でみると、身体では「課税されている」割合が 13.8%で知的、精神、重複と比較してやや高い。
- 同居家族・居住形態別でみると、「課税されていない」割合が比較的高いのはグループホーム（75.4%）、単身（72.7%）などとなっている。

図表 47　住民税の課税状況

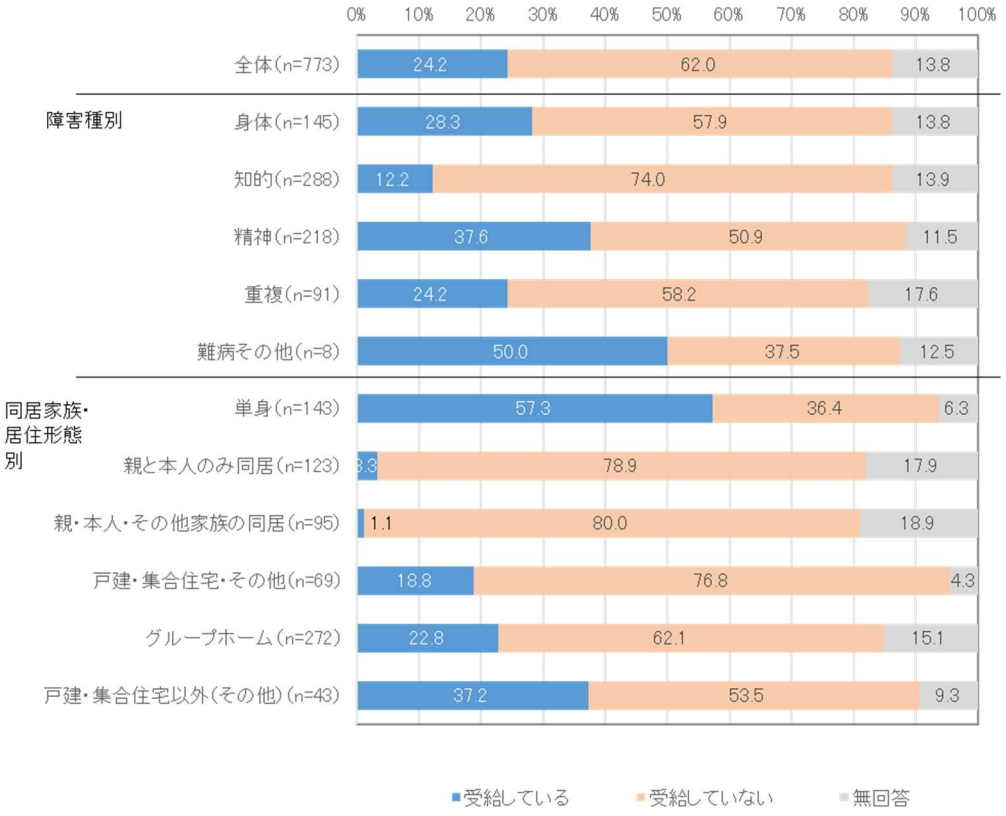


問 19.あなたの税金の課税状況、生活保護の受給状況について教えてください。（SAMT）

＜生活保護の受給状況＞

- 生活保護の受給状況を尋ねたところ、「受給している」が 24.2%、「受給していない」が 62.0%となっている。
- 障害種別でみると、精神は「受給している」が 37.6%で、他と比較して高い。知的は「受給している」割合が 12.2%となっており差が大きい。
- 同居家族・居住形態別でみると、単身では「受給している」割合が 57.3%で他と比較して特に高い。

図表 48　生活保護の受給状況



（７） 支出の状況

問 20.あなたの世帯の令和 7 年 9 月の支出額を教えてください。
①障害福祉サービス事業者に支払ったものと、②それ以外で支払ったものとで分けてお答えください。（数量）

① 障害福祉サービス事業者への支払額

- 1 か月分の支出額の内、障害福祉サービス事業者への支払額を費目別に尋ね、各費目の支払額を合計したところ、本人の 1 か月分の障害福祉サービス事業者への支払額の合計は、平均値 63,704 円／中央値 55,000 円となっている。内訳は、「住居費」が平均値 19,833 円／中央値 18,000 円、「サービス利用料」が平均値 16,729 円／中央値 0 円、「食費」が平均値 16,364 円／中央値 14,750 円、「水道光熱費」が平均値 6,908 円、中央値 5,000 円などとなっている。
- 世帯単位の支出額を集計したところ、平均値 65,145 円／中央値 55,000 円となっている。

図表 49 障害福祉サービス事業者への支払額

上段：円
下段：%

【平均値】

	n数	支払額計	内訳 サービス利用料	住居費（家賃・部屋代など）	食費（自己負担分）	水道光熱費（自己負担分）	その他費目の支払額
本人	395	63,704	16,729	19,833	16,364	6,908	3,870
		100.0%	26.3%	31.1%	25.7%	10.8%	6.1%
同居者	9	63,263	12,596	5,889	15,267	24,511	5,000
		100.0%	19.9%	9.3%	24.1%	38.7%	7.9%
世帯・計	395	65,145	17,016	19,967	16,712	7,467	3,984
		100.0%	26.1%	30.7%	25.7%	11.5%	6.1%

（円）

【中央値】

	n数	支払額計	内訳 サービス利用料	住居費（家賃・部屋代など）	食費（自己負担分）	水道光熱費（自己負担分）	その他費目の支払額
本人	395	55,000	0	18,000	14,750	5,000	0
同居者	9	50,000	0	0	5,000	24,000	0
世帯・計	395	55,000	0	18,000	15,000	5,850	0

② 世帯単位の支払額
（障害福祉サービス事業者＋障害福祉サービス事業者以外への支払額）

●世帯単位の 1 か月分の支出額について、障害福祉サービス事業者への支払額と障害福祉サービス事業者以外への支払額を費目別に尋ね、各費目の金額を合計したところ、合計（1 か月分の総支出額）は、平均値 104,236 円／中央値 88,155 円となっている。平均値の内訳は、障害福祉サービス事業者への支払額が 65,145 円（62.5%）、障害福祉サービス事業者以外への支払額が 39,091 円（37.5%）となっており、特に、「住居費」「サービス利用料」「食費」などの費目の割合が高い。

図表 50 世帯単位の支払額（平均値・中央値）

n=395		平均値（円）	構成比（%）	中央値（円）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	17,016	16.3%	0
	住居費（家賃・部屋代など）	19,967	19.2%	18,000
	食費（自己負担分）	16,712	16.0%	15,000
	水道光熱費（自己負担分）	7,467	7.2%	5,850
	その他費目の支払額	3,984	3.8%	0
	小計	**65,145**	**62.5%**	**55,000**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	13,232	12.7%	1,800
	住居費	5,983	5.7%	0
	水道光熱費	3,447	3.3%	0
	保健医療費	2,199	2.1%	0
	交通費	1,954	1.9%	0
	情報通信費	3,138	3.0%	0
	教育費	227	0.2%	0
	教養娯楽費	3,190	3.1%	0
	その他	3,984	3.8%	0
	税金・保険料	1,736	1.7%	0
	小計	**39,091**	**37.5%**	**16,000**
合計		**104,236**	**100.0%**	**88,155**

●世帯単位の 1 か月分の総支出額について障害種別でみると、平均額は身体が 119,612 円で最も大きく、精神（112,370 円）、重複（111,994 円）、知的（94,290 円）と続いており、知的の支出額がやや小さい。
●中央値でみると、精神（102,293 円）、身体（95,000 円）、重複（88,075 円）、知的（79,000 円）と続いており、知的の支出額がやや小さい。

図表 51　世帯単位の支払額（平均値）　障害種別

		全体		身体		知的	
		n=395		n=59		n=186	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	17,016	16.3%	29,330	24.5%	18,505	19.6%
	住居費（家賃・部屋代など）	19,967	19.2%	17,115	14.3%	20,535	21.8%
	食費（自己負担分）	16,712	16.0%	14,950	12.5%	17,099	18.1%
	水道光熱費（自己負担分）	7,467	7.2%	7,104	5.9%	7,497	8.0%
	その他費目の支払額	3,984	3.8%	2,692	2.3%	2,867	3.0%
	小計	**65,145**	**62.5%**	**71,191**	**59.5%**	**66,502**	**70.5%**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	13,232	12.7%	16,837	14.1%	9,715	10.3%
	住居費	5,983	5.7%	5,546	4.6%	3,021	3.2%
	水道光熱費	3,447	3.3%	5,024	4.2%	2,183	2.3%
	保健医療費	2,199	2.1%	1,765	1.5%	1,619	1.7%
	交通費	1,954	1.9%	2,308	1.9%	1,640	1.7%
	情報通信費	3,138	3.0%	4,332	3.6%	1,905	2.0%
	教育費	227	0.2%	203	0.2%	336	0.4%
	教養娯楽費	3,190	3.1%	1,039	0.9%	3,147	3.3%
	その他	3,984	3.8%	8,587	7.2%	2,897	3.1%
	税金・保険料	1,736	1.7%	2,779	2.3%	1,325	1.4%
	小計	**39,091**	**37.5%**	**48,421**	**40.5%**	**27,788**	**29.5%**
合計		**104,236**	**100.0%**	**119,612**	**100.0%**	**94,290**	**100.0%**

		精神		重複		難病その他	
		n=98		n=44		n=4	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	5,832	5.2%	18,386	16.4%	13,175	11.9%
	住居費（家賃・部屋代など）	21,631	19.2%	17,023	15.2%	38,250	34.5%
	食費（自己負担分）	17,365	15.5%	17,761	15.9%	10,000	9.0%
	水道光熱費（自己負担分）	8,114	7.2%	7,262	6.5%	4,925	4.4%
	その他費目の支払額	5,646	5.0%	6,757	6.0%	7,750	7.0%
	小計	**58,589**	**52.1%**	**67,189**	**60.0%**	**74,100**	**66.7%**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	18,996	16.9%	12,127	10.8%	7,000	6.3%
	住居費	10,730	9.5%	8,216	7.3%	15,250	13.7%
	水道光熱費	4,622	4.1%	4,246	3.8%	2,675	2.4%
	保健医療費	3,389	3.0%	2,927	2.6%	500	0.5%
	交通費	2,031	1.8%	2,915	2.6%	500	0.5%
	情報通信費	4,184	3.7%	4,192	3.7%	6,750	6.1%
	教育費	51	0.0%	227	0.2%	0	0.0%
	教養娯楽費	4,511	4.0%	3,739	3.3%	1,750	1.6%
	その他	3,400	3.0%	4,115	3.7%	2,500	2.3%
	税金・保険料	1,866	1.7%	2,101	1.9%	0	0.0%
	小計	**53,781**	**47.9%**	**44,805**	**40.0%**	**36,925**	**33.3%**
合計		**112,370**	**100.0%**	**111,994**	**100.0%**	**111,025**	**100.0%**

図表 52 世帯単位の支払額（中央値） 障害種別

		全体	身体	知的	精神	重複	難病その他
		n=395	n=59	n=186	n=98	n=44	n=4
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	0	0	0	0	0	0
	住居費（家賃・部屋代など）	18,000	0	20,000	20,500	5,000	46,000
	食費（自己負担分）	15,000	7,250	18,200	14,500	8,500	11,000
	水道光熱費（自己負担分）	5,850	0	7,625	7,252	250	4,500
	その他費目の支払額	0	0	0	0	0	0
	小計	**55,000**	**50,000**	**55,079**	**58,620**	**49,250**	**67,200**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	1,800	5,000	0	15,000	1,000	6,000
	住居費	0	0	0	0	0	0
	水道光熱費	0	0	0	0	0	0
	保健医療費	0	0	0	0	0	0
	交通費	0	0	0	0	0	0
	情報通信費	0	0	0	0	0	6,500
	教育費	0	0	0	0	0	0
	教養娯楽費	0	0	0	0	0	1,500
	その他	0	0	0	0	0	0
	税金・保険料	0	0	0	0	0	0
	小計	**16,000**	**21,000**	**9,850**	**37,694**	**13,600**	**30,000**
合計		**88,155**	**95,000**	**79,000**	**102,293**	**88,075**	**104,350**

●世帯単位の 1 か月分の総支出額について同居家族・居住形態別でみると、平均額は戸建て・集合住宅その他が 151,222 円で最も大きく、単身（120,262 円）、グループホーム（105,467 円）、戸建て・集合住宅以外その他（94,650 円）、親と本人のみ同居（76,907 円）、親・本人・その他家族と同居（68,086 円）と続いている。

●中央値でみると、戸建・集合住宅その他が 140,350 円で最も大きく、単身（109,307 円）、グループホーム（89,101 円）、戸建・集合住宅以外その他（73,000 円）、親と本人のみ同居（45,325 円）、親・本人・その他家族と同居（27,000 円）と続いている。

図表 53　世帯単位の支払額（平均値）　同居家族・居住形態別

		全体		単身		親と本人のみ同居		親・本人・その他家族と同居	
		n=395		n=47		n=49		n=37	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	17,016	16.3%	1,553	1.3%	9,212	12.0%	11,640	17.1%
	住居費（家賃・部屋代など）	19,967	19.2%	18,290	15.2%	1,735	2.3%	2,378	3.5%
	食費（自己負担分）	16,712	16.0%	15,810	13.1%	9,730	12.7%	7,890	11.6%
	水道光熱費（自己負担分）	7,467	7.2%	9,213	7.7%	1,937	2.5%	1,969	2.9%
	その他費目の支払額	3,984	3.8%	5,521	4.6%	5,193	6.8%	2,322	3.4%
	小計	**65,145**	**62.5%**	**50,387**	**41.9%**	**27,807**	**36.2%**	**26,200**	**38.5%**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	13,232	12.7%	20,605	17.1%	22,440	29.2%	14,949	22.0%
	住居費	5,983	5.7%	21,450	17.8%	2,640	3.4%	811	1.2%
	水道光熱費	3,447	3.3%	8,690	7.2%	6,353	8.3%	2,887	4.2%
	保健医療費	2,199	2.1%	965	0.8%	3,077	4.0%	3,606	5.3%
	交通費	1,954	1.9%	2,356	2.0%	2,550	3.3%	4,038	5.9%
	情報通信費	3,138	3.0%	6,522	5.4%	3,449	4.5%	3,318	4.9%
	教育費	227	0.2%	106	0.1%	653	0.8%	284	0.4%
	教養娯楽費	3,190	3.1%	3,872	3.2%	2,397	3.1%	2,270	3.3%
	その他	3,984	3.8%	3,521	2.9%	3,253	4.2%	4,564	6.7%
	税金・保険料	1,736	1.7%	1,787	1.5%	2,287	3.0%	5,159	7.6%
	小計	**39,091**	**37.5%**	**69,875**	**58.1%**	**49,100**	**63.8%**	**41,886**	**61.5%**
合計		**104,236**	**100.0%**	**120,262**	**100.0%**	**76,907**	**100.0%**	**68,086**	**100.0%**

		戸建・集合住宅その他		グループホーム		戸建・集合住宅以外その他	
		n=25		n=207		n=21	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	22,857	15.1%	19,682	18.7%	21,928	23.2%
	住居費（家賃・部屋代など）	11,872	7.9%	28,378	26.9%	21,524	22.7%
	食費（自己負担分）	12,521	8.3%	19,611	18.6%	21,846	23.1%
	水道光熱費（自己負担分）	9,196	6.1%	9,210	8.7%	5,134	5.4%
	その他費目の支払額	3,013	2.0%	3,595	3.4%	4,652	4.9%
	小計	**59,459**	**39.3%**	**80,476**	**76.3%**	**75,084**	**79.3%**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	31,808	21.0%	7,910	7.5%	4,905	5.2%
	住居費	21,210	14.0%	2,318	2.2%	1,905	2.0%
	水道光熱費	10,280	6.8%	1,127	1.1%	1,062	1.1%
	保健医療費	1,420	0.9%	1,922	1.8%	4,504	4.8%
	交通費	2,292	1.5%	1,469	1.4%	0	0.0%
	情報通信費	5,134	3.4%	2,367	2.2%	1,086	1.1%
	教育費	0	0.0%	203	0.2%	0	0.0%
	教養娯楽費	1,292	0.9%	3,629	3.4%	3,967	4.2%
	その他	14,094	9.3%	3,211	3.0%	2,138	2.3%
	税金・保険料	4,234	2.8%	836	0.8%	0	0.0%
	小計	**91,763**	**60.7%**	**24,992**	**23.7%**	**19,566**	**20.7%**
合計		**151,222**	**100.0%**	**105,467**	**100.0%**	**94,650**	**100.0%**

図表 54 世帯単位の支払額（中央値） 同居家族・居住形態別

		全体	単身	親と本人のみ同居	親・本人・その他家族と同居	戸建・集合住宅その他	グループホーム	戸建・集合住宅以外その他
		n=395	n=47	n=49	n=37	n=25	n=207	n=21
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	0	0	0	0	0	0	0
	住居費（家賃・部屋代など）	0	10,000	0	0	0	26,000	0
	食費（自己負担分）	0	12,000	6,500	6,367	770	20,000	15,000
	水道光熱費（自己負担分）	0	2,173	0	0	0	10,000	0
	その他費目の支払額	0	0	0	0	0	0	0
	小計	**0**	**42,000**	**8,190**	**9,300**	**21,270**	**63,339**	**54,950**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	1,800	20,000	0	0	20,000	1,600	0
	住居費	0	24,000	0	0	0	0	0
	水道光熱費	0	8,000	0	0	0	0	0
	保健医療費	0	0	0	0	0	0	0
	交通費	0	0	0	0	0	0	0
	情報通信費	0	3,000	0	0	0	0	0
	教育費	0	0	0	0	0	0	0
	教養娯楽費	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	税金・保険料	0	0	0	0	0	0	0
	小計	**16,000**	**77,500**	**10,000**	**10,000**	**80,700**	**14,329**	**6,967**
合計		**88,155**	**109,307**	**45,325**	**27,000**	**140,350**	**89,101**	**73,000**

●世帯単位の 1 か月分の総支出額について年代別でみると、平均額は 60 代以上が 111,991 円で最も大きく、20 代以下が 98,092 円で最も小さい。
●中央値でみると、30 代が 95,540 円で最も大きく、20 代以下が 81,164 円で最も小さい。

図表 55 世帯単位の支払額（平均値） 年代別

		全体		20代以下		30代	
		n=395		n=66		n=73	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	17,016	16.3%	22,894	23.3%	13,031	12.1%
	住居費（家賃・部屋代など）	19,967	19.2%	16,955	17.3%	20,862	19.4%
	食費（自己負担分）	16,712	16.0%	13,139	13.4%	18,843	17.5%
	水道光熱費（自己負担分）	7,467	7.2%	7,674	7.8%	7,712	7.2%
	その他費目の支払額	3,984	3.8%	2,732	2.8%	2,562	2.4%
	小計	**65,145**	**62.5%**	**63,393**	**64.6%**	**63,011**	**58.6%**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	13,232	12.7%	12,404	12.6%	14,156	13.2%
	住居費	5,983	5.7%	3,985	4.1%	7,392	6.9%
	水道光熱費	3,447	3.3%	3,253	3.3%	3,884	3.6%
	保健医療費	2,199	2.1%	2,438	2.5%	1,619	1.5%
	交通費	1,954	1.9%	2,303	2.3%	1,699	1.6%
	情報通信費	3,138	3.0%	3,753	3.8%	3,373	3.1%
	教育費	227	0.2%	280	0.3%	247	0.2%
	教養娯楽費	3,190	3.1%	1,749	1.8%	3,121	2.9%
	その他	3,984	3.8%	3,257	3.3%	6,041	5.6%
	税金・保険料	1,736	1.7%	1,277	1.3%	2,988	2.8%
	小計	**39,091**	**37.5%**	**34,699**	**35.4%**	**44,519**	**41.4%**
合計		**104,236**	**100.0%**	**98,092**	**100.0%**	**107,530**	**100.0%**

		40代		50代		60代以上	
		n=69		n=105		n=75	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	16,857	16.2%	16,737	16.7%	17,719	15.8%
	住居費（家賃・部屋代など）	20,459	19.6%	21,176	21.2%	19,667	17.6%
	食費（自己負担分）	19,634	18.8%	15,760	15.8%	17,011	15.2%
	水道光熱費（自己負担分）	8,107	7.8%	6,028	6.0%	8,874	7.9%
	その他費目の支払額	3,261	3.1%	4,293	4.3%	5,084	4.5%
	小計	**68,317**	**65.6%**	**63,994**	**64.0%**	**68,355**	**61.0%**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	14,675	14.1%	10,518	10.5%	15,160	13.5%
	住居費	3,861	3.7%	6,204	6.2%	7,978	7.1%
	水道光熱費	2,971	2.9%	2,836	2.8%	4,226	3.8%
	保健医療費	1,758	1.7%	3,419	3.4%	1,297	1.2%
	交通費	1,998	1.9%	1,656	1.7%	2,176	1.9%
	情報通信費	2,802	2.7%	2,730	2.7%	3,213	2.9%
	教育費	449	0.4%	210	0.2%	0	0.0%
	教養娯楽費	2,415	2.3%	3,443	3.4%	4,997	4.5%
	その他	3,776	3.6%	3,774	3.8%	2,952	2.6%
	税金・保険料	1,187	1.1%	1,264	1.3%	1,637	1.5%
	小計	**35,891**	**34.4%**	**36,054**	**36.0%**	**43,636**	**39.0%**
合計		**104,208**	**100.0%**	**100,048**	**100.0%**	**111,991**	**100.0%**

図表 56 世帯単位の支払額(中央値) 年代別

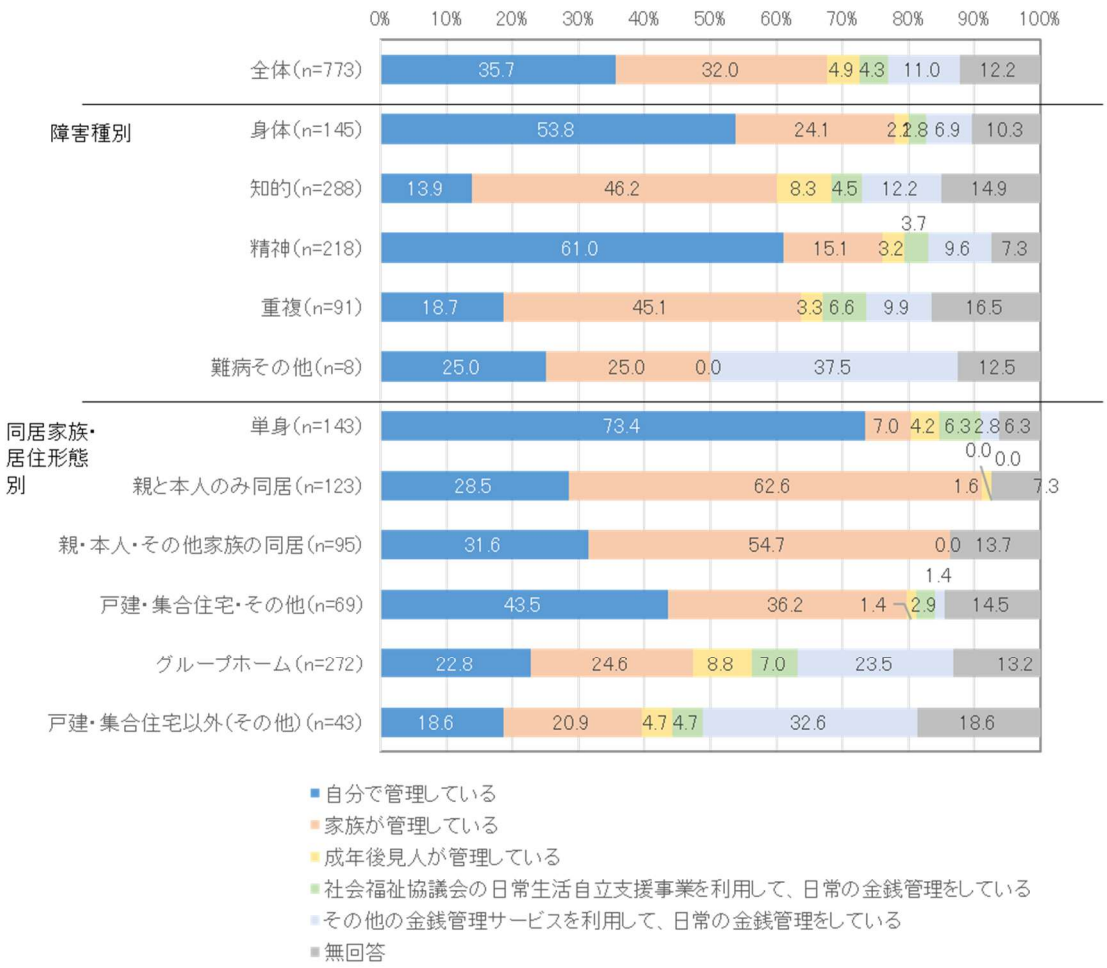
		全体	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
		n=395	n66	n=73	n=69	n=105	n=75
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	0	0	0	0	0	0
	住居費(家賃・部屋代など)	18,000	7,500	17,600	20,000	18,750	16,600
	食費(自己負担分)	15,000	9,250	18,000	20,000	12,000	16,100
	水道光熱費(自己負担分)	5,850	1,860	7,000	7,500	1,500	9,000
	その他費目の支払額	0	0	0	0	0	0
	小計	**55,000**	**47,500**	**56,882**	**58,000**	**54,000**	**54,350**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	1,800	500	0	4,000	0	5,683
	住居費	0	0	0	0	0	0
	水道光熱費	0	0	0	0	0	0
	保健医療費	0	0	0	0	0	0
	交通費	0	0	0	0	0	0
	情報通信費	0	0	0	0	0	0
	教育費	0	0	0	0	0	0
	教養娯楽費	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	税金・保険料	0	0	0	0	0	0
	小計	**16,000**	**11,785**	**13,000**	**18,000**	**15,600**	**23,700**
合計		**88,155**	**81,164**	**95,540**	**89,570**	**83,000**	**90,250**

（８） 収入・支出の管理

問 21.あなたの収入・支出について、日常の管理はどなたが行っていますか。（SA）

- 収入・支出について日常の管理はどなたが行っているかを尋ねたところ、「自分で管理している」が 35.7%、「家族が管理している」が 32.0%で、この２つで合計 67.7%を占めている。これに「その他の金銭管理サービスを利用」が 11.0%で続いている。
- 障害種別でみると、身体、精神は、「自分で管理している」割合が知的、重複と比較して高い。
- 同居家族・居住形態別でみると、単身は、「自分で管理している」割合が 73.4%を占めている。グループホームや戸建て・集合住宅以外その他は、「その他の金銭管理サービスを利用して日常の金銭管理をしている」の比率が戸建て・集合住宅に住んでいる人と比べて高い。

図表 57　日常で収入・支出を管理する人



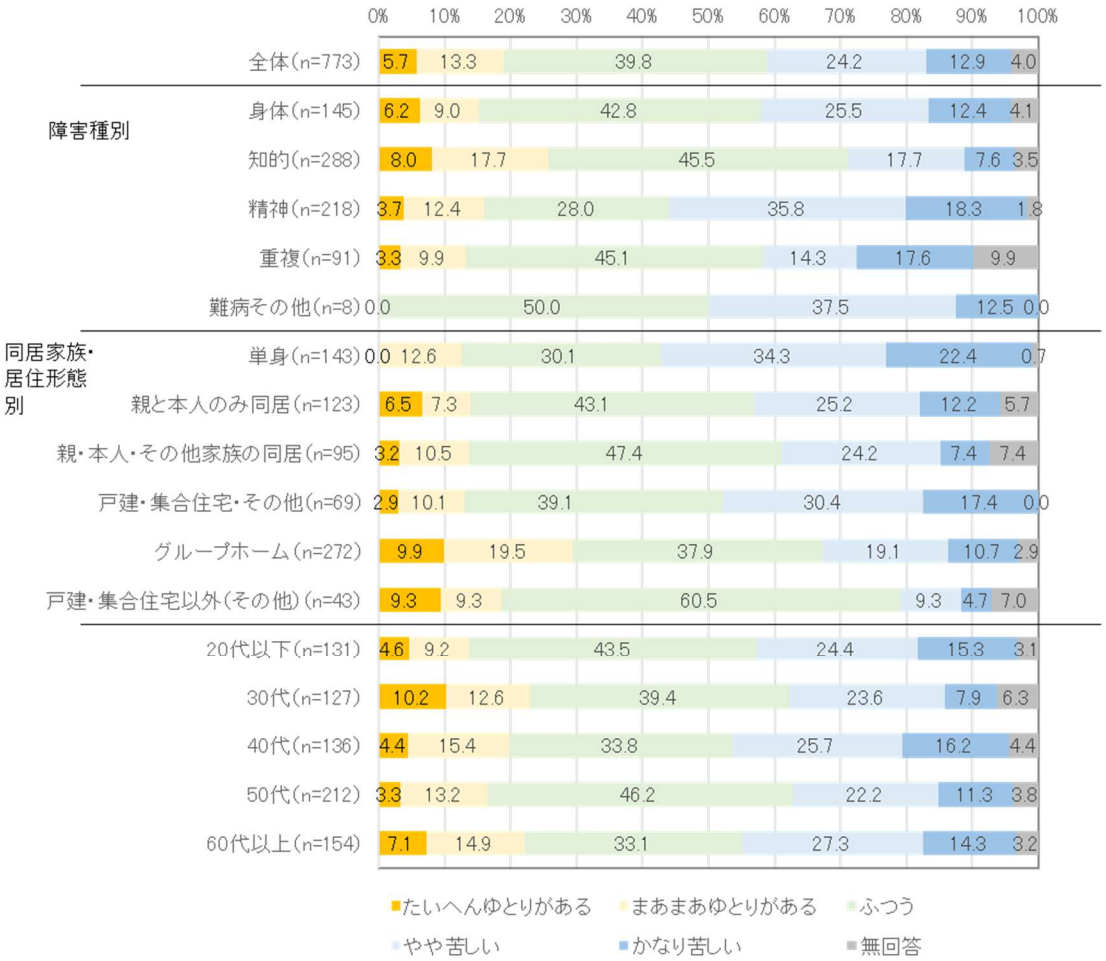
（９） 暮らしの状況

① 現在の暮らし（家計）の状況

問 22.あなたは現在の暮らしの状況（家計の状況）はどのように感じていますか。（SA）

- 現在の家計の状況を尋ねたところ、「ふつう」が 39.8%を占めている。「たいへんゆとりがある」が 5.7%、「まあまあゆとりがある」が 13.3%で、合計 19.0%が「ゆとりがある」としている。一方、「やや苦しい」が 24.2%、「かなり苦しい」が 12.9%で合計 37.1%が「苦しい」としている。
- 障害種別でみると、精神では「やや苦しい＋かなり苦しい」の割合が 54.1%で他と比較して高い。
- 同居家族・居住形態別でみると、単身は「やや苦しい＋かなり苦しい」の割合が 56.6%で他と比較して高い。一方で、グループホームでは「たいへんゆとりがある＋まあまあゆとりがある」が 29.4%で他と比較して高い。

図表 58 現在の暮らし（家計）の状況

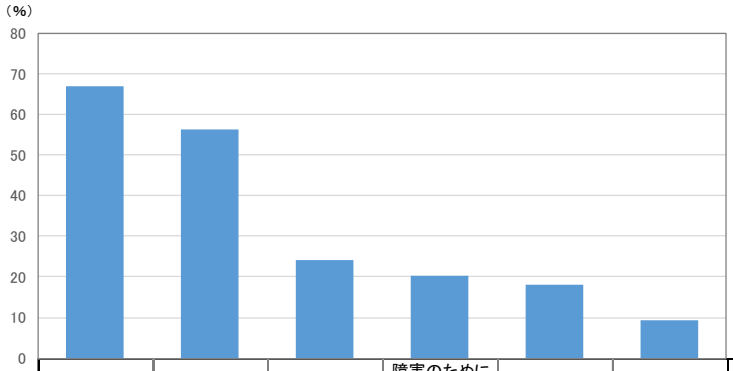


② 暮らしが苦しいと感じる理由

問 23.あなたの暮らしが苦しいと感じる理由は何でしょうか。（MA）
※問 22 で「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方

- 現在の家計の状況について、「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した人（全体の 37.1%）に対して、暮らしが苦しいと感じる理由を尋ねたところ、「物価が高騰しているため」が 66.9%で最も高く、「障害のためにあなた自身があまり働けず、収入が少ないため」が 56.1%で続いている。以下、「障害とかかわりなく、家計が苦しい」が 24.0%、「障害のために一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため」が 20.2%、「家族があまり働けず、収入が少ないため」が 18.1%となっている。
- 障害種別でみると、身体や重複では「障害のために一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため」の割合が約 3 割を占めており、他と比較して高い。
- 同居家族・居住形態別でみると、単身は「障害とかかわりなく、家計が苦しい」の割合が 39.5%で他と比較して高い。

図表 59　暮らしが苦しいと感じる理由
※現在の暮らし（家計）の状況が「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方



		n数	物価が高騰しているため	障害のためにあなた自身があまり働けず、収入が少ないため	障害とかかわりなく、家計が苦しい	障害のために一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため	家族があまり働けず、収入が少ないため	その他	無回答
全体		287	66.9	56.1	24.0	20.2	18.1	9.4	0.7
障害種別	身体	55	63.6	52.7	29.1	30.9	16.4	1.8	0.0
	知的	73	57.5	52.1	13.7	23.3	23.3	9.6	1.4
	精神	118	74.6	60.2	28.0	11.9	15.3	10.2	0.8
	重複	29	69.0	69.0	24.1	31.0	20.7	13.8	0.0
	難病その他	4	50.0	50.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
同居家族・居住形態別	単身	81	72.8	51.9	39.5	18.5	1.2	9.9	0.0
	親と本人のみ同居	46	67.4	73.9	13.0	23.9	39.1	4.3	2.2
	親・本人・その他家族の同居	30	80.0	36.7	30.0	23.3	40.0	10.0	0.0
	戸建・集合住宅・その他	33	72.7	51.5	24.2	12.1	42.4	12.1	0.0
	グループホーム	81	51.9	63.0	14.8	17.3	6.2	12.3	1.2
	戸建・集合住宅以外（その他）	6	66.7	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

【２】障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

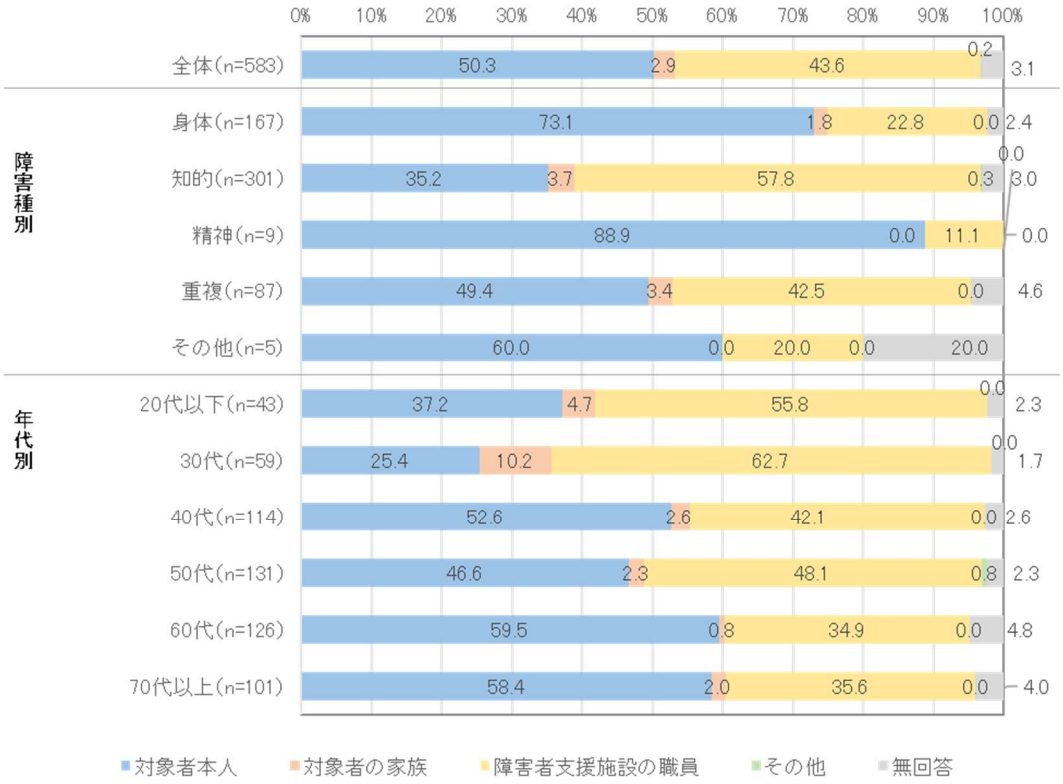
（１） 回答者属性

① アンケート回答者

問 1.このアンケートに回答される方はどなたですか。（SA）

- アンケート回答者は、「対象者本人」（本人の意思に基づき回答し、回答内容を家族や支援者の方が代筆した場合も含む）が 50.3%、「障害者支援施設の職員」が 43.6%を占めている。
- 障害者種別でみると、身体は「対象者本人」が 73.1%を占めており他と比較して高い。一方、知的は「障害者支援施設の職員」が 57.8%を占めており、他と比較して高い。
- 年代別では、20 代以下、30 代は「障害者支援施設の職員」の割合が 5 割以上を占めており、40 代以上の人と比べて高い。一方で、60 代、70 代以上は「対象者本人」が 6 割弱を占めており他の年代と比較して高い。

図表 60 アンケート回答者

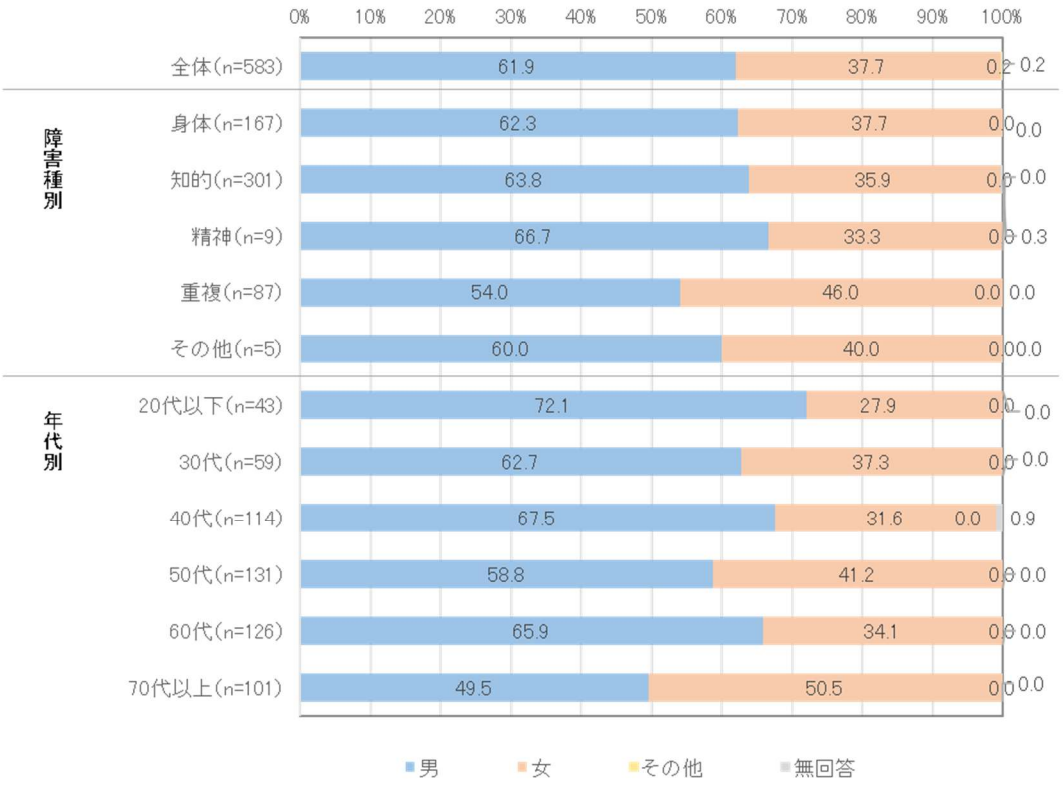


② 性別

問 2.あなたの性別を教えてください。（SA）

●性別は「男性」が 61.9%、「女性」が 37.7%を占めている。
●障害種別でみると、重複で「女性」が 46.0%を占めており、他と比較して高い。

図表 61 性別



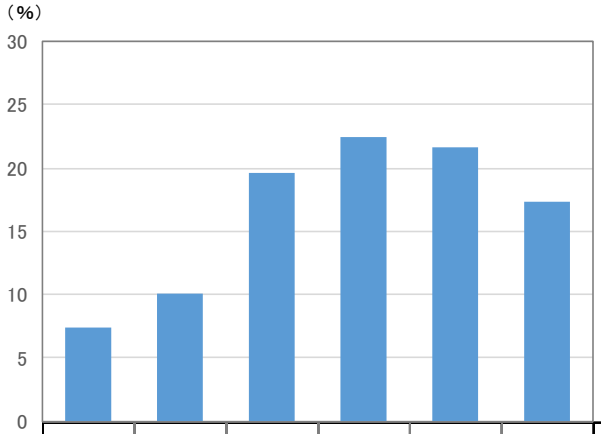
③ 年齢

問 3.あなたの年齢は何歳ですか（令和 7 年 10 月 1 日現在）。（数量）

●年齢は「50 代」が 22.5%で最も高く、以下、「60 代」（21.6%）、「40 代」（19.6%）、「70 代以上」（17.3%）、「30 代」（10.1%）、20 代以下（7.4%）となっている。平均年齢は 54.2 歳で、障害福祉サービス利用者（46.6 歳）と比べて年齢層がやや高い。

●障害種別でみると、身体は平均年齢が 60.8 歳で、他と比較して平均年齢が高い。

図表 62 年齢



		n数	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	平均値（歳）	中央値（歳）
全体		583	7.4	10.1	19.6	22.5	21.6	17.3	1.5	54.2	55.0
障害種別	身体	167	6.0	1.8	13.8	17.4	31.7	28.1	1.2	60.8	63.0
	知的	301	9.3	15.3	21.9	24.3	16.6	11.3	1.3	50.4	51.0
	精神	9	0.0	0.0	22.2	44.4	33.3	0.0	0.0	55.1	55.0
	重複	87	5.7	6.9	19.5	26.4	21.8	18.4	1.1	55.2	55.5
	その他	5	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	51.6	49.0

…全体より10%以上高い

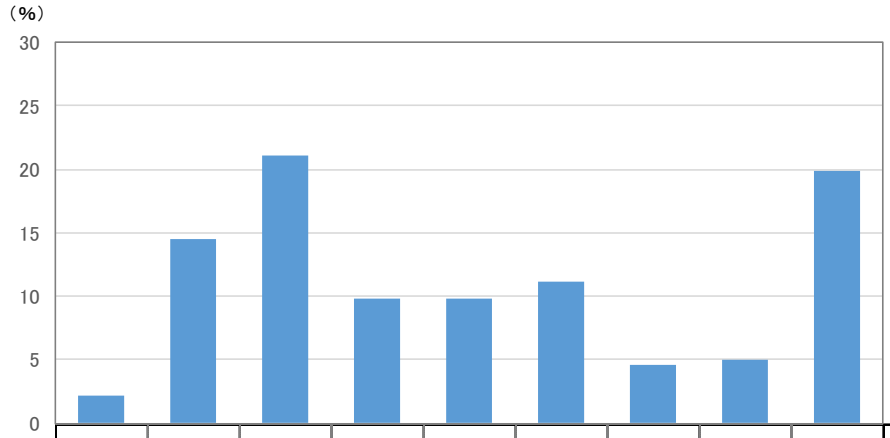
…全体より10%以上低い

④ 入所施設の所在地

問 4.あなたが入所している施設がある都道府県・市区町村をご記入ください。（FA）

●住まいの地域（都道府県・市区町村）の回答から居住地域に分類して集計したところ、「関東」が 21.1%、「九州・沖縄」が 19.9%、「東北」が 14.6%、「近畿」が 11.1%の順となっている。

図表 63　入所施設の所在地



		n数	北海道	東北	関東	北陸・甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	無回答
全体		583	2.2	14.6	21.1	9.8	9.8	11.1	4.6	5.0	19.9	1.9
障害種別	身体	167	0.6	15.6	22.2	11.4	6.0	7.8	5.4	7.8	21.0	2.4
	知的	301	3.3	12.3	21.9	8.6	12.3	12.3	5.3	4.0	18.9	1.0
	精神	9	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	22.2	11.1
	重複	87	1.1	16.1	19.5	11.5	11.5	12.6	2.3	1.1	23.0	1.1
	その他	5	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20代以下	43	0.0	9.3	20.9	9.3	4.7	27.9	7.0	2.3	16.3	2.3
	30代	59	3.4	11.9	22.0	18.6	5.1	8.5	5.1	1.7	23.7	0.0
	40代	114	5.3	17.5	25.4	5.3	7.0	13.2	5.3	4.4	15.8	0.9
	50代	131	0.8	15.3	21.4	7.6	17.6	12.2	4.6	6.9	12.2	1.5
	60代	126	0.8	10.3	23.0	12.7	8.7	6.3	3.2	4.8	27.8	2.4
	70代以上	101	3.0	16.8	13.9	9.9	9.9	8.9	3.0	6.9	25.7	2.0

…全体より10%以上高い

…全体より10%以上低い

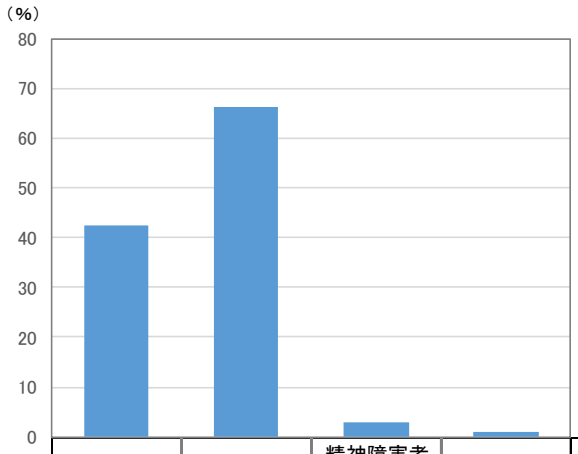
（２） 障害の状況

① 障害者手帳の状況

問 5.あなたは障害者手帳をお持ちですか。以下の当てはまるものをすべてお選びください。（MA）

- 障害者手帳の保有状況を尋ねたところ、「療育手帳を持っている」が 66.2%、「身体障害者手帳を持っている」が 42.4%となっている。「いずれも持っていない」が 0.9%で、障害福祉サービス利用者（回答者）の大半が何らかの障害者手帳を保有している。
- 障害者支援サービス利用者と比較すると、「療育手帳」「身体障害者手帳」を持っている比率が高く、「精神障害者保健福祉手帳」の比率が低い。
- 年代別でみると、20～30 代は「療育手帳」、60 代以上は「身体障害者手帳」の比率が高い。

図表 64 障害者手帳の保有状況



		n数	身体障害者手帳を持っている	療育手帳を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	いずれも持っていない	無回答
全体		583	42.4	66.2	3.1	0.9	2.6
年代	20代以下	43	34.9	76.7	0.0	0.0	0.0
	30代	59	13.6	88.1	1.7	1.7	5.1
	40代	114	31.6	72.8	5.3	1.8	3.5
	50代	131	38.9	73.3	3.8	0.8	1.5
	60代	126	57.1	53.2	4.0	0.0	0.8
	70代以上	101	61.4	49.5	1.0	1.0	3.0

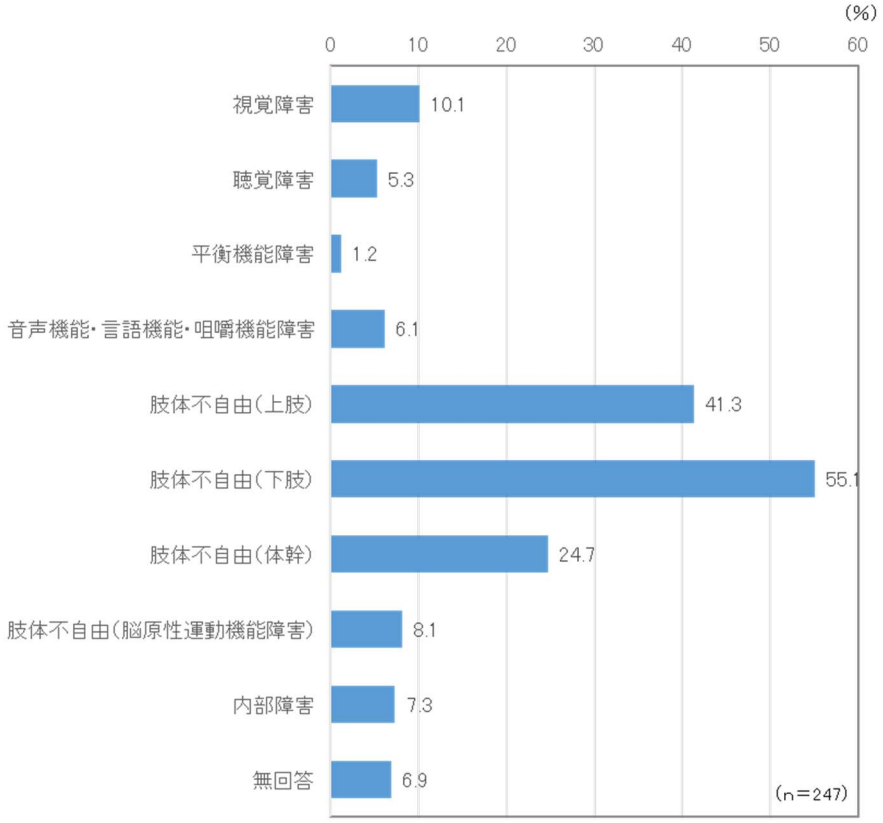
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

② 身体障害者手帳に記載されている障害名

問 5-1.身体障害者手帳に記載された障害名は何ですか。（MA）
※「身体障害者手帳を持っている」方

●身体障害者手帳を持っている人（全体の 42.4%）に対して、身体障害者手帳に記載されている障害名を尋ねたところ、「肢体不自由（下肢）」が 55.1%、「肢体不自由（上肢）」が 41.3%、「肢体不自由（体幹）」が 24.7%で続いており、いずれも「肢体不自由」が上位となっている。次いで「視覚障害」（10.1%）となっている。

図表 65 身体障害者手帳に記載されている障害名
（身体障害者手帳を持っている方）

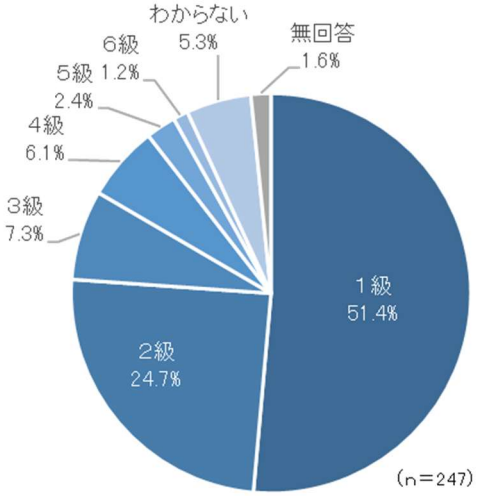


③ 身体障害者手帳に記載された障害の程度

問 5-2.身体障害者手帳に記載された障害の程度（総合等級）は何級ですか。（SA）
※「身体障害者手帳を持っている」方

●身体障害者手帳を持っている人に対して、身体障害者手帳に記載されている障害の程度（総合等級）を尋ねたところ、「1 級」が 51.4%、「2 級」が 24.7%で、「1 級～2 級」（障害の程度が重い人）で 76.1%を占めている。

図表 66 身体障害者手帳に記載されている障害総合等級
（身体障害者手帳を持っている方）



総合等級	n	%
1級	127	51.4
2級	61	24.7
3級	18	7.3
4級	15	6.1
5級	6	2.4
6級	3	1.2
わからない	13	5.3
無回答	4	1.6
全体	247	100.0

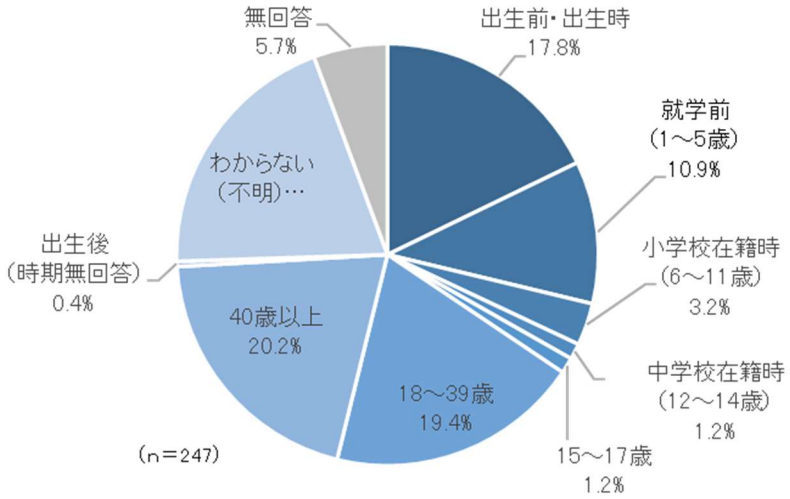
※内部障害（心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓機能の障害・免疫機能障害）

④ 障害の診断・判定を受けた時期

問 5-3.あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのはいつ頃ですか。（SA）
※「身体障害者手帳を持っている」と回答した方

●身体障害者手帳を持っている人に対して、最初に障害の診断・判定を受けた時期を尋ねたところ、「出生前・出生時」が 17.8%、「出生後」が 56.7%、「わからない」が 19.8%を占めている。
●「出生後」について詳細をみると、「40 歳以上」（20.2%）、「18～39 歳」（19.4%）、「就学前（1～5 歳）」（10.9%）となっている。

図表 67 最初の障害の診断・判定を受けた時期
（身体障害者手帳を持っている方）



		n	%
出生前・出生時		44	17.8
出生後	就学前（1～5歳）	27	10.9
	小学校在籍時（6～11歳）	8	3.2
	中学校在籍時（12～14歳）	3	1.2
	15～17歳	3	1.2
	18～39歳	48	19.4
	40歳以上	50	20.2
	出生後（時期無回答）	1	0.4
出生後・計		140	56.7
わからない（不明）		49	19.8
無回答		14	5.7
全体		247	100.0

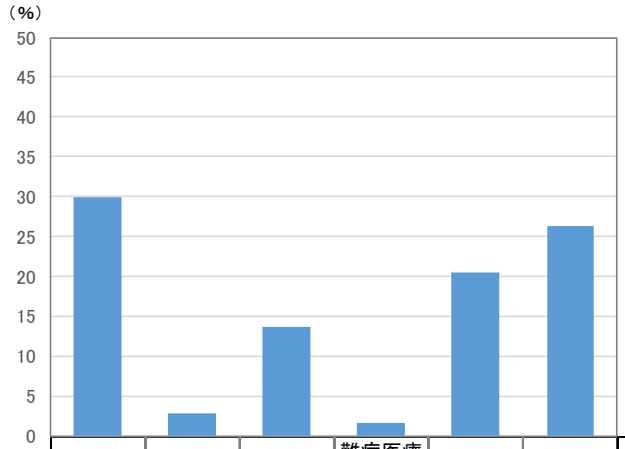
（３）医療的ケアの状況

① 医療費助成等の利用状況

問 6.あなたは過去１年間に医療費助成等を利用しましたか。（SA）

- 過去１年間に医療費助成等を利用したかを尋ねたところ、「利用していない」が 26.2%で、「無回答」を除くと６割以上が利用している。医療費助成の種類は「心身障害者医療費助成（マル障）」が 29.8%、「自立支援医療（精神通院医療）」が 13.7%などとなっている。
- 障害種別でみると、知的では「利用していない」が 32.2%を占めており、他と比較して高い。
- 年代別では、70 代以上で「利用していない」が 19.8%で他と比較して低い（何らかの医療費助成を利用している人の割合が高い）。

図表 68　医療費助成の利用状況



		n数	心身障害者医療費助成（マル障）	自立支援医療（更生医療）	自立支援医療（精神通院医療）	難病医療費助成（指定難病・小児慢性特定疾病）	その他の障害者医療費助成	利用していない	無回答
	全体	583	29.8	2.9	13.7	1.5	20.6	26.2	11.3
障害種別	身体	167	34.7	3.6	4.2	4.8	24.6	18.0	13.8
	知的	301	29.2	2.3	16.6	0.3	18.6	32.2	8.3
	精神	9	0.0	0.0	77.8	0.0	22.2	11.1	11.1
	重複	87	26.4	4.6	17.2	0.0	21.8	24.1	11.5
	その他	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0
年代別	20代以下	43	23.3	4.7	9.3	2.3	23.3	32.6	9.3
	30代	59	25.4	1.7	22.0	0.0	20.3	23.7	15.3
	40代	114	23.7	5.3	17.5	0.9	22.8	29.8	7.0
	50代	131	35.1	2.3	17.6	2.3	13.0	26.0	10.7
	60代	126	34.9	1.6	10.3	1.6	21.4	27.8	10.3
	70代以上	101	30.7	3.0	5.9	2.0	26.7	19.8	13.9

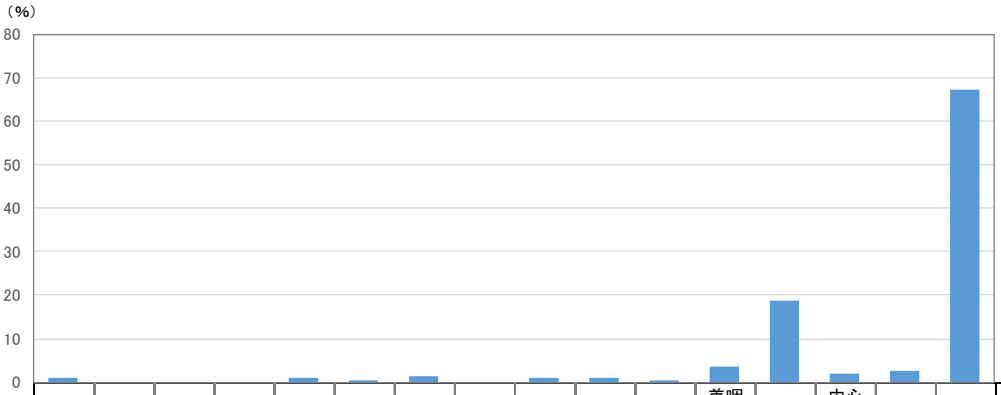
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

② 日常的に必要としている医療的ケア

問 7. あなたは現在、日常的に必要としている医療的ケアがありますか。（MA）

- 日常的に必要している医療的ケアがあるかを尋ねたところ、「特に必要としていない」が 67.2%を占めており、何らかの医療的ケアを必要としている人の割合は 24.7%を占めている。
- 障害種別でみると、身体は「何らかの医療的ケアを必要」としている人の割合が 40.7%を占めており、他と比較して高い。医療的ケアの内容としては、特に「透析」が高い。

図表 69 医療費助成の利用状況



		n数	排便管理	経管栄養	血糖測定	痙攣時の対応*1	人口呼吸器*2	吸引	皮下注射	導尿	気管切開の管理	ネブライザーの管理	酸素療法	美咽頭エアウェイの管理	透析	中心静脈カテーテルの管理	その他	特に必要としていない	無回答	何らか必要
	全体	583	0.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	1.2	0.0	0.9	0.9	0.5	3.4	18.5	1.9	2.7	67.2	8.1	24.7
障害種別	身体	167	1.8	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	1.2	1.2	0.6	10.2	32.9	1.8	3.0	50.3	9.0	40.7
	知的	301	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	1.0	0.7	0.3	1.0	10.0	1.0	2.0	79.4	4.7	15.9
	精神	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	44.4	22.2	33.3
	重複	87	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	25.3	3.4	4.6	62.1	10.3	27.6
	その他	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
年代	20代以下	43	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	4.7	2.3	0.0	2.3	16.3	0.0	0.0	62.8	11.6	5.3
	30代	59	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	5.1	3.4	78.0	6.8	8.7
	40代	114	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	12.3	0.9	2.6	80.7	4.4	8.7
	50代	131	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.8	1.5	0.8	13.0	3.1	2.3	70.2	10.7	8.8
	60代	126	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	0.8	1.6	0.8	7.1	24.6	0.0	3.2	60.3	7.1	4.2
	70代以上	101	2.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	1.0	1.0	0.0	6.9	31.7	2.0	3.0	54.5	8.9	7.1

*1…CPAP 装置等マスク型を含む）
*2…坐剤挿入、吸引、酸素供与、迷走神経刺激装置の作動等の処置

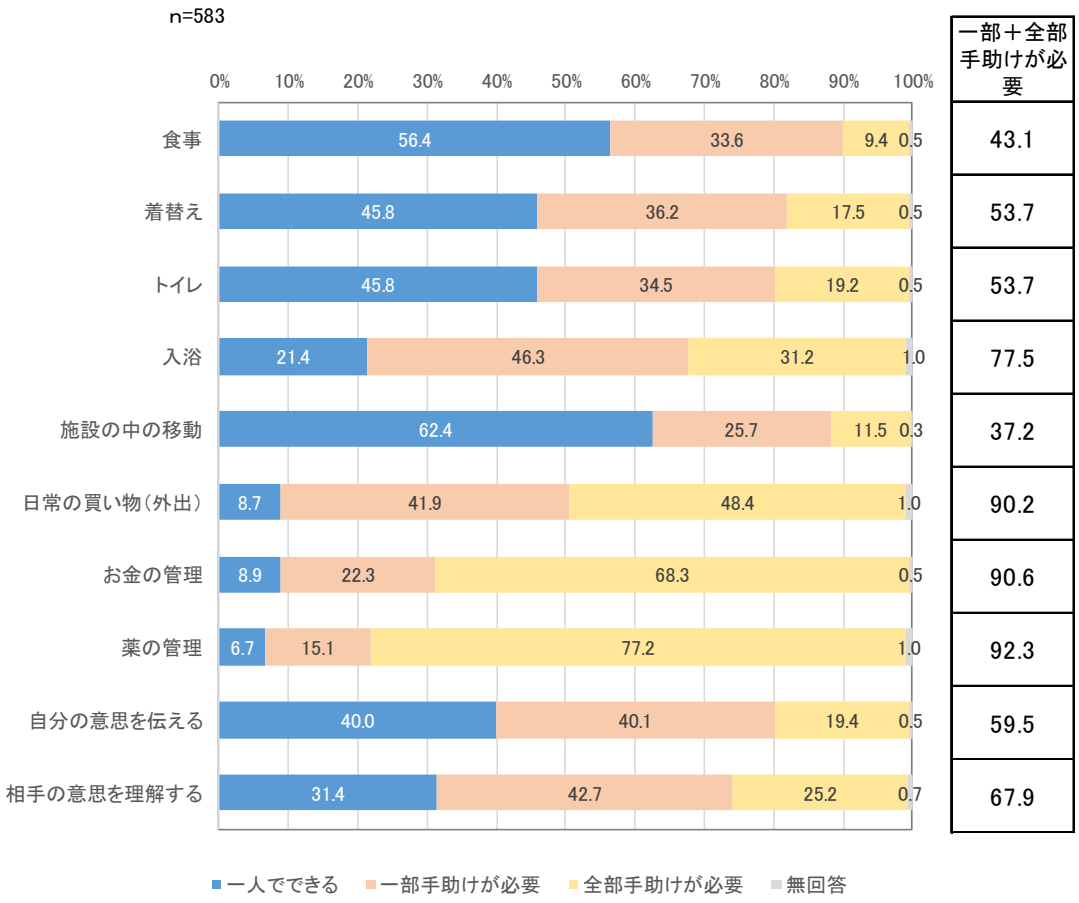
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

③ 日常生活での介助の必要度

問 8. あなたは日常生活 において、自分一人 でできますか。（SAMT）
※補助具等 を使用 している方 は、使用 した状態 で判断 してください。

●日常生活の各項目について、自分一人でできるか、介助が必要かを尋ねた。何らかの手助けが必要（「一部手助けが必要」+「全部手助けが必要」）の割合をみると、「薬の管理」（92.3%）、「お金の管理」（90.6%）、「日常の買い物」（90.2%）は 9 割以上を占めている。一人でできる割合が 5 割を超えているのは、「施設の中の移動」（62.4%）、「食事」（56.4%）の 2 項目のみである。

図表 70 日常生活での介助の必要度



●日常生活の各項目について、何らかの手助けが必要（「一部手助けが必要」＋「全部手助けが必要」）の割合について障害種別でみると、身体は「着替え」「トイレ」「入浴」の割合が他と比較して高い。また、知的や重複は「お金の管理」と「薬の管理」はほとんどすべての人で手助けが必要となっており、その他、「自分の意思を伝える」「相手の意思を理解する」などの割合が身体と比べて高い。

●年齢別でみると、70 代以上は「施設の中の移動」が 48.5%で他と比較して高い。また、20 代以下、30 代では「自分の意思を伝える」「相手の意思を理解する」の比率がそれ以上の年代の人と比べて高い傾向が見られる。

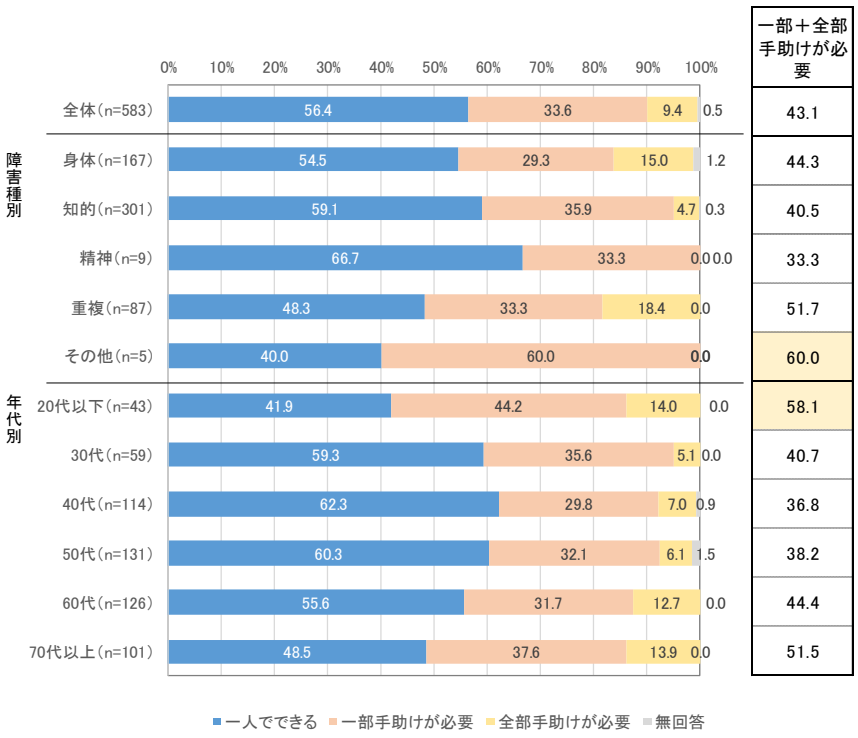
図表 71　日常生活における介助の必要度
（一部手助けが必要＋全部手助けが必要の割合についてクロス集計）

		n数	食事	着替え	トイレ	入浴	施設の中の移動	日常の買い物（外出）	お金の管理	薬の管理	自分の意思を伝える	相手の意思を理解する
全体		583	43.1	53.7	53.7	77.5	37.2	90.2	90.6	92.3	59.5	67.9
障害種別	身体	167	44.3	68.3	69.5	88.0	38.3	87.4	73.1	82.0	28.7	32.9
	知的	301	40.5	45.8	43.9	70.8	32.2	91.7	98.0	97.0	75.1	85.7
	精神	9	33.3	22.2	33.3	44.4	11.1	66.7	77.8	66.7	11.1	22.2
	重複	87	51.7	59.8	63.2	86.2	57.5	92.0	98.9	96.6	70.1	81.6
	その他	5	60.0	20.0	60.0	80.0	20.0	100.0	80.0	100.0	60.0	60.0
同居家族・居住形態別	20代以下	43	58.1	65.1	69.8	83.7	34.9	90.7	95.3	95.3	69.8	79.1
	30代	59	40.7	54.2	50.8	81.4	33.9	89.8	98.3	94.9	76.3	84.7
	40代	114	36.8	44.7	49.1	70.2	32.5	86.8	88.6	92.1	59.6	69.3
	50代	131	38.2	51.9	47.3	78.6	37.4	93.1	93.9	93.1	62.6	68.7
	60代	126	44.4	51.6	55.6	78.6	36.5	89.7	86.5	91.3	45.2	56.3
	70代以上	101	51.5	66.3	61.4	80.2	48.5	91.1	86.1	90.1	58.4	65.3

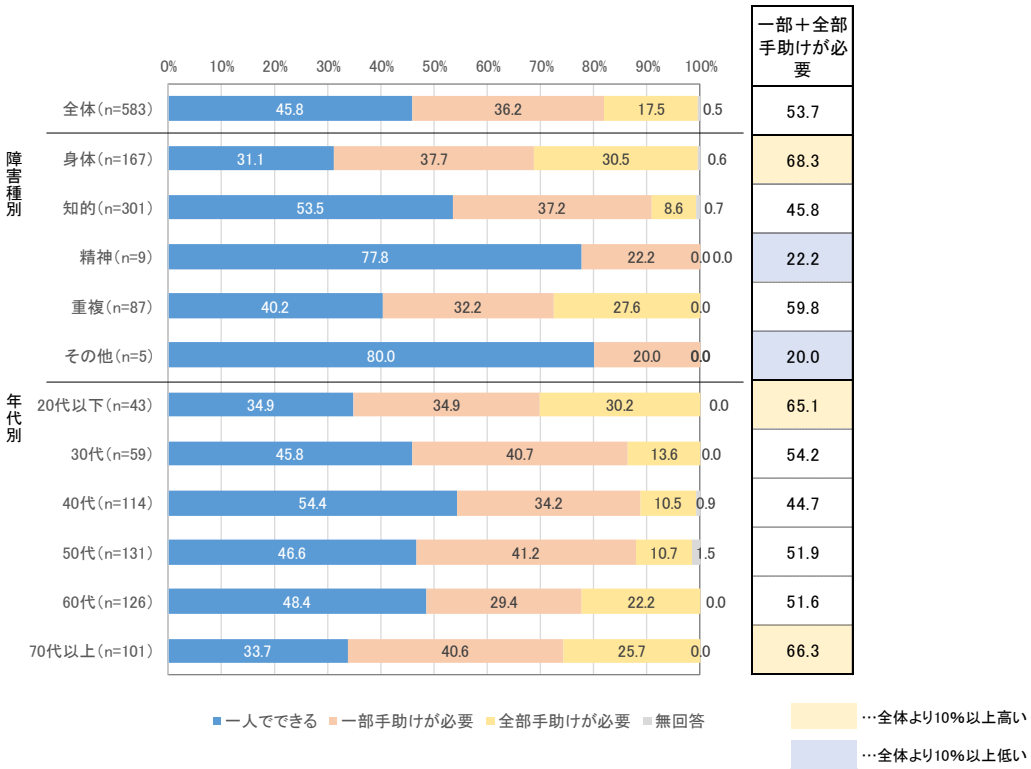
…全体より10%以上高い

…全体より10%以上低い

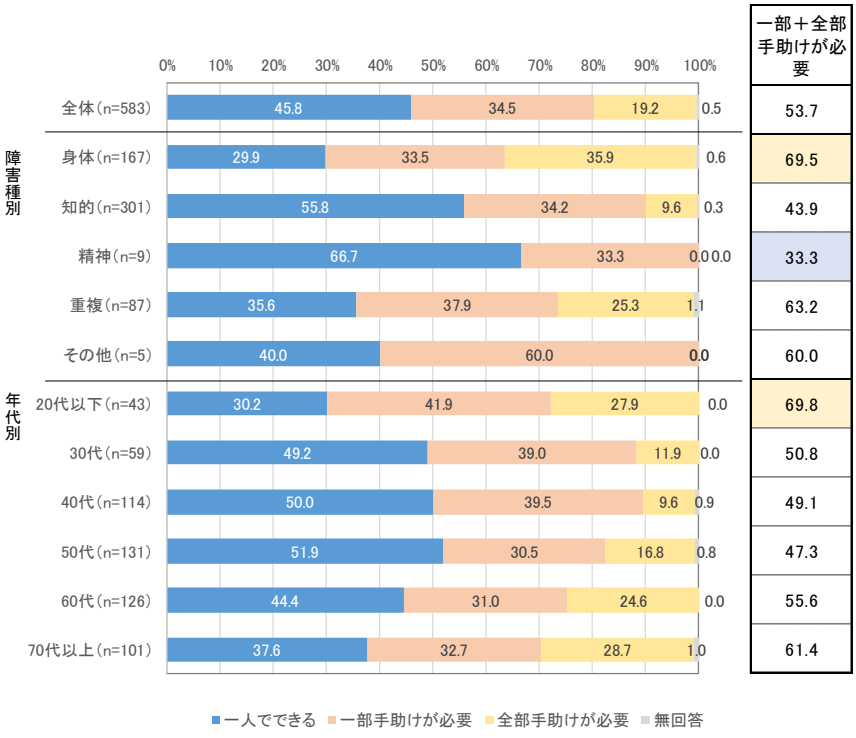
図表 72　日常生活における介助の必要度（食事）



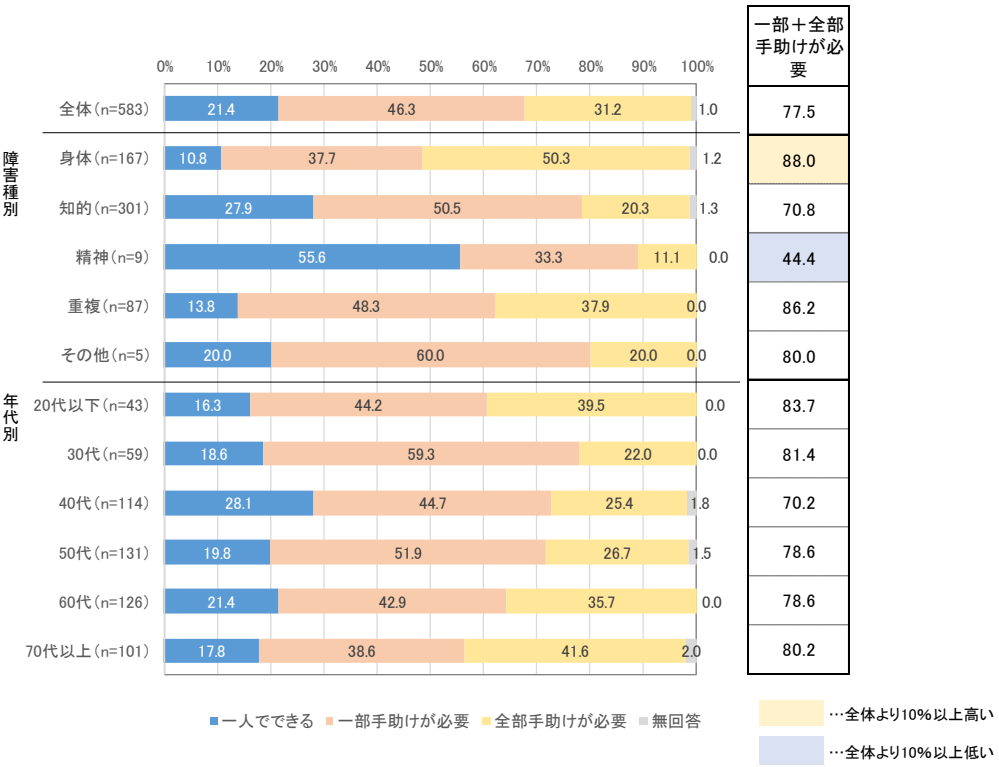
図表 73　日常生活における介助の必要度（着替え）



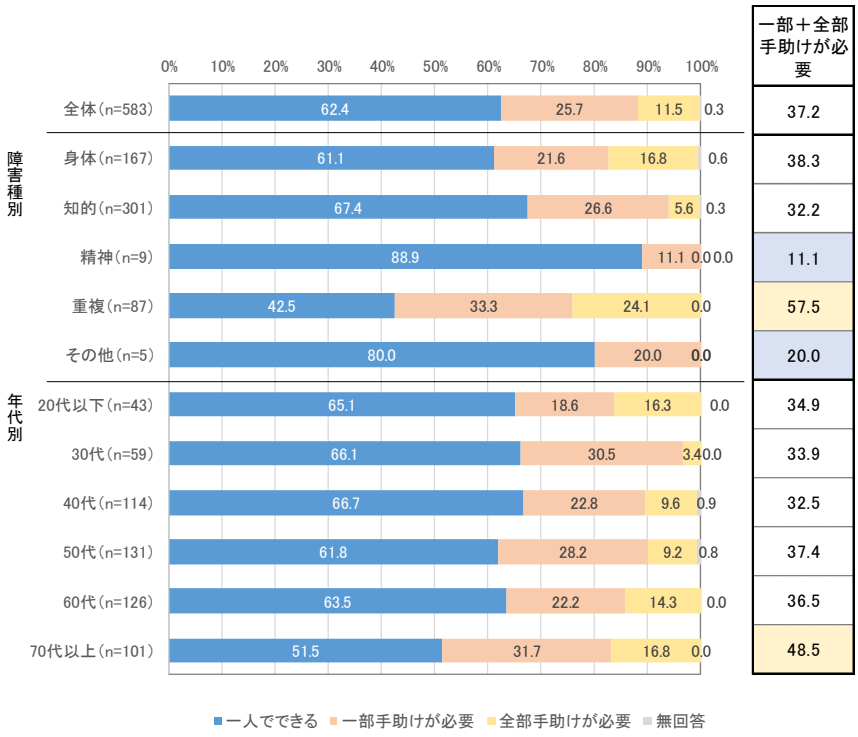
図表 74　日常生活における介助の必要度（トイレ）



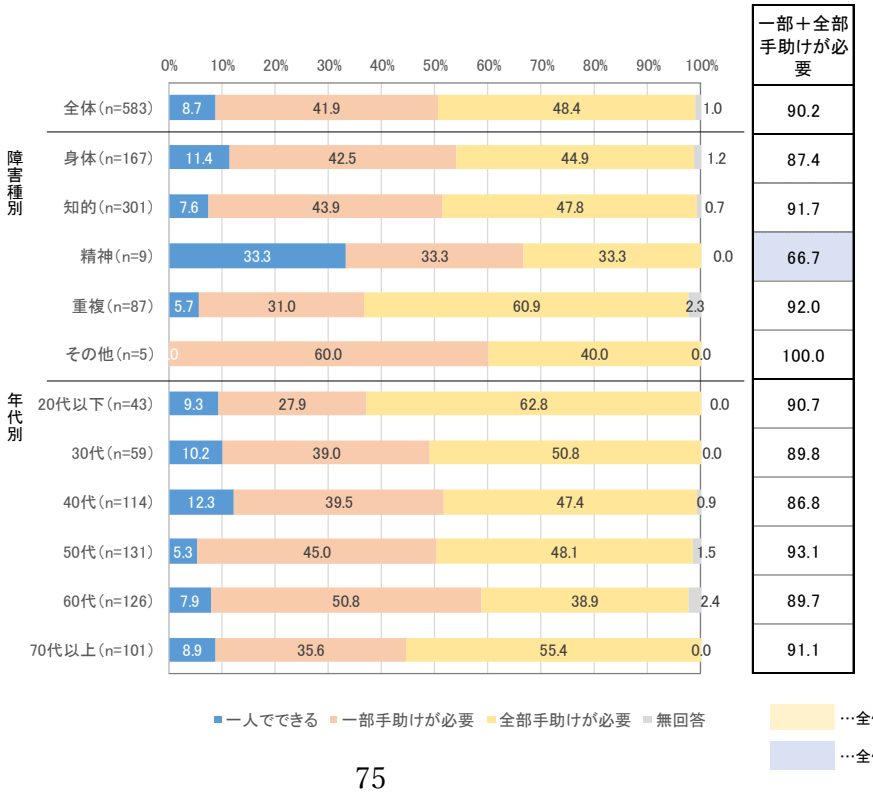
図表 75　日常生活における介助の必要度（入浴）



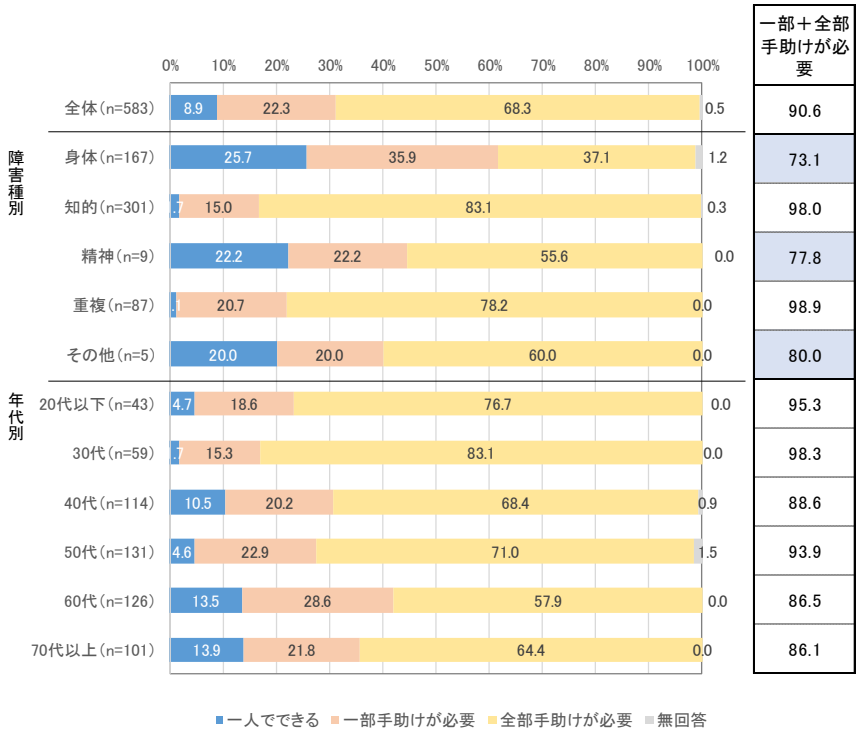
図表 76　日常生活における介助の必要度（施設の中の移動）



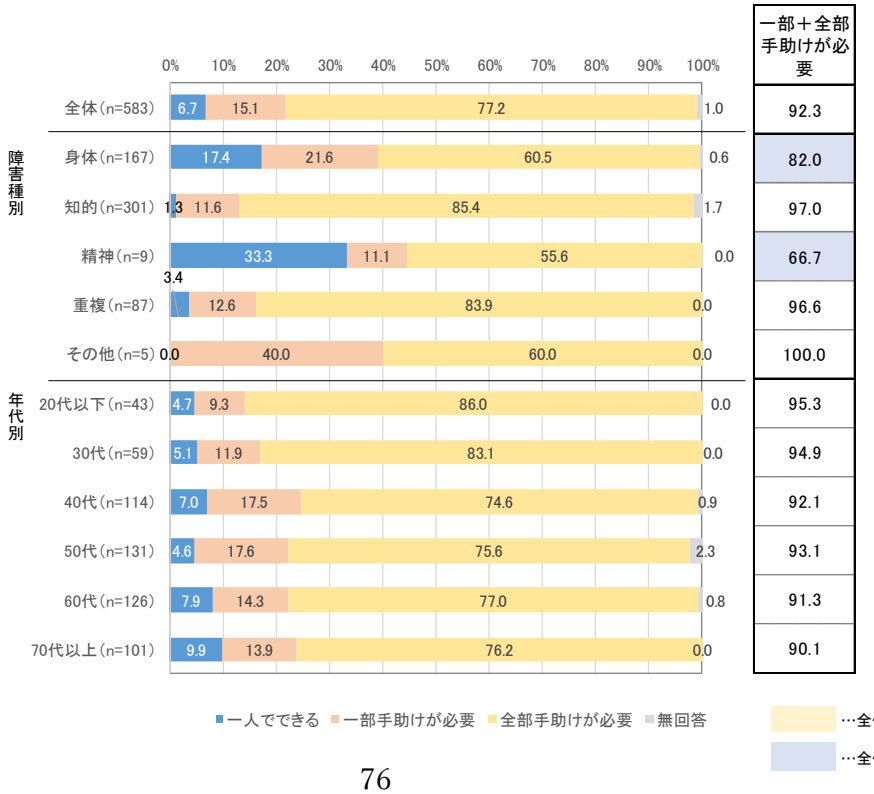
図表 77　日常生活における介助の必要度（日常の買い物（外出））



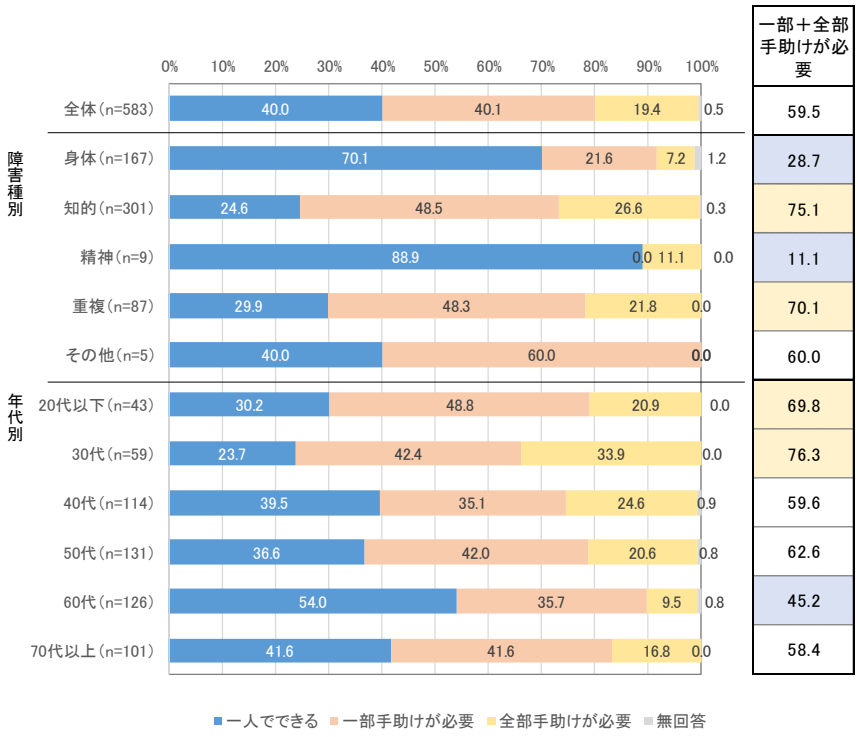
図表 78　日常生活における介助の必要度（お金の管理）



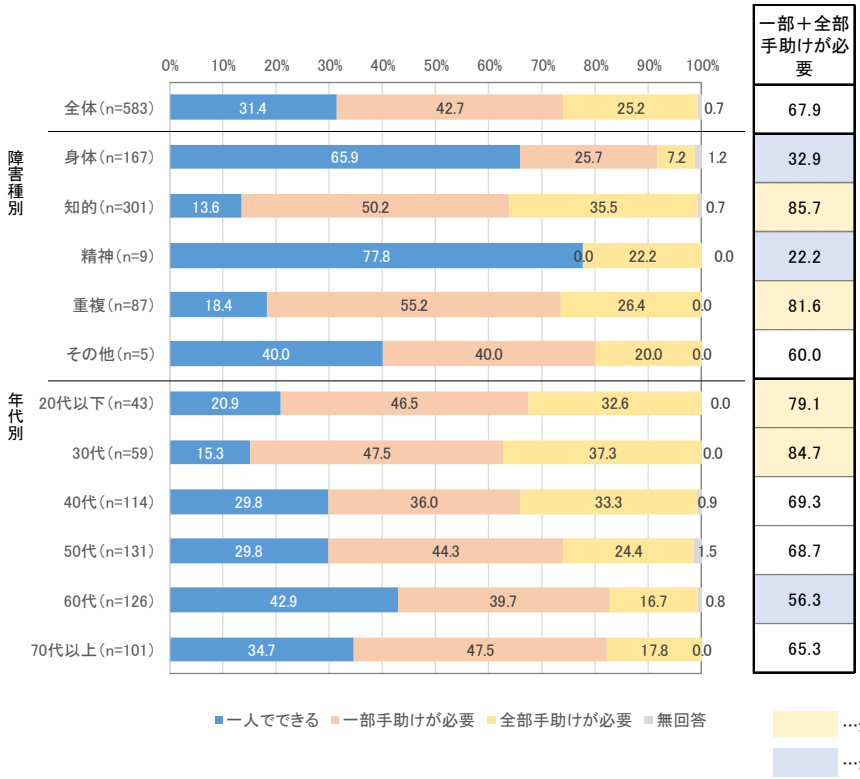
図表 79　日常生活における介助の必要度（薬の管理）



図表 80　日常生活における介助の必要度（自分の意思を伝える）



図表 81　日常生活における介助の必要度（相手の意思を理解する）

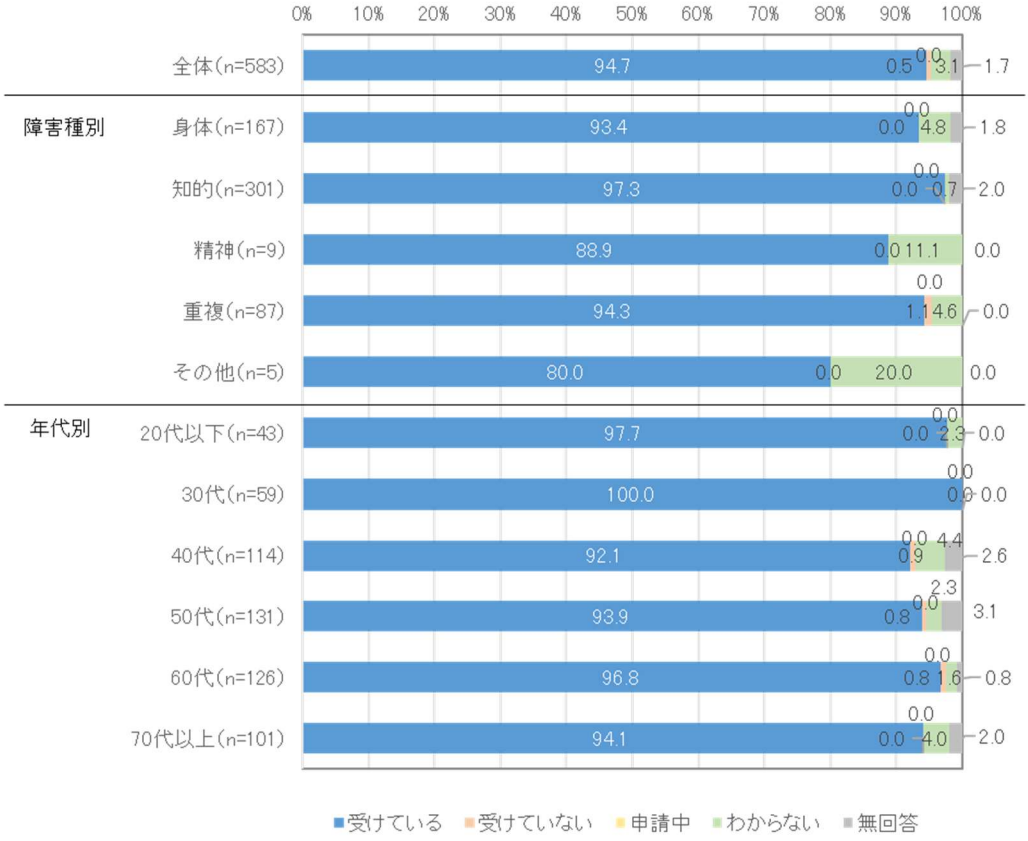


④ 障害者支援区分の認定

問 9. あなたは、障害者支援区分の認定を受けていますか。（SA）

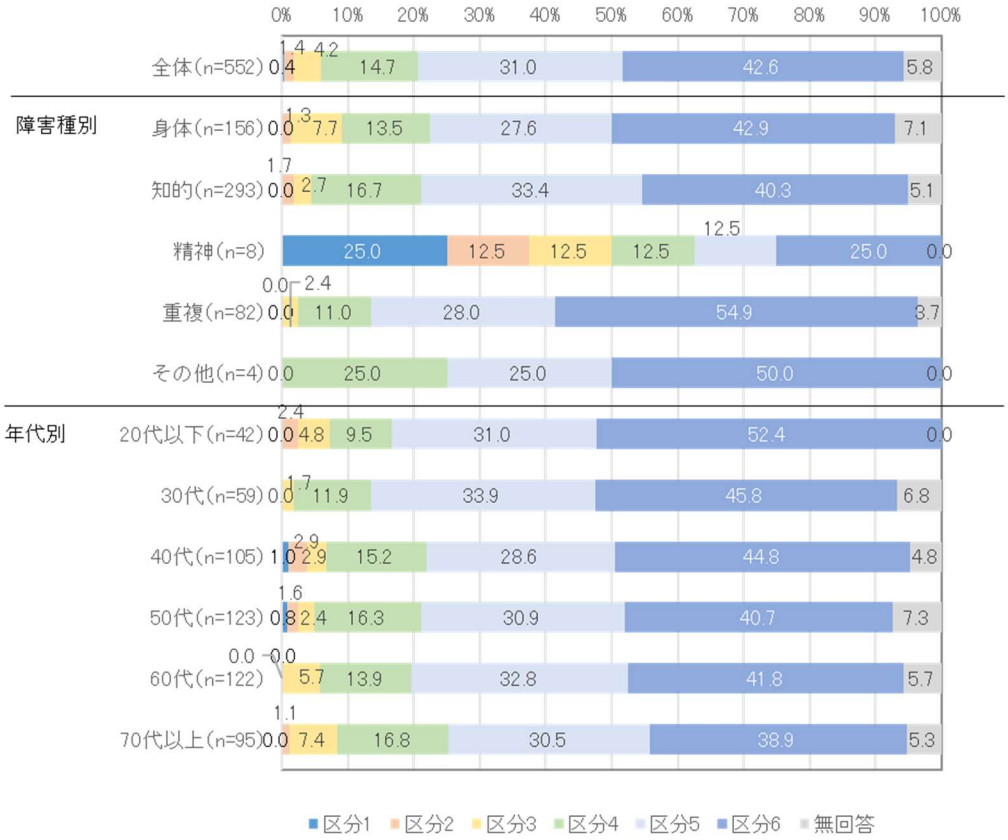
●障害者支援区分の認定を受けているかを尋ねたところ、「受けている」が 94.7%、「受けていない」が 0.5%、「わからない」が 3.1%となった。

図表 82 障害者支援認定区分の認定を受けているか



●障害者支援区分の認定を「受けている」方に対して、現在の障害者支援区分を尋ねたところ、「区分 6」（常時介護が必要）が 42.6%、「区分 5」（生活の一部にかなりの介護が必要）が 31.0%、「区分 4」（日常生活の一部に介助が必要）が 14.7%で、「区分 5」～「区分 6」で 73.6%を占めている。
●障害種別でみると、重複は「区分 6」が 54.9%を占めており、他と比較して高い。
●年代別でみると、年代が低いほど「区分 6」の割合が高い傾向が見られる。

図表 83　現在の障害者支援区分 （障害者支援の認定を受けている人）



（４）障害福祉サービスの利用状況

①障害福祉サービスの利用日数

問 10①．あなたは、令和７年９月の１か月間に、障害福祉サービスをどの程度利用しましたか。
利用したサービスをすべて選び、１か月間の利用日数を記入してください。　（数量）

● １か月間の障害福祉サービスの利用日数を入所施設のサービスと入所施設以外のサービスそれぞれについて尋ねたところ、「生活介護」の利用者数（n＝509）が突出して多く、入所施設のサービスで月間平均 23.8 日、中央値 22.0 日となっている。次いで、「就労継続支援（B 型）」（n=25）で、入所施設のサービスで平均 12.2 日、中央値 7.0 日、入所施設以外のサービスで平均 11.9 日、中央値 12.0 日となっている。

図表 84　障害福祉サービスの 1 か月あたりの利用日数

【平均値】

	n数	入所施設のサービス	入所施設以外のサービス
生活介護	509	23.8 日	1.6 日
自立訓練（機能訓練）	17	18.4 日	0.0 日
自立訓練（生活訓練）	6	24.8 日	3.7 日
就労移行支援	3	20.7 日	14.7 日
就労継続支援（A型）	0	－	－
就労継続支援（B型）	25	12.2 日	11.9 日

【中央値】

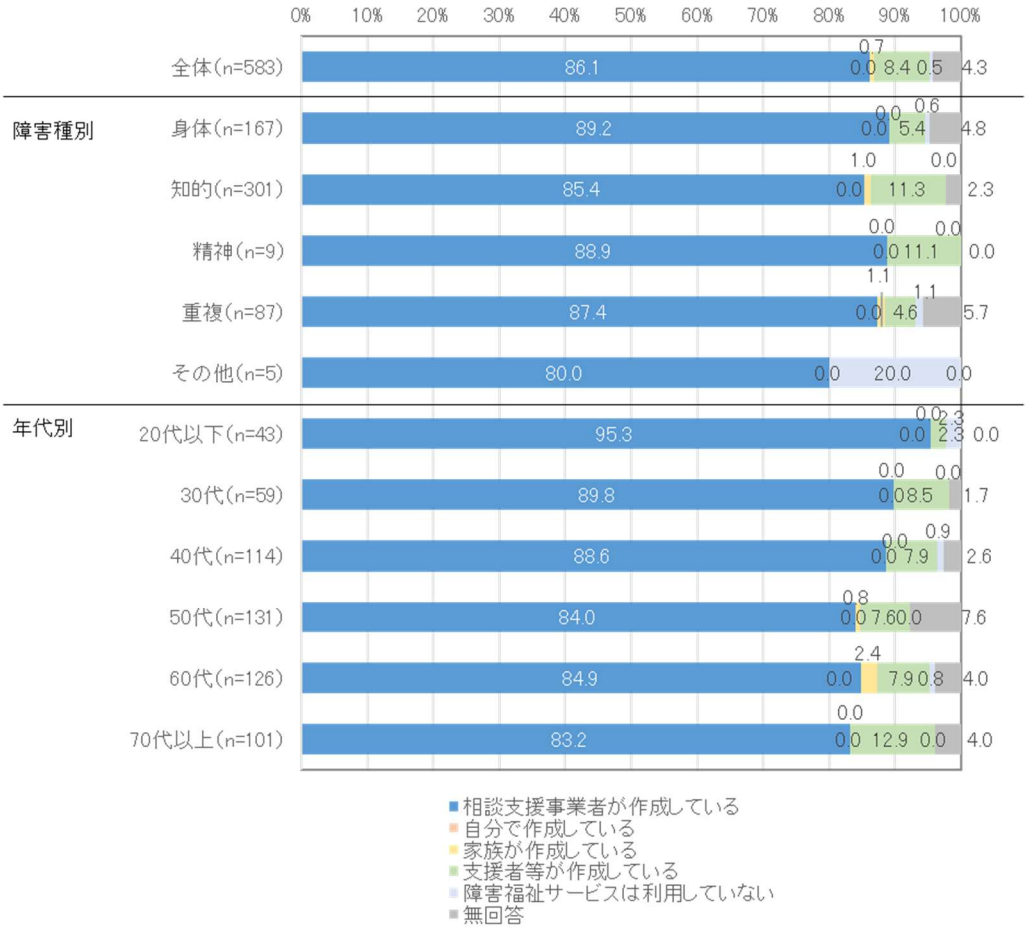
	n数	入所施設のサービス	入所施設以外のサービス
生活介護	509	22.0 日	0.0 日
自立訓練（機能訓練）	17	22.0 日	0.0 日
自立訓練（生活訓練）	6	23.5 日	0.0 日
就労移行支援	3	22.0 日	22.0 日
就労継続支援（A型）	0	－	－
就労継続支援（B型）	25	7.0 日	12.0 日

②「サービス等利用計画」の作成者

問 10②．あなたは、障害福祉サービスを利用するにあたり、「サービス等利用計画」を誰が作成していますか。（SA）

●「サービス等利用計画」の作成者を尋ねたところ、「相談支援事業者が作成している」が 86.1%を占めており突出している。次いで「支援者等が作成している」が 8.4%となっている。
●障害種別でみると、いずれも「相談支援事業者が作成している」割合が突出して高いが、知的では「支援者で作成している」が 11.3%を占めており、他と比較してやや高い。
●年代別でみると、20 代以下は「相談支援事業者が作成している」が 95.3%を占めており、他と比較してやや高い。

図表 85 「サービス等利用計画」の作成者



（５） 収入・資産の状況

① 収入

問 11.あなたの令和７年９月の１か月分の収入額を、それぞれの項目別にお答えください。 （数量）

● １か月分の収入額について費目別に尋ね、各費目の収入額を合計したところ、１か月分の収入額は、平均値 89,241 円／中央値 88,750 円となっている。内訳は、「障害年金など公的年金」が平均値 76,226 円／中央値 81,810 円で、平均値では収入額の 85.4%を占めている。次いで「補足給付」が平均値 5,940 円／中央値 5,250 円、「特別障害者手当などのその他の手当・給付金」が平均値 2,496 円／中央値 0 円などとなっている。

図表 86 １か月分の収入額（平均値・中央値）

（円）

【平均値】		n数	1か月分の収入合計	内訳 賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
全体		433	89,241	1,727	76,226	5,940	777	2,496	1,133	58	882
（構成比%）			100.0%	1.9%	85.4%	6.7%	0.9%	2.8%	1.3%	0.1%	1.0%
障害種別	身体	126	103,522	1,247	87,949	6,436	1,709	3,864	968	0	1,350
	知的	222	88,214	2,477	76,363	5,971	0	1,898	742	99	664
	精神	8	73,066	544	49,289	4,095	11,889	0	0	0	7,250
	重複	65	76,040	381	63,879	5,674	400	2,555	3,000	51	100
	その他	3	34,123	500	28,333	1,790	0	2,167	1,333	0	0
年代別	20代以下	32	78,402	2,484	67,642	5,936	753	1,329	219	7	31
	30代	47	77,478	1,285	66,706	5,497	0	2,733	177	180	900
	40代	85	92,419	2,912	77,802	5,176	1,954	1,722	2,234	124	494
	50代	90	87,420	922	73,719	6,976	0	3,603	1,444	65	691
	60代	97	100,550	1,696	89,350	6,400	1,029	1,350	619	0	106
	70代以上	77	87,416	151	73,144	5,495	603	3,933	1,175	2	2,913

（円）

【中央値】		n数	1か月分の収入合計	内訳 賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
全体		433	88,750	0	81,810	5,250	0	0	0	0	0
障害種別	身体	126	90,000	0	83,750	150	0	0	0	0	0
	知的	222	87,740	0	81,905	5,440	0	0	0	0	0
	精神	8	78,704	0	34,654	2,350	0	0	0	0	0
	重複	65	91,638	0	84,270	5,400	0	0	0	0	0
	その他	3	4,000	0	0	0	0	0	0	0	0
年代別	20代以下	32	88,393	0	85,589	5,055	0	0	0	0	0
	30代	47	86,635	0	81,000	4,710	0	0	0	0	0
	40代	85	90,430	0	85,000	5,310	0	0	0	0	0
	50代	90	89,393	0	77,379	5,510	0	0	0	0	0
	60代	97	90,000	0	80,000	5,340	0	0	0	0	0
	70代以上	77	89,547	0	82,000	3,090	0	0	0	0	0

② 貯蓄・資産

問 12.あなたは以下の貯蓄・資産はありますか（令和 7 年 10 月 1 日現在）。（数量）

●貯蓄・資産について費目別に尋ね、各費目の金額を合計したところ、平均値 347.8 万円／中央値 174.2 万円となっている。内訳は、「預貯金」が平均値 327.8 万円／中央値 160.3 万円で、平均値では合計の 94.3%を占めている。次いで「株式・投資信託」が平均値 15.4 万円／中央値 0 円で、平均値は合計の 4.4%を占めている。

図表 87 貯蓄・資産（平均値・中央値）

（円）

【平均値】		n数	貯蓄・資産計	内訳 現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
全体		324	3,478,184	41,957	3,278,298	33,886	154,321	0	432	30,710
（構成比%）			100.0%	1.2%	94.3%	1.0%	4.4%	0.0%	0.0%	0.9%
障害種別	身体	87	4,304,869	14,844	3,694,677	28,223	574,713	0	1,609	9,195
	知的	176	3,208,695	66,323	3,099,226	43,147	0	0	0	0
	精神	5	−1,290,569	864	538,567	0	0	0	0	1,830,000
	重複	49	3,884,772	10,639	3,871,980	2,153	0	0	0	0
	その他	1	800,000	0	0	800,000	0	0	0	0
年代別	20代以下	24	2,290,404	7,172	2,278,232	5,000	0	0	0	0
	30代	41	2,432,656	24,583	2,360,024	48,050	0	0	0	0
	40代	59	2,296,863	10,824	2,413,517	8,285	0	0	2,373	138,136
	50代	71	2,717,934	27,684	2,705,014	10,589	0	0	0	25,352
	60代	71	3,929,563	76,076	3,815,213	38,274	0	0	0	0
	70代以上	55	6,529,341	7,027	5,523,573	89,651	909,091	0	0	0

（円）

【中央値】		n数	貯蓄・資産計	内訳 現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
全体		324	1,741,500	0	1,602,550	0	0	0	0	0
障害種別	身体	87	1,322,990	0	1,230,000	0	0	0	0	0
	知的	176	2,174,567	3,067	2,000,000	0	0	0	0	0
	精神	5	185,300	0	185,300	0	0	0	0	0
	重複	49	1,750,000	0	1,750,000	0	0	0	0	0
	その他	1	800,000	0	0	800,000	0	0	0	0
年代別	20代以下	24	1,017,800	0	1,000,000	0	0	0	0	0
	30代	41	1,800,000	2,000	1,730,000	0	0	0	0	0
	40代	59	1,091,444	1,474	1,091,444	0	0	0	0	0
	50代	71	2,000,000	5,000	2,000,000	0	0	0	0	0
	60代	71	1,550,000	0	1,300,000	0	0	0	0	0
	70代以上	55	3,890,787	0	3,837,913	0	0	0	0	0

※貯蓄・資産・計 ＝ 「現金・小切手」＋「預貯金」＋「保険料」＋「株式・投資信託」＋「債券」＋「その他預貯金」－「借金」

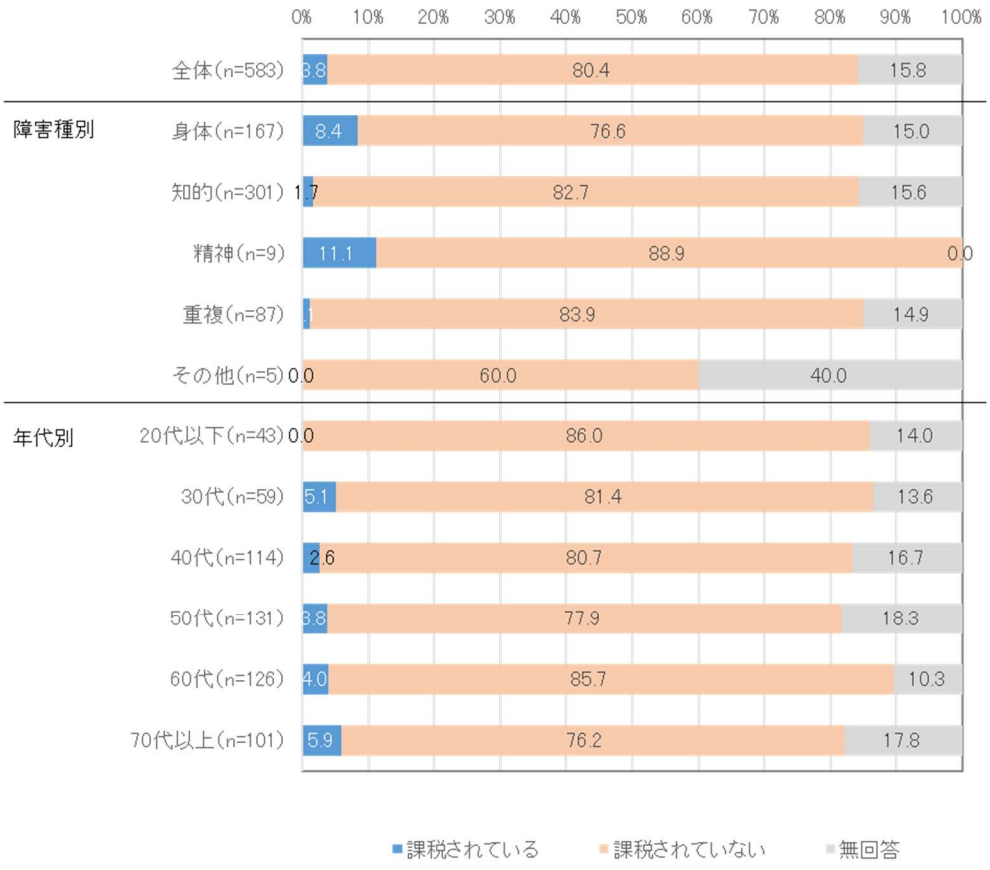
③税金の課税状況・生活保護の受給状況

問 13.あなたの税金の課税状況、生活保護の受給状況について教えてください。　（SAMT）

＜住民税の課税状況＞

●住民税の課税状況を尋ねたところ、「課税されている」が 3.8%、「課税されていない」が 80.4%となっている。
●障害種別でみると、身体では「課税されている」割合が 8.4%で他と比較してやや高い。

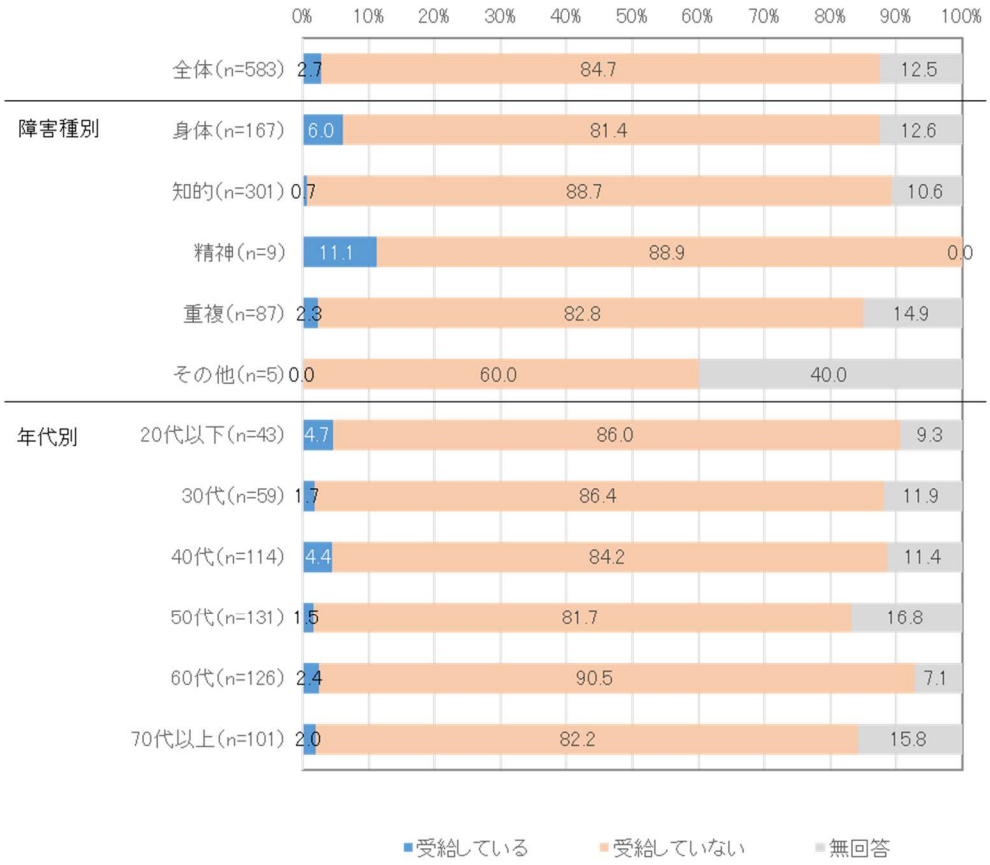
図表 88　税金の課税状況



＜生活保護の受給状況＞

●生活保護の受給状況を尋ねたところ、「受給している」が 2.7%、「受給していない」が 84.7%となっている。

図表 89 生活保護の受給状況



（６）支出の状況

問 14.あなたの令和 7 年 9 月の支出額を教えてください。
①障害者支援施設に支払ったものと、②それ以外で支払ったものとで分けてお答えください。（数量）

● 1 か月分の支出額について、障害者支援施設への支払額と施設以外への支払額を費目別に尋ね、各費目の金額を合計したところ、合計（1 か月分の総支出額）は、平均値 77,725 円／中央値 60,360 円となっている。平均値の内訳は、障害支援施設への支払額が 67,352 円（86.7%）、施設以外への支払額が 10,372 円（13.3%）となっている。施設への支払いでは「食費」「サービス利用料」「水道光熱費」、施設以外では「食費」「保険医療費」「教養娯楽費」などとなっている。

図表 90　1か月分の支出額（平均値・中央値）

n=467

		平均値（円）	構成比（%）	中央値（円）
施設への支払額	施設入所支援のサービス利用料	24,221	31.2%	0
	日中サービス利用料	5,575	7.2%	0
	室料	622	0.8%	0
	食費（自己負担分）	28,235	36.3%	38,527
	水道光熱費（自己負担分）	6,976	9.0%	8,250
	その他	1,724	2.2%	0
	小計	**67,352**	**86.7%**	**53,758**
施設以外への支払額	食費	1,702	2.2%	0
	保健医療費	1,713	2.2%	0
	交通費	332	0.4%	0
	情報通信費	677	0.9%	0
	教育費	12	0.0%	0
	教養娯楽費	1,710	2.2%	0
	その他	3,173	4.1%	0
	税金・保険料	1,053	1.4%	0
	小計	**10,372**	**13.3%**	**5,000**
合計		**77,725**	**100.0%**	**60,360**

● 1か月分の総支出額について障害種別でみると、平均額は知的が 79,093 円、重複が 75,294 円、身体が 72,928 円となっている。
● 中央値でみると、身体が 62,431 円、知的が 60,100 円、重複が 58,302 円となっている。

図表 91　1か月分の支出額（平均値） 障害種別

		全体		身体		知的	
		n=467		n=140		n=247	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
施設への支払額	施設入所支援のサービス利用料	24,221	31.2%	20,710	28.4%	24,791	31.3%
	日中サービス利用料	5,575	7.2%	674	0.9%	7,472	9.4%
	室料	622	0.8%	701	1.0%	778	1.0%
	食費（自己負担分）	28,235	36.3%	26,723	36.6%	29,071	36.8%
	水道光熱費（自己負担分）	6,976	9.0%	5,715	7.8%	7,425	9.4%
	その他	1,724	2.2%	1,976	2.7%	1,643	2.1%
	小計	**67,352**	**86.7%**	**56,498**	**77.5%**	**71,180**	**90.0%**
施設以外への支払額	食費	1,702	2.2%	2,673	3.7%	1,308	1.7%
	保健医療費	1,713	2.2%	2,061	2.8%	1,659	2.1%
	交通費	332	0.4%	580	0.8%	249	0.3%
	情報通信費	677	0.9%	1,946	2.7%	124	0.2%
	教育費	12	0.0%	4	0.0%	21	0.0%
	教養娯楽費	1,710	2.2%	2,183	3.0%	1,625	2.1%
	その他	3,173	4.1%	5,676	7.8%	2,004	2.5%
	税金・保険料	1,053	1.4%	1,306	1.8%	924	1.2%
	小計	**10,372**	**13.3%**	**16,430**	**22.5%**	**7,914**	**10.0%**
合計		**77,725**	**100.0%**	**72,928**	**100.0%**	**79,093**	**100.0%**

		精神		重複		その他	
		n=7		n=67		n=1	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
施設への支払額	サービス利用料	41,023	39.6%	23,112	30.7%	65,000	100.0%
	住居費（家賃・部屋代など）	29,959	28.9%	4,222	5.6%	0	0.0%
	食費（自己負担分）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	食費（自己負担分）	19,616	18.9%	30,248	40.2%	0	0.0%
	水道光熱費（自己負担分）	4,769	4.6%	8,207	10.9%	0	0.0%
	その他費目の支払額	307	0.3%	1,786	2.4%	0	0.0%
	小計	**95,673**	**92.4%**	**67,575**	**89.7%**	**65,000**	**100.0%**
施設以外への支払額	食費	143	0.1%	1,320	1.8%	0	0.0%
	保健医療費	1,504	1.5%	1,327	1.8%	0	0.0%
	交通費	1,429	1.4%	39	0.1%	0	0.0%
	情報通信費	850	0.8%	104	0.1%	0	0.0%
	教育費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	教養娯楽費	221	0.2%	1,345	1.8%	0	0.0%
	その他	3,346	3.2%	2,424	3.2%	0	0.0%
	税金・保険料	429	0.4%	1,160	1.5%	0	0.0%
	小計	**7,922**	**7.6%**	**7,719**	**10.3%**	**0**	**0.0%**
合計		**103,595**	**100.0%**	**75,294**	**100.0%**	**65,000**	**100.0%**

図表 92　1か月分の支出額（中央値）　障害種別

（円）

		全体	身体	知的	精神	重複	その他
		n=467	n=140	n=247	n=7	n=67	n=1
施設への支払額	施設入所支援のサービス利用料	0	0	0	30,000	0	65,000
	日中サービス利用料	0	0	0	0	0	0
	室料	0	0	0	0	0	0
	食費（自己負担分）	38,527	37,770	39,000	6,900	38,850	0
	水道光熱費（自己負担分）	8,250	6,354	8,280	0	9,184	0
	その他	0	0	0	0	650	0
	小計	**53,758**	**54,400**	**53,700**	**54,780**	**53,459**	**65,000**
施設以外への支払額	食費	0	0	0	0	0	0
	保健医療費	0	0	0	0	0	0
	交通費	0	0	0	0	0	0
	情報通信費	0	0	0	0	0	0
	教育費	0	0	0	0	0	0
	教養娯楽費	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	税金・保険料	0	0	0	0	0	0
	小計	**5,000**	**7,150**	**4,790**	**5,000**	**3,600**	**0**
合計		**60,360**	**62,431**	**60,100**	**61,900**	**58,302**	**65,000**

● 1か月分の総支出額について年代別でみると、平均額は 40 代が 93,843 円で最も高く、70 代以上が 68,952 円で最も低い。

● 中央値でみると、40 代が 63,900 円で最も高く、40 代以上は 60,000 円以上となっている。一方で、20 代以下、30 代では 57,000 円台となっており、年代による差が見られる。

図表 93　1か月分の支出額 （平均値） 年代別

		全体		20代以下		30代		40代	
		n=467		n=39		n=51		n=79	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
施設への支払額	施設入所支援のサービス利用料	24,221	31.2%	25,014	33.8%	21,511	29.6%	33,499	35.7%
	日中サービス利用料	5,575	7.2%	10,722	14.5%	7,228	9.9%	8,316	8.9%
	室料	622	0.8%	1,115	1.5%	373	0.5%	0	0.0%
	食費（自己負担分）	28,235	36.3%	21,230	28.7%	27,088	37.2%	30,305	32.3%
	水道光熱費（自己負担分）	6,976	9.0%	5,346	7.2%	6,643	9.1%	8,515	9.1%
	その他	1,724	2.2%	1,690	2.3%	1,187	1.6%	1,194	1.3%
	小計	**67,352**	**86.7%**	**65,118**	**88.0%**	**64,031**	**88.0%**	**81,829**	**87.2%**
施設以外への支払額	食費	1,702	2.2%	1,656	2.2%	1,339	1.8%	2,322	2.5%
	保健医療費	1,713	2.2%	915	1.2%	2,020	2.8%	2,282	2.4%
	交通費	332	0.4%	135	0.2%	423	0.6%	197	0.2%
	情報通信費	677	0.9%	761	1.0%	603	0.8%	1,006	1.1%
	教育費	12	0.0%	0	0.0%	100	0.1%	0	0.0%
	教養娯楽費	1,710	2.2%	529	0.7%	1,427	2.0%	2,222	2.4%
	その他	3,173	4.1%	4,346	5.9%	1,418	1.9%	3,315	3.5%
	税金・保険料	1,053	1.4%	508	0.7%	1,390	1.9%	670	0.7%
	小計	**10,372**	**13.3%**	**8,851**	**12.0%**	**8,721**	**12.0%**	**12,014**	**12.8%**
合計		**77,725**	**100.0%**	**73,969**	**100.0%**	**72,752**	**100.0%**	**93,843**	**100.0%**

		50代		60代		70代以上	
		n=103		n=105		n=85	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
施設への支払額	施設入所支援のサービス利用料	22,822	29.3%	20,945	27.1%	22,127	32.1%
	日中サービス利用料	7,115	9.1%	3,148	4.1%	953	1.4%
	室料	481	0.6%	663	0.9%	1,279	1.9%
	食費（自己負担分）	29,440	37.8%	30,894	40.0%	26,607	38.6%
	水道光熱費（自己負担分）	6,624	8.5%	6,666	8.6%	7,478	10.8%
	その他	2,555	3.3%	1,826	2.4%	1,520	2.2%
	小計	**69,036**	**88.6%**	**64,142**	**83.0%**	**59,965**	**87.0%**
施設以外への支払額	食費	1,766	2.3%	1,515	2.0%	1,514	2.2%
	保健医療費	1,348	1.7%	1,853	2.4%	1,639	2.4%
	交通費	120	0.2%	537	0.7%	518	0.8%
	情報通信費	338	0.4%	1,037	1.3%	381	0.6%
	教育費	0	0.0%	5	0.0%	0	0.0%
	教養娯楽費	1,455	1.9%	2,560	3.3%	989	1.4%
	その他	2,871	3.7%	4,359	5.6%	2,621	3.8%
	税金・保険料	975	1.3%	1,272	1.6%	1,325	1.9%
	小計	**8,874**	**11.4%**	**13,138**	**17.0%**	**8,987**	**13.0%**
合計		**77,910**	**100.0%**	**77,279**	**100.0%**	**68,952**	**100.0%**

図表 94　1か月分の支出額（中央値）年代別

（円）

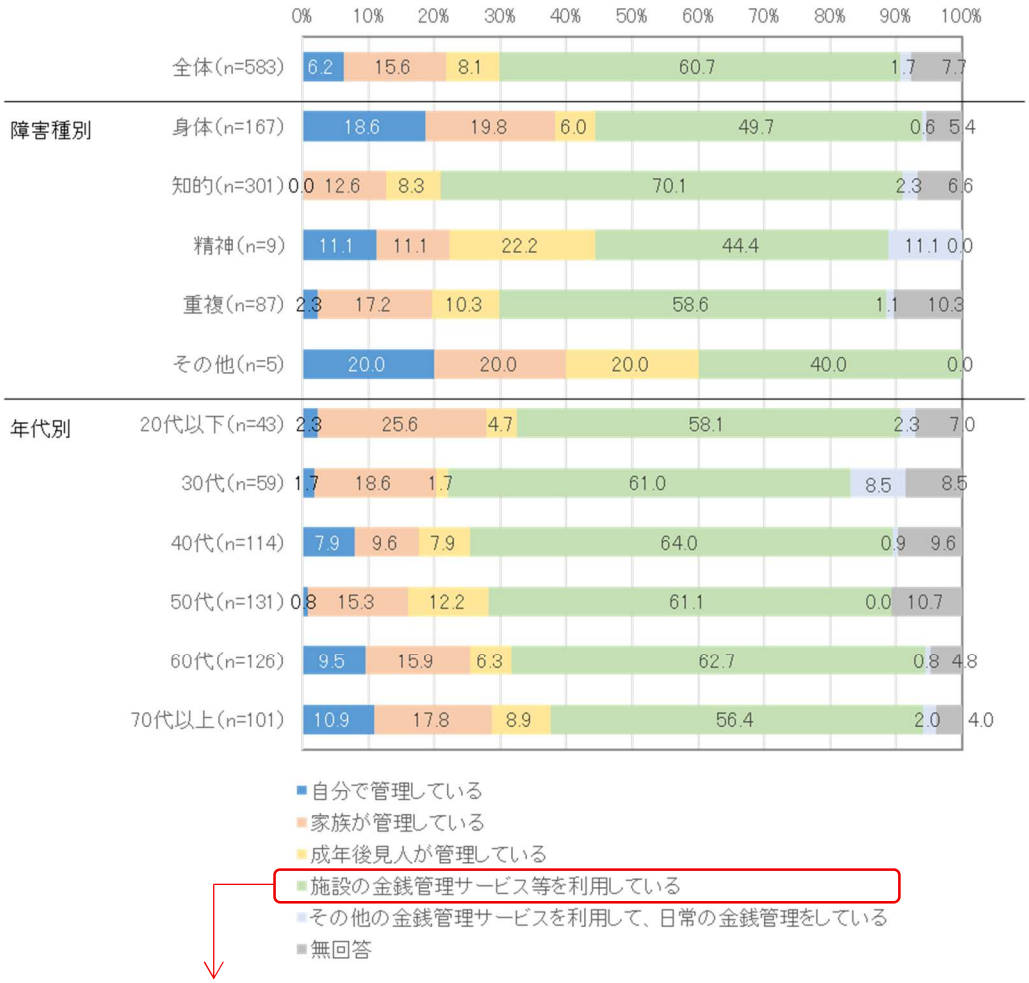
		全体	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
		n=467	n=39	n=51	n=79	n=103	n=105	n=85
施設への支払額	施設入所支援のサービス利用料	0	0	0	0	0	0	0
	日中サービス利用料	0	0	0	0	0	0	0
	室料	0	0	0	0	0	0	0
	食費（自己負担分）	38,527	10,000	38,640	41,400	38,070	39,835	38,006
	水道光熱費（自己負担分）	8,250	6,536	6,289	9,120	8,280	9,300	7,559
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	小計	**53,758**	**50,410**	**52,478**	**53,770**	**54,890**	**54,240**	**54,000**
施設以外への支払額	食費	0	0	0	0	0	0	0
	保健医療費	0	0	0	0	0	0	0
	交通費	0	0	0	0	0	0	0
	情報通信費	0	0	0	0	0	0	0
	教育費	0	0	0	0	0	0	0
	教養娯楽費	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	税金・保険料	0	0	0	0	0	0	0
	小計	**5,000**	**3,300**	**5,000**	**7,000**	**4,290**	**4,892**	**5,000**
合計		**60,360**	**57,718**	**57,113**	**63,900**	**60,950**	**60,621**	**60,100**

（７）収入・支出の管理

問 15.あなたの収入・支出について、日常の管理はどなたが行っていますか。（SA）

- 収入・支出について日常の管理はどなたが行っているかを尋ねたところ、「施設の金銭管理サービスを利用している」が 60.7%、「家族が管理している」が 15.6%、「成年後見人が管理している」が 8.1%、「自分で管理している」が 6.2%となっている。
- 障害種別でみると、身体では「自分で管理している」が 18.6%で他と比較してやや高い。
- 年代別でみると、20 代以下では、「家族が管理している」が 25.6%で他と比較して高い。
- 施設の金銭管理サービスを利用していると回答した人に対して、月額利用料を尋ねたところ、平均値が 6,078 円、中央値で 1,500 円となっている。

図表 95　日常で収入・支出を管理する人



月額利用料（n=262）
平均値：6,078 円
中央値：1,500 円

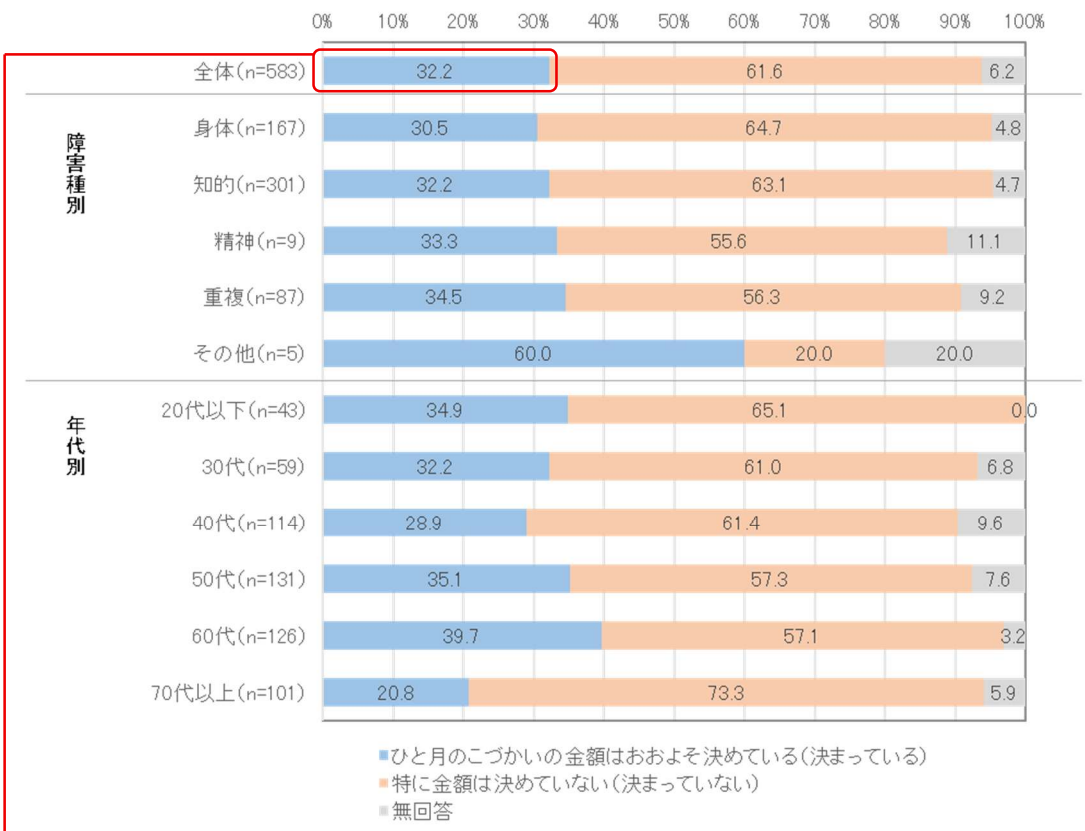
（８）暮らしの状況

問 16.あなたは、自由に使えるお金（こづかい）の金額はだいたい決まっていますか。（SA）

●自由に使えるお金（こづかい）の金額が決まっているかを尋ねたところ、「ひと月のこづかいの金額はおおよそ決めている（決まっている）」が 32.2%、「特に金額は決めていない（決まっていない）」が 61.6%となっている。

●「ひと月のこづかいの金額はおおよそ決めている（決まっている）」と回答した人に対して、おおよそのひと月分のこづかいの金額を尋ねたところ、平均値が 9,539 円、中央値が 7,500 円となっている。

図表 96　自由に使えるお金（こづかい）の金額がきまっているか



おおよその1か月分のこづかい金額（n＝183）
平均値：9,539 円
中央値：7,500 円

【３】高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査

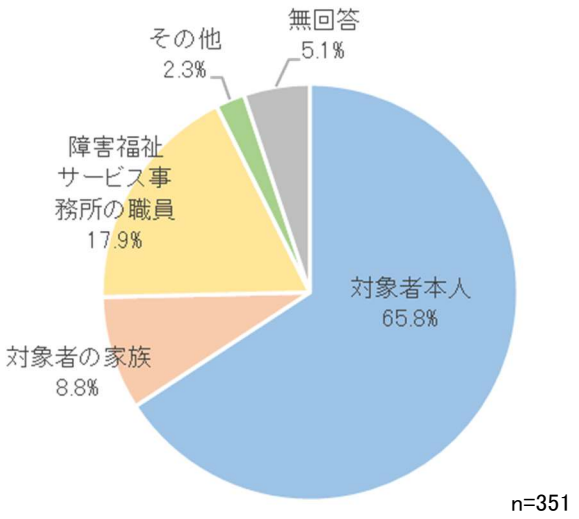
（１）回答者属性

① アンケート回答者

問 1.このアンケートに回答される方はどなたですか。（SA）

●アンケート回答者は、「対象者本人」が 65.8%で突出しており、これに、「障害福祉サービス事務所の職員」が 17.9%、「家族」が 8.8%で続いている。

図表 97 アンケート回答者



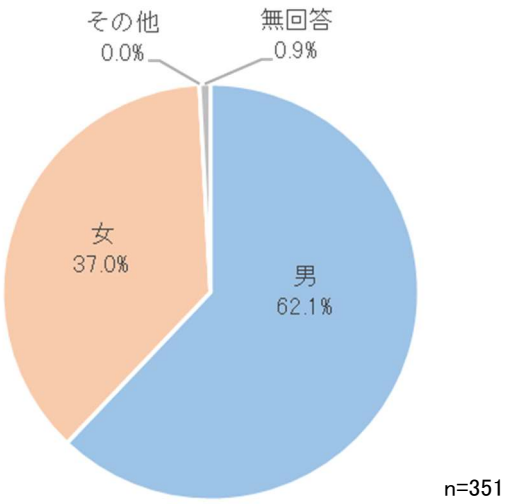
	n	%
対象者本人	231	65.8
対象者の家族	31	8.8
障害福祉サービス事務所の職員	63	17.9
その他	8	2.3
無回答	18	5.1
全体	351	100.0

② 性別

問 2.あなたの性別を教えてください。（SA）

●性別は「男性」が 62.1%、「女性」が 37.0%を占めている。

図表 98 性別



	n	%
男	218	62.1
女	130	37.0
その他	0	0.0
無回答	3	0.9
全体	351	100.0

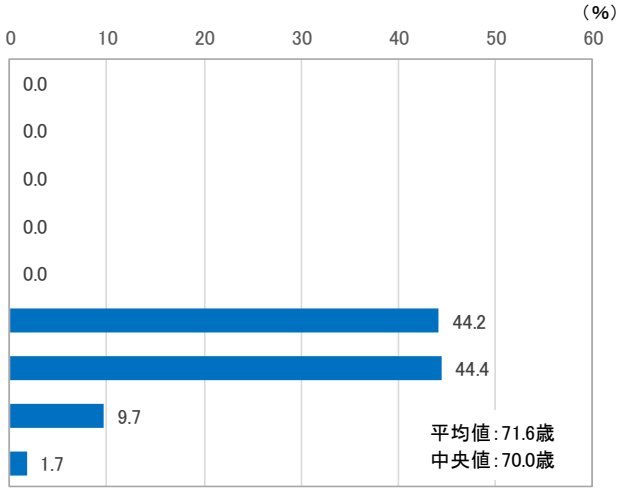
③ 年齢

問 3.あなたの年齢は何歳ですか（令和 7 年 10 月 1 日現在）。（数量）

●年齢は「60 代」が 44.2%、「70 代」が 44.4%を占めており、平均値は 71.6 歳、中央値は 70.0 歳となっている。
※市区町村に対して、「65 歳以上で障害福祉サービスの支給決定がされている方」を対象に調査票の送付を依頼している。

図表 99 年齢

	n	%
20歳未満	0	0.0
20代	0	0.0
30代	0	0.0
40代	0	0.0
50代	0	0.0
60代	155	44.2
70代	156	44.4
80代以上	34	9.7
無回答	6	1.7
全体	351	100.0



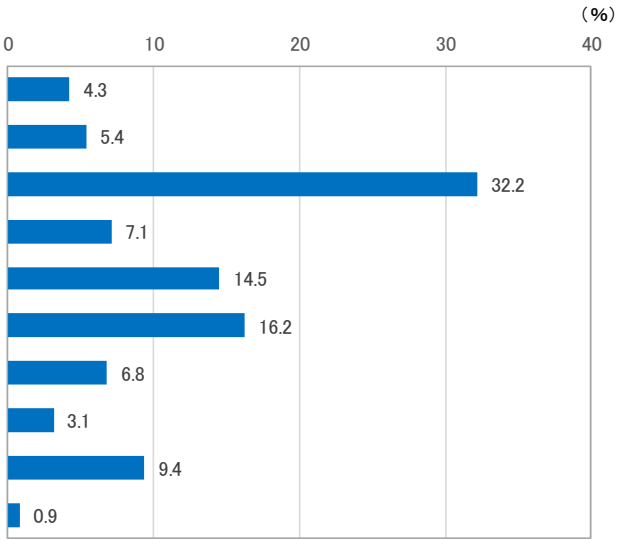
④ 居住地

問 4.あなたのお住いの地域（都道府県・市区町村）をご記入ください。（FA）

●住まいの地域（都道府県・市区町村）の回答から居住地域に分類して集計したところ、「関東」が 32.2%、「近畿」が 16.2%、「東海」が 14.5%、「九州・沖縄」が 9.4%の順となっている。

図表 100 居住地

	n	%
北海道	15	4.3
東北	19	5.4
関東	113	32.2
北陸・甲信越	25	7.1
東海	51	14.5
近畿	57	16.2
中国	24	6.8
四国	11	3.1
九州・沖縄	33	9.4
無回答	3	0.9
全体	351	100.0

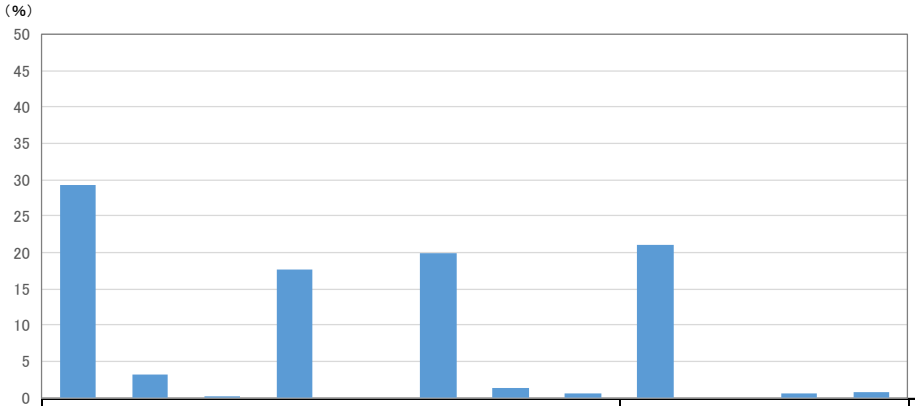


⑤ 住まいの種類

問 5.あなたの現在の生活の場（お住い）・お住いの種類はどこですか。 ※家族名義の家に住んでいる場合も「持ち家」とします。 （SA）

- 住まいの種類は、「戸建て住宅（持ち家）」が 29.3%、「障害者支援施設」が 21.1%、「グループホーム」が 19.9%、「集合住宅（賃貸マンション・アパート）」が 17.7%で続いている。自宅で生活しているか、施設に入所しているかで分類して集計すると、自宅で生活が 72.4%、施設に入所が 22.5%となっている（グループホームやサービス付高齢者住宅・有料老人ホームは自宅で生活に含めて集計）。
- 障害種別でみると、知的は「グループホーム」が 34.5%と他と比較して高い。また精神では施設に入所している人の割合が 9.7%で他と比較して低い（自宅で生活している人の比率が高い）。

表 101 住まいの種類



		n数	自宅で生活								施設に入所				無回答	自宅で生活・計	施設に入所・計
			戸建て住宅（持ち家）	戸建て住宅（賃貸）	集合住宅（分譲マンション）	集合住宅（賃貸マンション・アパート）	社宅・職員寮・学生寮など	グループホーム	サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム	その他	障害者支援施設	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	その他			
	全体	351	29.3	3.1	0.3	17.7	0.0	19.9	1.4	0.6	21.1	0.0	0.6	0.9	5.1	72.4	22.5
障害種別	身体	131	34.4	2.3	0.8	21.4	0.0	8.4	2.3	0.0	22.1	0.0	1.5	0.0	6.9	69.5	23.7
	知的	87	17.2	1.1	0.0	11.5	0.0	34.5	0.0	1.1	28.7	0.0	0.0	2.3	3.4	65.5	31.0
	精神	103	35.9	5.8	0.0	19.4	0.0	22.3	1.9	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	4.9	85.4	9.7
	重複	18	16.7	0.0	0.0	22.2	0.0	16.7	0.0	0.0	38.9	0.0	0.0	0.0	5.6	55.6	38.9
	その他	12	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	66.7	33.3

…全体より10%以上高い

…全体より10%以上低い

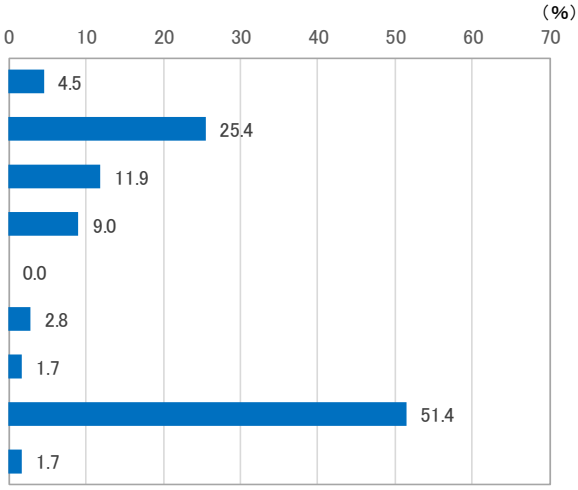
⑥ 同居家族

問 6 ①あなたは現在、誰と一緒に生活していますか（同居家族）。（MA）
※戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方が回答

●戸建て住宅や集合住宅に住んでいる人に対して、誰と一緒に生活しているか（同居家族）を尋ねたところ、「同居家族はいない（ひとり暮らし）」が 51.4%で最も高い。次いで「配偶者」が 25.4%で続いている。

図表 102 同居家族 （戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方）

	n	%
親	8	4.5
配偶者（夫または妻）	45	25.4
兄弟姉妹	21	11.9
子ども	16	9.0
祖父母	0	0.0
孫	5	2.8
その他	3	1.7
同居家族はいない（ひとり暮らし）	91	51.4
無回答	3	1.7
全体	177	100.0

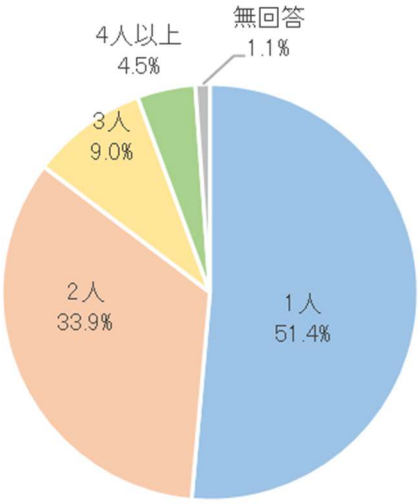


⑦ 同居家族人数（世帯人数）

問 6 ②あなたを含めた同居家族の人数（世帯人数）を教えてください。（数量）
※戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方が回答

●戸建て住宅や集合住宅に住んでいる人に対して、同居家族人数を尋ねたところ、「1 人」が 51.4%、「2 人」が 33.9%、「3 人」が 9.0%。

図表 103 同居家族人数 （戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方）



平均値:1.7人
中央値:1.0人

n=177

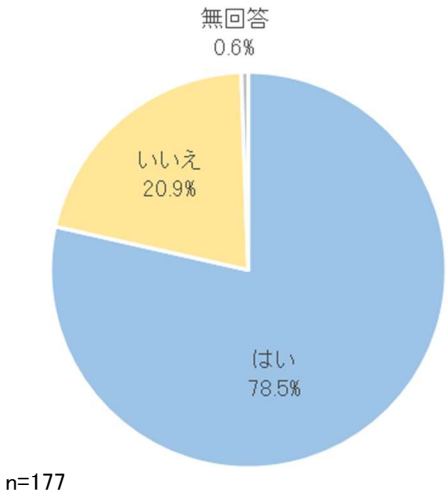
	n	%
1人	91	51.4
2人	60	33.9
3人	16	9.0
4人以上	8	4.5
無回答	2	1.1
全体	177	100.0

⑧ 世帯主か否か

問 6 ③あなたは世帯主ですか。（SA）
※戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方が回答

●戸建て住宅や集合住宅に住んでいる人に対して世帯主か否かを尋ねたところ、「はい（世帯主）」が 78.5%、「いいえ」が 20.9%であった。

図表 104 世帯主か否か （戸建て住宅・集合住宅に住んでいる方）



	n	%
はい	139	78.5
いいえ	37	20.9
無回答	1	0.6
全体	177	100.0

（２）障害の状況

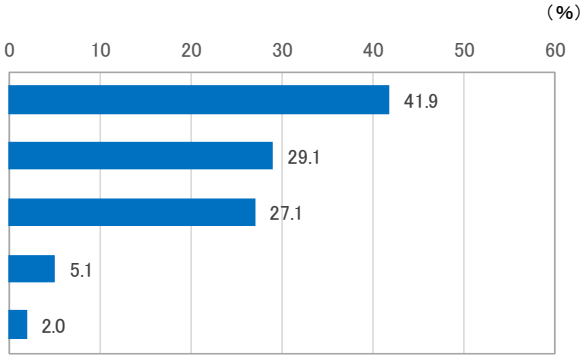
① 障害者手帳の保有状況

問 7.あなたは障害者手帳をお持ちですか。（MA）

●障害者手帳の保有状況を尋ねたところ、「身体障害者手帳を持っている」が 41.9%、「療育手帳を持っている」が 29.1%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が 27.1%となっている。「いずれも持っていない」が 5.1%で、高齢障害者の大半が何らかの障害者手帳を保有している。

図表 105 障害者手帳の保有状況

	n	%
身体障害者手帳を持っている	147	41.9
療育手帳を持っている	102	29.1
精神障害者保健福祉手帳を持っている	95	27.1
上記のいずれも持っていない	18	5.1
無回答	7	2.0
全体	351	100.0



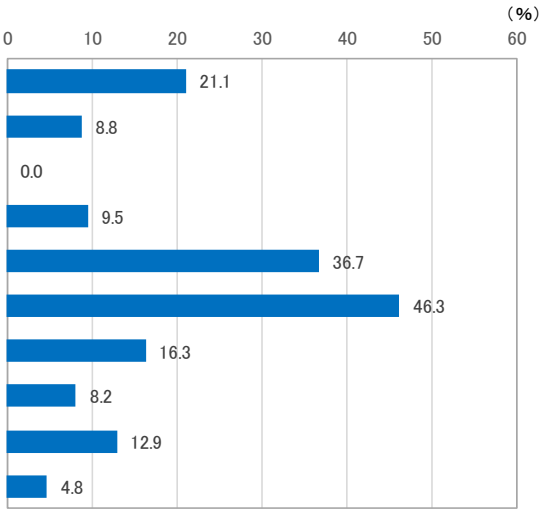
② 身体障害者手帳に記載されている障害名

問 7-1.身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。（MA）
※「身体障害者手帳を持っている」と回答した方

●「身体障害者手帳を持っている人（全体の 41.9%）に対して、身体障害者手帳に記載されている障害名を尋ねたところ、「肢体不自由（下肢）」が 46.3%、「肢体不自由（上肢）」が 36.7%、「視覚障害」が 21.1%、「肢体不自由（体幹）」が 16.3%で続いている。高齢障害者は他の調査（障害福祉サービス利用者調査、障害福祉支援施設利用者調査）と比較して「視覚障害」の割合が高い傾向が見られる。

図表 106 障害者手帳に記載されている障害名 （身体障害者手帳を持っている方）

	n	%
視覚障害	31	21.1
聴覚障害	13	8.8
平衡機能障害	0	0.0
音声機能・言語機能・咀嚼機能障害	14	9.5
肢体不自由（上肢）	54	36.7
肢体不自由（下肢）	68	46.3
肢体不自由（体幹）	24	16.3
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	12	8.2
内部障害	19	12.9
無回答	7	4.8
全体	147	100.0

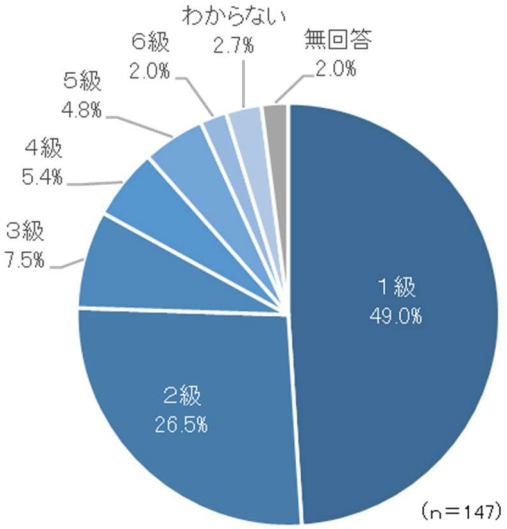


③ 身体障害者手帳に記載されている障害の程度

問 7-2.身体障害者手帳に記載された障害の程度（総合等級）は何級ですか。（SA）
※「身体障害者手帳を持っている」と回答した方

●「身体障害者手帳を持っている人に対して、身体障害者手帳に記載されている障害の程度（総合等級）を尋ねたところ、「1 級」が 49.0%、「2 級」が 26.5%で、「1 級～2 級」（障害の程度が重い人）で 75.5%を占めている。

図表 107 身体障害者手帳に記載されている障害の程度 （身体障害者手帳を持っている方）



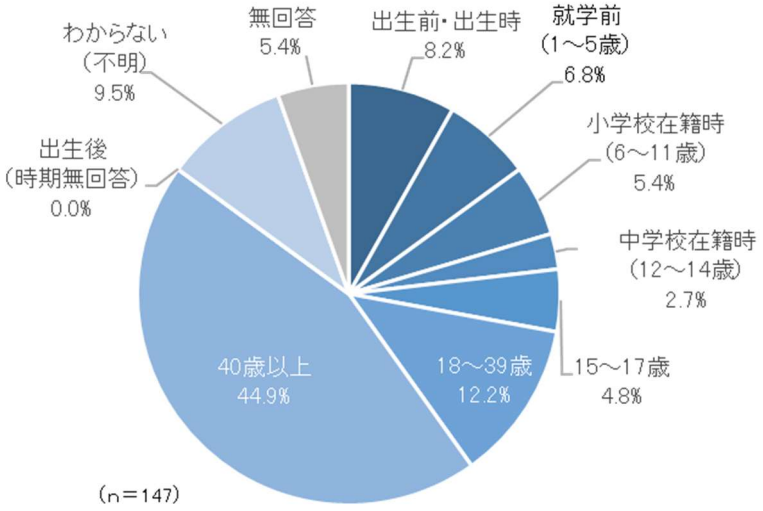
総合等級	n	%
1級	72	49.0
2級	39	26.5
3級	11	7.5
4級	8	5.4
5級	7	4.8
6級	3	2.0
わからない	4	2.7
無回答	3	2.0
全体	147	100.0

④ 最初の障害の診断・判定を受けた時期

問 7-3.あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのはいつ頃ですか。（SA）
※「身体障害者手帳を持っている」と回答した方

●「身体障害者手帳を持っている人に対して、最初に障害の診断・判定を受けた時期を尋ねたところ、「出生前・出生時」が 8.2%、「出生後」が 76.9%、「わからない」が 9.5%を占めている。
●「出生後」について詳細をみると、「40 歳以上」（44.9%）、「18～39 歳」（12.2%）となっている。

図表 108 最初の障害の診断・判定を受けた時期 （身体障害者手帳を持っている方）



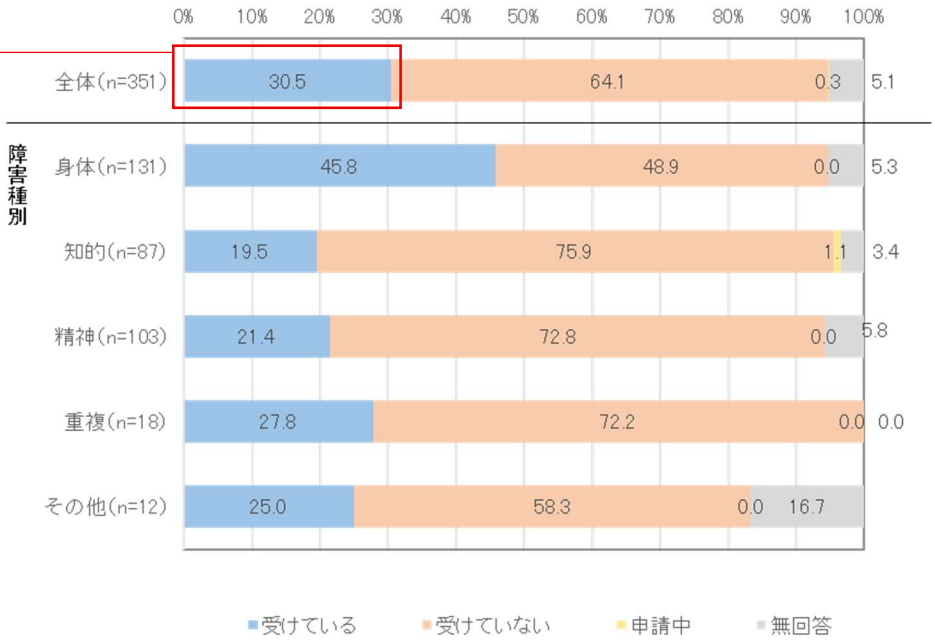
		n	%
出生前・出生時		12	8.2
出生後	就学前（1～5歳）	10	6.8
	小学校在籍時（6～11歳）	8	5.4
	中学校在籍時（12～14歳）	4	2.7
	15～17歳	7	4.8
	18～39歳	18	12.2
	40歳以上	66	44.9
	出生後（時期無回答）	0	0.0
出生後・計		113	76.9
わからない（不明）		14	9.5
無回答		8	5.4
全体		147	100.0

⑤ 要介護認定の状況

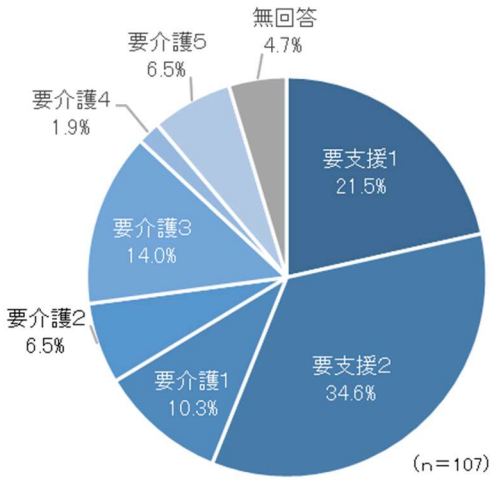
問 8.あなたは要介護認定を受けていますか。（SA）

●要介護の認定を受けているかを尋ねたところ「受けている」が 30.5%、「受けていない」が 64.1%となった。
●障害種別でみると、身体では「受けている」が 45.8%で他と比較して高い。
●要介護の認定を受けている人に対して、要介護度を尋ねたところ、「要支援 2」が 34.6%、「要支援 1」が 21.5%で合計 56.1%が「要支援 1～2」で占めている。「要介護 3 以上」の割合は 22.4%となっている。

図表 109 要介護認定の状況



図表 110 要介護度 （要介護認定を受けている方）



	n	%
要支援1	23	21.5
要支援2	37	34.6
要介護1	11	10.3
要介護2	7	6.5
要介護3	15	14.0
要介護4	2	1.9
要介護5	7	6.5
無回答	5	4.7
全体	107	100.0

（３）医療的ケアの状況

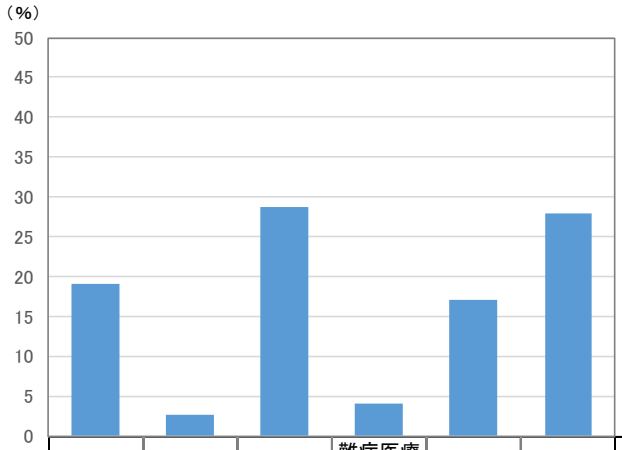
① 医療費助成の利用状況

問 9.あなたは過去 1 年間に医療費助成等を利用しましたか。（MA）

●過去 1 年間に医療費助成等を利用したかを尋ねたところ、「利用していない」が 27.9%で、「無回答」を除くと 66.1%が利用している。医療費助成の種類は「自立支援医療（精神通院医療）」が 28.8%、「心身障害者医療費助成（マル障）」が 19.1%で上位となっている。

●障害種別でみると、身体は「心身障害者医療費助成（マル障）」、知的は「利用していない」、精神は「自立支援医療（精神通院医療）」がそれぞれ他と比較して高い。

図表 111 医療費助成等の利用状況



		n数	心身障害者医療費助成（マル障）	自立支援医療（更生医療）	自立支援医療（精神通院医療）	難病医療費助成（指定難病・小児慢性特定疾病）	その他の障害者医療費助成	利用していない	無回答
全体		351	19.1	2.6	28.8	4.0	17.1	27.9	6.0
障害種別	身体	131	32.8	1.5	5.3	8.4	22.9	26.0	8.4
	知的	87	14.9	2.3	2.3	1.1	18.4	54.0	6.9
	精神	103	5.8	2.9	84.5	1.0	4.9	10.7	1.0
	重複	18	27.8	5.6	27.8	0.0	33.3	5.6	5.6
	その他	12	0.0	8.3	0.0	8.3	25.0	41.7	16.7

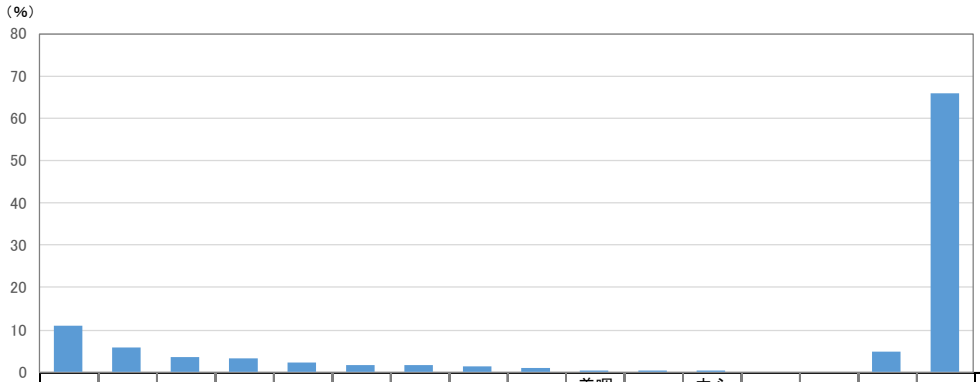
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

② 日常的に必要としている医療的ケアがありますか

問 10.あなたは現在、日常的に必要としている医療的ケアがありますか。（MA）

- 日常的に必要している医療的ケアがあるかを尋ねたところ、「特に必要としていない」が 65.8%を占めており、何らかの医療的ケアを必要としている人の割合は 25.9%を占めている。
- 障害種別でみると、身体は「何らかの医療的ケアを必要」としている人の割合が 41.2%を占めており、知的、精神の人と比較して高い。医療的ケアの内容としては、「排便管理」「血糖値測定」「導尿」などが上位となっている。一方、知的では「特に必要としていない」が 81.6%を占めており、他と比較して高い。

図表 112　日常生活で必要としている医療的ケア



		n数	排便管理	血糖測定	導尿	皮下注射	経管栄養	人口呼吸器*1	吸引	透析	気管切開の管理	美咽頭エアウェイの管理	ネブライザーの管理	中心静脈カテーテルの管理	酸素療法	痙攣時の対応*2	その他	特に必要としていない	無回答	何らか必要
	全体	351	10.8	5.7	3.7	3.4	2.3	1.7	1.7	1.4	0.9	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	4.8	65.8	8.3	25.9
障害種別	身体	131	21.4	7.6	6.9	3.1	5.3	4.6	3.8	3.8	2.3	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	5.3	52.7	6.1	41.2
	知的	87	4.6	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	81.6	8.0	10.3
	精神	103	1.9	6.8	1.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	4.9	70.9	10.7	18.4
	重複	18	22.2	5.6	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	55.6	5.6	38.9
	その他	12	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	66.7	16.7	16.7

*1…CPAP 装置等マスク型を含む）
*2…坐剤挿入、吸引、酸素供与、迷走神経刺激装置の作動等の処置

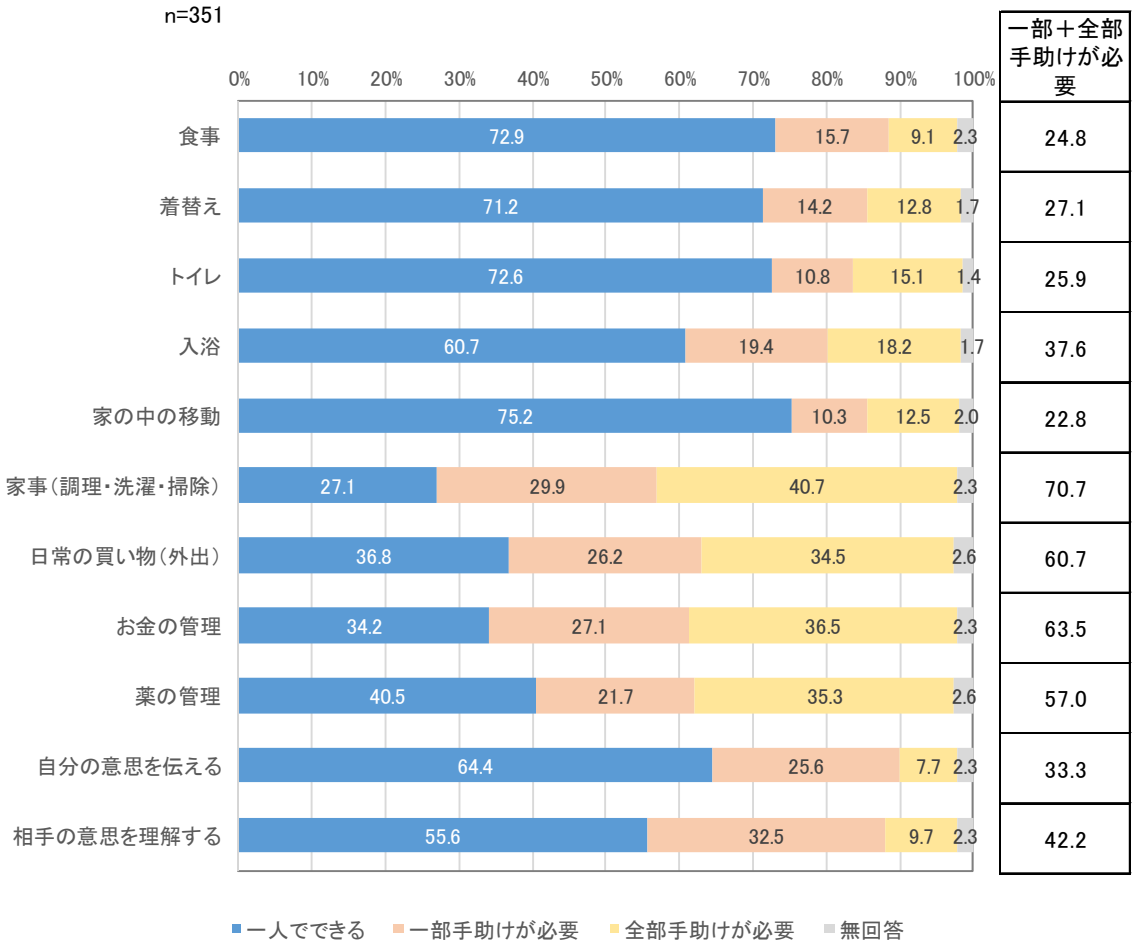
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

③ 日常生活の自立状況

問 11.あなたは日常生活において、自分一人でできますか。（SAMT）

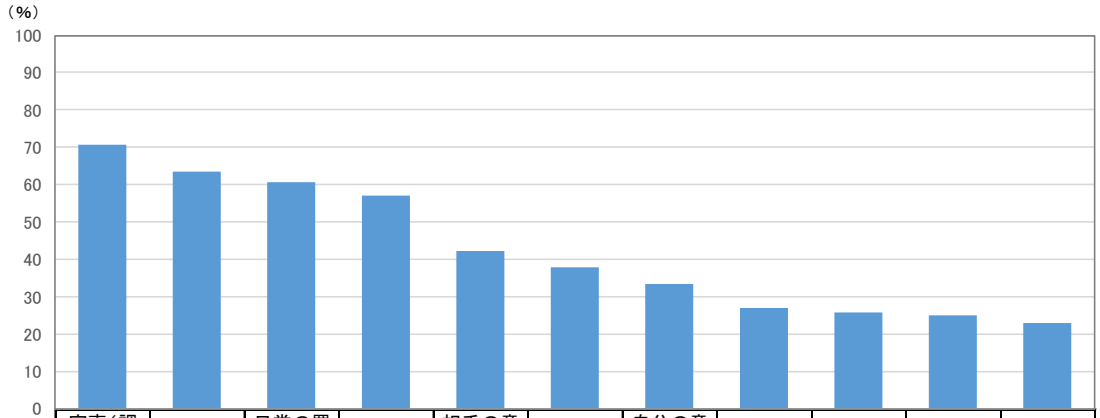
●日常生活の各項目について、自分一人でできるか、介助が必要かを尋ねた。何らかの手助けが必要（「一部手助けが必要」+「全部手助けが必要」）の割合をみると、「家事（調理、洗濯、掃除）」が 70.7%で最も高い。以下、「お金の管理」（63.5%）、「日常の買い物（外出）」（60.7%）、「薬の管理」（57.0%）が 5 割以上となっている。

図表 113　日常生活における介助の必要度



●日常生活の各項目について、何らかの手助けが必要（「一部手助けが必要」＋「全部手助けが必要」）の割合について障害種別でみると、全般的に精神の割合が低い（手助けが必要とする人の比率が低い）。また、知的は「家事」「お金の管理」「薬の管理」「相手の意思を理解する」などの割合が身体、精神と比べて高い。

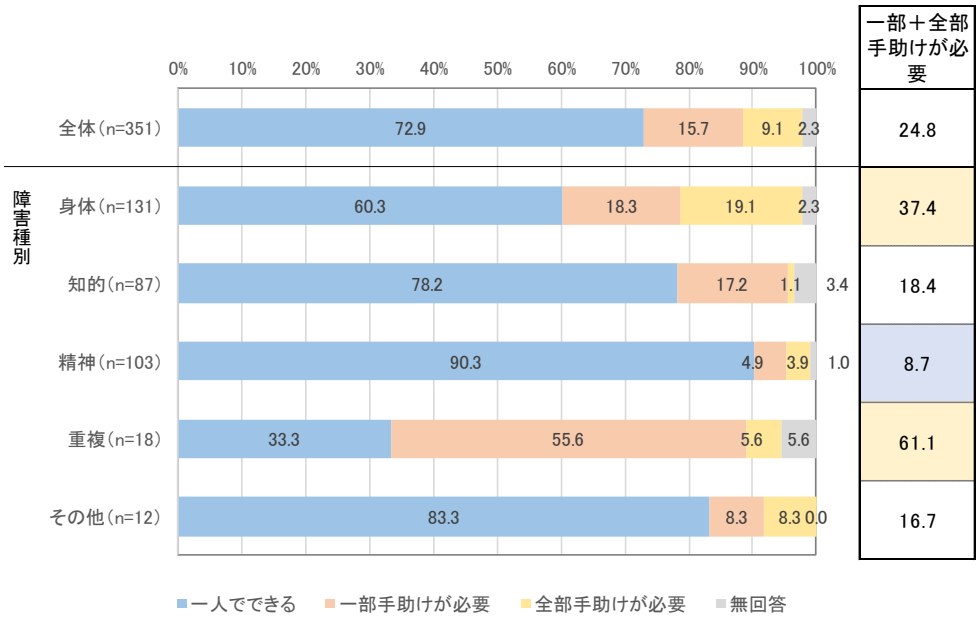
図表 114　日常生活における介助の必要度
（一部手助けが必要＋全部手助けが必要の割合についてクロス集計）



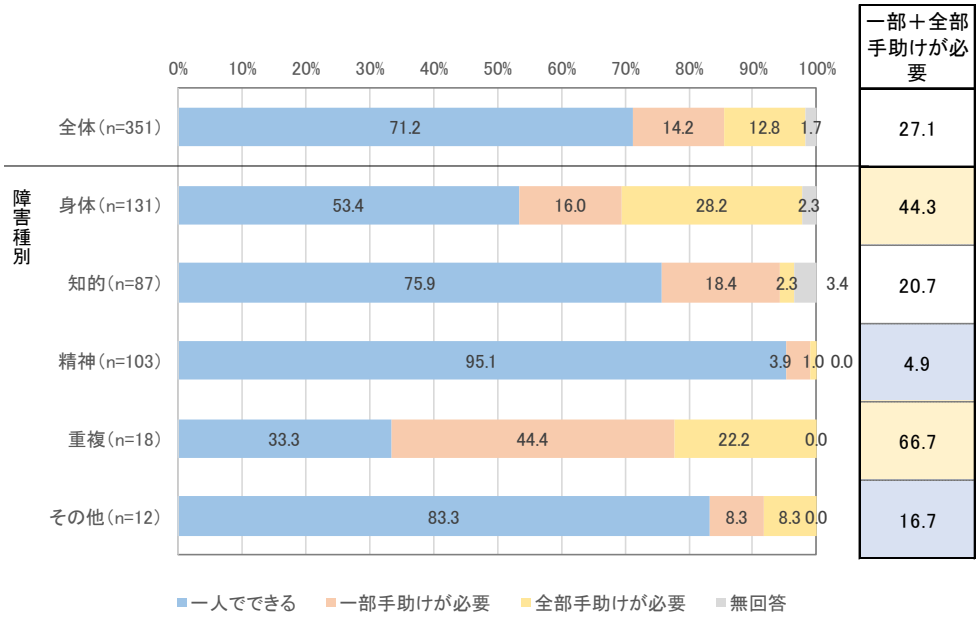
		n数	家事（調理、洗濯、掃除）	お金の管理	日常の買い物（外出）	薬の管理	相手の意思を理解する	入浴	自分の意思を伝える	着替え	トイレ	食事	家の中の移動
全体		351	70.7	63.5	60.7	57.0	42.2	37.6	33.3	27.1	25.9	24.8	22.8
障害種別	身体	131	76.3	52.7	73.3	55.0	28.2	51.9	23.7	44.3	42.7	37.4	41.2
	知的	87	81.6	88.5	65.5	73.6	66.7	37.9	49.4	20.7	21.8	18.4	13.8
	精神	103	50.5	49.5	35.9	36.9	28.2	13.6	18.4	4.9	2.9	8.7	2.9
	重複	18	94.4	88.9	88.9	94.4	88.9	77.8	88.9	66.7	61.1	61.1	55.6
	その他	12	66.7	83.3	58.3	75.0	66.7	25.0	66.7	16.7	16.7	16.7	8.3

…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

図表 115　日常生活における介助の必要度（食事）



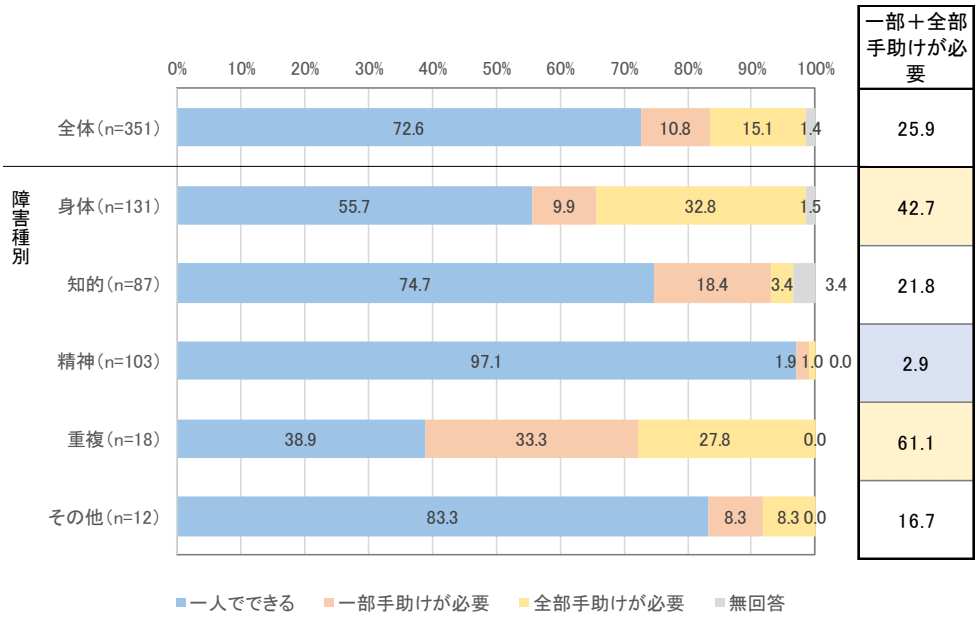
図表 116　日常生活における介助の必要度（着替え）



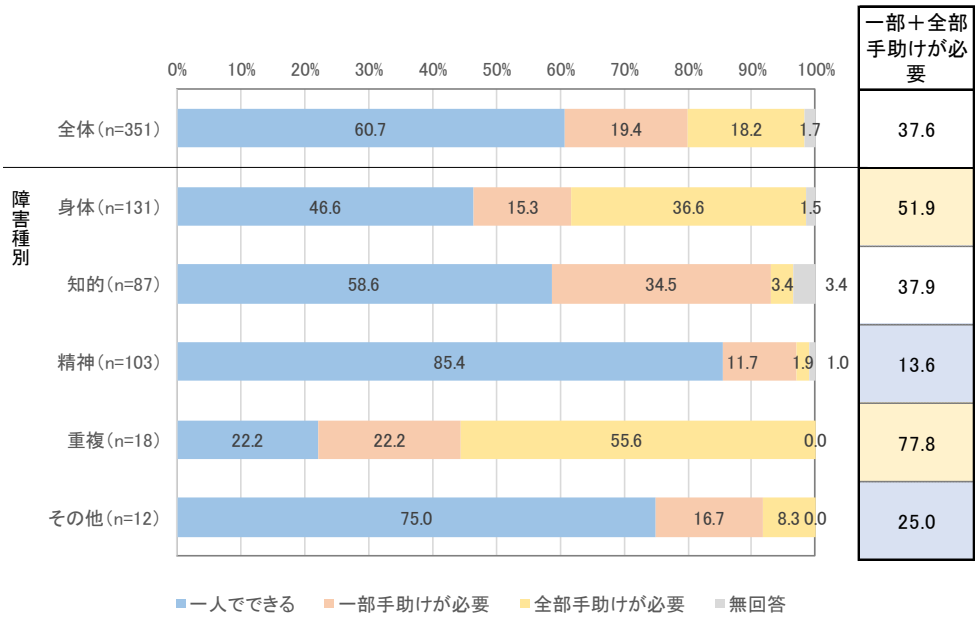
…全体より10%以上高い

…全体より10%以上低い

図表 117　日常生活における介助の必要度（トイレ）



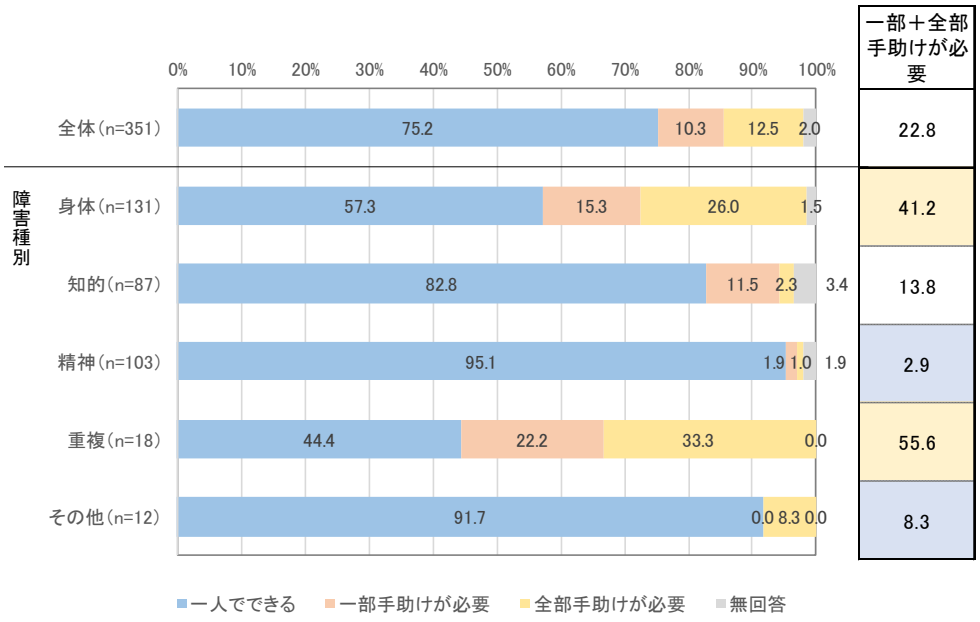
図表 118　日常生活における介助の必要度（入浴）



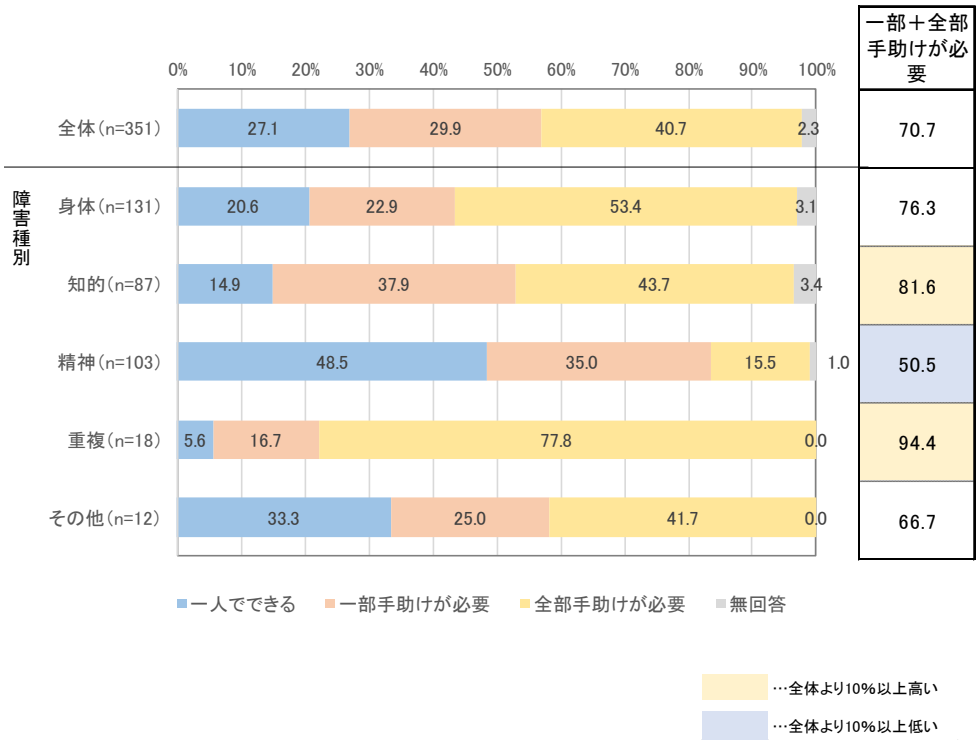
…全体より10%以上高い

…全体より10%以上低い

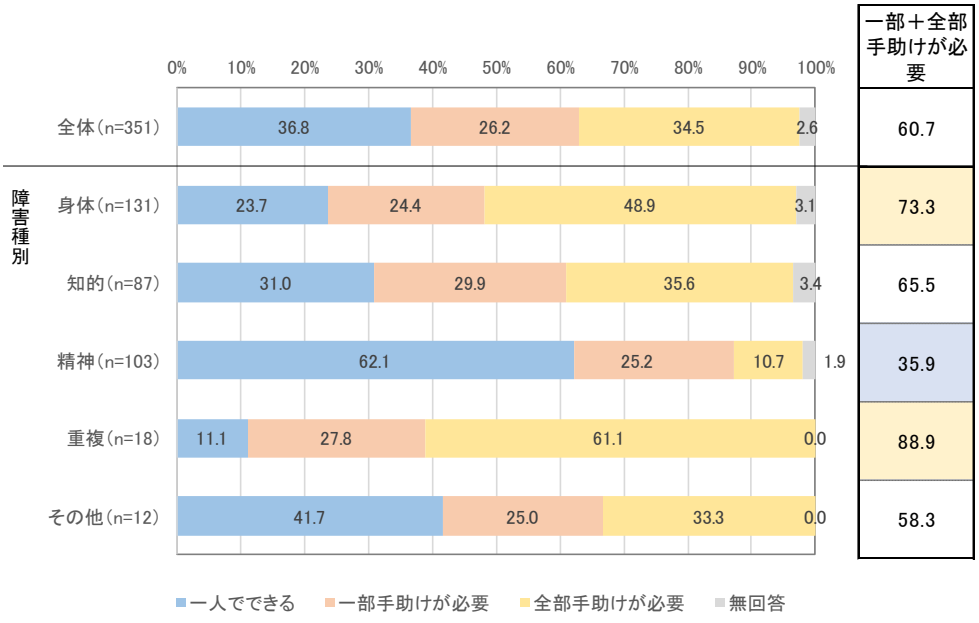
図表 119　日常生活における介助の必要度 （家の中の移動）



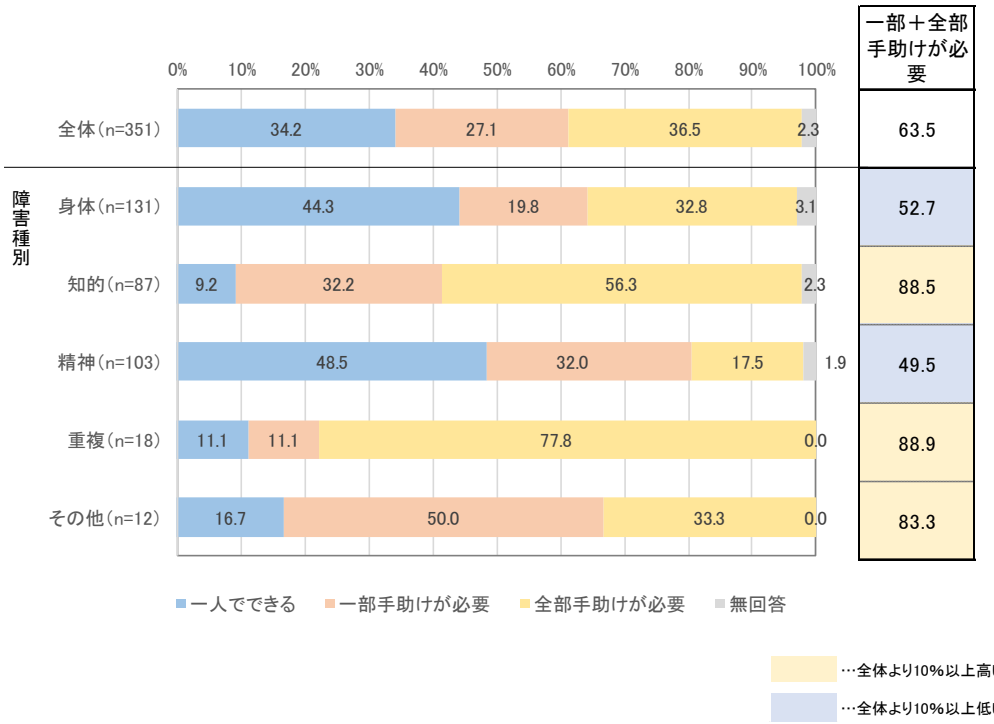
図表 120　日常生活における介助の必要度 （家事（調理・洗濯・掃除））



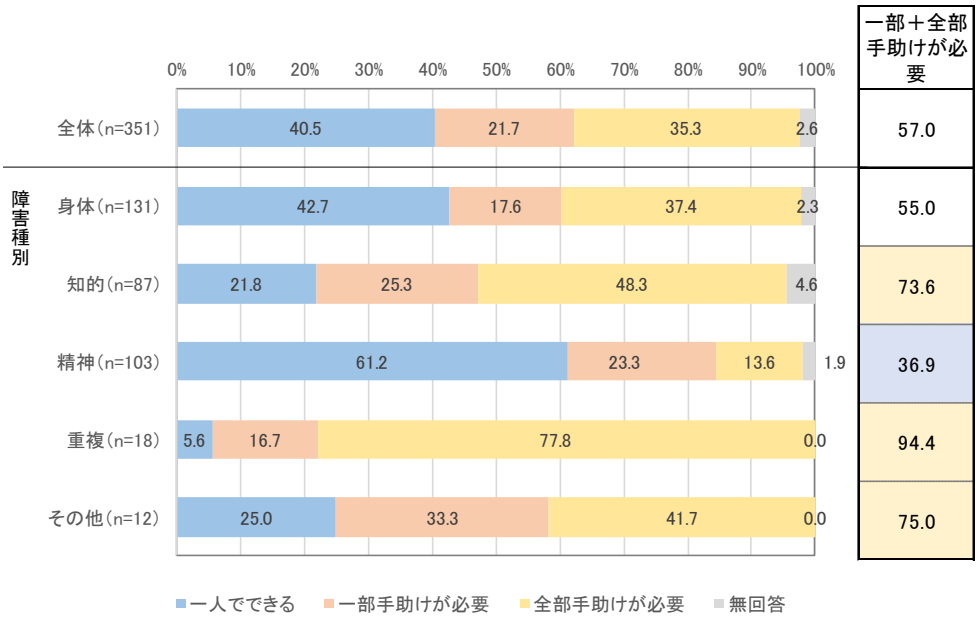
図表 121　日常生活における介助の必要度 （日常の買い物（外出））



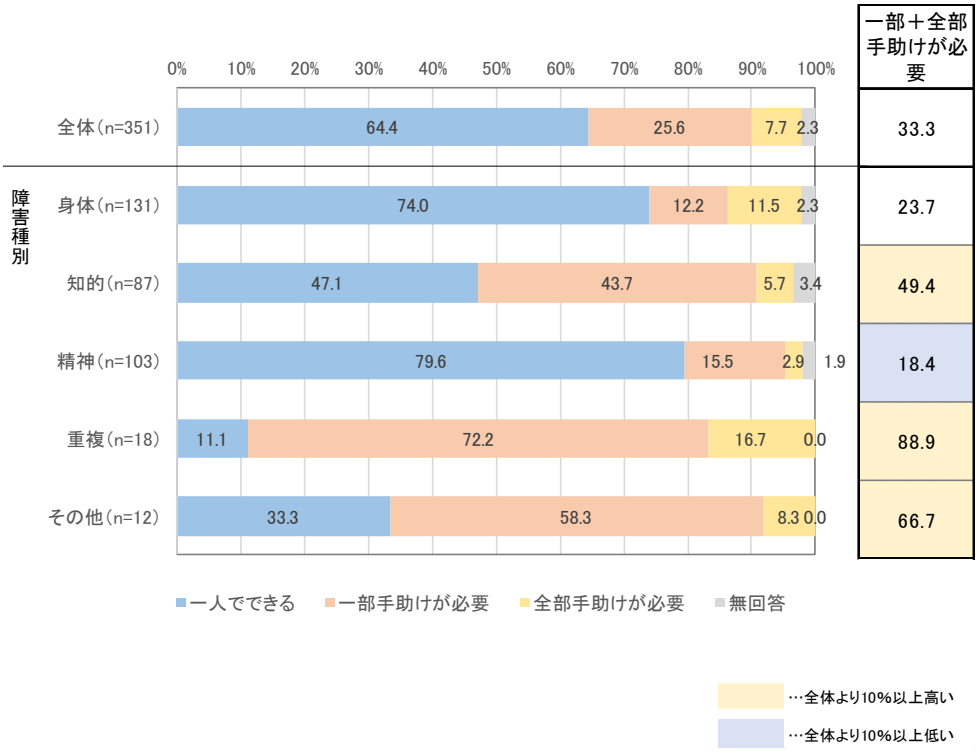
図表 122　日常生活における介助の必要度 （お金の管理）



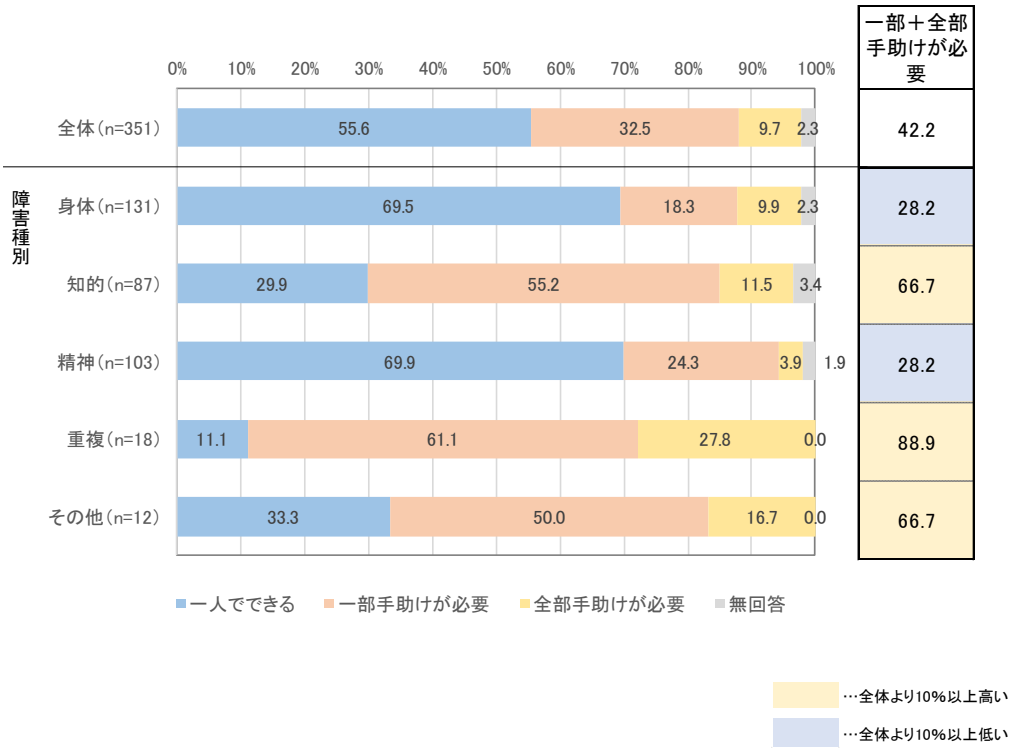
図表 123　日常生活における介助の必要度（薬の管理）



図表 124　日常生活における介助の必要度（自分の意思を伝える））



図表 125　日常生活における介助の必要度 （相手の意思を理解する）



（４）就業の状況

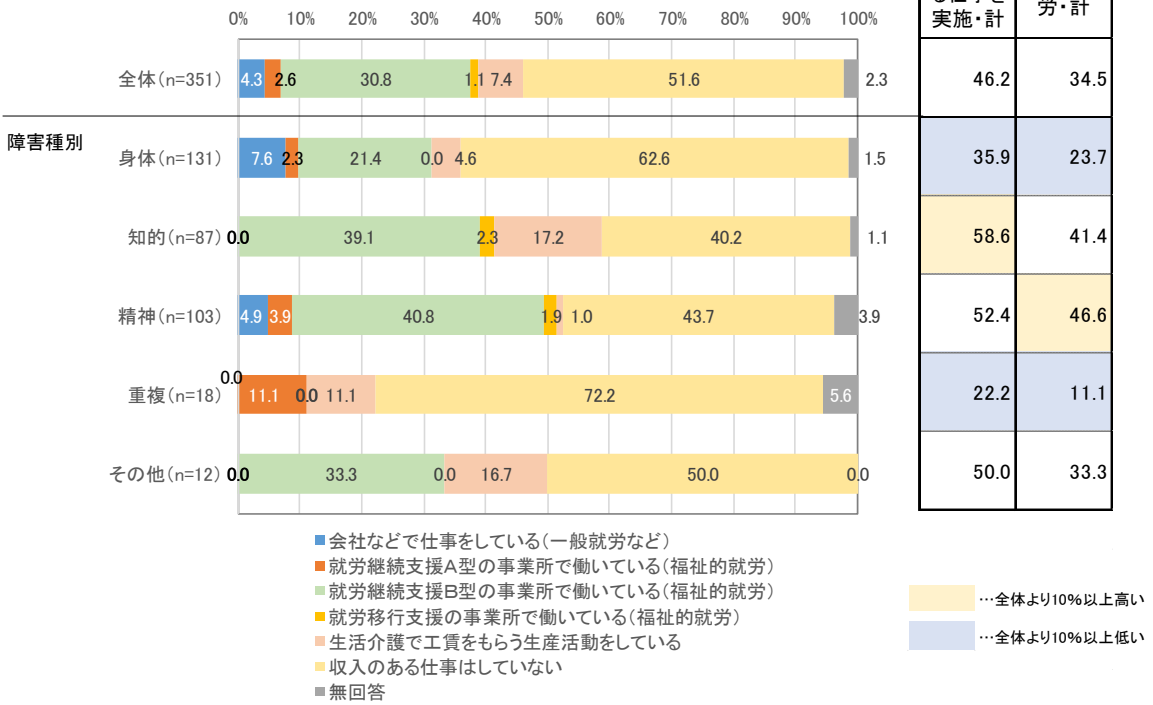
① 就業状況

問 12.あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。（SA）

●現在、収入を伴う仕事をしているかを尋ねたところ、「収入のある仕事はしていない」が 51.6%を占めており最も高い。「収入のある仕事をしている」割合は 46.2%で、内容としては、「就労継続支援 B 型の事業所で働いている」（30.8%）、「就労移行支援の事業所で働いている」（7.4%）が多い。「会社などで仕事をしている（一般就労など）」は 4.3%に留まる。

●障害種別でみると、身体は「収入のある仕事はしていない」割合が 62.6%占めており、知的、精神の人と比べて高い。また、知的は「就労移行支援の事業所で働いている」が 17.2%で他と比較して高い。

図表 126 就業状況



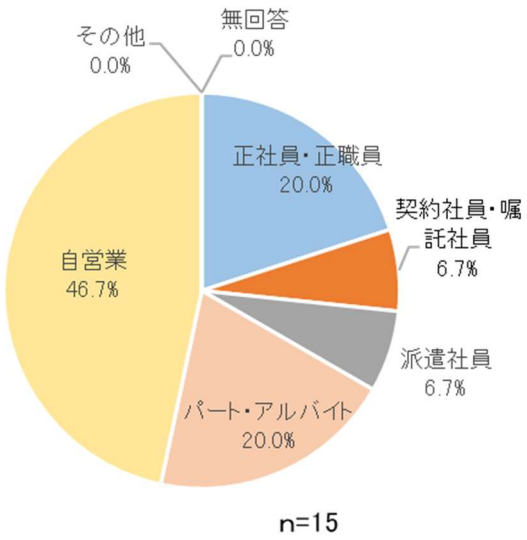
	収入のある仕事を実施・計	福祉的就労・計
全体（n=351）	46.2	34.5
身体（n=131）	35.9	23.7
知的（n=87）	58.6	41.4
精神（n=103）	52.4	46.6
重複（n=18）	22.2	11.1
その他（n=12）	50.0	33.3

② 雇用形態

問 12-1.あなたの雇用形態は何ですか。（SA）
※会社などで仕事をしている（一般就労など）の方

●「会社などで仕事をしている」（全体の 4.3%）に対して、雇用形態を尋ねたところ、「自営業」（46.7%）が高い。
※15 サンプルのため参考とする。

図表 127 雇用形態 （会社などで仕事をしている人）



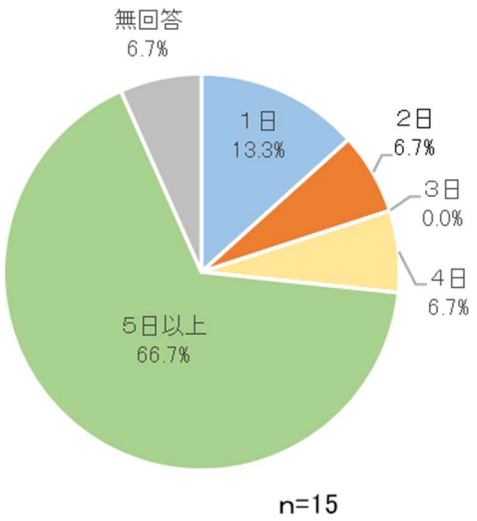
	n	%
正社員・正職員	3	20.0
契約社員・嘱託社員	1	6.7
派遣社員	1	6.7
パート・アルバイト	3	20.0
自営業	7	46.7
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	15	100.0

③ 1 週間の就業日数

問 12-2.1 週間の就業日数のくらいですか。 （SA）
※会社などで仕事をしている（一般就労など）の方

●「会社などで仕事をしている」（全体の 4.3%）に対して、1 週間の就業日数を尋ねたところ、「5 日以上」（66.7%）が高い。
※15 サンプルのため参考とする。

図表 128 1 週間の就業日数 （会社などで仕事をしている人）



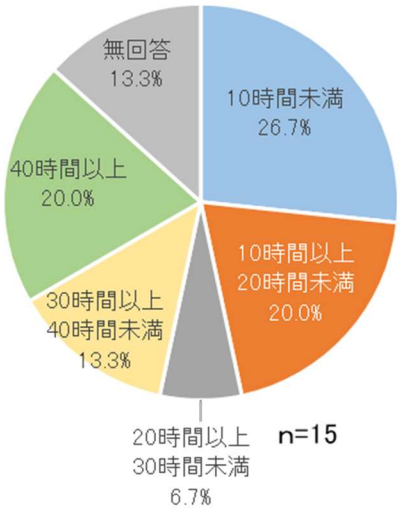
	n	%
1日	2	13.3
2日	1	6.7
3日	0	0.0
4日	1	6.7
5日以上	10	66.7
無回答	1	6.7
全体	15	100.0

④ 1 週間の労働時間

問 12-3.1 週間の労働時間は、合計どのくらいですか。※休憩時間は除く （SA）
※会社などで仕事をしている（一般就労など）の方

●「会社などで仕事をしている」（全体の 4.3%）に対して、1 週間の労働時間を尋ねたところ、「10 時間未満」（26.7%）、「10 時間以上 20 時間未満」「40 時間以上」（20.0%）、「30 時間以上 40 時間未満」（13.3%）と分散している。
※15 サンプルのため参考とする。

図表 129 1 週間の労働時間 （会社などで仕事をしている人）



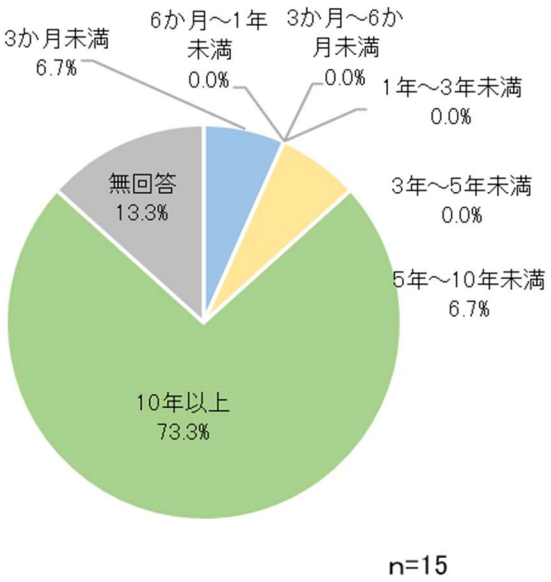
	n	%
10時間未満	4	26.7
10時間以上20時間未満	3	20.0
20時間以上30時間未満	1	6.7
30時間以上40時間未満	2	13.3
40時間以上	3	20.0
無回答	2	13.3
全体	15	100.0

⑤ 現在の仕事に就いてからの期間

問 12-4.現在の仕事についてからの期間はどのくらいですか。（SA）
※会社などで仕事をしている（一般就労など）の方

●「会社などで仕事をしている」（全体の 4.3%）に対して現在の仕事についてからの期間を尋ねたところ、「10 年以上」（73.3%）が高い。
※15 サンプルのため参考とする。

図表 130 現在の仕事についてからの期間 （会社などで仕事をしている人）



	n	%
3か月未満	1	6.7
3か月～6か月未満	0	0.0
6か月～1年未満	0	0.0
1年～3年未満	0	0.0
3年～5年未満	0	0.0
5年～10年未満	1	6.7
10年以上	11	73.3
無回答	2	13.3
全体	15	100.0

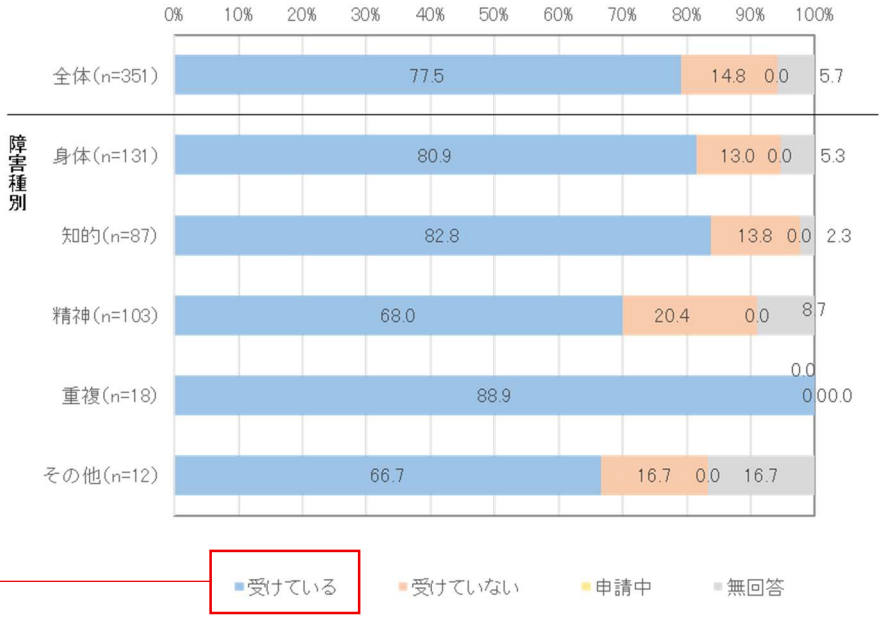
（５）サービスの利用状況

① 障害者区分の認定

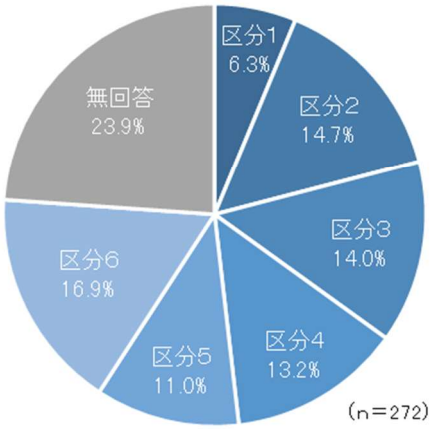
問 13.あなたは、障害者区分の認定を受けていますか。（SA）
　　受けている方→現在の障害支援区分（SA）

●障害者支援区分の認定を受けているかを尋ねたところ、「受けている」が 77.5%、「受けていない」が 14.8%となっている。
●障害種別でみると、精神では「受けている」が 68.0%で他と比較して比率が低く、「受けていない」（20.4%）の比率がやや高い。
●障害者支援区分の認定を「受けている」方に対して、現在の障害者支援区分を尋ねたところ、各支援区分で分散している。

図表 131　障害者支援区分の認定を受けているか



図表 132　現在の障害者支援区分 （障害者支援区分の認定を受けている人）



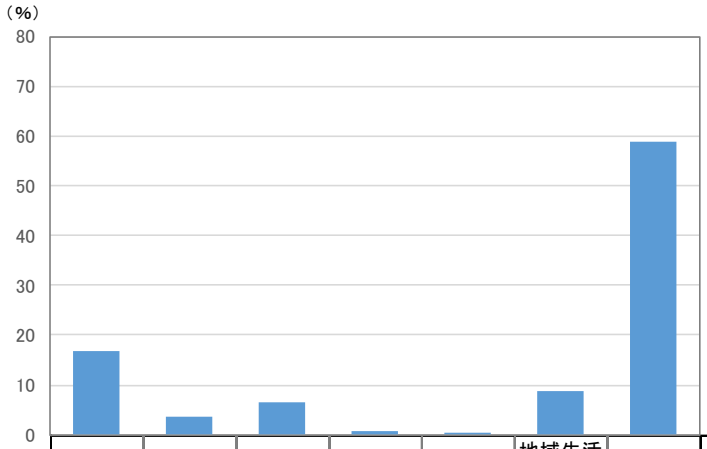
	n	%
区分1	17	6.3
区分2	40	14.7
区分3	38	14.0
区分4	36	13.2
区分5	30	11.0
区分6	46	16.9
無回答	65	23.9
全体	272	100.0

② 利用した訪問サービス等

問 14①.あなたは、令和 7 年 9 月の 1 か月間に、障害福祉サービスの「訪問サービス等」をどの程度利用しましたか。
利用したサービスをすべて選び、1 か月間の利用時間を記入してください。（数量）

- 令和 7 年 9 月の 1 か月間における障害福祉サービスの「訪問サービス等」の利用状況を尋ねたところ、「訪問サービスは利用していない」が 58.7%で、「無回答」を除くと全体の 31.1%が何らかの「訪問サービス等」を利用している。利用したサービスは「居宅介護」（16.8%）、「地域生活支援事業のサービス」（8.8%）、「同行援護」（6.6%）の順になっている。
- 「居宅介護」利用者の 1 か月間の平均利用時間は 21.0 時間（中央値 10.0 時間）、「地域生活支援事業のサービス」は平均 15.0 時間（中央値 8.0 時間）。
- 障害種別でみると、知的は「訪問サービスは利用していない」が 77.0%で他と比較して高い。また、精神は「居宅介護」が 27.2%で他と比較して高い。

図表 133 利用した訪問サービス等



		n数	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	地域生活支援事業のサービス（移動支援など）	訪問サービスは利用していない	無回答
全体		351	16.8	3.7	6.6	0.6	0.3	8.8	58.7	10.3
障害種別	身体	131	16.8	9.9	12.2	0.0	0.8	9.2	54.2	6.9
	知的	87	5.7	0.0	1.1	1.1	0.0	12.6	77.0	4.6
	精神	103	27.2	0.0	4.9	0.0	0.0	3.9	46.6	20.4
	重複	18	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	72.2	0.0
	その他	12	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	58.3	16.7

…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

		居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	地域生活支援事業のサービス（移動支援など）
利用時間	n数	59	12	23	2	1	27
	平均値 （時間／月）	21.0	210.0	22.7	1.5	24.0	15.0
	中央値 （時間／月）	10.0	145.0	16.0	1.5	24.0	8.0

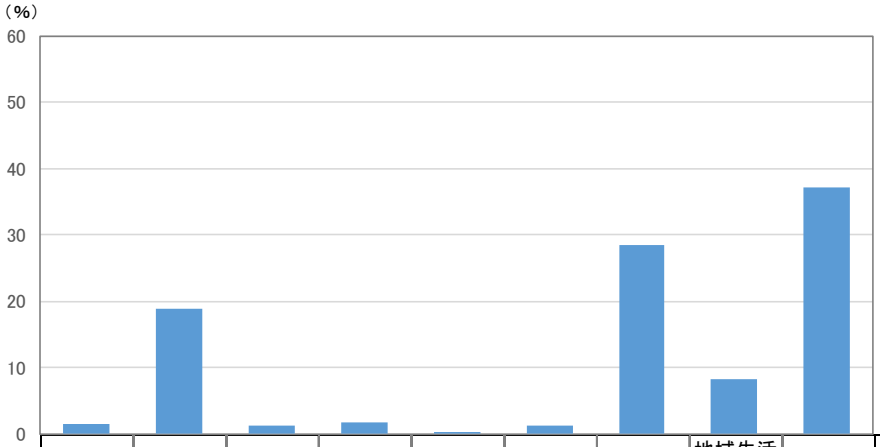
③ 利用した通所サービス等

問 14②.あなたは、令和 7 年 9 月の 1 か月間に、障害福祉サービスの「通所サービス等」をどの程度利用しましたか。
利用したサービスをすべて選び、1 か月間の利用日数を記入してください。（数量）

●令和 7 年 9 月の 1 か月間における障害福祉サービスの「通所サービス等」の利用状況を尋ねたところ、「通所サービスは利用していない」が 37.0%で、「無回答」を除くと全体の 55.6%が何らかの「通所サービス等」を利用している。利用したサービスは「就労継続支援（B 型）」が 28.5%で最も高く、これに「生活介護」が 18.8%で続いている。「就労継続支援（B 型）」利用者の 1 か月間の平均利用日数は 17.8 日（中央値 20.0 日）、「生活介護」は平均 19.5 日（中央値 22.0 日）。

●障害種別でみると、身体は「通所サービス等」を利用していない人の比率が高い。また、精神は「就労継続支援（B 型）」が、知的は「生活介護」の比率がそれぞれ他と比較すると高い。

図表 134 利用した通所サービス等



		n数	短期入所（ショートステイ）	生活介護	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	地域生活支援事業（日中一時支援、地域活動支援センターなど）	通所サービスは利用していない	無回答
	全体	351	1.4	18.8	1.1	1.7	0.3	1.1	28.5	8.3	37.0	7.4
障害種別	身体	131	0.8	13.0	3.1	0.8	0.0	1.5	18.3	4.6	56.5	6.1
	知的	87	2.3	33.3	0.0	2.3	1.1	0.0	35.6	11.5	18.4	3.4
	精神	103	1.9	8.7	0.0	1.9	0.0	1.9	40.8	11.7	29.1	10.7
	重複	18	0.0	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	38.9	16.7
	その他	12	0.0	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	8.3

		短期入所（ショートステイ）	生活介護	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	地域生活支援事業（日中一時支援、地域活動支援センターなど）
利用日数	n数	5	58	4	6	0	3	93	27
	平均値（日／月）	5.4	19.5	8.0	18.3	－	22.3	17.8	9.9
	中央値（日／月）	4.0	22.0	8.0	19.0	－	22.0	20.0	6.0

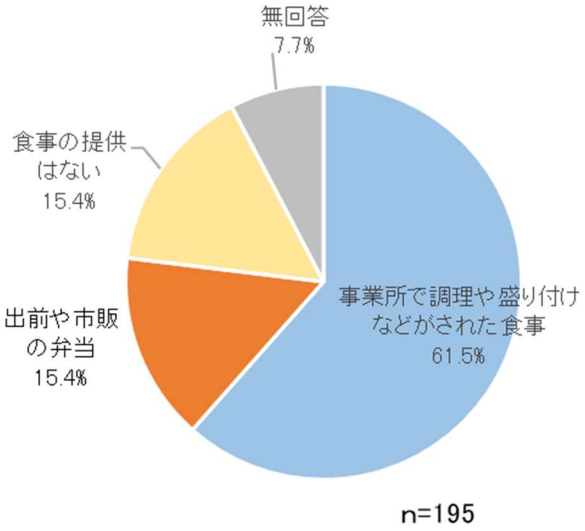
…全体より10%以上高い
…全体より10%以上低い

④ 利用した通所サービス等における食事の提供状況

問 14③.問 14②で選んだサービスについて食事の提供はありますか。（SA）

●令和 7 年 9 月の 1 か月間で障害福祉サービスの「通所サービス等」を利用した人に対して、通所サービスで食事の提供があるかを尋ねたところ、「事業所で調理や盛り付けなどがされた食事」が 61.5%、「出前や市販の弁当」が 15.4%で、合計 76.9%が「食事の提供がある」としている。「食事の提供はない」は 15.4%を占めている。

図表 135 利用した通所サービス等で食事の提供はあるか
（通所サービス等を利用した人）



	n	%
事業所で調理や盛り付けなどがされた食事	120	61.5
出前や市販の弁当	30	15.4
食事の提供はない	30	15.4
無回答	15	7.7
全体	195	100.0

⑤ 介護保険サービスではなく障害福祉サービスを利用した理由

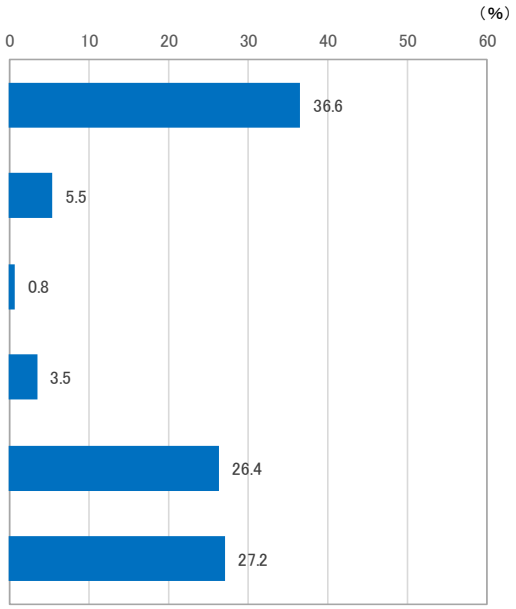
問 14④.問 14①②で選んだサービスについて、介護保険サービスではなく、障害福祉サービスを利用したのはなぜですか。（SA）

●令和 7 年 9 月の 1 か月間で障害福祉サービスの「訪問サービス等」もしくは「通所サービス等」を利用した人に対して、介護保険サービスではなく、障害福祉サービスを利用した理由を尋ねたところ、「介護保険サービスに相当するサービスがない障害福祉固有のサービス（就労継続支援、同行援護、行動援護等）を利用しているため」が 36.6%で最も高い。これに、「介護保険サービスに相当するサービスも利用しているが、介護保険の支給限度額により、介護保険サービスだけでは十分なサービスを受けられないため」が 5.5%で続いている。

●「その他」の内容としては、「以前から（高齢者になる前）から利用している」、「障害者施設に入所している」「慣れている」「介護認定を受けていない」などの意見がみられる。

図表 136　介護保険サービスではなく、障害福祉サービスを利用した理由
障害福祉サービス（訪問サービス・通所サービスのいずれかを利用した人）

	n	%
介護保険サービスに相当するサービスがない障害福祉固有のサービス（就労継続支援、同行援護、行動援護等）を利用しているため	93	36.6
介護保険サービスに相当するサービスも利用しているが、介護保険の支給限度額により、介護保険サービスだけでは十分なサービスを受けられないため	14	5.5
利用可能な介護保険サービスに係る事業所又は施設が身近にない（または空きがない）ため	2	0.8
介護保険の要介護認定を受けた結果、非該当と判定されたため	9	3.5
その他	67	26.4
無回答	69	27.2
全体	254	100.0



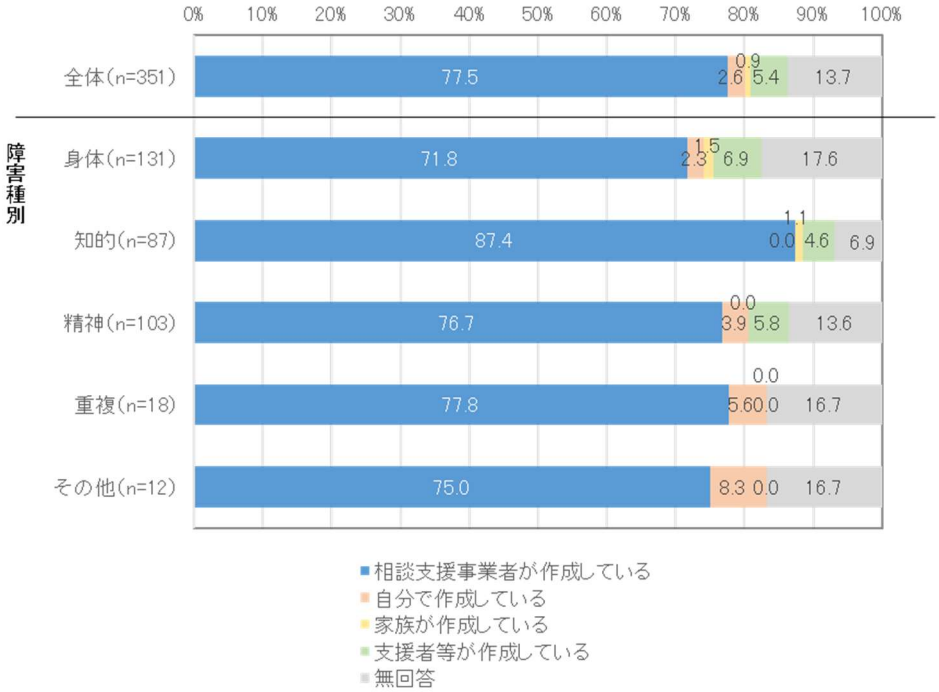
⑥ サービス等利用計画の作成者

問 14⑤.あなたは、障害福祉サービスを利用するにあたり、「サービス等利用計画」を誰が作成していますか。（SA）

●「サービス等利用計画」の作成者を尋ねたところ、「相談支援事業者が作成している」が 77.5%を占めており突出している。次いで「支援者等が作成している」が 5.4%となっている。

●障害種別でみると、いずれも「相談支援事業者が作成している」割合が突出して高い。

図表 137 「サービス等利用計画」の作成者



（６）収入・資産の状況

① 収入

問 15.あなたの令和７年９月の１か月分の収入額を、それぞれの項目別にお答えください。また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合や、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の収入額もお答えください。（数量）

- １か月分の収入額について費目別に尋ね、各費目の収入額を合計したところ、本人の１か月分の収入額は、平均値 110,411 円／中央値 100,000 円となっている。内訳は、「障害年金など公的年金」が平均値 73,614 円／中央値 80,000 円、「賃金・給料・工賃（働いて得た収入）」が平均値 16,019 円／中央値 0 円、「生活保護」が平均値 7,132 円／中央値 0 円などとなっている。
- 配偶者の収入金額の合計は平均値 103,903 円／中央値 95,000 円、その他同居者は平均値 153,017 円／中央値 131,500 円。
- 世帯単位の収入額を集計したところ、平均値 133,607 円／中央値 109,744 円となった。内訳は「障害年金など公的年金」（平均値 84,751 円／中央値 81,406 円）、「賃金・給料・工賃（働いて得た収入）」（平均値 23,937 円／中央値 0 円）が中心となっている。

図表 138 収入額（月額）

上段：円
下段：％

【平均値】	n数	1か月分の収入合計	内訳 賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
本人	280	110,411	16,019	73,614	2,850	7,132	3,364	1,461	43	5,928
		100.0%	14.5%	66.7%	2.6%	6.5%	3.0%	1.3%	0.0%	5.4%
配偶者	36	103,903	27,505	62,648	4,861	0	0	0	0	8,889
		100.0%	26.5%	60.3%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%
その他同居者	18	153,017	68,171	47,944	556	0	0	1,389	0	34,958
		100.0%	44.6%	31.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	22.8%
世帯・計	280	133,607	23,937	84,751	3,511	7,132	3,364	1,550	43	9,318
		100.0%	17.9%	63.4%	2.6%	5.3%	2.5%	1.2%	0.0%	7.0%

【中央値】	n数	1か月分の収入合計	内訳 賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
本人	280	100,000	0	80,000	0	0	0	0	0	0
配偶者	36	95,000	0	62,500	0	0	0	0	0	0
その他同居者	18	131,500	9,635	50,000	0	0	0	0	0	0
世帯・計	280	109,744	0	81,406	0	0	0	0	0	0

●世帯単位の 1 か月分の収入額について障害種別でみると、1 か月分の合計金額は身体が平均値 154,792 円／中央値 131,228 円で最も高く、精神が平均値 144,517 円／中央値 120,000 円、知的が平均値 104,614 円／中央値 99,500 円で続いている。内訳でみると、知的は「障害年金など公的年金」が平均値、中央値とも身体、精神と比較してやや小さい。

図表 139　世帯・計　月額収入額　クロス集計結果

（円）

【平均値】		n数	1か月分の収入合計	内訳							
				賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
全体		280	133,607	23,937	84,751	3,511	7,132	3,364	1,550	43	9,318
障害種別	身体	97	154,792	28,998	97,279	5,159	3,729	7,428	2,165	103	9,930
	知的	73	104,614	11,914	76,493	3,384	3,128	2,135	849	30	6,681
	精神	85	144,517	31,092	81,854	1,241	14,808	288	1,612	0	13,624
	重複	17	111,506	18,283	77,003	6,424	6,662	1,655	1,471	0	8
	その他	8	72,348	8,281	55,454	2,613	4,375	1,625	0	0	0

（円）

【中央値】		n数	1か月分の収入合計	内訳							
				賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	障害年金など公的年金	補足給付	生活保護費	特別障害者手当などその他の手当、給付金等	家族などからの仕送り・小遣い	利子・配当	その他の収入
全体		280	109,744	0	81,406	0	0	0	0	0	0
障害種別	身体	97	131,228	0	87,000	0	0	0	0	0	0
	知的	73	99,500	2,000	71,258	0	0	0	0	0	0
	精神	85	120,000	5,000	80,000	0	0	0	0	0	0
	重複	17	97,000	0	85,135	0	0	0	0	0	0
	その他	8	73,318	5,000	59,500	0	0	0	0	0	0

② 貯蓄・資産

問 16.あなたがお持ちの貯蓄・資産を教えてください。それぞれの項目別にお答えください。また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合や、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の貯蓄・資産についてもお答えください。

- 貯蓄・資産について費目別に尋ね、各費目の金額を合計したところ、本人の貯蓄・資産の合計の平均値は 457.9 万円／中央値は 163.4 万円となっている。内訳は、「預貯金」が平均値 310.8 万円／中央値 100.0 万円となっており大きな割合を占めている。これに、「現金・小切手」が平均値 46.9 万円、中央値 0 円が続いている。
- 配偶者の収入金額の合計は平均値 656.8 万円／中央値 196.3 万円、その他同居者は平均値 1,130.3 万円／中央値 600.0 万円。
- 世帯単位の貯蓄・資産額を集計したところ、平均値 589.8 万円／中央値 180.0 万円となった。内訳は「預貯金」（平均値 393.4 万円／中央値 120.0 万円）、「現金」（平均値 77.5 万円／中央値 0 円）などとなっている。

図表 140 貯蓄・資産

上段：円
下段：%

【平均値】	n数	貯蓄・資産計	内訳						
			現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
本人	169	4,579,136	469,353	3,108,275	432,571	215,683	88,757	300,592	36,095
			10.2%	67.9%	9.4%	4.7%	1.9%	6.6%	0.8%
配偶者	15	6,567,528	82,000	5,618,861	533,333	333,333	0	0	0
			1.2%	85.6%	8.1%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%
その他同居者	11	11,303,455	4,584,818	5,027,727	100,000	1,909,091	45,455	0	363,636
			40.6%	44.5%	0.9%	16.9%	0.4%	0.0%	3.2%
世帯・計	169	5,897,780	775,051	3,934,239	486,417	369,529	91,716	300,592	59,763
			13.1%	66.7%	8.2%	6.3%	1.6%	5.1%	1.0%

【中央値】	n数	貯蓄・資産計	内訳						
			現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
本人	169	1,633,574	0	1,000,000	0	0	0	0	0
配偶者	15	1,962,919	0	1,962,919	0	0	0	0	0
その他同居者	11	6,000,000	30,000	3,000,000	0	0	0	0	0
世帯・計	169	1,800,000	0	1,200,000	0	0	0	0	0

貯蓄・資産・計 ＝ 「現金・小切手」＋「預貯金」＋「保険料」＋「株式・投資信託」＋「債券」＋「その他預貯金」－「借金」

●世帯単位の貯蓄・資産について障害種別でみると、合計金額は、知的が平均値 895.2 万円／中央値 444.7 万円、身体が平均値 607.6 万円／中央値 200.0 万円、精神が平均値 369.9 万円／中央値 71.3 万円となっており、知的の貯蓄・資産額が高い傾向が見られる。

図表 141　貯蓄・資産　クロス集計結果

（円）

【平均値】		n数	貯蓄・資産計	内訳						
				現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
全体		169	5,897,780	775,051	3,934,239	486,417	369,529	91,716	300,592	59,763
障害種別	身体	56	6,076,311	528,028	3,949,667	953,973	719,643	8,929	14,286	98,214
	知的	47	8,952,399	1,952,775	5,160,369	354,148	425,532	0	1,063,830	4,255
	精神	52	3,698,640	177,748	3,042,288	233,404	41,354	288,462	0	84,615
	重複	11	3,034,403	6,437	3,027,966	0	0	0	0	0
	その他	3	3,327,000	106,667	3,220,333	0	0	0	0	0

（円）

【中央値】		n数	貯蓄・資産計	内訳						
				現金・小切手	預貯金（定期預金、普通預金など）	生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料	株式・投資信託	債券	その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	借金
全体		169	1,800,000	0	1,200,000	0	0	0	0	0
障害種別	身体	56	2,000,000	0	1,641,787	0	0	0	0	0
	知的	47	4,444,672	0	3,000,000	0	0	0	0	0
	精神	52	712,500	10,000	370,000	0	0	0	0	0
	重複	11	1,200,000	0	1,200,000	0	0	0	0	0
	その他	3	300,000	20,000	20,000	0	0	0	0	0

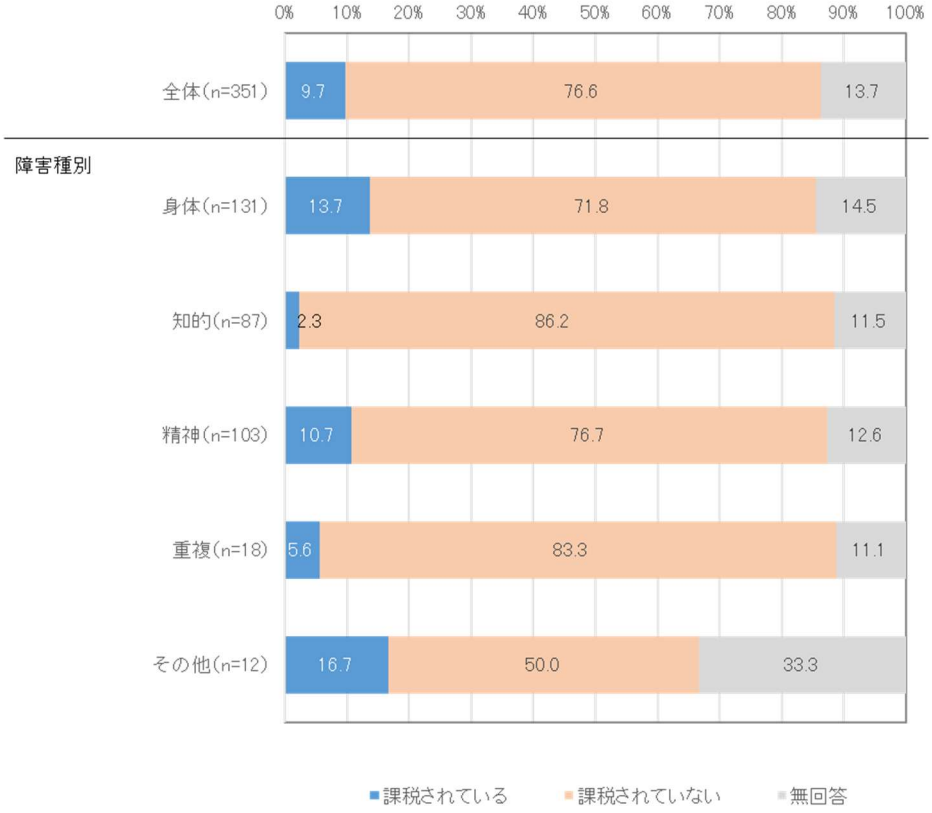
③ 税金の課税状況・生活保護の受給状況

問 17.あなたの税金の課税状況、生活保護の受給状況について教えてください。（SAMT）

＜住民税の課税状況＞

●住民税の課税状況を尋ねたところ、「課税されている」が 9.7%、「課税されていない」が 76.6%となっている。
●障害種別でみると、知的は「課税されている」割合が 2.3%で身体、精神と比較してやや低い。

図表 142 住民税の課税状況

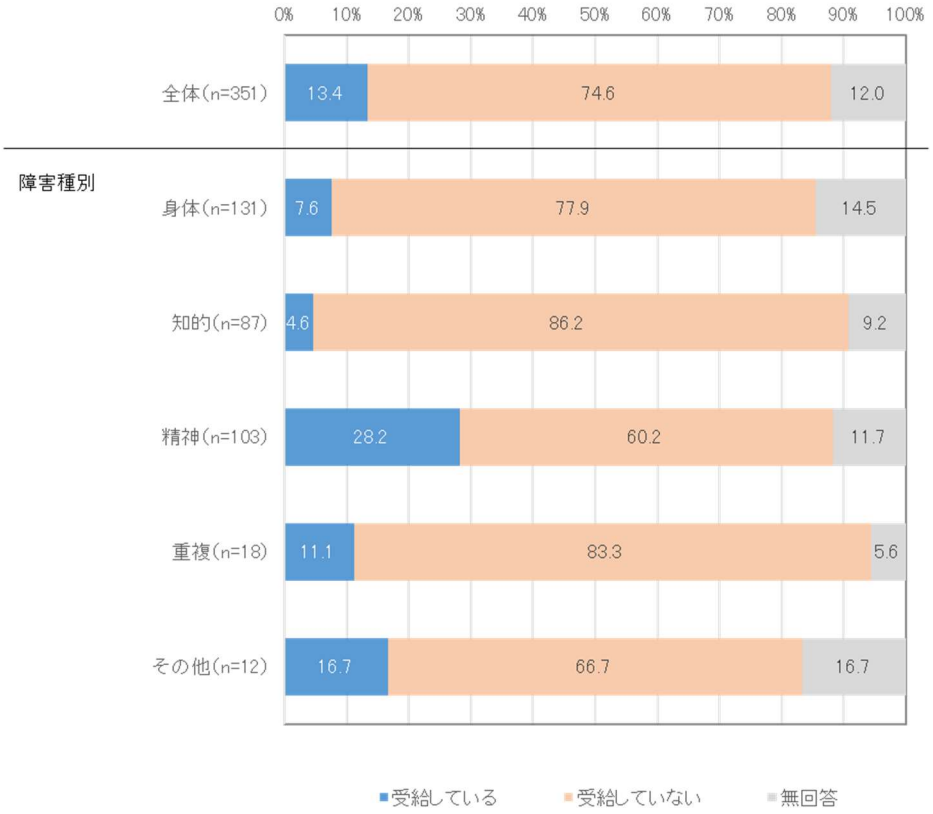


問 17.あなたの税金の課税状況、生活保護の受給状況について教えてください。（SAMT）

＜生活保護の受給状況＞

- 生活保護の受給状況を尋ねたところ、「受給している」が 13.4%、「受給していない」が 74.6%となっている。
- 障害種別でみると、精神の「受給している」が 28.2%で、他と比較して高い。知的は「受給している」割合が 4.6%となっており他と比較して低い。

図表 143　生活保護の受給状況



（７）支出の状況

問 18.あなたの世帯の令和 7 年 9 月の支出額を教えてください。
①障害福祉サービス事業者に支払ったものと、②それ以外で支払ったものとで分けてお答えください。（数量）

① 障害福祉サービス事業者への支払額

- 1 か月分の支出額の内、障害福祉サービス事業者への支払額を費目別に尋ね、各費目の支払額を合計したところ、本人の 1 か月分の障害福祉サービス事業者への支払額の合計は、平均値 55,115 円／中央値 51,125 円となっている。内訳は、「食費」が平均値 20,653 円／中央値 20,000 円、「サービス利用料」が平均値 13,439 円／中央値 0 円、「住居費」が平均値 10,974 円／中央値 0 円、「水道光熱費」が平均値 7,111 円／中央値 7,000 円などとなっている。
- 世帯単位の障害福祉サービス事業者への支払額を集計したところ、支出額の合計は平均値 57,492 円／中央値 54,900 円となっている。

図表 144 障害福祉サービス事業者への支払額

上段：円
下段：%

【平均値】

	n数	支払額計	内訳 サービス利用料	住居費（家賃・部屋代など）	食費（自己負担分）	水道光熱費（自己負担分）	その他費目の支払額
本人	189	55,115	13,439	10,974	20,653	7,111	2,939
		100.0%	24.4%	19.9%	37.5%	12.9%	5.3%
同居者	10	44,930	800	8,200	23,530	10,000	2,400
		100.0%	1.8%	18.3%	52.4%	22.3%	5.3%
世帯・計	189	57,492	13,481	11,408	21,898	7,640	3,066
		100.0%	23.4%	19.8%	38.1%	13.3%	5.3%

（円）

【中央値】

	n数	支払額計	内訳 サービス利用料	住居費（家賃・部屋代など）	食費（自己負担分）	水道光熱費（自己負担分）	その他費目の支払額
本人	189	51,125	0	0	20,000	7,000	0
同居者	10	47,000	0	0	20,000	6,000	0
世帯・計	189	54,900	0	0	20,000	8,000	0

② 世帯単位の支払額
（障害福祉サービス事業者＋障害福祉サービス事業者以外への支払額）

●世帯単位の１か月分の支出額について、障害福祉サービス事業者への支払額と障害福祉サービス事業者以外への支払額を費目別に尋ね、各費目の金額を合計したところ、合計（1 か月分の総支出額）は、平均値 100,313 円／中央値 79,000 円となっている。平均値の内訳は、障害福祉サービス事業者への支払額が 57,492 円（57.3%）、障害福祉サービス事業者以外への支払額が 42,821 円（42.7%）となっており、特に、「食費」「サービス利用料」「住居費」などの費目の割合が高い。

図表 145 世帯単位の支払額（平均値・中央値）

n=189		平均値（円）	構成比（%）	中央値（円）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	13,481	13.4%	0
	住居費（家賃・部屋代など）	11,408	11.4%	0
	食費（自己負担分）	21,898	21.8%	20,000
	水道光熱費（自己負担分）	7,640	7.6%	8,000
	その他費目の支払額	3,066	3.1%	0
	小計	**57,492**	**57.3%**	**54,900**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	13,118	13.1%	0
	住居費	6,788	6.8%	0
	水道光熱費	4,297	4.3%	0
	保健医療費	1,865	1.9%	0
	交通費	1,929	1.9%	0
	情報通信費	2,673	2.7%	0
	教育費	143	0.1%	0
	教養娯楽費	3,526	3.5%	0
	介護サービス費	2,148	2.1%	0
	その他	4,128	4.1%	0
	税金・保険料	2,205	2.2%	0
	小計	**42,821**	**42.7%**	**16,220**
合計		**100,313**	**100.0%**	**79,000**

●世帯単位の 1 か月分の総支出額について障害種別でみると、平均額は身体が 105,804 円で最も大きく、精神（96,467 円）、知的（95,849 円）と続いている。
●中央値でみると、身体（85,000 円）、知的（80,000 円）、精神（78,800 円）となっている。

図表 146　世帯単位の支払額（平均値）　障害種別

		全体		身体		知的	
		n=189		n=61		n=59	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	13,481	13.4%	9,215	8.7%	19,880	20.7%
	住居費（家賃・部屋代など）	11,408	11.4%	7,588	7.2%	12,459	13.0%
	食費（自己負担分）	21,898	21.8%	19,569	18.5%	25,467	26.6%
	水道光熱費（自己負担分）	7,640	7.6%	6,802	6.4%	8,397	8.8%
	その他費目の支払額	3,066	3.1%	2,213	2.1%	5,012	5.2%
	小計	**57,492**	**57.3%**	**45,388**	**42.9%**	**71,214**	**74.3%**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	13,118	13.1%	18,490	17.5%	8,520	8.9%
	住居費	6,788	6.8%	8,373	7.9%	2,134	2.2%
	水道光熱費	4,297	4.3%	6,617	6.3%	1,665	1.7%
	保健医療費	1,865	1.9%	2,244	2.1%	1,204	1.3%
	交通費	1,929	1.9%	2,868	2.7%	952	1.0%
	情報通信費	2,673	2.7%	3,989	3.8%	1,275	1.3%
	教育費	143	0.1%	115	0.1%	0	0.0%
	教養娯楽費	3,526	3.5%	6,920	6.5%	1,881	2.0%
	介護サービス費	2,148	2.1%	5,324	5.0%	1,090	1.1%
	その他	4,128	4.1%	3,083	2.9%	4,779	5.0%
	税金・保険料	2,205	2.2%	2,394	2.3%	1,134	1.2%
	小計	**42,821**	**42.7%**	**60,416**	**57.1%**	**24,635**	**25.7%**
合計		**100,313**	**100.0%**	**105,804**	**100.0%**	**95,849**	**100.0%**

		精神		重複		その他	
		n=50		n=14		n=5	
		平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）	平均値（円）	構成比（%）
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	4,678	4.8%	18,119	17.4%	65,057	56.9%
	住居費（家賃・部屋代など）	15,043	15.6%	13,286	12.8%	4,000	3.5%
	食費（自己負担分）	20,976	21.7%	21,886	21.1%	17,442	15.3%
	水道光熱費（自己負担分）	6,762	7.0%	10,733	10.3%	9,043	7.9%
	その他費目の支払額	1,641	1.7%	4,402	4.2%	1,000	0.9%
	小計	**49,100**	**50.9%**	**68,425**	**65.8%**	**96,542**	**84.5%**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	14,265	14.8%	7,968	7.7%	4,800	4.2%
	住居費	10,834	11.2%	7,475	7.2%	0	0.0%
	水道光熱費	4,823	5.0%	4,933	4.7%	0	0.0%
	保健医療費	1,978	2.1%	2,400	2.3%	2,416	2.1%
	交通費	1,915	2.0%	2,143	2.1%	1,540	1.3%
	情報通信費	3,292	3.4%	1,214	1.2%	1,000	0.9%
	教育費	400	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
	教養娯楽費	2,039	2.1%	2,027	2.0%	600	0.5%
	介護サービス費	61	0.1%	714	0.7%	789	0.7%
	その他	5,095	5.3%	3,744	3.6%	600	0.5%
	税金・保険料	2,666	2.8%	2,896	2.8%	6,000	5.2%
	小計	**47,368**	**49.1%**	**35,515**	**34.2%**	**17,745**	**15.5%**
合計		**96,467**	**100.0%**	**103,940**	**100.0%**	**114,287**	**100.0%**

図表 147 世帯単位の支払額（中央値） 障害種別

（円）

		全体	身体	知的	精神	重複	その他
		n=189	n=61	n=59	n=50	n=14	n=5
障害福祉サービス事業者への支払額	サービス利用料	0	0	0	0	500	0
	住居費（家賃・部屋代など）	0	0	0	250	0	0
	食費（自己負担分）	20,000	8,000	25,000	17,500	24,000	12,000
	水道光熱費（自己負担分）	8,000	300	10,000	5,353	9,000	9,000
	その他費目の支払額	0	0	1,000	0	0	500
	小計	**54,900**	**45,000**	**61,650**	**49,085**	**64,912**	**31,500**
障害福祉サービス事業者以外への支払額	食費	0	1,000	0	3,276	0	0
	住居費	0	0	0	0	0	0
	水道光熱費	0	0	0	0	0	0
	保健医療費	0	0	0	0	0	0
	交通費	0	0	0	0	0	0
	情報通信費	0	0	0	0	0	0
	教育費	0	0	0	0	0	0
	教養娯楽費	0	0	0	0	0	0
	介護サービス費	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	税金・保険料	0	0	0	0	0	0
	小計	**16,220**	**18,000**	**10,457**	**25,132**	**7,298**	**1,947**
合計		**79,000**	**85,000**	**80,000**	**78,800**	**72,914**	**92,500**

（８） 介護サービスの利用状況

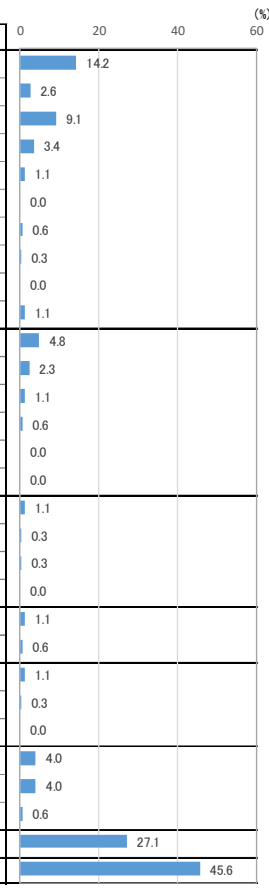
① 介護保険サービスの利用状況

問 19①.あなたは介護保険サービスを利用していますか。（MA）

●介護保険サービスの利用状況を尋ねたところ、「無回答」の割合が 45.6%と高く、「介護サービスを利用していない」が 27.1%。利用率が高いサービスは、「訪問介護」（14.2%）、「訪問看護」（9.1%）、「通所介護」（4.8%）、「配食サービス」「外出支援サービス」（ともに 4.0%）などとなっている。

●障害種別でみると、知的は「訪問介護」「訪問看護」の比率が他と比較して低く、「介護サービスを利用していない」割合が 35.6%と比較的高い。

図表 148 介護保険サービスの利用状況



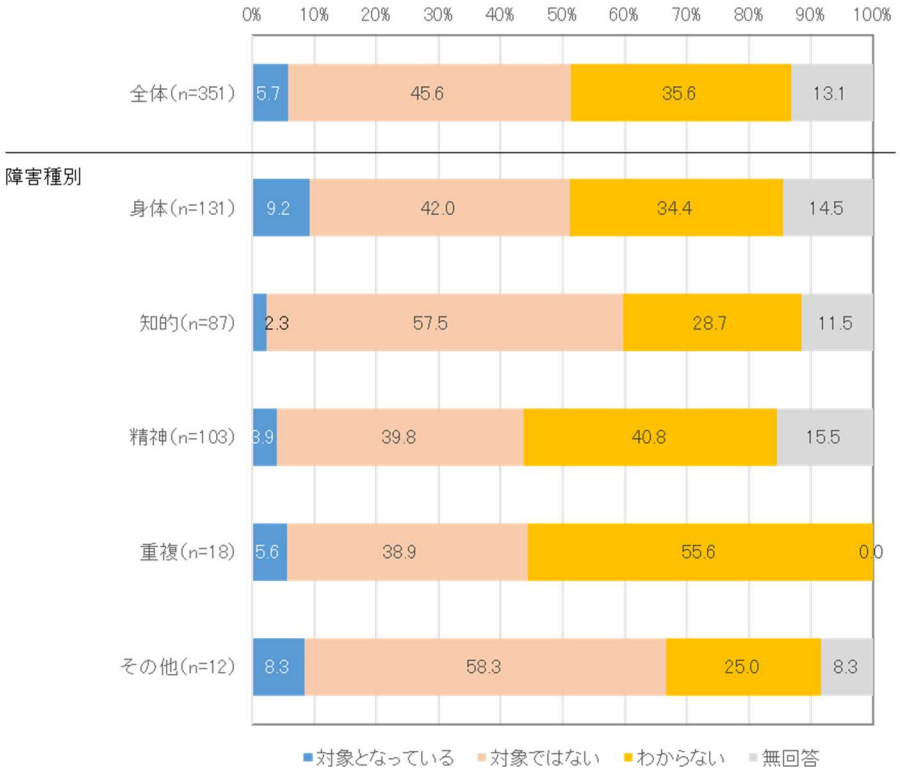
介護サービスの種類		全体 n=351	身体 n=131	知的 n=87	精神 n=103	重複 n=18	その他 n=12
訪問系サービス	訪問介護	14.2	24.4	2.3	9.7	16.7	25.0
	訪問入浴介護	2.6	5.3	1.1	1.0	0.0	0.0
	訪問看護	9.1	14.5	3.4	7.8	11.1	0.0
	訪問リハビリテーション	3.4	9.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護予防・日常生活総合支援事業における訪問系サービス	1.1	2.3	0.0	1.0	0.0	0.0
	介護予防訪問入浴介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護予防訪問看護	0.6	0.8	1.1	0.0	0.0	0.0
	介護予防訪問リハビリテーション	0.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	定期巡回・臨時対応型訪問介護看護	1.1	2.3	0.0	1.0	0.0	0.0
通所系サービス	通所介護	4.8	6.1	6.9	1.9	5.6	0.0
	通所リハビリテーション	2.3	4.6	0.0	1.0	5.6	0.0
	介護予防・日常生活支援総合事業における通所系サービス	1.1	0.8	0.0	2.9	0.0	0.0
	介護予防通所リハビリテーション	0.6	0.8	1.1	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型通所介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護予防認知症対応型通所介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所サービス	短期入所生活介護	1.1	1.5	0.0	1.0	5.6	0.0
	短期入所療養介護	0.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
	介護予防短期入所生活介護	0.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
	介護予防短期入所療養介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住系サービス（グループホーム）	認知症対応型共同生活介護	1.1	2.3	1.1	0.0	0.0	0.0
	介護予防認知症対応型共同生活介護	0.6	0.8	0.0	1.0	0.0	0.0
小規模多機能型サービス等	小規模多機能型居宅介護	1.1	2.3	0.0	1.0	0.0	0.0
	介護予防小規模多機能型居宅介護	0.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
	看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	配食サービス	4.0	4.6	2.3	3.9	5.6	8.3
	外出支援サービス	4.0	4.6	1.1	3.9	11.1	8.3
	寝具類等洗濯乾燥消毒サービス	0.6	0.8	0.0	0.0	5.6	0.0
介護サービスを利用していない		27.1	18.3	35.6	30.1	27.8	33.3
無回答		45.6	43.5	50.6	44.7	44.4	41.7

② 新高額福祉サービス等給付費

問 19②.あなたは新高額障害福祉サービス等給付費の対象となっていますか。（SA）

●新高額障害福祉サービス等給付費の対象になっているかを尋ねたところ、「対象ではない」が 45.6%、「わからない」が 35.6%、「対象となっている」が 5.7%となっている。
●障害種別でみると、身体は「対象となっている」が 9.2%で他と比較してやや高い。

図表 149 新高額障害福祉サービス等給付費の対象



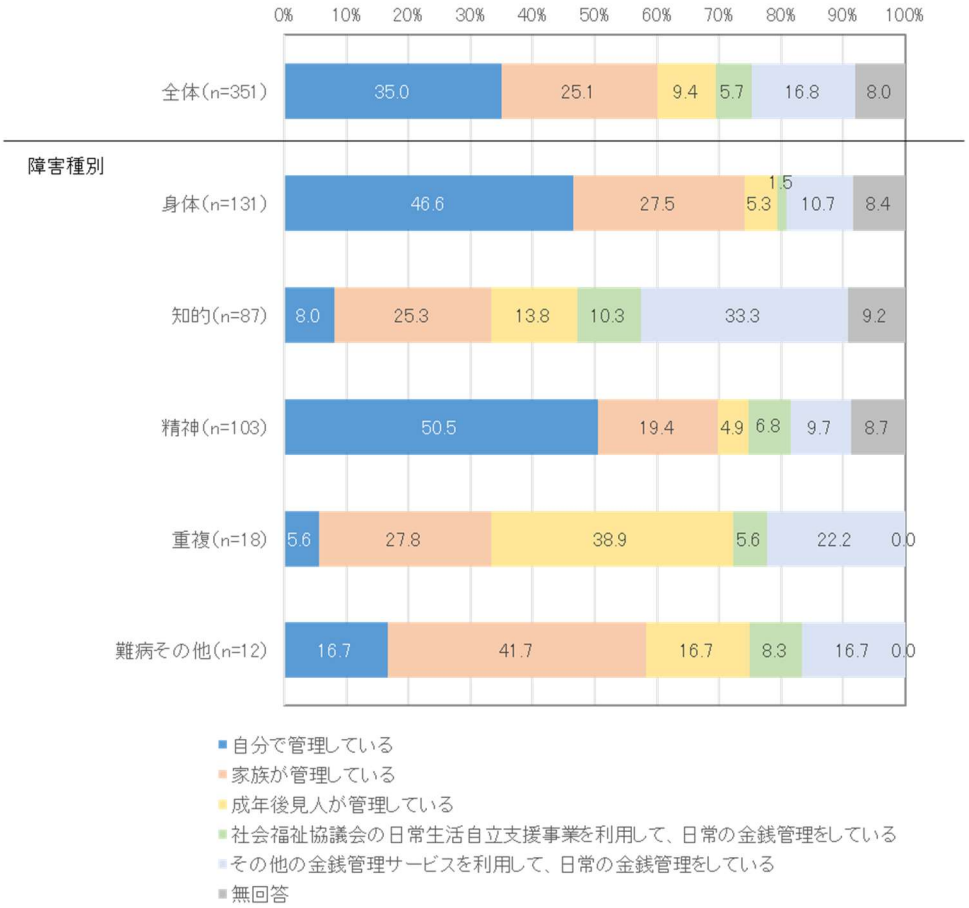
（９）収入・支出の管理

問 20.あなたの収入・支出について、日常の管理はどなたが行っていますか。（SA）

●収入・支出について日常の管理はどなたが行っているかを尋ねたところ、「自分で管理している」が 35.0%、「家族が管理している」が 25.1%で、この２つで合計 60.1%を占めている。これに「その他の金銭管理サービスを利用」が 16.8%、「成年後見人が管理している」が 9.4%で続いている。

●障害種別でみると、知的は「自分で管理している」が 8.0%で身体、精神と比較して低く、「その他の金銭管理サービスを利用」が 33.3%で高い。

図表 150　日常で収入・支出を管理する人



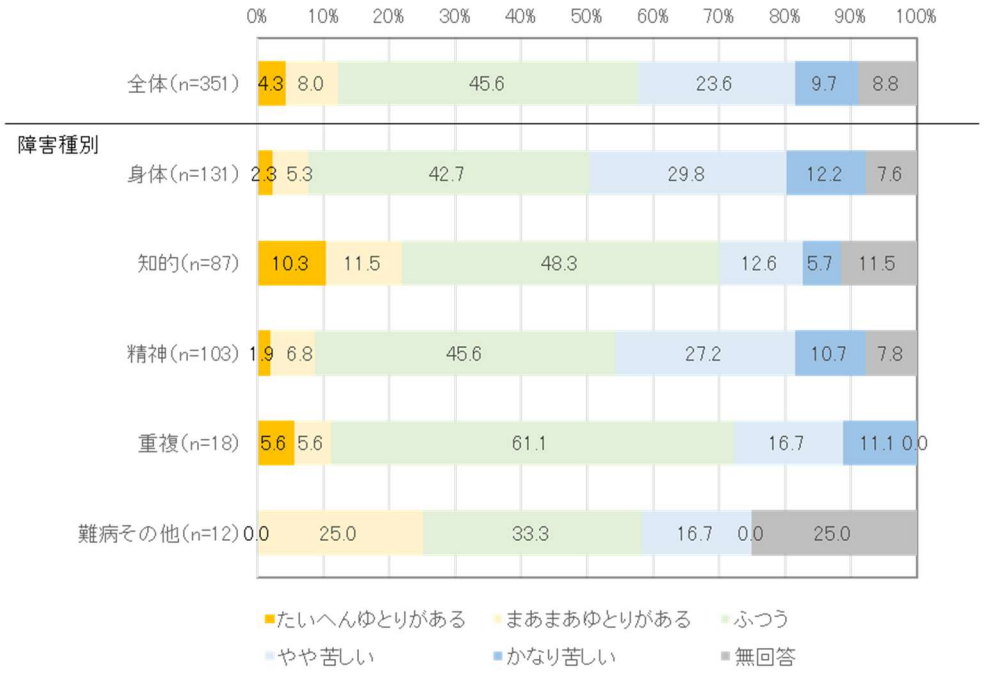
（１０）暮らしの状況

① 現在の暮らし（家計）の状況

問 21.あなたは現在の暮らしの状況（家計の状況）はどのように感じていますか。（SA）

- 現在の家計の状況を尋ねたところ、「ふつう」が 45.6%を占めている。「たいへんゆとりがある」が 4.3%、「まあまあゆとりがある」が 8.0%で、合計 12.3%が「ゆとりがある」としている。一方、「やや苦しい」が 23.6%、「かなり苦しい」が 9.7%で合計 33.3%が「苦しい」としている
- 障害種別でみると、知的は「たいへんゆとりがある」＋「まあまあゆとりがある」の割合が 21.8%で他と比較して、ゆとりがあると感じている人の割合が高い。

図表 151　現在の暮らし（家計）の状況

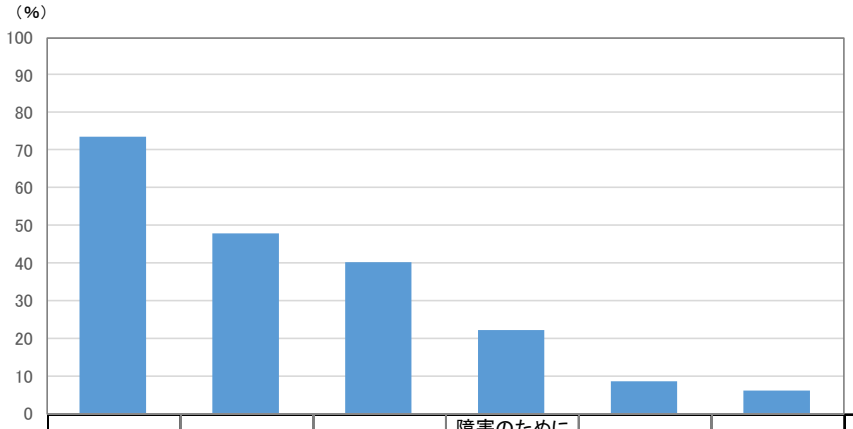


② 暮らしが苦しいと感じる理由

問 22.あなたの暮らしが苦しいと感じる理由は何でしょうか。（MA）
※問 21 で「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方

●現在の家計の状況について、「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した人（全体の 33.3%）に対して、暮らしが苦しいと感じる理由は何かを尋ねたところ、「物価が高騰しているため」が 73.5%で最も高く、「高齢で障害があるためにあなた自身があまり働けず、収入が少ないため」が 47.9%、「障害とかかわりなく、家計が苦しい」が 40.2%、「障害のために一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため」が 22.2%、「家族があまり働けず、収入が少ないため」が 8.5%となっている。

図表 152　現在の暮らし（家計）が苦しいと感じる理由
※現在の暮らし（家計）の状況が「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方



	n数	物価が高騰しているため	高齢で障害があるためにあなた自身があまり働けず、収入が少ないため	障害とかかわりなく、家計が苦しい	障害のために一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため	家族があまり働けず、収入が少ないため	その他	無回答
全体	117	73.5	47.9	40.2	22.2	8.5	6.0	3.4

５．参考資料（調査票）

調査票１　障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

調査票２　障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

調査票３　高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査

【令和７年度障害者総合福祉推進事業】

障害福祉サービス利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

問１．このアンケートに回答される方はどなたですか。　（○は１つ）

1.対象者本人	3. 障害福祉サービス事業所の職員
2.対象者の家族	4. その他（　　）

※対象者ご本人が回答（本人の意思に基づき回答）し、回答内容を家族や支援者の方が代筆した場合は、「1.対象者本人」をお選びください。
※家族や支援者の方が回答（意思表示が難しい本人の意思を推定して回答）する場合は、「2～4」をお選びください。

このアンケートの中で**「あなた」**というのは、このアンケート調査の対象となっている、障害福祉サービスを利用している本人のことを言います。

問２.あなたの性別を教えてください。　（○は１つ）

1.男	2. 女	3.その他

問３.あなたの年齢は何歳ですか（令和７年10月１日現在）

[　　] 歳

問４.あなたのお住いの地域（都道府県・市区町村）をご記入ください。

[　　] 都・道 府・県　[　　] 市・区 町・村

問5.あなたの現在の生活の場（お住い）・お住いの種類はどこですか。
※家族名義の家に住んでいる場合も「持ち家」とします。　（○は１つ）

1.戸建て住宅（持ち家）
2.戸建て住宅（賃貸）
3.集合住宅（分譲マンション）
4.集合住宅（賃貸マンション・アパート）
→ 問６へ

5.社宅・職員寮、学生寮など
6.グループホーム
7.サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム
8.その他（　　）
→ 問７へ

問６は、前の問（問５）で「1～4」を選んだ方にお聞きします。

問６　①あなたは現在、誰と一緒に生活していますか（同居家族）。
※あてはまるものすべてに○をつけてください。
※あなたから見た続柄でお答えください。　（○はいくつでも）

1.親	5.祖父母
2.配偶者（夫または妻）	6.孫
3.兄弟姉妹	7.その他（　　）
4.子ども	8.同居家族はいない（ひとり暮らし）

② あなたを含めた同居家族の人数（世帯人数）を教えてください。

[　　] 人

③ あなたは、世帯主ですか。　（○は１つ）

1.はい	2.いいえ

全員の方にお聞きします

あなたの障害の状況などについてお聞きします。

問７.あなたは障害者手帳などをお持ちですか。
以下のあてはまるものをすべてお選びください。　（○はいくつでも）

1.身体障害者手帳を持っている	→	問7-1・問7-2・問7-3へ
2.療育手帳を持っている	→	問8へ
3.精神障害者保健福祉手帳を持っている	→	問8へ
4.上記のいずれも持っていない	→	問8へ

問７－１．**前問（問７）で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。**

身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。

あてはまるものすべてお選びください。　（○はいくつでも）

１．視覚障害	６．肢体不自由（下肢）
２．聴覚障害	７．肢体不自由（体幹）
３．平衡機能障害	８．肢体不自由（脳原性運動機能障害）
４．音声機能・言語機能・咀嚼機能障害	９．内部障害（心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓機能の障害・免疫機能障害）
５．肢体不自由（上肢）	

問７－２．**問７で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。**

あなたの身体障害者手帳に記載された障害の程度（総合等級）は何級ですか。

（○は１つ）

１．１級	５．５級
２．２級	６．６級
３．３級	７．わからない
４．４級	

問７－３．**問７で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。**

あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのはいつ頃ですか。

※複数の障害がある方は、最初に障害の診断・判定を受けた時期をお答えください。

（○は１つ）

１．出生前・出生時

２．［　　］歳頃

３．わからない（不明）

全員の方にお聞きします

問８．あなたは過去１年間に医療費助成等を利用しましたか。　（○はいくつでも）

１．心身障害者医療費助成（マル障）
２．自立支援医療（更生医療）
３．自立支援医療（精神通院医療）
４．難病医療費助成（指定難病・小児慢性特定疾病）
５．その他の障害者医療費助成
６．利用していない

全員の方にお聞きします

問９．あなたは現在、日常的に必要としている医療的ケアがありますか。（○はいくつでも）

１．人工呼吸器（CPAP装置等マスク型を含む）
２．気管切開の管理
３．鼻咽頭エアウェイの管理
４．酸素療法
５．吸引
６．ネブライザーの管理
７．経管栄養
８．中心静脈カテーテルの管理
９．皮下注射
10．血糖測定
11．透析
12．導尿
13．排便管理
14．痙攣時の対応（座剤挿入、吸引、酸素供与
迷走神経刺激装置の作動等の処置）
15．その他（　　）
16．特に必要としていない

全員の方にお聞きします

通学・就業の状況などについてお聞きします。

問11.あなたは現在、学校（大学、専門学校等）に通っていますか。　（○は１つ）

1．通学している	2．通学していない

問12.前の問で「通学していない」と回答した方にお聞きします。
あなたが卒業した最終の学校の種類を教えてください。　（○は１つ）

1．中学校（普通学級）	6．専門学校・専修学校
2．中学校（特別支援学級）	7．短期大学・高等専門学校
3．特別支援学校（中等部）	8．大学
4．高等学校	9．大学院
5．特別支援学校（高等部）	10．その他（　　）

問13.あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。　（○は１つ）

1.会社などで仕事をしている（一般就労など）	→	問14-1.14-2.14-3.14-4へ
2.就労継続支援Ａ型の事業所で働いている（福祉的就労）	→	問15へ
3.就労継続支援Ｂ型の事業所で働いている（福祉的就労）	→	問15へ
4.就労移行支援の事業所で働いている（福祉的就労）	→	問15へ
5.生活介護で工賃をもらう生産活動をしている	→	問15へ
6.収入のある仕事はしていない	→	問15へ

※福祉的就労とは、一般就労（企業などへ就職し、雇用契約を結んで働くこと）が難しい障害のある方が、障害福祉サービスの中で就労の機会を得ながら働くことです。障害者総合支援法に基づく就労継続支援事業所などで作業を行います。

問14-1～問14-4は、前の問（問13）で「1.会社などで仕事をしている（一般就労など）」を選んだ方にお聞きします。

問14-1.あなたの雇用形態は何ですか。　（○は１つ）

1.正社員・正職員
2.契約社員・嘱託社員
3.派遣社員
4.パート・アルバイト
5.自営業
6.その他（　　）

問14-2.１週間の就業日数はどのくらいですか。　（○は１つ）

１．１日
２．２日
３．３日
４．４日
５．５日以上

問14-3.１週間の労働時間は合計どのくらいですか。　※休憩時間は除く　（○は１つ）

１．10時間未満
２．10時間以上20時間未満
３．20時間以上30時間未満
４．30時間以上40時間未満
５．40時間以上

問14-4.現在の仕事に就いてからの期間はどのくらいですか。　（○は１つ）

１．３か月未満
２．３か月～６か月未満
３．６か月～１年未満
４．１年～３年未満
５．３年～５年未満
６．５年～10年未満
７．10年以上

全員の方にお聞きします

サービスの利用状況についてお聞きします。

問15. あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。　（○は１つ）

1. 受けている　→　現在の障害支援区分（障害福祉サービス受給者証）
2. 受けていない
3. 申請中
4. わからない

区分1　・　区分2　・　区分3
区分4　・　区分5　・　区分6

問16①　あなたは、令和７年９月の１か月間に、障害福祉サービスの**「訪問サービス等」**をどの程度利用しましたか。
利用したサービスすべてを選び、１か月の利用時間を記入してください。

		１か月の利用時間数
1	居宅介護	時間
2	重度訪問介護	時間
3	同行援護	時間
4	行動援護	時間
5	重度障害者等包括支援	時間
6	地域生活支援事業のサービス（移動支援など）	時間
7	訪問サービスは利用していない	

問16②あなたは、令和７年９月の１か月間に、障害福祉サービスの**「通所サービス等」**を
どの程度利用しましたか。
利用したサービスすべてを選び、１か月の利用日数を記入してください。

＜介護給付＞		１か月の利用日数
1	短期入所（ショートステイ）	日
2	生活介護	日
＜訓練等給付＞		
3	自立訓練（機能訓練）	日
4	自立訓練（生活訓練）	日
5	就労移行支援	日
6	就労継続支援（A型）	日
7	就労継続支援（B型）	日
＜その他＞		
8	地域生活支援事業のサービス （日中一時支援、地域活動支援センターなど）	日
9	通所サービスは利用していない	

問16③　問16②で選んだサービスについて、食事の提供はありますか。
提供された食事を選んでください。　（○は１つ）

１．事業所で調理や盛り付けなどがされた食事
２．出前や市販の弁当
３．食事の提供はない

問16④　あなたは、障害福祉サービスを利用するにあたり、「サービス等利用計画」を誰が
作成していますか。　（○は１つ）

１.相談支援事業者が作成している
２.自分で作成している
３.家族が作成している
４.支援者等が作成している
５.障害福祉サービスは利用していない

全員の方にお聞きします

収入・資産の状況についてお聞きします。

問17. あなたの令和７年９月の１か月分の収入額を、それぞれの項目別にお答えください。
また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合や、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の収入額もお答えください。

収入の種類（１か月分）	あなたの収入	配偶者の収入	配偶者以外の同居者の収入
賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	円	円	円
障害年金など公的年金	円	円	円
補足給付（グループホームにお住まいの場合の家賃助成）	円	円	円
生活保護費	円	円	円
特別障害者手当などその他の手当、給付金等	円	円	円
家族などからの仕送り・小遣い	円	円	円
利子・配当	円	円	円
その他の収入	円	円	円

※配偶者以外の同居者が２人以上いる場合は、収入を合計して「配偶者以外の同居者の収入」の欄に記入してください。
※別居の家族の収入は記入しないでください。
※補足給付：食費や光熱費について、所得の低い方に対して、負担を軽減するために給付されるもの

全員の方にお聞きします

問18. あなたがお持ちの貯蓄・資産を教えてください。それぞれの項目別にお答えください。
また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合や、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の貯蓄・資産についてお答えください。

資産の種類	あなた名義の資産	配偶者名義の資産	配偶者以外の同居者名義の資産
現金・小切手	円	円	円
預貯金（定期貯金・普通預金など）	円	円	円
生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料 ※掛け捨ての保険を除きます	円	円	円
株式・投資信託 ※時価	円	円	円
債券 ※額面	円	円	円
その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	円	円	円
借金	円	円	円

※配偶者以外の同居者が２人以上いる場合は、貯蓄・資産を合計して「配偶者以外の同居者名義の資産」の欄に記入してください。
※別居の家族の資産は記入しないでください。
※保険料の計算例：　・月々の払込み額×12か月×これまで払込んだ年数
・年間の払込み額×これまでに払込んだ年数

問19. あなたの税金の課税状況、生活保護の受給状況について教えてください。

（それぞれ１つに○）

住民税	1. 課税されている	2. 課税されていない
生活保護	1. 受給している	2. 受給していない

支出の状況についてお聞きします。

問20. あなたの世帯の**令和７年９月の支出額**を教えてください。

① 障害福祉サービス事業者に支払ったものと、②それ以外で支払ったものとで分けてお答えください。

① 障害福祉サービス事業者への支払額　（令和７年９月の支払額）

	あなたが利用したサービス分の支払額（月額）	同居者が利用したサービス分の支払額（月額）
サービス利用料（食費等実費負担は除く） ※基本料・加算分の合計	円	円
住居費（家賃・部屋代など）	円	円
食費　（自己負担分）	円	円
水道光熱費（自己負担分） ※電気代・ガス代・上下水道代の合計	円	円
その他、上記以外の費目の支払額	円	円

※「同居者が利用したサービス分の支払額」について、サービスを利用した同居者が２人以上いる場合は、支払額を合計して記入してください。

※別居の家族のサービス利用分は含めないでください。

全員の方にお聞きします

② 障害福祉サービス事業者以外に支払った金額　　**（令和７年９月の支出額）**

費目		支払額（１か月分）
食費	食材費、外食費などの１か月分の合計 ※障害福祉サービス事業者に支払った食費は除く	円
住居費	家賃・部屋代、地代、マンションなどの共益費、管理費、修繕積立金などの１か月分の合計 ※障害福祉サービス事業者に支払った分は除く	円
水道光熱費	電気代・ガス代・上下水道代の合計 ※障害福祉サービス事業者に支払った分は除く	円
保健医療費	医療費、薬剤費、保健医療用品費などの１か月分の合計	円
交通費	外出の際の公共交通費、タクシー代、定期券代、自動車のガソリン代、駐車場料金などの１か月分の合計	円
情報通信費	固定電話、携帯電話料金、ＮＨＫ受信料、インターネット関連費、ケーブルテレビ費用などの１か月分の合計	円
教育費	授業料、受講料、月謝、教材費などの１か月分の合計	円
教養娯楽費	新聞・雑誌、書籍購入費、趣味やレジャーなどに要した費用の１か月分の合計（情報通信費、教育費に含むものは除く）	円
その他	その他の支出の１か月分の合計	円
税金・保険料	所得税・住民税などの税金、年金、健康保険、介護保険などの社会保険料の１か月分の支払額の合計	円

問21.あなたの収入・支出について、日常の管理はどなたが行っていますか。

（○はひとつ）

1.自分で管理している
2.家族が管理している
3.成年後見人が管理している
4.社会福祉協議会日常生活自立支援事業を利用して、日常の金銭管理をしている
5.その他の金銭管理サービスを利用して、日常の金銭管理をしている

暮らしの状況についてお聞きします。

全員の方にお聞きします

問22. あなたは現在の暮らしの状況（家計の状況）はどのように感じていますか。

（○はひとつ）

1．たいへんゆとりがある
2．まあまあゆとりがある
3．ふつう
4．やや苦しい
5．かなり苦しい

問22で「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方にお聞きします

問23. あなたの暮らしが苦しいと感じる理由はなんでしょうか。　（○はいくつでも）

1．障害のためにあなた自身があまり働けず、収入が少ないため
2．障害のために一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため
3．家族があまり働けず、収入が少ないため
4．物価が高騰しているため
5．障害とかかわりなく、家計が苦しい
6．その他（　　）

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。
同封の返信用封筒にてご返送ください（切手不要）

【令和７年度障害者総合福祉推進事業】

障害者支援施設利用者の暮らしの状況に関するアンケート調査

問１．このアンケートに回答される方はどなたですか。　（○は１つ）

1.対象者本人	3. 障害者支援施設の職員
2.対象者の家族	4. その他（　　）

※対象者ご本人が回答（本人の意思に基づき回答）し、回答内容を家族や支援者の方が代筆した場合は、「1.対象者本人」をお選びください。
※家族や支援者の方が回答（意思表示が難しい本人の意思を推定して回答）する場合は、「2～4」をお選びください。

このアンケートの中で**「あなた」**というのは、このアンケート調査の対象となっている、障害者支援施設を利用している本人のことを言います。

問２.あなたの性別を教えてください。　（○は１つ）

1.男	2. 女	3.その他

問３.あなたの年齢は何歳ですか（令和７年10月１日現在）

[　　] 歳

問４.あなたが入所している施設がある都道府県・市区町村をご記入ください。

[　　] 都・道 府・県　[　　] 市・区 町・村

全員の方にお聞きします

あなたの障害の状況などについてお聞きします。

問５.あなたは障害者手帳をお持ちですか、以下のあてはまるものをすべてお選びください。
（○はいくつでも）

1.身体障害者手帳を持っている	→	問5-1・問5-2・問5-3へ
2.療育手帳を持っている	→	問6へ
3.精神障害者保健福祉手帳を持っている	→	問6へ
4.上記のいずれも持っていない	→	問6へ

問５－１．**前問（問５）で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。**

身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。

あてはまるものすべてお選びください。　（○はいくつでも）

１．視覚障害	６．肢体不自由（下肢）
２．聴覚障害	７．肢体不自由（体幹）
３．平衡機能障害	８．肢体不自由（脳原性運動機能障害）
４．音声機能・言語機能・咀嚼機能障害	９．内部障害（心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓機能の障害、免疫機能障害）
５．肢体不自由（上肢）	

問５－２．**問５で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。**

あなたの身体障害者手帳に記載された障害の程度（総合等級）は何級ですか。

（○は１つ）

１．１級	５．５級
２．２級	６．６級
３．３級	７．わからない
４．４級	

問５－３．**問５で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。**

あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのはいつ頃ですか。

※複数の障害がある方は、最初に障害の診断・判定を受けた時期をお答えください。

（○は１つ）

１．出生前・出生時

２．［　　］歳頃

３．わからない（不明）

全員の方にお聞きします

問６．あなたは過去１年間に医療費助成等を利用しましたか。　（○はいくつでも）

１．心身障害者医療費助成（マル障）
２．自立支援医療（更生医療）
３．自立支援医療（精神通院医療）
４．難病医療費助成（指定難病・小児慢性特定疾病）
５．その他の障害者医療費助成
６．利用していない

全員の方にお聞きします

問７．あなたは現在、日常的に必要としている医療的ケアがありますか。（○はいくつでも）

１．人工呼吸器（CPAP装置等マスク型を含む）
２．気管切開の管理
３．鼻咽頭エアウェイの管理
４．酸素療法
５．吸引
６．ネブライザーの管理
７．経管栄養
８．中心静脈カテーテルの管理
９．皮下注射
10．血糖測定
11．透析
12．導尿
13．排便管理
14．痙攣時の対応（座剤挿入、吸引、酸素供与、迷走神経刺激装置の作動等の処置）
15．その他（　　）
16．特に必要としていない

全員の方にお聞きします

問８．あなたは日常生活において、自分一人でできますか。
※補助具等を使用している方は、使用した状態で判断してください。

（○はそれぞれ１つずつ）

	一人でできる	一部手助けが必要	全部手助けが必要
食事	1	2	3
着替え	1	2	3
トイレ	1	2	3
入浴	1	2	3
施設の中の移動	1	2	3
日常の買い物（外出）	1	2	3
お金の管理	1	2	3
薬の管理	1	2	3
自分の意思を伝える	1	2	3
相手の意思を理解する	1	2	3

全員の方にお聞きします

サービスの利用状況についてお聞きします。

問９．あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。（○は１つ）

1．受けている　→　現在の障害支援区分（障害福祉サービス受給者証）
区分1　・　区分2　・　区分3
区分4　・　区分5　・　区分6
2．受けていない
3．申請中
4．わからない

問10①. あなたは令和７年９月の１か月間に障害福祉サービスを利用しましたか。
利用したサービスすべてに○をつけ、１か月の利用日数を記入ください。

		入所施設のサービス	入所施設以外のサービス
1	生活介護	日	日
2	自立訓練（機能訓練）	日	日
3	自立訓練（生活訓練）	日	日
4	就労移行支援	日	日
5	就労継続支援（A型）	日	日
6	就労継続支援（B型）	日	日
7	その他（　　）	日	日
8	障害福祉サービスを利用していない		

※利用していない場合は「8」に○をつけてください。

問10②. あなたは、障害福祉サービスを利用するにあたり、「サービス等利用計画」を誰が作成していますか。　（○は１つ）

1. 相談支援事業者が作成している
2. 自分で作成している
3. 家族が作成している
4. 支援者等が作成している
5. 障害福祉サービスは利用していない

全員の方にお聞きします

収入・資産の状況についてお聞きします。

問11.あなたの令和７年９月の１か月分の収入額を、それぞれの項目別にお答えください。

収入の種類	あなたの収入 （令和７年９月の１か月分）
賃金・工賃（働いて得た収入）	円
障害年金など 公的年金	円
補足給付（※）	円
生活保護費	円
特別障害者手当など その他の手当、給付金等	円
家族などからの仕送り・小遣い	円
利子・配当	円
その他の収入	円

（※）補足給付：食費や光熱費について、所得の低い方に対して、負担を軽減するために給付されるもの

全員の方にお聞きします

問12. あなたは以下の貯蓄・資産はありますか（令和７年10月１日現在）。

資産の種類	あなた名義の資産
現金・小切手	円
預貯金（定期預金、普通預金など）	円
生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料　※掛け捨ての保険は除きます。 【計算例】・月々の払込み額×12か月×これまで払込んだ年数 ・年間の払込み額×これまでに払込んだ年数	円
株式・投資信託　※時価	円
債券　※額面	円
その他の預貯金（財形貯蓄、社内貯金等）	円
借金	円

問13. あなたの税金の課税状況、生活保護の受給状況について教えてください。

（それぞれ１つに○）

住民税	１.課税されている	２.課税されていない
生活保護	１.受給している	２.受給していない

支出の状況についてお聞きします。

問14. あなたの**令和７年９月の支出額**を教えてください。

① 障害者支援施設に支払ったものと、②それ以外で支払ったものとで分けてお答えください。

全員の方にお聞きします

① **施設への支払額**　**（令和７年９月の支払額）**

	あなたが利用したサービス分の支払額（月額）
施設入所支援のサービス利用料	円
日中サービス利用料	円
室料	円
食費　（自己負担分）	円
水道光熱費（自己負担分） ※電気代・ガス代・上下水道代の合計	円
その他、上記以外の費目の支払額	円

全員の方にお聞きします

② 施設以外に支払った金額　　（令和７年９月の支出額）

費目		支払額（１か月分）
食費	食材費、外食費などの１か月分の合計 ※施設に支払った食費は除く	円
保健医療費	医療費、薬剤費、保健医療用品費などの１か月分の合計	円
交通費	外出の際の公共交通費、タクシー代、定期券代、自動車のガソリン代、駐車場料金などの１か月分の合計	円
情報通信費	固定電話、携帯電話料金、ＮＨＫ受信料、インターネット関連費、ケーブルテレビ費用などの１か月分の合計	円
教育費	授業料、受講料、月謝、教材費などの１か月分の合計	円
教養娯楽費	新聞・雑誌、書籍購入費、趣味やレジャーなどに要した費用の１か月分の合計（情報通信費、教育費に含むものは除く）	円
その他	その他の支出の１か月分の合計	円
税金・保険料	所得税・住民税などの税金、年金、健康保険、介護保険などの社会保険料の１か月分の支払額の合計	円

問15. あなたの収入・支出について、日常の管理はどなたが行っていますか。

（○はひとつ）

１. 自分で管理している
２. 家族（身元引受人）が管理している
３. 成年後見人が管理している
４. 施設の金銭管理サービス等を利用している
　→ サービスの月額利用料を記入してください［　　］円
５. その他の金銭管理サービスを利用して、日常の金銭管理をしている

暮らしの状況についてお聞きします。

全員の方にお聞きします

問16. あなたは、自由に使えるお金（こづかい）の金額はだいたい決まっていますか。

（○はひとつ）

1. ひと月のこづかいの金額はおおよそ決めている（決まっている）

　おおよそのひと月分のこづかいの金額 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 円

2. 特に金額は決めていない（決まっていない）

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

同封の返信用封筒にてご返送ください（切手不要）

【令和７年度障害者総合福祉推進事業】

高齢障害者の暮らしの状況に関するアンケート調査

問１．このアンケートに回答される方はどなたですか。　（○は１つ）

1. 対象者本人	3. 障害福祉サービス事業所の職員
2. 対象者の家族	4. その他（　　）

※対象者ご本人が回答（本人の意思に基づき回答）し、回答内容を家族や支援者の方が代筆した場合は、「1.対象者本人」をお選びください。

※家族や支援者の方が回答（意思表示が難しい本人の意思を推定して回答）する場合は、「2～4」をお選びください。

このアンケートの中で**「あなた」**というのは、このアンケート調査の対象となっている、障害のある方本人のことを言います。

問２．あなたの性別を教えてください。　（○は１つ）

1．男	2．女	3．その他

問３．あなたの年齢は何歳ですか（令和７年10月１日現在）

[　　] 歳

問４．あなたのお住いの地域（都道府県・市区町村）をご記入ください。

[　　] 都・道 府・県　[　　] 市・区 町・村

問5. あなたの現在の生活の場（お住い）・お住いの種類はどこですか。

※家族名義の家に住んでいる場合も「持ち家」とします。　（○は１つ）

□自宅で生活している

1. 戸建て住宅（持ち家）
2. 戸建て住宅（賃貸）
3. 集合住宅（分譲マンション）
4. 集合住宅（賃貸マンション・アパート）
5. 社宅・職員寮、学生寮など
6. グループホーム
7. サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム
8. その他（　　）

□施設に入所している

9. 障害者支援施設
10. 特別養護老人ホーム
11. 介護老人保健施設
12. その他（　　）

→ 問6へ

問６は、前の問（問５）で「1～4」を選んだ方にお聞きします。

問６　①あなたは現在、誰と一緒に生活していますか（同居家族）。
※あてはまるものすべに○をつけてください。
※あなたから見た続柄でお答えください。　（○はいくつでも）

1.親	5.祖父母
2.配偶者（夫または妻）	6.孫
3.兄弟姉妹	7.その他（　　）
4.子ども	8.同居家族はいない（ひとり暮らし）

② あなたを含めた同居家族の人数（世帯人数）を教えてください。

[　　] 人

③ あなたは、世帯主ですか。　（○は１つ）

1.はい	2.いいえ

全員の方にお聞きします

あなたの障害の状況などについてお聞きします。

問７.あなたは障害者手帳をお持ちですか、以下のあてはまるものをすべてお選びください。
（○はいくつでも）

1.身体障害者手帳を持っている	→	問7-1・問7-2・問7-3へ
2.療育手帳を持っている	→	問8へ
3.精神障害者保健福祉手帳を持っている	→	問8へ
4.上記のいずれも持っていない	→	問8へ

問７－１．**前問（問７）で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。**

身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。

あてはまるものすべてお選びください。　（○はいくつでも）

１．視覚障害	６．肢体不自由（下肢）
２．聴覚障害	７．肢体不自由（体幹）
３．平衡機能障害	８．肢体不自由（脳原性運動機能障害）
４．音声機能・言語機能・咀嚼機能障害	９．内部障害（心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓機能の障害、免疫機能障害）
５．肢体不自由（上肢）	

問７－２．**問７で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。**

あなたの身体障害者手帳に記載された障害の程度（総合等級）は何級ですか。

（○は１つ）

１．１級	５．５級
２．２級	６．６級
３．３級	７．わからない
４．４級	

問７－３．**問７で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。**

あなたが最初の障害の診断・判定を受けたのはいつ頃ですか。

※複数の障害がある方は、最初に障害の診断・判定を受けた時期をお答えください。

（○は１つ）

１．出生前・出生時

２．［　　］歳頃

３．わからない（不明）

全員の方にお聞きします

問８．あなたは要介護認定を受けていますか。

（○は１つ）

１．受けている　→　現在の要介護度をお選びください。　（○は１つ）

２．受けていない

３．申請中

要支援1・要支援2

要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5

全員の方にお聞きします

問９．あなたは過去１年間に医療費助成等を利用しましたか。　（○はいくつでも）

１．心身障害者医療費助成（マル障）
２．自立支援医療（更生医療）
３．自立支援医療（精神通院医療）
４．難病医療費助成（指定難病・小児慢性特定疾病）
５．その他の障害者医療費助成
６．利用していない

全員の方にお聞きします

問10．あなたは現在、日常的に必要としている医療的ケアがありますか。（○はいくつでも）

１．人工呼吸器（CPAP装置等マスク型を含む）
２．気管切開の管理
３．鼻咽頭エアウェイの管理
４．酸素療法
５．吸引
６．ネブライザーの管理
７．経管栄養
８．中心静脈カテーテルの管理
９．皮下注射
10．血糖測定
11．透析
12．導尿
13．排便管理
14．痙攣時の対応（座剤挿入、吸引、酸素供与、迷走神経刺激装置の作動等の処置）
15．その他（　　）
16．特に必要としていない

問11. あなたは日常生活において、自分一人でできますか。

※補助具等を使用している方は、使用した状態で判断してください。

（○はそれぞれ１つずつ）

	一人でできる	一部手助けが必要	全部手助けが必要
食事	1	2	3
着替え	1	2	3
トイレ	1	2	3
入浴	1	2	3
家の中の移動	1	2	3
家事（調理、洗濯、掃除）	1	2	3
日常の買い物（外出）	1	2	3
お金の管理	1	2	3
薬の管理	1	2	3
自分の意思を伝える	1	2	3
相手の意思を理解する	1	2	3

全員の方にお聞きします

就業の状況についてお聞きします。

問12.あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。　（○は１つ）

1.会社などで仕事をしている（一般就労など）	→	問12-1.12-2.12-3へ
2.就労継続支援Ａ型の事業所で働いている（福祉的就労）	→	問13へ
3.就労継続支援Ｂ型の事業所で働いている（福祉的就労）	→	問13へ
4.就労移行支援の事業所で働いている（福祉的就労）	→	問13へ
5.生活介護で工賃をもらう生産活動をしている	→	問13へ
6.収入のある仕事はしていない	→	問13へ

※福祉的就労とは、一般就労（企業などへ就職し、雇用契約を結んで働くこと）が難しい障害のある方が、障害福祉サービスの中で就労の機会を得ながら働くことです。障害者総合支援法に基づく就労継続支援事業所などで作業を行います。

問12-1～問12-4は、前の問（問12）で「1.会社などで仕事をしている（一般就労など）」を選んだ方にお聞きします。

問12-1.あなたの雇用形態は何ですか。　（○は１つ）

1.正社員・正職員
2.契約社員・嘱託社員
3.派遣社員
4.パート・アルバイト
5.自営業
6.その他（　　）

問12-2.１週間の就業日数はどのくらいですか。　（○は１つ）

1．１日	4．４日
2．２日	5．５日以上
3．３日	

問12-3. １週間の労働時間は、合計どのくらいですか。

※休憩時間は除く　（○は１つ）

１．10時間未満	４．30時間以上40時間未満
２．10時間以上20時間未満	５．40時間以上
３．20時間以上30時間未満	

問12-4. 現在の仕事に就いてからの期間はどのくらいですか。　（○は１つ）

１．３か月未満	５．３年～５未満
２．３か月～６か月未満	６．５年～10年未満
３．６か月～１年未満	７．10年以上
４．１年～３年未満	

全員の方にお聞きします

サービスの利用状況についてお聞きします。

問13. あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。　（○は１つ）

１. 受けている　→　現在の障害支援区分（障害福祉サービス受給者証）

２. 受けていない

３. 申請中

４. わからない

区分1　・　区分2　・　区分3
区分4　・　区分5　・　区分6

問14④　問14①②で選んだサービスについて、介護保険サービスではなく障害福祉サービスを利用したのはなぜですか。　（○は１つ）

1．介護保険サービスに相当するサービスがない障害福祉固有のサービス（就労継続支援、同行援護、行動援護等）を利用しているため

2．介護保険サービスの相当するサービスも利用しているが、介護保険の支給限度額により、介護保険サービスだけでは十分なサービスを受けられないため

3．利用可能な介護保険サービスに係る事業所又は施設が身近にない（または空きがない）ため

4．介護保険の要介護認定を受けた結果、非該当と判定されたため

5．その他（　　）

問14⑤　あなたは、障害福祉サービスを利用するにあたり、「サービス等利用計画」を誰が作成していますか。　（○は１つ）

1．相談支援事業者が作成している
2．自分で作成している
3．家族が作成している
4．支援者等が作成している

全員の方にお聞きします

収入・資産の状況についてお聞きします。

問15. あなたの令和７年９月の１か月分の収入額を、それぞれの項目別にお答えください。
また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合や、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の収入額もお答えください。

収入の種類（１か月分）	あなたの収入	配偶者の収入	配偶者以外の同居者の収入
賃金・給料・工賃（働いて得た収入）	円	円	円
障害年金など公的年金	円	円	円
補足給付（※）	円	円	円
生活保護費	円	円	円
特別障害者手当などその他の手当、給付金等	円	円	円
家族などからの仕送り・小遣い	円	円	円
利子・配当	円	円	円
その他の収入	円	円	円

※配偶者以外の同居者が２人以上いる場合は、収入を合計して「配偶者以外の同居者の収入」の欄に記入してください。
※別居の家族の収入は記入しないでください。
（※）補足給付：障害者支援施設にお住まいの方については、所得の低い方に対して、食費や光熱費の負担を軽減するために給付されるもの。グループホームにお住まいの方については、所得の低い方に対して、家賃の負担を軽減するために給付されるもの。

全員の方にお聞きします

問16. あなたがお持ちの資産を教えてください。それぞれの項目別に資産をお答えください。
また、あなたに配偶者（夫または妻）がいる場合や、配偶者以外の家族などの同居者がいる場合は、その方の資産についてお答えください。

資産の種類	あなた名義の資産	配偶者名義の資産	配偶者以外の同居者名義の資産
現金・小切手	円	円	円
預貯金（定期貯金・普通預金など）	円	円	円
生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払込んだ保険料 ※掛け捨ての保険を除きます	円	円	円
株式・投資信託 ※時価	円	円	円
債券 ※額面	円	円	円
その他預貯金（財形貯蓄・社内貯金等）	円	円	円
借金	円	円	円

※配偶者以外の同居者が２人以上いる場合は、資産を合計して「配偶者以外の同居者名義の資産」の欄に記入してください。
※別居の家族の資産は記入しないでください。
※保険料の計算例：　・月々の払込み額×12か月×これまで払込んだ年数
・年間の払込み額×これまでに払込んだ年数

問17. あなたの税金の課税状況、生活保護の受給状況について教えてください。

（それぞれ１つに○）

住民税	1.課税されている	2.課税されていない
生活保護	1.受給している	2.受給していない

支出の状況についてお聞きします。

問18. あなたの世帯の**令和７年９月の支出額**を教えてください。

① 障害福祉サービス事業者に支払ったものと、②それ以外で支払ったものとで分けてお答えください。

① 障害福祉サービス事業者への支払額　（令和７年９月の支払額）

	あなたが利用したサービス分の支払額	同居者が利用したサービス分の支払額
サービス利用料（食費等実費負担は除く） ※基本料・加算分の合計	円	円
住居費（家賃・部屋代など）	円	円
食費　（自己負担分）	円	円
水道光熱費（自己負担分） ※電気代・ガス代・上下水道代の合計	円	円
その他、上記以外の費目の支払額	円	円

※「同居者が利用したサービス分の支払額」について、サービスを利用した同居者が２人以上いる場合は、支払額を合計して記入してください。

※別居の家族のサービス利用分は含めないでください。

全員の方にお聞きします

② 障害福祉サービス事業者以外に支払った金額　（令和７年９月の支出額）

費目		支払額（１か月分）
食費	食材費、外食費などの１か月分の合計 ※障害福祉サービス事業者に支払った食費は除く	円
住居費	家賃・部屋代、地代、マンションなどの共益費、管理費、修繕積立金などの１か月分の合計 ※障害福祉サービス事業者に支払った分は除く	円
水道光熱費	電気代・ガス代・上下水道代の合計 ※障害福祉サービス事業者に支払った分は除く	円
保健医療費	医療費、薬剤費、保健医療用品費などの１か月分の合計	円
交通費	外出の際の公共交通費、タクシー代、定期券代、自動車のガソリン代、駐車場料金などの１か月分の合計	円
情報通信費	固定電話、携帯電話料金、ＮＨＫ受信料、インターネット関連費、ケーブルテレビ費用などの１か月分の合計	円
教育費	授業料、受講料、月謝、教材費などの１か月分の合計	円
教養娯楽費	新聞・雑誌、書籍購入費、趣味やレジャーなどに要した費用の１か月分の合計（情報通信費、教育費に含むものは除く）	円
介護サービス費	介護保険サービス、介護予防サービス、高齢者向け生活支援サービス（総合事業）などの利用料の１か月分の合計	円
その他	その他の支出の１か月分の合計	円
税金・保険料	所得税・住民税などの税金、年金、健康保険、介護保険などの社会保険料の１か月分の支払額の合計	円

介護サービスの利用状況についてお聞きします。

問19①. あなたは介護保険サービスを利用していますか。　（○はいくつでも）

介護サービスの種類	介護サービス（詳細）
訪問系サービス	1. 訪問介護 2. 訪問入浴介護 3. 訪問看護 4. 訪問リハビリテーション 5. 介護予防・日常生活総合支援事業における訪問系サービス 6. 介護予防訪問入浴介護 7. 介護予防訪問看護 8. 介護予防訪問リハビリテーション 9. 夜間対応型訪問介護 10. 定期巡回・臨時対応型訪問介護看護
通所系サービス	11. 通所介護 12. 通所リハビリテーション 13. 介護予防・日常生活支援総合事業における通所系サービス 14. 介護予防通所リハビリテーション 15. 認知症対応型通所介護 16. 介護予防認知症対応型通所介護
短期入所サービス	17. 短期入所生活介護 18. 短期入所療養介護 19. 介護予防短期入所生活介護 20. 介護予防短期入所療養介護
居住系サービス（グループホーム）	21. 認知症対応型共同生活介護 22. 介護予防認知症対応型共同生活介護
小規模多機能型サービス等	23. 小規模多機能型居宅介護 24. 介護予防小規模多機能型居宅介護 25. 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）
その他	26. 配食サービス 27. 外出支援サービス 28. 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス 29. 介護サービスを利用していない

※１～25は介護保険制度によるサービスをいいます。

問19②.あなたは新高額障害福祉サービス等給付費の対象となっていますか。

（○は１つ）

１．対象となっている	２．対象ではない	３．わからない

※新高額障害福祉サービス等給付費とは
65歳になるまでに５年以上、障害福祉サービスを利用しており、65歳以降に介護保険サービスの利用に移行した障害者を対象に、一定の要件を満たした場合に、介護保険サービスの利用負担が軽減される制度です。
対象は、障害福祉サービスの居宅介護、重度訪問介護、生活介護、短期入所の利用から、それぞれ類似する介護保険サービスである訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、地域密着型通所介護、小規模多機能型居宅介護に移行した場合となります。申請により、対象の介護保険サービス利用料が償還（払い戻し）されます。

問20.あなたの収入・支出について、日常の管理はどなたが行っていますか。

（○はひとつ）

１.自分で管理している
２.家族が管理している
３.成年後見人が管理している
４.社会福祉協議会の日常生活自立支援事業を利用して、日常の金銭管理をしている
５.その他の金銭管理サービスを利用して、日常の金銭管理をしている

暮らしの状況についてお聞きします。

全員の方にお聞きします

問21.あなたは現在の暮らしの状況（家計の状況）はどのように感じていますか。

（○はひとつ）

1.たいへんゆとりがある
2.まあまあゆとりがある
3.ふつう
4.やや苦しい
5.かなり苦しい

問21で「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方にお聞きします

問22.あなたの暮らしが苦しいと感じる理由はなんでしょうか。　（○はいくつでも）

1．高齢で、障害があるためにあなた自身が働けず、収入が少ないため
2．障害のために一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それらを購入するために出費がかさむため
3．家族があまり働けず、収入が少ないため
4．物価が高騰しているため
5．障害とかかわりなく、家計が苦しい
6．その他（　　）

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。
同封の返信用封筒にてご返送ください（切手不要）

令和７年度　厚生労働省　障害者総合福祉推進事業

障害福祉サービス利用者等の生活実態調査

報告書

令和８年３月

株式会社工業市場研究所

〒105-0003
東京都港区西新橋 3-6-10 マストライフ西新橋ビル
Tel：03-6459-0165